

津軽家文書総目録		浪之間御筆笥題帳 御書方 元治元(1864)写 1冊 美濃 和	TK029-7		
TK000 総記		浜丁様御持せ并御登相濟御書物之部扣 御近習小姓 文久2(1862)写 1冊 半紙 和	TK029-3		
TK025 一般書目					
西洋書目覚 写1通	TK025-1	TK049 雑書			
TK029 蔵書目録		受取証書入 写 1束	TK049-6		
大殿様御譲御書物目録 安政6年 御近習小性 安政6(1859)写 1冊 半紙 和	TK029-2	受取証其他雑書入 写 1束	TK049-4		
御国御書物目録 享保15年 乳井儀右衛門等 享保15(1730)写 1冊 美濃 和	TK029-1	御書物并諸拝借手形入 写 1袋	TK049-5		
御下し御書物目録 御近習小姓 文久2(1862)写 1冊 半紙 和	TK029-4	公廨諸調ニ付要用書類入 写 19冊 内容：ブラキストン関係ニ付外務省へ願出書 当借返并 御救助願書 材木一条ノ調書 不時金総勘定書 商船豊 丸号ニ関スル書類 御賞典米ノ儀 十,十一月払金錢ノ 部 会計ノ内調当新穀ヨリ先繰米差引調 東京詰旧官員 旅費明細調 東西京旅費大略調 旧官員月給見積調 繰 上米差引調 社禄頂戴願 大坂常居御分与地売払ノ伴 十,十一月中調惣計表 十,十一月管内通行入費明細調 行刑済ノ者御届出 旧弘前県紙幣并負債消却日途之儀 雑書	TK049-2		
御書部屋題帳 御書方 元治元(1864)写 1冊 美濃 和	TK029-6				
御書物調帳 文久3年 御近習小姓 文久3(1863)写 1冊 横長 和	TK029-5				
〔書目〕子類 写 2冊 美濃 和 内容：第4 儒家 道家 釈家 第5 諸子 農家 小説家 兵家 天文家 五行家 医 家 芸術家 類家 叢書家	TK029-8	〔雑書類〕 写 6束	TK049-8		
		社号姓名村名但片仮名付右書付五通之写 写 1冊 半紙 和	TK049-1		
				〔受領証其他雑入〕 明治6(1873)写 1袋	TK049-7
				要書入 写 1袋	TK049-3
				TK069 博物館	
				古物館江御賃附御道具控 通券売上金高記載簿共 明治28年~大正2年 明治28~大正2(1895~1913)写 16冊 半紙 和	TK069-1
				弘前古物館諸収支帳 明治30年~同36年 弘前古物会掛 明治30~36(1897~1903)写 1冊 半紙 和	TK069-2

TK100 哲学

TK120 東洋哲学

伏羲八卦図・文王八卦方位之図・本朝八卦方位図 TK121-2
写 1冊 美濃 和

本朝易経 TK121-3
写 1冊 美濃 和

遊歴起原・大易来歴 TK121-1
写 1冊 半紙 和

TK148 相法 占い 運命判断

〔吉日撰考覚〕最勝院 TK148-1
写 2通

TK160 宗教

御書出被下置候寺社知行高調帳 寛政6年 TK160-17
寛政6(1794)写 1冊 半紙 和

御書出寺社御次第 TK160-21
写 1冊 横長 和

吉祥御用留 明治元年～同4年 社寺方 TK160-2
明治元～4(1868～71)写 1冊 半紙 和

凶事御用留(凶事帳) 寺社方 TK160-3
寛政9～明治2(1797～1869)写 6冊 半紙 和
内容：寛政9年より天保4年(1797～1833)天保5年より弘化2年迄(1834～45)弘化3年より安政4年10月迄(1846～57)安政4年11月より元治元年正月まで(1857～64)元治元年2月より明治元年迄

(1864～68)明治2年(1869)

古懸不動尊御出汗并類族取扱覚 寺社方 TK160-30
写 1冊 横長 和

御寄附知寺社方御次第帳 寛政6年 TK160-18
寛政6(1794)写 1冊 横長 和

於御書院寺社方御書出被下置候面々呼出帳 TK160-20
安政6年
安政6(1859)写 1冊 横長 和

御用留帳 寺社奉行 TK160-4
安政5～慶応4(1858～68)写 11冊 半紙 和
内容：安政5年 同6年 同7年 万延2年 文久2年 同3年 同4年 元治2年 慶応2年 同3年 同4年

御用留帳(寺社御用留) 寺社方(記録署) TK160-5
安政5～明治4(1858～71)写 16冊 半紙 和
内容：安政5年 同6年 同7年 万延2年 文久2年 同3年 元治元年 同2年 慶応2年 同3年 同4年正月～3月 明治元年3月～12月 同2年 同3年 同4年9月迄 同4年9月～12月

寺社御書出被下候御座席付留 正徳3年 TK160-9
写 1冊 美濃 和

寺社御書出被下候御座席付留 元文2年 TK160-15
元文2(1737)写 1冊 美濃 和

寺社御書出被下候扣 元文2年 TK160-16
元文2(1737)写 1冊 美濃 和

寺社御書出扣 正徳3年 TK160-10

写 1冊 美濃 和

寺社方御書出被下候御座席付之覚 正徳3年 TK160-8
正徳3(1713)写 1冊 半紙倍 和

寺社方御書出被下候御座席付之覚 元文2年 TK160-14
元文2(1737)写 1冊 半紙倍 和

寺社方御黒印并御知行目録写相改候人別覚 TK160-11
元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 秋元藤十郎
元文元(1736)写 1冊 横長 和

寺社方知行人別改帳 TK160-33
写 1冊 半紙横 和

寺社吉凶帳 乾坤 御日記方 TK160-1
写 2冊 半紙 和
註：元文2年より天保13年(1737～1842)とあるが延宝7年より慶応2年まで(1679～1866)補足されている

寺社後住願留 寺社方(記録署) TK160-26
慶応2～明治4(1866～71)写 2冊 半紙 和
内容：慶応2年～明治4年9月 明治4年9月～11月

寺社御用留 御用人(議定堂) TK160-6
慶応3,明治2(1867,69)写 2冊 半紙 和
内容：慶応3年 明治2年正月～11月

寺社知行取調帳 安政6年 TK160-19
安政6(1859)写 1冊 横長 和

寺社領御書出被下候人別覚〔元文元年〕 TK160-12
〔元文元〕(1736)写 2冊 横長 和

寺社領御書出被下候人別覚 扣〔元文元年〕 〔元文2〕(1737) 写 1冊 横長 和	TK160-13	文化9(1812) 写 6冊 半紙 和 内容：百沢寺・国上寺・橋雲寺・久渡寺 貞昌寺・本行寺・真教寺・大門寺・大福院・法隆院・地福院・白狐寺・高伯寺・慈雲院・附御修覆所并御寄附物書上帳(白狐寺)長勝寺配下共 最勝院・熊野宮(八幡宮) 薬玉院・報恩寺・東照宮・神宮寺・袋宮寺 斎藤長門より阿保近江守	文化7年 寺社方拔書 文化7(1810) 写 1冊 半紙 和
〔寺社領御朱印之儀ニ付酒井左衛門尉様被成御渡候御書付〕 辰8月 〔宝暦10〕(1760) 写(原本)1通	TK160-29		赤石組田浦村社司小野武雄同組舞戸村社司木村志津馬産神 揉合御仕分帳 社寺署 TK175-50 明治4(1871) 写 1冊 半紙 和
寺社領分限帳 正徳元年 御日記方 正徳元(1711) 写 1冊 半紙倍 和	TK160-7	長勝寺・高岡御告帳 嘉永4(1851) 写 1冊 半紙 和 内容：文政11年より嘉永4年迄(1828～51) 文化7年 寺社方拔書	安倍常陸田方揉合一件 慶応3年 寺社方 TK175-47 慶応3(1867) 写 1冊 半紙 和 註：岩木山へ奉納米について
社寺隠居跡職後住願留 社寺方(記録署) 明治2～4(1869～71) 写 2冊 半紙 和 内容：明治2年1月～同4年9月 明治4年9月～11月	TK160-27	年中行事 嘉永5年 寺社方 嘉永5(1852) 写 1冊 半紙 和	有馬伊予有馬出雲霞所揉合一件 慶応元年 TK175-46 寺社方 慶応元(1865) 写 1冊 半紙 和
諸堂社遷宮武諸渡御定帳 文政2年 文政2(1819) 写 1冊 半紙倍 和	TK160-31	T K 1 7 0 神道	〔伊勢大神宮御供米寄附奉納状写〕 TK175-78 正徳3(1713) 写 1通
諸願諸伺留帳(諸願留) 寺社方(社寺方) 安政7～明治4(1860～71) 写 18冊 半紙 和 内容：安政7年 万延2年正月～6月 文久元年7月～12月 同2年正月～閏8月 同2年閏8月～12月 同3年正月～6月 同3年7月～12月 同4年正月～7月 元治元年7月～12月 慶応元年 同2年 同3年 明治元年 同2年 同3年正月～6月 同3年6月～12月 同4年正月～6月 同4年7月～9月	TK160-23	社人山伏名改之儀覚 写 4通	伊勢両宮争論御下知状写 寛文11年 TK175-1 写 1冊 半紙 和
〔寺領社領御黒印頂戴不仕寺社詮義覚〕 小倉藤左衛門 写 1通	TK160-32	〔山辺丹後神祇道御用に付出府一件〕 TK170-1 文化8年 〔文化8〕(1811) 写 1冊 半紙 和	岩木山神社へ御奉納物品調 明治18年 TK175-53 イ 長利仲聴 明治18(1885) 写 1冊 半紙 和
杉檜雑木伐取願留 寺社方(社寺方) 明治2,3(1869,70) 写 2冊 半紙 和	TK160-28	T K I 7 5 神社	岩木山神社へ御奉納物品調帳 明治18年 TK175-53 長利仲聴 明治18(1885) 写 1冊 半紙 和 註：古来より藩主よりの奉納品調 百沢寺へ寄進のもの同寺廃寺により岩木山神社へ寄附したものを含む
惣寺社建立所並自分修膳所共仕分被仰方書上帳 文化9年	TK160-22	青女子村社司小野并讃岐館山兵部持宮揉合一件 安政3年 寺社方 TK175-44 安政3(1856) 写 1冊 半紙 和	岩木山神社境之図 TK175-73 写 1枚 33×44 註：高岡御宮之図とあるが誤り
		青森地福院田川東庫社地揉合之一件留 TK175-43 天保14年 天保14(1843) 写 1冊 半紙 和	
		青森毘沙門堂司修験同所社家共もめ合一件に付旧記穿鑿之表并不審之ケ条覚書 TK175-39	

岩木山総構之図 明治11(1878)写1枚 32×48	TK175-72	宝暦9(1759)写1冊 半紙 和	宝暦9(1759)写1冊 半紙 和
御開役申出書付式通写・寺社奉行・最勝院両神主より申出書付三通写 天明8年 写1冊 半・紙 利	TK175-36	黒石神社書上帳〔宝暦9年〕 〔宝暦9〕(1759)写1冊 半紙 和	TK175-31 神社書上覚 宝暦9年 葉王院 宝暦9(1759)写1冊 半紙 和
御国神明宮絵図 写1冊 84×42	TK175-75	甲州御岳山社頭并末社修覆勸化社役人下着取扱御用留 天保5年 寺社方 天保5(1834)写1冊 半紙 和	TK175-42 神社書上覚帳 宝暦9年 吉田表江相知候分 小野若狭 長利薩摩 宝暦9(1759)写1冊 半紙 和
〔尾崎坊津軽師職仕事〕 写1通 註：熊野本宮尾崎坊の霞所の事	TK175-69	甲州御岳山社役人口上書 天保5年 天保5(1834)写1通 註：社頭修覆につき勸進の件	TK175-71 神社書上覚帳 不相知分 小野若狭 長利薩摩 〔宝暦9〕(1759)写1冊 半紙 和
覚 侍従様ヨリ葉王院御宮江御寄附品書 文政13年 文政13(1830)写1束 内容：書状1 覚1	TK175-41	御先代様ヨリ猿賀山深妙堂へ御寄附品調帳 明治7年 猿賀村神宮寺 明治7(1874)写1冊 半紙 和	TK175-51 神社書上惣調之覚〔宝暦9年〕 〔宝暦9〕(1759)写1冊 半紙 和
御屋敷鎮守白狐之稲荷縁起 元禄17(1704)写1通	TK175-70	猿賀社人一巻 明和2年,同3年 天明8(1788)写1冊 半紙 和 註：神主之義揉合の一件	TK175-35 神社書上帳 宝暦9年 別当附 宝暦9(1759)写1冊 半紙 和
事祈請熊野山代参願書之事 元和10年 津軽信枚 写1遠	TK175-68	三新田神社江御寄附品目録 明治28年 〔津軽家〕御家扶 明治28(1895)写1冊 半紙 和 註：木造村三新田神社へ寄附品目録と村長の拝領証	TK175-55 神社書上帳 宝暦9年 吉田表へ相知候分 斎藤長門 〔宝暦9〕(1759)写1冊 半紙 和
来ル十八日高岡江御寄附状御神領目録被献候取扱調帳 文政8年 工藤伝兵衛 土門八郎 文政8(1825)写1冊 半紙 和	TK175-58	招魂社修繕費用積并掃除常用高取調書 宇庭光海 明治7(1874)写1冊 半紙 和	TK175-52 神社書上帳 宝暦9年 吉田表江不相知分 斎藤長門 〔宝暦9〕(1759)写1冊 半紙 和
熊野三山大権現願書之事 元利8年 津軽信枚 写1通	TK175-67	神社 宝暦9年 斎藤長門 宝暦9(1759)写1冊 半紙 和	TK175-16 神社書上帳 宝暦9年 吉田表江不相知分 大行院 宝暦9(1759)写1冊 半紙 和
黒石神社書上帳 吉田表江相知候分	TK175-30	神社書上一巻 宝暦9年 松田兼次郎 成田喜八郎	TK175-5 神社書上帳 宝暦9年 吉田表江不相知分

小野若狭 長利薩摩 宝曆9 (1759) 写 1冊 半紙 和		慶応4 (1868) 写 1冊 半紙 和		高岡御神領帳 写 1冊 半紙 和	TK175-62
神社書上帳 此度書上除候分 小野若狭 長利薩摩 〔宝曆9〕(1759) 写 1冊 半紙 和	TK175-13	高岡江御寄附壯御神領目録破獄候ニ付取扱調帳 天保11年 北京惣蔵 中田會左衛門 天保11 (1840) 写 1冊 半紙 和	TK175-60	高岡御神領并御寄進高田畑帳 寛政6年 寛政6 (1794) 写 1冊 半紙 和	TK175-56
神社書上之覚 宝曆9年 最勝院 宝曆9 (1759) 写 1冊 半紙 和	TK175-18	高岡江御寄附狀御神領目録被献候付取扱調帳 安政6年 小山内官蔵 奈良祐右衛門 安政6 (1859) 写 1冊 半紙 和	TK175-61	高岡御神領并御寄進高田畑帳 文政8 (1825) 写 1冊 半紙 和	TK175-57
神社書上之覚 宝曆9年 袋宮寺 宝曆9 (1759) 写 1冊 半紙 和	TK175-23	高岡御宮境之図 写 1舗 81×39	TK175-74	高岡御神領目録写 写 3通 内容:享保15年(1730)元文元年(1736)安政6年(1859)	TK175-80
神社書付 天明8年 写 1冊 半紙 和	TK175-37	高岡御宮并御番所廻御神馬共諸品詞帳 葛西富弥 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和 内容:高岡御宮諸御番所并御役席年中御定渡書上帳 高岡御宮并諸御番所御厩共年中御定渡書上帳 高岡御宮并御番所廻り御貸物諸品諸道具調帳 高岡御宮御備御道具調帳 高岡御宮年中御定諸品渡調帳 御馬具根帳 御前通御馬具御国表江御下シ分	TK175-63	高岡両林願伺御献備届出扣 明治7年~同44年 明治14~44 (1881~1911) 写 2冊 半紙 和	TK175-65
神社書 宝曆9年 斎藤長門 宝曆9 (1759) 写 1冊 半紙 和	TK175-15	〔高岡御神田并御神領田畑之儀ニ付願書〕 御家令宛 斎藤富太郎 写 (明治4頃) 1冊 半紙 和	TK175-77	高照神社御修繕調 明治16年 高杉要太郎 明治16 (1883) 写 1冊 半紙 和	TK175-64
神社帳 宝曆9年 斎藤長門 宝曆9 (1759) 写 1冊 半紙 和	TK175-17	〔高岡神領寄附状写〕 写 6通 内容:享保15年(1730)(2通)元文元年(1736)宝曆6年(1756)寛政6年(1794)安政6年(1859)	TK175-79	津輕出羽守領分神社書付 宝曆10年 杉山小藤太 小山内三太夫 宝曆10 (1760) 写 1冊 半紙 和 内題:津輕出羽守領分より陸奥国津輕郡神社書上之覚	TK175-34
神明宮御吉之図 写 1舗 337×135	M1	高岡御神領田畑帳 天保10年 天保10 (1839) 写 1冊 半紙 和	TK175-59	堂社員数之覚 貞昌寺 宝曆9 (1759) 写 1冊 半紙 和	TK175-25
神明宮之覚 写 1冊 12×34 註:勢州神明宮造と御当地神明宮建様承合之覚	TK175-76			堂社員数之覚 宝曆9年 本行寺 宝曆9 (1759) 写 1冊 半紙 和	TK175-27
諏訪ノ沢・小柳村揉合一件 蓮珠院 (原別) 写 1冊 半紙 和 註:諏訪野沢諏訪宮と小柳村稻荷宮の揉合一件	TK175-45			堂社覚 宝曆9年 神宮寺 宝曆9 (1759) 写 1冊 半紙 和	TK175-19
清野備前山屋遠江霞所揉合一件 慶応4年 寺社方	TK175-48			堂社書上覚 宝曆9年 長勝寺	TK175-24

宝曆9(1759)写 1冊 半紙 和		報恩寺境内堂社覚 宝曆9年 報恩寺 宝曆9(1759)写 1冊 半紙 和	TK175-26	御附紙共 8月4日 津軽越中守(順承) 安政5(1858)写(原本)1通
堂社書上帳 宝曆9年 大行院 宝曆9(1759)写 1冊 半紙 和	TK175-22	妙見堂御寄附諸器物并御家中在町奉納調 書上帳 文化9年 阿保兵部 文化9(1812)写 1冊 半紙 和	TK175-40	〔公方様御不例ニ付御祈禱執行仕度伺書〕 TK176-12 御附紙共 8月4日 津軽土佐守(承昭) 宝曆5(1858)写(原本)1通
堂社書上帳 宝曆9年 大行院 宝曆9(1759)写 1冊 半紙 和	TK175-21	山辺稲尾江御寄附品并寄進品譲渡帳 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK175-49	御大祭之節於高岡御用留書并落合大右衛門覚書 元文5年 落合大右衛門 TK176-3 元文5(1740)写 1冊 半紙 和(御日記方の蔵印)
堂社書上帳 宝曆9年 薬王院 宝曆9(1759)写 1冊 半紙 和	TK175-29	山村伊勢一卷 宝曆5年 最勝院 宝曆5(1755)写 1冊 半紙 和	TK175-3	御用留書(元文5年7月21日高岡御大祭に付) 笠原武左衛門 TK176-1 元文5(1740)写 1冊 半紙(御日記方の蔵印あり)
堂社帳但最勝院支配〔延宝8年〕 成田七郎右衛門 岡文左衛門 〔延宝8〕(1680)写 1冊 美濃 和	TK175-2	山村伊勢壺巻 宝曆9年 写 1冊 半紙 和 註：楮町稲荷宮社司山村伊勢最勝院支配両神主取扱一件	TK175-4	参詣之次第 北川族(正喜) 文政7(1824)写 1還 TK176-5
日光一件 写 1括(7冊 1帖 1舗 3枚) 内容：御手扣(実教院江到着 折本)写 日光山絵図面 (一枚もの)写 日光御宮并御霊屋之図(一枚もの2枚) 写 日光御山惣絵図(量物)刊 日光表承合并見聞(美濃半 和)写 日光山内承合見聞覚(美濃半 和)写 宇都宮より日光海道迄今市より船生通太田原迄道筋(美濃半 和)写 日光御参詣御手扣(美濃半 和)写 宇 都宮より日光迄今市より船生通太田原まで御道中記(美濃半横 和)写 日光山御参詣御行列帳(美濃横 安永 5(1776))写 日光山御参詣御行列帳(半紙 寛政8 (1796)写)	TK175-66	山村伊勢一卷御用留帳 宝曆10年 寺社方 宝曆10(1760)写 1冊 半紙 和	TK175-32	招魂祭御用留 明治3年 藩庁 明治3(1870)写 1冊 半紙 和 TK176-8
八幡宮御神器仕分け帳 文化5年 附御祭礼 器御封印品書上(弘化2年) 文化5(1808)写 1冊 美濃 和	TK175-38	山村伊勢同和泉岩淵五郎右衛門問尋言 宝曆10年 寺社方 宝曆10(1760)写 1冊 半紙 和	TK175-33	住吉大神宮年中行事式 山村伊勢守 宝曆7(1757)写 1冊 半紙 和 TK176-2
百沢御宮廻之図 写 1舗 108.7×58.2	TK175-54	TK176 祭祀 〔公方様御不例御祈禱執行仕度儀御伺書〕 御附紙共 7月18日 津軽越中守(順承) 嘉永6(1853)写(原本)1通	TK176-7	高岡御祭事御祝詞之御下書 津軽承昭 明治3(1870)写 2通 TK176-13
		〔公方様御不例ニ付御祈禱執行仕度伺書〕 御附紙共 7月18日 津軽武之助(承祐) 嘉永6(1853)写(原本)1通	TK176-10	高岡御祭礼御用留 明治3年 御家扶 明治3(1870)写 1冊 半紙 和 合綴：御匝忌祭御用留(明治4年) TK176-9
		〔公方様御不例ニ付御祈禱執行仕度伺書〕	TK176-11	高岡奉獻御額認方図式入 寛政2(1790)写 1袋(6冊) TK176-4
				別段御祈禱毎月三ヶ日修行方御神事式(高岡於御宮)

齋藤八郎左衛門 写 1冊 半紙	TK176-6	口上覚 享保9年 本末揉合之義ニ付留書 〔享保9〕(1724) 写 1冊 半紙 和	TK185-3	報恩寺 革秀寺	
TK185 寺院 僧職		古懸不動尊御出汗御用留 天保5年～慶応 4年 寺社方 天保5～慶応4(1834～68) 写 1冊 半紙 和	TK185-9	三御寺願伺願控 御一家出張所 明治14～大正4(1881～1915) 写 2冊 半紙 和 内容：明治14年～同33年 明治33年～大正4年	TK185-26
青森正覚寺一件御用留 安政5年 寺社方 安政5(1858) 写 1冊 半紙 和 註：正覚寺後住に関する一件御用留 この件につき文久 元年の仰付の記事も合綴されている	TK185-13	御仮殿御引移ニ付諸伺御用留 明治2年 社寺方 明治2(1869) 写 1冊 半紙 和 註：薬王院仮殿報恩寺へ引移りについての御用留	TK185-18	慈雲院什物改之簿 万延2年 万延2(1861) 写 1冊 半紙横 和	TK185-15
上野御六方様御位牌所御装束所本坊向御普請御入用并出金 御勘定仕上帳 天保4年 天保4(1833) 写 1冊 半紙倍 和	TK185-32	御寄附品書上帳 最勝院 写 1冊 半紙 和 註：最勝院支配真言五山(最勝院・百沢寺・国上寺・橋 雲寺・久渡寺)への古来よりの藩主などよりの寄附書上	TK185-21	十三町願竜寺一件 文化14年 寺社方 文化14(1817) 写 1冊 半紙 和	TK185-7
梅田村教門寺親子不和ニ付右取扱一件 享和3年 寺社奉行 享和3(1803) 写 1冊 半紙 和	TK185-6	国上寺什物帳 慶応3年 国上寺朝恵代 慶応3(1867) 写 2冊 美濃 和 註：真言宗	TK185-16	什物帳 明治4年 久渡寺専海 明治4(1871) 写 1冊 美濃 和 註：真言宗	TK185-20
覚 〔寛政6〕(1794) 写 1冊 横長 和 註：寺院知行高書出の覚	TK185-5	御用所より御渡之薬王院御宮近火之節御立退御定書御行列 帳 寺社方 嘉永6(1853) 写 1冊 半紙 和 合綴：両御寺并革秀寺貞昌寺隣松寺本行寺近火之節御影 并御位牌等御立退手順御尋被仰付右答申書留帳(嘉永6 年)文久2年,明治3年の追記がある	TK185-14	什物帳 上 慶応4年 報恩寺 慶応4(1868) 写 1冊 半紙倍 註：天台宗	TK185-17
覚 写 1冊 半紙 和 註：西津軽郡十三村(現在北津軽郡市浦村大字十三) 願竜寺一件	TK185-24	〔最勝院知行不足分に付詮儀〕 写 1冊 横長 和	TK185-22	正覚院寺禄上納之義願 橋雲寺 〔明治5〕(1872) 写 4通	TK185-34
紀州高野山南院使僧下着留 寺社方 天保15(1844) 写 1冊 半紙 和 註：紀州高野山南院よりの書翰と弘前寺社方返書を書留 めたもの	TK185-11	三御寺営繕積書 明治14年～同40年 御一家会算方 明治11～40(1881～1907) 写 1冊 半紙 和 註：御一家は旧津軽藩主津軽家のこと 三御寺 長勝寺	TK185-25	正覚寺川越茂助一件 天保9年 寺社方 天保9(1838) 写 1冊 半紙 和 註：青森正覚寺田方立増米のことにて揉合の一件	TK185-10
記録之写 白狐寺 安政6(1859) 写 1冊 半紙 和	TK185-2			寺領御目録并人別書之儀覚 最勝院 写 2通	TK185-33
				神宮寺什物帳 上 明治2年 神宮寺秀円代 明治2(1869) 写 1冊 美濃 和 註：天台宗	TK185-19
				長勝寺境内地割仮帳 明治3年	TK185-31

明治3 (1870) 写 1冊 横長 和				写 (原本) 1通 註：松平伊豆守信綱 阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋より
長勝寺・耕春院惣構之図 貞享4 (1687) 写 2冊 91×91・49×132	TK185-29	九字護身法前行作法・護身法・兵法九字之事・兵法十字大事 文政13 (1830) 写 1通	TK186-2	
貞昌寺知行所田方高反別帳 藤代村丑太郎 嘉永4 (1851) 写 1冊 半紙 和	TK185-12	護身法 天保7 (1836) 写 1通	TK186-3	〔きりしたん宗門御制禁御奉書并条々〕 TK190-4 7月23日 津軽土佐守 (信義) 宛 〔寛永16〕 (1639) 写 (原本) 2通 註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
堂塔員数覚 大円寺 1冊 半紙 和	TK185-23	御霊殿取扱帳 安政6年 安政6 (1859) 写 1冊 半紙 和	TK186-5	〔きりしたん宗門入念可相改之儀御奉書〕 TK190-5 正月27日 津軽土佐守 (信義) 宛 写 (原本) 1通 註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
百沢寺掟 寛永6年 津軽信牧 寛永6 (1629) 写 1通	TK185-27	常憲院様江御献上之御石灯籠御銘文書付并立所絵図外 宝永6 (1709) 写 18通 註：常憲院は徳川綱吉	TK186-6	〔きりしたん宗門之儀領内詮儀宗旨之者無之承届之儀御奉書〕 8月8日 津軽土佐守 (信義) 宛 TK190-7 写 (原本) 1通 註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
〔百沢寺〕御願意趣 寛永6年 津軽信牧 寛永6 (1629) 写 1通	TK185-28	不動中尊御長之書付 写 1冊 半紙 和	TK186-1	〔きりしたん宗門之者有之訴人出候儀に付御奉書〕 11月24日 津軽土佐守 (信義) 宛 TK190-8 写 (原本) 1通 註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋より
白狐寺記録 白狐寺 正徳3 (1713) 写 1冊 半紙 和	TK185-1	文昭院様御仏前江御献上御石灯籠御銘文図 正徳2年 正徳2 (1712) 写 1冊 82×65 註：文昭院は徳川家宣	TK186-7	〔きりしたん宗門之者有之由訴人申出詮儀方之儀御奉書〕 2月晦日 津軽土佐守 (信義) 宛 TK190-10 写 (原本) 1通 註：阿部対馬守重次 松平伊豆守信綱より
深浦庄巖寺一件之留 対馬武左衛門 秋元金九郎 天明4,5 (1784,85) 写 1冊 (合本) 半紙 和 合綴：貞昌寺末寺取扱之留 (秋元金九郎 対馬彦左衛門) 註：対馬武左衛門 秋元金九郎は寺社奉行 対馬彦左衛門は天明4年9月11日より寺社奉行	TK185-4	兵法九字大事・十字大事 天保11 (1840) 写 2通	TK186-4	
報恩寺之図 写 1冊 56×39	TK185-30	TK188 各宗派		
両御寺江御寄附米高帳 文政13年 文政13 (1830) 写 1冊 半紙 和 註：報恩寺と長勝寺への寄附	TK185-8	浄土宗諸法度御条目写 元和元年 寺社方 天明5 (1785) 写 1冊 半紙 和	TK188-1	〔きりしたん宗門之者捕候に付御奉書〕 TK190-1 12月5日 津軽土佐守 (信義) 宛 写 (原本) 1通
		TK190 キリスト教		
		〔きりしたん運四郎死罪の儀御奉書〕 正月27日 津軽土佐守 (信義) 宛	TK190-6	

TK186 仏会

註：阿部豊後守忠秋 酒井讃岐守忠勝 土井大炊頭利勝より

〔島原天草一揆之儀に付御奉書〕 12月3日 TK190-2

津軽土佐守（信義）宛

〔寛永14〕（1637）写（原本）1通

註：堀田加賀守正盛 阿部豊後守忠秋 酒井讃岐守忠勝 土井大炊頭利勝より

〔津軽きりしたんの者共死罪之儀御奉書〕 TK190-3

8月8日 津軽土佐守（信義）宛

写（原本）1通

註：阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱 酒井讃岐守忠勝 土井大炊頭利勝より

〔南蛮伴天連いるまん等白状之趣に就き御奉書〕

9月11日 津軽土佐守（信義）宛 TK190-9

写（原本）1通

註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋より

森元功白状・伴天連市左衛門白状 TK190-11

11月24日 2月晦日

写（原本）2通

TK 200 歴史

TK 203 辞書 書目 年表 絵図

御奉書御目録

TK203-2

宝永7（1710）写 1冊 美濃 和

註：寛永9年（1632）頃より宝永7年（1710）まで

御奉書目録（御奉書扣）

TK203-3

寛永9年之頃より万延元年迄

元禄12～文久元（1690～1861）写 20冊 美濃 和
内容：寛永9年之頃より元禄10年迄（1632～97）元禄12年～宝永7年（1699～1710）（5冊）寛政7～9年（1795～97）寛政9,10年（1797,98）寛政10,11年（1798,99）文化2～4年（1805～07）文化4,5年（1807,08）文政元～5年（1818～22），文化8年，文政2,8年，天保3,5～8年（1811,19,25,32,34～37）天保10～13年（1839～42）天保13～15年（1842～44）天保15年～弘化3年（1844～46）弘化3年～嘉永3年（1846～50）嘉永3～7年（1850～54）嘉永4,5年（1851,52）嘉永6年～万延元年（1853～60）

年代記 御日記方

TK203-1

写 3冊 半紙倍 和



弘前古御絵図

M2

写 1舗 177×130

註：弘前御城絵図

弘前御城之図

M3

写 1舗 134×167

註：1分1間

御本城之図

TK203-4

写 1舗 180×126

御本丸御絵図

M4

寛文13（1673）写 1舗 205×148

註：本丸および御馬出の図 4分1間

御本丸御絵図 4分1間

M5

寛文13（1673）写 1舗 210×250

分間御城之図

L1

延宝2（1674）写 1舗 356×272

註：2分1間の弘前城図

御本丸二三四之御郭御絵図

M6

延宝4（1676）写 1舗 330×276

註：御郭内の家中屋敷割及居住者の姓名の記あり
天和2年（1682）8月6日改（吉村場左衛門）

弘前御城屋舗割図

TK203-5

写 1舗 181×124

御城郭御絵図下面

L2

写 1舗 320×172

註：貞享4年（1687）金沢勘右衛門が差上げたものか

弘前御城之図

TK203-6

写 1舗 93×107

註：堀の深・長 土居の高・長 城内諸土屋敷割記入
天和以前

御本丸二三四御郭図

M7

写 1舗 143×169

註：天和以前 1分1間

弘前御城之図

M8

写 1 舗 144×175 註：説明なし 元禄 7 年以前		享保 18 (1733) 写 1 舗 130×89 註：弘前城之図		陸奥国弘前城絵図 文政 5 (1822) 写 1 舗 97×59 註：二之丸東方並南方の板塀の場所破損に付修補仕度奉願候時の図	TK203-18
弘前御城之図 写 1 舗 274×330 註：説明なし 元禄 7 年以前	M9	陸奥国弘前城絵図 寛保 3 (1743) 写 1 舗 120×81 註：本丸西の方石垣および土居損所之個所修補願いの時の下絵図	TK203-12	陸奥国弘前城絵図 文政 13 (1830) 写 1 舗 135×103 註：損所並堀口 (土に分) 押水害の修補願いの際	M13
分間御城図下画 写 1 舗 340×233 註：元禄 7 年以前 弘前城図	M10	陸奥国弘前城絵図 寛保 3 (1743) 写 1 舗 130×85 註：本丸西の方石垣および土居損所之個所修補願いの時の図	TK203-13	陸奥国弘前城絵図 嘉永 3 (1850) 写 1 舗 120×94 註：嘉永 3 年二ノ丸坤の矢倉台石垣並に矢倉修復に付幕府に願出た時の下絵図	TK203-19
弘前御城之図 写 1 舗 158×120 註：元禄 7 年以前	M 11	陸奥国弘前城絵図 延享 4 (1747) 写 1 舗 131×89 註：本丸西側石垣修補いの時の図	TK203-14	陸奥国弘前城絵図 嘉永 4 (1851) 写 1 舗 93×81 註：嘉永 4 年土居損所修補願いの弘前城絵図	TK203-20
弘前御城之図 写 1 舗 94×108 註：堀の深さ長さ土居の高さ長さ記入 元禄 7 年以前	TK203-7	陸奥国弘前城絵図 天明元 (1781) 写 1 舗 127×89 註：本丸西方池端土留修補願いの時の図の控	TK203-15	弘前御城之図 下画 写 1 舗 205×136	M14
弘前本城之図 写 3 舗 (1) 37×50 (2) 36×48 (3) 37×51 註：(1) は元禄 7 年 (1694) 本丸南西角石垣および本丸東方石垣築残の分普請願の際	TK203-8	陸奥国弘前城地絵図 天明元 (1781) 写 1 舗 33×91 註：弘前城西之方池端通損所之図と覚書 (損所の補修願)	TK203-16	西之御郭馬場堂形御用之差図 写 1 舗 120×29	TK203-21
弘前城之図 宝永 3 (1706) 写 1 舗 80×115 註：宝永 3 年 1 月 16 日之朝秋元但馬守殿江持参之控土居修復願い	TK203-9	陸奥国弘前城絵図 享和 2 (1802) 写 1 舗 140×96 註：北三之郭外堀および北四之郭外堀の浚渫願いの時の図 附：伺書付 3 通	TK203-17	三之御丸御馬場惣構之図 写 1 舗 63×116	TK203-22
陸奥国津軽郡弘前城之図 享保 3 (1718) 写 1 舗・書付 1 通 83×124 註：西の方外曲輪土居小口土留の板破損のため石の土留に願の際	TK203-10	陸奥国弘前城絵図 享和 4 (1804) 写 1 舗 134×95 註：御城堀埋所々の堀浚の願いの時	M12	二之御丸之図 写 1 舗 57×31 註：1 分半 1 間弘前城二之丸之図	TK203-23
御城図	TK203-11			西之御郭北ノ方御堀之図 (西之御郭御堀大石図) 竹中安左衛門 写 1 舗 42×58	TK203-24

北之御郭古之御門之図（北之御郭東之御門写） 写 2枚 29×42・30×43	TK203-25	〔延宝5〕（1677）写 1 舗 47×119 註：延宝5年（1677）親方町（現在元大工町）から出 火し焼失した屋敷図		元禄11（1698）写 1 舗 58×90 元禄12（1699）写 1 舗 55×104 宝永6（1709）写 1 枚 30×42 註：附 覚書1枚 蔵印：弘前日記方
◇				
亀ヶ岡御屋舗構四分間之図 写 1 舗 115×144	TK203-26	石渡御米蔵指図 写 1 枚 43×40 註：延宝6年（1678）頃	TK203-33	浜御屋敷絵図書付（本所御奉行江御上ヶ被成候） 元禄9（1696）写 3 舗 31×44・31×54・31×63 蔵印：弘前日記方
亀ヶ岡古館御図 天和3（1683）写 1 舗 366×300	M15	西大工町御米蔵指図 写 1 舗 41×53 註：延宝頃	TK203-34	TK203-47
青森御仮屋御境内並御建坪之図（青森・三厩・鱒ヶ沢御仮 屋之図の内） 写 1 舗 79×79	TK203-27	五器仕町御米蔵指図 写 1 舗 55×55 註：ごきし町は和徳・横町間の新道 現在東長町につ づく和徳町 延宝7年（1679）頃	TK203-35	TK203-48
三厩御仮屋御境内並御建坪之図（青森・三厩・鱒ヶ沢御仮 屋之図の内） 写 1 舗 130×113	TK203-28	献上之蔵取候場所絵図 延宝4（1676）写 1 舗 119×61	TK203-36	TK203-49
鱒ヶ沢御仮屋御境内之図（青森・三厩・鱒ヶ沢御仮屋之図 の内） 写 1 舗 49×54	TK203-29	（津輕領竜浜崎ヨリ須郷崎マデ）海岸出崎狼煙場図 文化5（1808）写 1 舗 55×153	TK203-37	TK203-50
礎ヶ関村御仮屋構ノ境内略図 写 1 舗 60×79	TK203-74	〔蝦夷地御固持場之図〕 写 1 枚 28×41	TK203-73	TK203-51
◇		◇		
親方町火事場絵図 写 1 枚 31×44 註：延宝5（1677）親方町（現在元大工町）から出火 し焼失した区域図	TK203-30	本所御屋敷之図 元禄6（1693）写 1 枚 44×32 註：本所奉行多賀又四郎殿江渡した屋敷之図扣 蔵印：弘前日記方	TK203-45	TK203-52
焼屋敷之絵図 写 1 舗 30×83 註：延宝5年（1677）親方町（現在元大工町）から出 火し焼失した屋敷	TK203-31	本所横綱浜手御屋敷覚帳絵図 写 6 枚 内容：元禄9（1696）写 1 枚 28×41 元禄11（1698）写 1 舗 29×82	TK203-46	M16
〔弘前親方町焼失屋敷図〕	TK203-32			TK203-53
				柳島御座敷惣御差図 写 1 舗 180×213 蔵印：弘前日記方
				柳島御屋舗御差図 写 2 枚 28×43

註：表御門・裏御門之図各1枚づつ 蔵印：弘前日記方			
御上屋舗四方屋舗割図 附御上屋敷表御門 御絵図（明和7年御類焼前之図） 写 2 舗 48×65・43×112 蔵印：弘前日記方	TK203-54	四ツ目御下屋敷図（渡辺図書様衆江遣候図之扣） 附下書1枚共 宝曆5（1708）写 2枚 30×42 蔵印：弘前日記方	TK203-62
御上屋舗惣絵図 明和8（1771）写 1 舗 100×207	TK203-55	大川端新御屋舗・両国矢ノ倉御屋舗御絵図 〔天保2,3〕（1831,32）写 3枚 32.5×45.5・28×40 蔵印：弘前日記方	TK203-63
御上屋舗惣御絵図面 写 1 舗 136×255 註：文政9年（1826）前の図面	M17	大川端御屋敷 写 1 舗 75×131	TK203-75
御上屋敷 写 1 舗 59×121	TK203-56	矢之倉御屋敷御地面図 天保6（1835）写 2 舗 123×93・157×176	TK203-64
御有形御上屋舗北通御長屋絵図面 附北御長屋御有形御建直之積書 天保4（1833）写 3校・1冊 蔵印：弘前日記方	TK203-57	若殿様御部屋御住居替図 附御用答 文化9（1812）写 1 舗・1冊 69×67・半紙 註：小野所吉より差上候御先代様御部屋御住居図式 蔵印：弘前日記方	TK203-65
柳原御屋舗添御預り地之儀ニ付絵図 附書付（下谷御屋敷奉行衆へ木村五郎兵衛門致持参候扣） 元禄5（1692）写 1 舗・3通 36×50 蔵印：弘前日記方	TK203-58	越前敦賀御屋敷絵図之写 天明元（1781）写 1 舗 24×120 蔵印：弘前日記方	TK203-66
柳原御屋敷御絵図 享保13（1728）写 1 舗 76×152 蔵印：弘前日記方	TK203-59	大阪御屋敷御土蔵御取建絵図 文政2（1819）写 1 舗 55×61 註：附 覚書1冊 蔵印：弘前日記方	TK203-67
下谷御屋敷替之図 正徳元（1711）写 1 舗 33×79 蔵印：弘前日記方	TK203-60	戸越御屋舗絵図面 〔文政11〕（1828）写 1枚 28×40 蔵印：弘前日記方	TK203-68
江戸御中屋舗之図 附御中屋舗表御門御絵図面 （明和9年御類焼前之図） 享保13（1728）写 2 舗 86×165・43×111 蔵印：弘前日記方	TK203-61	近衛様御殿之図写 写 1枚 註：絵図継ぎ目を引合せても不足で不完全であるので大きき不明 蔵印：弘前日記方	TK203-69
		浅草目付之図 写 1 舗 110×69	M62
		御図 写 2 舗（1）28×60（2）28×41 註：（1）は寛政9年（1797）江戸津梁院で施餓鬼執行御門主様が御成りになった際の諸役詰所の図 ②は江戸城郭内の一部	TK203-70
		井上河内守様御蔵屋敷図 写 1 舗 41×78	TK203-71
		屋形様御発駕後右御跡江欽姫様御引移ニ付御渡御絵図面 〔文政12〕（1829）写 1 舗 60×80 蔵印：弘前日記方	TK203-72
		新屋縫殿丞屋敷図 写 1枚 32×41	TK203-43
		北村源八屋敷地形之図 写 1 舗 63×53	TK203-38
		棟方重左衛門本屋敷図 写 1枚 40×31	TK203-40
		棟方十左衛門屋敷 写 1枚 31×38	TK203-41
		村山七左衛門屋敷図 写 1枚 40×28	TK203-44
		盛岡主膳屋敷之図 写 2 舗 78×64・84×66	TK203-39

山中六左衛門屋敷図

TK203-42

写 1枚 31×31

TK209 有職故実 儀式典例 行幸啓 御成

御用格 (寛政本) 御日記方

TK209-1

寛政写 24冊 半紙倍 和

内容：

第1 公義 (御献上之部 不時御献上之部 御朱印之部 供奉之部 日之丸御船之部 御書付之部 御届之部 御願之部 鳴物停止御定 諸事之部 近衛様・醍醐様)

第2 御家 (御誕生之部 御目見之部 御月並之部 御縁組之部 御家督之部 御隠居之部 不時御登城之部 御官位・御官名之部 御承祖之部 御養子之部 御上下諸事 高覧之部 御出之部 御名代御使者之部 他領より使者 御機嫌窺 御逢之部)

第3 御規式 (御能・御囃子之部 御規式之部 御祝儀事之部 御料理事之部 御礼廻御用捨之部) 御用所之部 (御家老・御用人 諸事見分 対客之部 着服之部 頂戴物之部 御城代 大目付・御目付 日記方・書物方・表右筆)

第4 諸派 (三組頭之部 諸者頭 御中小性頭・御徒頭 御手弓頭・御手筒頭・御手道具頭) 組引渡之部

第5 御家中 (被仰出之部 御城廻被仰出 御目見之部 月並之部 御奉公見習同御免并引取之部 御紋形之部 衣類之部 名改之部 苗字改之部 組替之部 次第之部 御印被下置候部)

第6 御家中 (養子 縁組 年若ニ付里方江引取之部 袖留之部 前髪執之部 惣髪剃髪之部 摘髪之部 諸御礼之部 杖御免之部 足袋之部 御役御免之部 隠居之部 末期之部 忌中忌明之部 家督之部 申立之部 御飛脚之部 登下之部 御切手紙)

第7 御家中 (湯治之部 在御暇之部 駕籠之部 雪船之部 幕之部 月代執之部 産穢之部 附添之部 師

役之部 誓詞之部 御薬御医者之部 供廻往来之部 一統御触之部)

第8 高岡 (被仰出 御神事之部 御寄附并被献物之部 御修復之部 祭司役 諸番人之部 御家中より献上物之部 申立) 寺社 (被仰出之部 御目見并登城之部 御出汗之部 堂社鳴動之部 御神事之部 御祈禱之部)

第9 寺社 (上々様御祈禱之部 御代参之部 開帳之部 遷宮之部 御祭礼之部 太々神楽之部 御寄附之部 御建立之部 御修復之部 御法事拜礼大赦之部 後住移転之部 跡職之部 御暇之部 隠居之部 継目登官職登之部)

第10 寺社 (什物改之部 御薬願之部 御医者願之部 湯治之部 御幕拜借之部 勸化之部 杉伐取之部 差上物之部 被下物之部 寺社奉行 他領寺社 三日市羽黒山 尾崎 座当)

第11 寺社 (禁足之部 凶之部 出火之部 変事 申立之部)

第12 郡 (被仰出之部 郡奉行之部 代言申立申渡之部 御目見御賞帯刀御免之部 御紋形之部 衣類之部 被下物之部 植付物)

第13 町 (被仰出之部 町奉行之部 御目見之部 御紋形之部 衣類之部 町年寄之部 町医之部 申立之部 牢屋)

第14 勘定所 (被仰出之部 勘定奉行 御米方 御用達御登せ物御下物 押もの拾物 御払物 御荷物之部 所々御蔵方 四奉行)

第15 御側廻 (御小納戸 大納戸 坊主方) 御広敷 (被仰出 御前様・御姫様 御部屋様并御女中 申立之部) 御台所 (被仰出 御台所 御台所頭 吟味役請払役 御料理方 御家具方)

第16 御楽屋 (御定 御楽屋奉行 御役者) 御武具蔵 (御武具奉行 諸職人之部) 山方 (山奉行 銅山方 矢立杉 吟味役 御境伐木) 加勢増人 (加勢増人・類役加役 諸組警固並足軽相定候勤所 岩木川奉行) 黒石

第17 九浦 (被仰出之部 三御閑所之部 青森鱈ヶ沢之部 湊之部 津出駄下之部 破船之部 申立之部)

第18 作事方 (御定 作事奉行 吟味役・受払役 御郭廻 弘前廻 御制札 諸職人) 屋敷方 (被仰出之部 屋敷拝領屋敷替 屋敷差上長屋拜借 取建取毀 同居町在宅)

第19 鳥獸 (御鷹方 御馬方 熊狐) 切支丹類族 (被仰出之部 新縁 生死之部 申立之部)

第20 吉事 (御役替之部 分知之部 御褒美・被下物) 差上物 (差上物之部 差上物 御賄 他領被下物)

第21 凶之部 (逼塞 閉門 蟄居 御預 御役下 御暇追放 義絶・勘当・和談 一問所・他出差留・声高咎人御国下シ 入牢・出牢 御仕置 遠慮諸事)

第22 凶之部 (御印物・印判 御出之節間違 御家老 御用入江無礼 御献上・日之丸・御進物 諸御札・披露違・着服違 御名代・御召物 御台所廻 諸断・通用・御請 刀・鞘走・慮外 認違・遲滞・不吟味・不心附・心得違・御書物 誓詞・御飛脚・登 御蔵・御鍵・湊・順違・目論違 田方・山方・屋敷・夜廻・養子 諸渡物・押物・御用達 組支配 変・鐘・失物・咎人・盜賊・御預・遠慮・閑所・評定所 遠慮・慎・御呵)

第23 変 (被仰出 両都御屋敷御類焼并弘前火事 在浦火事 山火事 地震 洪水 大風 出奔 捨子・迷子 打捨者)

第24 変 (変死・乱心 家米変凶 雑人変事 御国者 他領ニ而変事 他領之者御国ニ而変事 申立之部)

御用格 (從寛政3年至文政7年で)

TK209-2

写 25冊 半紙 和

内容：

卷1 公義 (御献上 不時御献上 御朱印御系図 供奉 附諸御役共 日之丸御船 御書付 御届 御願 鳴物 停止御定 諸事 近衛様・醍醐様)

卷2 御家 (御誕生 御目見 御月並 御縁組 御家督 御隠居 不時御登城御外勤共 御官位御官名 御嫡子

御養子 御上下 高覧 御出 御名代御使者附他領江被遣物 他領より使者 御機嫌伺 御逢 上々様諸事 那須様一件)

卷3 御規式(御能御囃子 御祝儀事 三日月御祭事 御料理事 御礼廻り御用捨) 御用所(御家老御用人諸事見分 登下諸事 御城代 着服 頂戴物附拜見物 大目付御目付 御使番 日記方書物方表右筆)

卷4 諸頭(三組頭 諸物頭 御中小性頭 御徒頭 御手弓頭 御手筒頭 御手道具頭 組引渡 弘前別段)

卷5 御家中(被仰出 御城中被仰出 江戸表被仰出 御目見 月並 御紋形 御奉公見習并同御免引取軽キ者申立御暇召抱 衣類 名改 苗字改 組替 次第 御印)

卷6ノ1 御家中(養子 縁組 年若ニ付里元江引取・離縁 袖留 前髪執 惣髪剃髪 摘髪 諸御礼 足袋 養女呼取 御役御免 隠居 末期 忌中忌明 家督)

卷6ノ2 御家中(申立・御飛脚 稽古登見習登附添登 御家中他領御暇 在町他国出 惣而登り下り 御切手紙并御印紙)

卷7 御家中(湯治 在御暇 駕籠 雪船 幕 月代執 産穢 附添 師役 学問所 御備方 誓詞 御薬御医者附金瘡療治共 供廻り往来 一統御触)

卷8 高岡(被仰出 御神事 御告 御寄附・被献物 御修復附御建立共 祭司役 諸番人 御家中献上物附り御家中拜礼 申立) 寺社(被仰出 御目見登城 御出汗附時鐘共 堂社鳴動 御神事 御告 御祈禱・神事能)

卷9 寺社(上々様御祈禱 御代参 開帳祭礼夜宮 遷宮供養加持 御祭礼 太々神楽 御寄附御献備 御建立 御修復 御法事拜礼大赦 後住 跡職 御暇 隠居 継目登 官職登勤学登共)

卷10 寺社(什物改 御薬願 御医者願 湯治願 御幕拜借 勸化富突 杉伐取伐荒等 差上物 被下物 寺社奉行 他領寺社 三日市 羽黒山 尾崎 座当)

卷11 寺社(禁足 凶事 出火 変事 申立)

卷12 郡(被仰出 郡奉行 代官 御目見御賞帯刀御免御紋形 衣類 被下物附差上物 植付物)

卷13 町(被仰出 町奉行 御目見・帯刀御免 御紋形 衣類 町年寄 町医 申立 牢屋揚屋 差上物被下物 人別方 旅人御締向)

卷14 勘定所(被仰出 勘定奉行 御米方 御用達御登せ物 御下し物 押物拾物 御払物 御荷物 所々 御蔵附諸土場 四奉行 御渡物御扶持方)

卷15 御側廻り(御側廻り 御小納戸 奥通 大納戸 坊主方附御時計共) 御広敷(被仰出 御前様御子様御姫様 御部屋様 申立 御女中(記事なし) 御台所(被仰出 御台所頭 吟味役(記事なし) 受払役(記事なし) 御料理方 御家具方)

卷16 御楽屋(御定(記事なし) 御楽屋奉行 御役者) 御武具蔵(御武具奉行 諸職人) 山方(山奉行 矢立 杉附御役廻り共 御境伐木 銅山 吟味役) 加勢増人(加勢増人 類役入加 諸組勤所(記事なし) 岩木川奉行(記事なし) 黒石)

卷17 九浦(被仰出 三御関所 青森鯨ヶ沢 湊津出 駄下 破船 申立 御目見帯刀被下物差上物)

卷18 作事(御定 作事奉行 御城中廻り 吟味役 受払役 御郭廻三郡御屋敷御取建共 弘前廻り 御制札諸職人 在々浦々御普請) 屋敷方(被仰出 屋敷拝領 秣場拝領 屋敷替 屋敷差上長屋拝借 取建取毀 同居町在宅 申立)

卷19 鳥獸(御鷹方 御馬方 熊狐) 切支丹類族(被仰出(記事なし) 新緑(記事なし) 生死附漂流人共 申立)

卷20 吉事(御役替并被召出 分知 御賞并被下方箇条諸事 御定 差上物 御賄(記事なし) 他領被下物 同差上物)

卷21 凶事(被仰出附詮儀 閉門 逼塞(記事なし) 蟄居 御預 御目見以上・御役下 御目見以下・御役下 御目見以上御暇 御目見以下御暇 御家中御給人追放 陪臣并在町浦々之者追放 鞭刑并送返 儀絶勘当

和談一問所・他出差留・声高 咎人御国下 入牢出牢 盜賊召捕 御仕置 遠慮諸事慎ニ付申立共)

卷22上 凶事(窺遠慮)

卷22下 凶事(出座定・遠慮御定 御目見以上遠慮慎御呵 御馬役師範家遠慮慎御呵 御目見以下遠慮慎御呵 父母并二三男等之義ニ付遠慮慎御呵 絵師之類 御医者御役者諸職人遠慮慎御呵)

卷23 変(被仰出 弘前火事江戸共 在浦火事 山火事 地震 洪水 大風 出奔 捨子迷子 討捨 喧嘩 附狼籍)

御用格(從文政8年至弘化4年) TK209-3

写 20冊 半紙 和

内容:(文政8年よりと天保10年よりとに分かれ,記事のない項目もある)

卷1 公義(御献上 不時御献上 御朱印 供奉附諸御役共 御系譜 日ノ丸御船并御浦触 御書付御家御書付共 御届 御願御伺共 鳴物停止御定 諸事 近衛様・醍醐様)

卷2 御家(御誕生 御目見 御月並 御縁組 御家督 御隠居 不時御登城 御官位・御官名 御承祖 御養子 御上下 高覧 御出 御名代 御使者 他領江被進物 他領より使者 窺御機嫌 御逢 上々様諸事・那須様一件)

卷3 御規式(御能・御囃子 三ヶ月御祭事 御祝儀事 御料理事 御礼廻御用捨) 御用所(御家老 諸事見分 御用人 登下諸事 対客 着服付羽織御免 頂戴附拜見物 御廊下詰・御城代 大目付・御目付 御使番 日記方・書物方・表右筆)

卷4 諸頭(三組頭 諸物頭 御中小性頭 御手弓頭 御徒頭 御手筒頭 御手道具 組引渡 弘前別段)

卷5 御家中(被仰出 御城中被仰出附江戸被仰出 御目見 月並 御紋形 御奉公見習・同御免并引取 衣類 名改 苗字改 組替 次第 御印 諸文通)

卷6 御家中(養子 縁組 年若ニ付里方江引取附離縁

共 福留前髪 惣髪 摘髪 諸御礼 杖御免 足袋
 養女呼取 御役御免 隠居 末期 忌中忌明 家督
 申立 御飛脚 稽古登見習登附添登 御家中他国江御
 呵 在町他領出 惣而登下 御印紙并御切手紙)
 卷7 御家中(湯治 在御暇 駕籠 雪船 幕 月代執
 産穢 附添 師役附学問所 御備方 誓詞 御葉附御
 医者 供廻往来 諸御触箇条)
 卷8 高岡(被仰出 御神事 御告 御寄附被献物附拜
 礼) 寺社(被仰出 御目見・登城 御出汗附時鐘共
 堂社鳴動 御神事 御告 御祈禱)
 卷9 寺社(上々様御祈禱 御代参附御告共 開帳 遷
 宮附供養 御祭礼 太々神楽 御寄附 御献備 御建
 立 御修覆 御法事拜礼附大赦 後住 跡職 御暇附
 他領共 隠居 継目登 官職登附勤学登)
 卷10 寺社(什物改 御葉願 御医者願 湯治 御幕
 拜借 勸化 杉伐取 差上物 被下物 寺社奉行 他
 領寺社 三日市 羽黒山 尾崎 座当)
 卷11 寺社(禁足 凶事 出火 変事 申立)
 卷12 郡方(被仰出 郡奉行 代官 御目見御賞・帶
 刀御免 御紋形 衣類 被下物附差上物 植附物)
 卷13 町(被仰出 町奉行 御目見附帶刀御免 御紋
 形衣類 町年寄 町医 申立 牢屋揚屋 被下方附差
 上物 人別方)
 卷14 勘定所(被仰出 勘定奉行 御米 御用達 御
 登せ物被下物 押物拾物 御払物 御荷物 所々御蔵
 附諸土場 四奉行 諸渡物并御扶持方)
 卷15 御側廻(御側役 御小納戸 奥通 大納戸 坊
 主方附御時計共) 御広敷(被仰出 御前様・御子様并
 御姫様 御部屋・御女中 申立) 御台所(被仰出
 御台所頭 吟味役・受払役 御料理方 御家具方)
 卷16 御楽屋(御定 御楽屋奉行 御役者) 御武具蔵(被
 仰出 御武具奉行 諸職人) 山方(山奉行 銅山
 矢立杉附御境廻共 吟味役・御境伐木 加勢増人 類
 役入加 諸組勘所 岩木川奉行 黒石)
 卷17 九浦(被仰出 公義衆通行 松前様一件 三関

所青森・鯨ヶ沢 破船 申立 御目見帶刀・被下物差
 上物)
 卷18 作事(御定 作事奉行 吟味役・受払役 御城
 中廻御郭廻) 屋舗方(被仰出 屋敷拜領・屋敷替附秣
 場拜領 屋敷差上・長屋拜借 取建・取毀 弘前廻御
 制礼 諸職人 在浦々御普請 同居町在別宅 申立)
 卷19 鳥獸(御鷹方 御馬方 熊狐) 切支丹類族(被
 仰出 新緑 生死附漂流人共 申立)
 卷20 吉事(御役替并被召出附御剪紙共 分知 御賞
 御手当并凡而被下物) 差上物(御定 差上物 御賄
 他領被下物 諸事)

御用格(從嘉永元年至安政6年)

TK209-4

写 25冊 半紙 和

内容:

卷1 公義(御献上 不時御献上 御朱印 供奉附御役
 共 御系譜(記事なし) 日之丸御船并御浦触 御書付
 御届 御家御書付 御願御伺共 鳴物停止御定 諸事
 近衛様・醍醐様)
 卷2 御家(御誕生(記事なし) 御目見 御月並・御前
 髪執・御袖留 御縁組(記事なし) 御家督(記事なし)
 御隠居(記事なし) 不時御登城(記事なし) 御官位・
 御官名 御承祖(記事なし) 御養子 御上下 高覧
 御出 御名代附他領御使 他領より使者 窺御機嫌
 御逢 上々様諸事 那須様一件)
 卷3 御規式(御能・御囃 三ヶ月御祭事(記事なし)
 御祝儀事 御料理事 御礼御用捨) 御用所(御家老
 御用人 諸事見分 着服附羽織御免 登下諸事 対客
 (記事なし) 頂戴物附拜見物并差上物 御城代 大目
 付・御目付 日記方・書物方・表右筆 御使番)
 卷4 諸頭(両組頭 御留守居組頭 諸物頭 御中小性
 頭 御徒頭 御手弓頭・御手筒頭 御手道具頭 組引
 渡(記事なし) 弘前別段(記事なし)
 卷5 御家中(被仰出 御城中被仰出 江戸表被仰出
 御目見 月並 御奉公見習同御免并引取 御紋形 衣

類 名改 苗字改(記事なし) 組替(記事なし) 次第)
 卷6 御家中(養子 縁組 年若ニ付里方江引取附離縁
 共 袖留 前髪執 惣髪・剃髪 摘髪(記事なし) 諸
 御礼 杖御免(記事なし) 足袋 養女呼取 御役御免
 隠居(記事なし) 末期 忌中忌明 家督 申立 御飛
 脚 登下 迎登附添登附稽古登 御家中他国江御暇
 在町之者他領出 御印紙并御切手紙)
 卷7 御家中(湯治 在御暇 駕籠 雪船 月代執 幕
 (記事なし) 産穢 附添 師役 御備方 学問所并講
 积 誓詞 御葉・御医者附金瘡療治共 供廻・往来
 一統御触)
 卷8 高岡(被仰出(記事なし) 御神事 御告 御寄附
 被献物 御修覆附御建立共 祭司役 申立 諸番人
 (記事なし) 御家中献上物附拜礼) 寺社(被仰出 御
 目見・登城 御出汗附時鐘 御神事 御告 御祈禱)
 卷9 寺社(上々様御祈禱 御代参御名代御参詣 開帳
 遷宮附供養 太々神楽 御寄附 御献備自分献備 御
 建立自分建立 御修覆 御法事拜礼附大赦御法号 後
 住 跡職 御蔵附他領共 隠居 継目登 官職登附勤
 学共)
 卷10 寺社(什物改 御葉願 御医者(記事なし) 湯
 治願(記事なし) 御幕拜借 勸化(記事なし) 杉伐取
 (記事なし) 差上物(記事なし) 被下物 寺社奉行
 他領寺社 三日市 羽黒山 尾崎 座当頭)
 卷11 寺社(禁足慎 凶事 出火 変事(記事なし)
 申立)
 卷12 郡方(被仰出 郡奉行 代官 帶刀御免 御紋
 形衣類 被下物附差上物 植付物附漆方)
 卷13 町方(被仰出 町奉行 御目見・帶刀御免 御
 紋形 衣類 町年寄 町医 申立 牢屋揚屋 被下物
 差上物 人別方 旅人御締向)
 卷14 勘定所(被仰出 勘定奉行 御米方 御用達
 御登せ物御下物 押物拾物(記事なし) 御払物(記
 事なし) 御荷物 所々御蔵兩御金奉行共附土場 四奉
 行諸渡物并御扶持方)

- 卷 15 御側廻(御側廻 御小納戸 奥通 大納戸 坊主方附御時計共) 御広舗(被仰出 御前順・御子様・御姫様 御部屋様・御女中 申立) 御台所(被仰出 御台所頭 吟味役受払役 御料理方 御家具方)
- 卷 16 御楽屋(御定(記事なし) 御楽屋奉行(記事なし) 御役者) 御武具蔵(被仰出 御武具奉行 諸職人) 山方(山奉行 銅山(記事なし) 矢立杉附御境廻共 吟味役(記事なし) 御境伐木(記事なし) 加勢増人(加勢増人 類役入加(記事なし) 諸組勤所(記事なし) 岩木川奉行(記事なし) 黒石)
- 卷 17 九浦(被仰出附俵物一件 青森鱈ヶ沢 津出駄下(記事なし) 申立 公義衆通行松前様一件 三御関所湊方附長浜寄物番人別段共 破船)
- 卷 18 作事(御定 作事奉行 吟味役受払役(記事なし) 御城中廻 御郭廻附三都御屋敷御取建共 弘前廻 諸職人 在々浦々御普請) 屋敷方(被仰出 屋敷拝領・屋敷替附秣揚拝領 屋敷差上・長屋拝借(記事なし) 取建取毀 同居町在宅 申立)
- 卷 19 鳥獸(御鷹方 御馬方 熊孤) 切支丹類族(被仰出(記事なし) 新縁(記事なし) 生死附漂流人共 申立)
- 卷 20 吉事(御役替并被召出 分知(記事なし) 御賞差上物等有之御書 御手当并被下方 諸事) 差上物(御定 差上物 御賄(記事なし) 他領被下物)
- 卷 21 凶事(被仰出附詮儀 蟄居 盜賊召捕 閉門・逼塞(記事なし) 御役下 遠慮諸事 御預 追放附送返町払鞭刑 御暇 儀絶・勘当・和談 一問所・他出差留・声高 咎人御国下 入牢出牢 御仕置)
- 卷 22 上 凶事(遠慮 慎 御呵押込 町在之者追放ニ付御家中遠慮(記事なし) 出座定(記事なし) 町役在役浦々凡而町在之者御阿 附黒石家中浪人共)
- 卷 22 下 凶事(伺遠慮)
- 卷 23 変(被仰出 弘前火事附江戸共 在浦火事 山火事 地震 洪水 大風(記事なし) 出奔 捨子迷子(記事なし) 討捨(記事なし) 敵討 喧嘩狼籍)
- 卷 24 変(変死・乱心・怪我 御国者他領ニ而変事病死(記事なし) 家来変事(記事なし) 雑人変事(記事なし) 申立 他領もの御国ニ而変事病死)
- 御格帳題号** TK209-58
写 1冊 半紙 和
註：御用格の題号目次
- 御改正御用格** 民事局当務方 TK209-5
明治3(1870) 写 2冊 半紙
内容：明治3年6月 同年自6月至8月
◇
- 京都御使者勤方之覚** 其他 森岡主膳 TK209-7
安永2(1773) 写 6冊 美濃・美濃半 和
内容：京都御使者勤方之覚 御入内之節御飾付書 御入内之節御座之御飾付并御器物之図 御入内御行列内侍所拝見之図 楽邦院様御殿之図 徳大寺様御殿之図 大覚寺御門主様御里坊之図 入江御所様之図 醍醐様御殿之図 御献立
- 御即位一件** 文化14年正月～文政元年12月 TK209-10
御右筆
写 1冊 半紙 和
註：仁孝天皇御即位の際 禁裏, 将軍家などへの献上品書状など
- 御即位一件** 弘化4年 御右筆 TK209-52
弘化4(1847) 写 1冊 半紙 和
- 御即位御祝儀献上之儀御書付** 7月 TK209-48
文化14(1817) 写(原本) 2通
- 御即位宣命写** TK209-20
弘化4(1847) 写 1冊 36×51
- 御即位女御御入内ニ付御廻状留** TK209-57
文化14年～文政元年
写 1冊 半紙 和
- 〔禁裏江御疱瘡御酒湯之御祝儀之儀御書付〕** TK209-49
2月 津輕越中守(寧親) 宛
文政2(1819) 写(原本) 1通
- 〔禁裏回祿之儀に付使者差越御奉書〕** TK209-16
閏6月23日 津輕土佐守(信義) 宛
〔承応2〕(1653) 写(原本) 1通
註：阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿 松平伊豆守信綱より
- 〔禁裏御移徒之祝儀御太刀馬代献上之儀書付〕** TK209-51
津輕越中守(順承) 宛
安政2(1855) 写(原本) 1通
- 〔禁裏御水痘御酒湯日出度旨言上之儀御奉書〕** TK209-18
3月27日 津輕越中守(寧親) 宛
文政5(1822) 写(原本) 1通
註：松平能登守乗保より
- 〔禁裏御水痘御酒湯日出度旨言上之儀御奉書〕** TK209-19
3月27日 津輕越中守(寧親) 宛
文政5(1822) 写(原本) 1通
註：青山下野守忠裕より
- 勅使御両卿御馳走御案文** 安永7年 TK209-54
安永7(1778) 写 1冊 美濃 和
註：津輕出羽守(信明) 勅使馳走役名代
- 勅使女御使御馳走御案文(女御入内ニ付)** TK209-53
安永2年
安永2(1773) 写 2冊 美濃 和

註：津軽信寧勅使女御使御馳走人仰付けらる

〔天皇御元服相濟目出度旨言上之儀御奉書〕 TK209-17
2月29日 津軽越中守(言寧)宛
天明元(1781)写(原本)1通
註：田沼主殿頭意次より

女御入内一件 文政8年 嘉永元年 御右筆 TK209-55
文政8, 嘉永元(1825,48)写 1冊 半紙 和



〔年号改元之儀珍重之旨言上之儀御奉書〕 TK209-21
正月9日 津軽出羽守(信寧)宛
安永2(1773)写(原本)1通
註：阿部豊後守(正允)より

〔年号改元之儀珍重之旨言上之儀御奉書〕 TK209-22
正月9日 津軽出羽守(信寧)宛
安永2(1773)写(原本)1通
註：松平右京大夫(輝高)より

〔年号改元之儀珍重之旨言上御奉書〕 TK209-23
3月23日 津軽越中守(寧親)宛
享和元(1801)写(原本)1通
註：戸田采女正氏教より

〔年号改元之儀珍重之旨言上御奉書〕 TK209-24
3月23日 津軽越中守(寧親)宛
享和元(1801)写(原本)1通
註：水野出羽守忠友より



服忌令 元文元年増補 TK209-6
元文元(1736)写 1冊 半紙倍 和



〔一位様御叙位に付御祝儀御樽代献上披露之儀御奉書〕
3月11日 津軽越中守(信政)宛 TK209-28
元禄15(1702)写(原本)1通
註：稲葉丹後守正通

〔稲葉丹後守宛御奉書写〕 TK209-47
12月25日 戸田山城守忠昌等連署
貞享元(1684)写 1通
註：津軽出羽守官位口宣等之儀

〔右大臣御転任御祝儀御太刀御馬進上披露之儀御奉書〕
8月23日 津軽土佐守(信義)宛 TK209-26
写(原本)1通
註：阿部豊後守忠秋 松平和泉守乘寿 松平伊豆守信綱
酒井雅楽頭忠清より

御車糸道具丈尺之覚 TK209-8
写 1枚 美濃

嘉永二酉年五月御府内御供連御持道具之儀御触達ニ付同六月御届之扣 TK209-14
写 1冊 美濃 和

〔公方様御任官之御祝儀使者時服拝領御札に付御奉書〕
10月17日 津軽土佐守(信義)宛 TK209-27
写(原本)1通
註：阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱 酒井雅楽頭忠清より

〔公方様御転任内府様御任槐式目出度言上之儀御奉書〕
4月11日 津軽越中守(寧親)宛 TK209-31
文政5(1822)写(原本)1通

註：酒井若狭守忠清より

〔御昇進御位階御祝儀御能之節御檜重献上披露之儀御奉書〕
3月22日 津軽越中守(信順)宛 TK209-45
文政10(1827)写(原本)1通
註：水野出羽守忠成より

御装束帳(下書) TK209-15
(慶応四年三番より七番迄印付之分不残御下し相濟候事)
慶応4(1868)写 1冊 半紙 和
註：明治24年10月の朱書がある

〔御転任御任槐御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕
3月5日 津軽大隅守(信順)宛 TK209-29
文政5(1822)写(原本)1通
註：青山下野守忠裕より

〔御転任御任槐御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕
6月6日 津軽越中守(寧親)宛 TK209-32
文政5(1822)写(原本)1通
註：酒井若狭守忠進より

〔御転任御任槐御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕
6月6日 津軽越中守(寧親)宛 TK209-33
文政5(1822)写(原本)1通
註：水野出羽守忠成より

〔御転任御任槐式目出度旨言上之儀御奉書〕 TK209-30
4月11日 津軽越中守(寧親)宛
文政5(1822)写(原本)1通
註：水野出羽守忠成より

〔將軍宣下御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕
12月13日 津軽越中守(順承)宛 TK209-34
安政5(1858)写(原本)1通

- 註：太田備後守資始より
- 〔將軍宣下ニ付御祝儀献上之儀内意伺并例書〕 TK209-50
御附紙共
〔嘉永6〕(1853) 写 (原本) 2通
註：津軽越中守家来北川六左衛門より
- 將軍宣下ニ付近衛大納言忠房様関東御下向一件
安政5年 TK209-56
安政5(1858) 写 1冊 半紙 和
- 〔將軍宣下之御祝儀御太刀御馬進上披露之儀御奉書〕
8月29日 津軽土佐守(信義)宛 TK209-25
慶安4(1651) 写 (原本) 1通
註：阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿 松平伊豆守信綱より
- 〔大納言様御元服御官位御祝儀言上之儀御奉書〕
5月25日 津軽越中守(信順)宛 TK209-35
文政11(1828) 写 (原本) 1通
註：青山下野守忠裕より
- 〔大納言様御元服御官位御祝儀言上之儀御奉書〕
5月25日 津軽越中守(信順)宛 TK209-36
文政11(1828) 写 (原本) 1通
註：牧野備前守忠清より
- 〔天璋院様御叙位御祝儀御樽肴献上披露之儀御奉書〕
12月16日 津軽越中守(順承)宛 TK209-46
安政6(1859) 写 (原本) 1通
註：太田備後守資始より
- 天保十五辰年五月御府内御供連御持道具之儀御触達ニ付同十月御書上並弘化三年九月右元濟之儀御尋ニ付嘉永元年十二月御答之扣 TK209-12
- 写 1冊 美濃 和
- 天保十五辰年五月廿八日御府内供連之儀御触達ニ付津軽出雲守殿より同十月廿八日書上并弘化三年五月六日金紋挾箱乗物日覆之起本御尋ニ付嘉永二酉年五月十二日御答之一件 TK209-13
写 1冊 半紙 和
- 日光御参詣御行烈帳 TK209-11
天保14(1843) 写 1冊 横長 和
註：天保14年(1843) 將軍徳川家慶日光御参詣の際の行列帳
- 八百石以上江被仰渡 文化14年 御日記方 TK209-9
文化14(1817) 写 1冊 半紙倍 和
附：八百石以上供連(1冊 美濃 和)
註：禄800石以上の面々の規式の節の装束
- 〔一橋一位殿准大臣宣下目出度旨言上之儀御奉書〕
9月18日 津軽大隅守(信順)宛 TK209-43
文政8(1825) 写 (原本) 1通
註：酒井若狭守忠進より
- 〔一橋一位殿准大臣宣下目出度旨言上之儀御奉書〕
9月18日 津軽大隅守(信順)宛 TK209-44
文政8(1825) 写 (原本) 1通
註：大久保加賀守忠真より
- 〔御台様御位階昇進御簾中様叙位御祝儀御樽肴献上披露之儀御奉書〕3月9日 TK209-38
津軽越中守(寧親)宛
文政5(1822) 写 (原本) 1通
註：松平能登守乗保より
- 〔御台様御位階昇進御簾中様叙位御祝儀御樽肴献上披露之儀御奉書〕3月9日 TK209-39
津軽大隅守(信順)宛
文政5(1822) 写 (原本) 1通
註：松平能登守乗保より
- 〔御台様御位階昇進御簾中様叙位御祝儀御樽肴献上披露之儀御奉書〕3月9日 TK209-40
津軽大隅守(信順)宛
文政5(1822) 写 (写本) 1通
註：水野出羽守忠成より
- 〔御台様御位階昇進御簾中様叙位目出度旨言上之儀御奉書〕4月16日 津軽越中守(寧親)宛 TK209-41
文政5(1822) 写 (原本) 1通
註：水野出羽守忠成より
- 〔御台様御位階昇進御簾中様叙位目出度旨言上之儀御奉書〕4月16日 津軽越中守(寧親)宛 TK209-42
文政5(1822) 写 (原本) 1通
註：酒井若狭守忠進より
- TK215 江戸時代
- 〔弘前藩庁〕日記(国日記)〔御日記方編〕 TK215-1
寛文元～元治元(1661～1864) 写 3299冊
内容：
第1 寛文元年6月3日～12月30日
第2 寛文2年1月～3月 6月～12月

第3	寛文3年1月～12月	第37	延宝5年1月	第72	11月
第4	寛文4年1月～12月	第38	2月	第73	12月
第5	寛文5年1月～5月	第39	3月	第74	延宝8年1月
第5A	6月～12月	第40	4月	第75	2月
第6	寛文6年1月～3月8日	第41	5月	第76	3月
第7	3月9日～12月29日	第42	6月	第77	4月
第8	寛文7年1月～12月	第43	7月	第78	5月
第9	寛文8年1月～4月23日	第44	8月	第79	6月
第10	4月24日～12月29日	第45	9月	第80	7月
第11	寛文9年1月～8月4日	第46	10月	第81	8月
第12	8月4日～12月29日	第47	11月	第82	閏8月
第13	寛文10年1月～12月	第48	12月	第83	9月
第14	寛文11年1月～12月	第49	閏12月	第84	10月
第15	寛文12年1月～5月20日	第50	延宝6年1月	第85	11月
第16	5月21日～12月30日	第51	2月	第86	12月
第17	寛文13年1月～8月	第52	3月	第87	延宝9年1月
第18	(延宝元)9月～12月	第53	4月	第88	2月
第19	延宝2年1月～6月20日	第54	5月	第89	3月
第20	6月21日～9月29日	第55	6月	第90	4月
第21	10月	第56	7月	第91	5月
第22	11月,12月	第57	8月	第92	6月
第23	延宝3年1月	第58	9月	第93	7月
第24	2月	第59	10月	第94	8月
第25	3月	第60	11月	第95	9月
第26	4月～7月	第61	12月	第96	10月
第27	8月～12月	第62	延宝7年1月	第97	(天和元)11月
第28	延宝4年1月～4月	第63	2月	第98	12月
第29	5月	第64	3月	第99	天和2年1月
第30	6月	第65	4月	第100	2月
第31	7月	第66	5月	第101	3月
第32	8月	第67	6月	第102	4月
第33	9月	第68	7月	第103	5月
第34	10月	第69	8月	第104	6月
第35	11月	第70	9月	第105	7月
第36	12月	第71	10月	第106	8月

第 107	9月	第 146	11月	第 193	元禄 2年 1月
第 108	10月	第 147	12月	第 194	閏 1月
第 109,110	11月(2冊)	第 148	貞享 3年 1月	第 195	2月
第 111,112	12月(2冊)	第 149	2月	第 196,197	3月(2冊)
第 113	天和 3年 1月	第 149 A	閏 3月(御用留書)	第 198	4月
第 114	2月	第 150,151	4月(2冊)	第 199	5月
第 115	3月	第 152	5月	第 200	6月
第 116	4月	第 153 ~ 156	8月(4冊)	第 201	7月上 (2冊の内)
第 117	5月	第 157,158	9月(2冊)	第 202	8月
第 118	閏 5月	第 159,160	10月(2冊)	第 203	9月
第 119	6月	第 161,162	11月(2冊)	第 204	10月
第 120	7月	第 163 ~ 165	12月(3冊)	第 205	11月
第 121	8月	第 166	貞享 4年 1月	第 206	12月
第 122	9月	第 167,168	2月(2冊)	第 207	元禄 3年 1月
第 123	10月	第 169 ~ 171	3月(3冊)	第 208	2月
第 124	11月	第 172	4月	第 209,210	3月(2冊)
第 125	12月	第 173	5月	第 211	4月
第 126	天和 4年 1月	第 174	6月	第 212	5月
第 127	(貞享元) 3月	第 175	7月	第 213	6月
第 128	4月	第 176,177	8月(2冊)	第 214	7月
第 129	5月	第 178	10月	第 215	8月
第 130	6月	第 179	11月	第 216,217	9月(2冊)
第 131	7月	第 180	12月	第 218	10月
第 132	8月	第 181	貞享 5年 1月	第 219 ~ 221	11月(3冊)
第 133	9月	第 182	2月	第 222,223	12月(2冊)
第 134	11月	第 183	3月	第 224,225	元禄 4年 1月(2冊)
第 135	12月	第 184	4月	第 226,227	2月(2冊)
第 136	貞享 2年 1月	第 185	5月	第 228	3月
第 137	2月	第 186	6月	第 229	4月
第 138,139	3月(2冊)	第 187	7月	第 230	5月
第 140	4月	第 188	8月	第 231	6月
第 141,142	5月(2冊)	第 189	9月	第 232	7月
第 143	6月	第 190	10月	第 233	8月
第 144	7月	第 191	(元禄元) 11月	第 234	閏 8月
第 145	10月	第 192	12月	第 235	9月

第 236	10月	第 286,287	8月(2冊)	第 340,341	6月(2冊)
第 237	11月	第 288	9月	第 342,343	7月(2冊)
第 238	12月	第 289,290	10月(2冊)	第 344～347	8月(4冊)
第 239	元禄5年1月	第 291	11月	第 348,349	9月(2冊)
第 240	2月	第 292	12月	第 350	10月
第 241,242	3月(2冊)	第 293	元禄8年1月	第 351	11月
第 243	4月	第 294	2月	第 352,353	12月(2冊)
第 244	5月	第 295	3月	第 354	元禄11年1月
第 245	6月	第 296	4月	第 355	2月
第 246	7月	第 297	5月	第 356,357	3月(2冊)
第 247,248	8月(2冊)	第 298	6月	第 358	4月
第 249～251	9月(3冊)	第 299	7月	第 359	5月
第 252,253	10月(2冊)	第 300	8月	第 360,361	6月(2冊)
第 254～257	11月(4冊)	第 301	9月	第 362～364	7月(3冊)
第 258～260	12月(3冊)	第 302	10月	第 365～367	8月(3冊)
第 261,262	元禄6年1月(2冊)	第 303	11月	第 368～370	9月(3冊)
第 263	2月	第 304	12月	第 371,372	10月(2冊)
第 264	3月	第 305,306	元禄9年1月(2冊)	第 373～375	11月(3冊)
第 265	4月	第 307,308	2月(2冊)	第 376～378	12月(3冊)
第 266	5月	第 309	3月	第 379～381	元禄12年1月(3冊)
第 267	6月	第 310,311	4月(2冊)	第 382,383	2月(2冊)
第 268	7月	第 312,313	5月(2冊)	第 384,385	3月(2冊)
第 269	8月	第 314,315	6月(2冊)	第 386,387	4月(2冊)
第 270	9月	第 316,317	7月(2冊)	第 388,389	5月(2冊)
第 271	10月	第 318～320	8月(3冊)	第 390～392	6月(3冊)
第 272	11月	第 321～323	9月(3冊)	第 393,394	7月(2冊)
第 273	12月	第 324～326	10月(3冊)	第 395～397	8月(3冊)
第 274	元禄7年1月	第 327～329	11月(3冊)	第 398～400	9月(3冊)
第 275	2月	第 330,331	12月(2冊)	第 401,402	閏9月(2冊)
第 276	3月	第 332	元禄10年1月	第 403,404	10月(2冊)
第 277	4月	第 333	2月	第 405,406	11月(2冊)
第 278	5月	第 334	閏2月	第 407～409	12月(3冊)
第 279,280	閏5月(2冊)	第 335	3月	第 410,411	元禄13年1月(2冊)
第 281,282	6月(2冊)	第 336,337	4月(2冊)	第 412,413	2月(2冊)
第 283～285	7月(3冊)	第 338,339	5月(2冊)	第 414,415	3月(2冊)

第 416,417	4 月(2 冊)	第 504 ~ 506	2 月(3 冊)	第 597,598	12 月(2 冊)
第 418,419	5 月(2 冊)	第 507 ~ 509	3 月(3 冊)	第 599	宝永 3 年 1 月
第 420 ~ 422	6 月(3 冊)	第 510	4 月	第 600,601	2 月(2 冊)
第 423,424	7 月(2 冊)	第 511	5 月	第 602,603	3 月(2 冊)
第 425 ~ 427	8 月(3 冊)	第 512,513	6 月(2 冊)	第 604,605	4 月(2 冊)
第 428 ~ 430	9 月(3 冊)	第 514 ~ 516	7 月(3 冊)	第 606	5 月
第 431 ~ 433	10 月(3 冊)	第 517 ~ 519	8 月(3 冊)	第 607,608	6 月(2 冊)
第 434 ~ 437	11 月(4 冊)	第 520 ~ 522	9 月(3 冊)	第 609,610	7 月(2 冊)
第 438 ~ 440	12 月(3 冊)	第 523,524	10 月(2 冊)	第 611 ~ 613	8 月(3 冊)
第 441,442	元禄 14 年 1 月(2 冊)	第 525,526	11 月(2 冊)	第 614 ~ 616	9 月(3 冊)
第 443 ~ 445	2 月(3 冊)	第 527 ~ 529	12 月(3 冊)	第 617,618	10 月(2 冊)
第 446 ~ 448	3 月(3 冊)	第 530	元禄 17 年 1 月	第 619,620	11 月(2 冊)
第 449 ~ 452	4 月(4 冊)	第 531 ~ 533	2 月(3 冊)	第 621,622	12 月(2 冊)
第 453 ~ 456	5 月(4 冊)	第 534 ~ 536	3 月(3 冊)	第 623,624	宝永 4 年 1 月(2 冊)
第 457,458	6 月(2 冊)	第 537 ~ 540	4 月(4 冊)	第 625 ~ 627	2 月(3 冊)
第 459 ~ 461	7 月(3 冊)	第 541 ~ 544	(宝永元) 5 月(4 冊)	第 628,629	3 月(2 冊)
第 462 ~ 464	8 月(3 冊)	第 545 ~ 548	6 月(4 冊)	第 630,631	4 月(2 冊)
第 465 ~ 467	9 月(3 冊)	第 549 ~ 552	7 月(4 冊)	第 632,633	5 月(2 冊)
第 468,469	10 月(2 冊)	第 553 ~ 556	8 月(4 冊)	第 634	6 月
第 470,471	11 月(2 冊)	第 557 ~ 559	9 月(3 冊)	第 635,636	7 月(2 冊)
第 472,473	12 月(2 冊)	第 560 ~ 563	10 月(4 冊)	第 637,638	8 月(2 冊)
第 474,475	元禄 15 年 1 月(2 冊)	第 564 ~ 566	11 月(3 冊)	第 639,640	9 月(2 冊)
第 476 ~ 478	2 月(3 冊)	第 567 ~ 569	12 月(3 冊)	第 641,642	11 月(2 冊)
第 479	3 月丙 (5 冊の内)	第 570	宝永 2 年 1 月	第 643,644	12 月(2 冊)
第 480	4 月乙 (3 冊の内)	第 571,572	2 月(2 冊)	第 645,646	宝永 5 年 1 月(2 冊)
第 481,482	5 月(2 冊)	第 573 ~ 575	3 月(3 冊)	第 647,648	閏 1 月(2 冊)
第 483 ~ 485	6 月(3 冊)	第 574 ~ 578	4 月(3 冊)	第 649,650	2 月(2 冊)
第 486 ~ 488	7 月(3 冊)	第 579 ~ 581	閏 4 月(3 冊)	第 651,652	3 月(2 冊)
第 489,490	8 月(2 冊)	第 582,583	5 月(2 冊)	第 653,654	4 月(2 冊)
第 491 ~ 493	閏 8 月(3 冊)	第 584,585	6 月(2 冊)	第 655	5 月
第 494,495	9 月(2 冊)	第 586,587	7 月(2 冊)	第 656,657	6 月(2 冊)
第 496 ~ 498	10 月(3 冊)	第 588,589	8 月(2 冊)	第 658,659	7 月(2 冊)
第 499,500	11 月(2 冊)	第 590,591	9 月(2 冊)	第 660,661	8 月(2 冊)
第 501	12 月	第 592,593	10 月(2 冊)	第 662,663	9 月(2 冊)
第 502,503	元禄 16 年 1 月(2 冊)	第 594 ~ 596	11 月(3 冊)	第 664,665	10 月(2 冊)

第 666,667	11 月(2 冊)	第 727	9 月	第 799 ~ 801	9 月(3 冊)
第 668 ~ 670	12 月(3 冊)	第 728	12 月	第 802,803	10 月(2 冊)
第 671,672	宝永 6 年 1 月(2 冊)	第 729	正徳 2 年 1 月	第 804,805	11 月(2 冊)
第 673,674	2 月(2 冊)	第 730,731	2 月(2 冊)	第 806,807	12 月(2 冊)
第 675,676	3 月(2 冊)	第 732 ~ 734	3 月(3 冊)	第 808,809	正徳 5 年 1 月(2 冊)
第 677,678	4 月(2 冊)	第 735,736	4 月(2 冊)	第 810,811	2 月(2 冊)
第 679,680	5 月(2 冊)	第 737,738	5 月(2 冊)	第 812,813	3 月(2 冊)
第 681,682	6 月(2 冊)	第 739	6 月	第 814 ~ 816	4 月(3 冊)
第 683,684	7 月(2 冊)	第 740,741	7 月(2 冊)	第 817,818	5 月(2 冊)
第 685,686	8 月(2 冊)	第 742 ~ 745	8 月(4 冊)	第 819,820	6 月(2 冊)
第 687	9 月	第 746,747	9 月(2 冊)	第 821,822	7 月(2 冊)
第 688	10 月	第 748	10 月下 (2 冊の内)	第 823 ~ 825	8 月(3 冊)
第 689,690	11 月(2 冊)	第 749,750	11 月(2 冊)	第 826 ~ 828	9 月(3 冊)
第 691	12 月	第 751,752	12 月(2 冊)	第 829,830	10 月(2 冊)
第 692	宝永 7 年 1 月	第 753	正徳 3 年 1 月	第 831 ~ 833	11 月(3 冊)
第 693	2 月	第 754,755	2 月(2 冊)	第 834,835	12 月(2 冊)
第 694,695	3 月(2 冊)	第 756 ~ 758	3 月(3 冊)	第 836	正徳 6 年 1 月
第 696,697	4 月(2 冊)	第 759 ~ 761	4 月(3 冊)	第 837	2 月
第 698	5 月	第 762,763	5 月(2 冊)	第 838	閏 2 月
第 699	6 月	第 764 ~ 766	5 月(3 冊)	第 839,840	3 月(2 冊)
第 700	7 月	第 767 ~ 769	6 月(3 冊)	第 841,842	4 月(2 冊)
第 701,702	8 月(2 冊)	第 770,771	7 月(2 冊)	第 843	5 月
第 703,704	閏 8 月(2 冊)	第 772,773	8 月(2 冊)	第 844,845	6 月(2 冊)
第 705,706	9 月(2 冊)	第 774,775	9 月(2 冊)	第 846,847	7 月(2 冊)
第 707,708	10 月(2 冊)	第 776	10 月下 (2 冊の内)	第 848,849	(享保元) 8 月(2 冊)
第 709,710	11 月(2 冊)	第 777,778	11 月(2 冊)	第 850	9 月
第 711,712	12 月(2 冊)	第 779,780	12 月(2 冊)	第 851	10 月
第 713,714	宝永 8 年 1 月(2 冊)	第 781,782	正徳 4 年 1 月(2 冊)	第 852	11 月
第 715,716	2 月(2 冊)	第 783,784	2 月(2 冊)	第 853,854	12 月(2 冊)
第 717	3 月	第 785,786	3 月(2 冊)	第 855,856	享保 2 年 1 月(2 冊)
第 718,719	4 月(2 冊)	第 787,788	4 月(2 冊)	第 857,858	2 月(2 冊)
第 720,721	5 月(2 冊)	第 789 ~ 791	5 月(3 冊)	第 859,860	3 月(2 冊)
第 722,723	(正徳元) 6 月(2 冊)	第 792,793	6 月(2 冊)	第 861,862	4 月(2 冊)
第 724	7 月	第 794 ~ 796	7 月(3 冊)	第 863,864	5 月(2 冊)
第 725,726	8 月(2 冊)	第 797,798	8 月(2 冊)	第 865,866	6 月(2 冊)

第 867,868	7 月(2 冊)	第 944 ~ 946	5 月(3 冊)	第 1027 ~ 1029	3 月(3 冊)
第 869 ~ 871	8 月(3 冊)	第 947 ~ 949	6 月(3 冊)	第 1030 ~ 1032	4 月(3 冊)
第 872,873	9 月(2 冊)	第 950 ~ 952	7 月(3 冊)	第 1033 ~ 1036	5 月(4 冊)
第 874,875	10 月(2 冊)	第 953 ~ 955	8 月(3 冊)	第 1037,1038	6 月(2 冊)
第 876,877	11 月(2 冊)	第 956 ~ 958	9 月(3 冊)	第 1039 ~ 1041	7 月(3 冊)
第 878,879	12 月(2 冊)	第 959,960	10 月(2 冊)	第 1042 ~ 1044	8 月(3 冊)
第 880	享保 3 年 1 月	第 961,962	11 月(2 冊)	第 1045 ~ 1047	9 月(3 冊)
第 881 ~ 883	2 月(3 冊)	第 963 ~ 965	12 月(3 冊)	第 1048 ~ 1050	10 月(3 冊)
第 884,885	3 月(2 冊)	第 966,967	享保 6 年 1 月(2 冊)	第 1051 ~ 1053	11 月(3 冊)
第 886,887	4 月(2 冊)	第 968 ~ 970	2 月(3 冊)	第 1054,1055	12 月(2 冊)
第 888,889	5 月(2 冊)	第 971 ~ 973	3 月(3 冊)	第 1056,1057	享保 9 年 1 月(2 冊)
第 890 ~ 892	6 月(3 冊)	第 974,975	4 月(2 冊)	第 1058,1059	2 月(2 冊)
第 893 ~ 895	7 月(3 冊)	第 976,977	5 月(2 冊)	第 1060 ~ 1062	3 月(3 冊)
第 896,897	8 月(2 冊)	第 978,979	6 月(2 冊)	第 1063 ~ 1066	4 月(4 冊)
第 898 ~ 901	9 月(4 冊)	第 980,981	7 月(2 冊)	第 1067,1068	閏 4 月(2 冊)
第 902	10 月	第 982,983	閏 7 月(2 冊)	第 1069 ~ 1071	5 月(3 冊)
第 903,904	閏 10 月(2 冊)	第 984	8 月	第 1072 ~ 1074	6 月(3 冊)
第 905,906	11 月(2 冊)	第 985,986	9 月(2 冊)	第 1075,1076	7 月(2 冊)
第 907,908	12 月(2 冊)	第 987,988	10 月(2 冊)	第 1077 ~ 1079	8 月(3 冊)
第 909	享保 4 年 1 月	第 989	11 月	第 1080,1081	9 月(2 冊)
第 910,911	2 月(2 冊)	第 990,991	12 月(2 冊)	第 1082 ~ 1084	10 月(3 冊)
第 912,913	3 月(2 冊)	第 992,993	享保 7 年 1 月(2 冊)	第 1085,1086	11 月(2 冊)
第 914,915	4 月(2 冊)	第 994,995	2 月(2 冊)	第 1087,1088	12 月(2 冊)
第 916,917	5 月(2 冊)	第 996,997	3 月(2 冊)	第 1089,1090	享保 10 年 1 月(2 冊)
第 918,919	6 月(2 冊)	第 998,999	4 月(2 冊)	第 1091,1092	2 月(2 冊)
第 920,921	7 月(2 冊)	第 1000,1001	5 月(2 冊)	第 1093,1094	3 月(2 冊)
第 922 ~ 924	8 月(3 冊)	第 1002 ~ 1004	6 月(3 冊)	第 1095,1096	4 月(2 冊)
第 925,926	9 月(2 冊)	第 1005,1006	7 月(2 冊)	第 1097,1098	5 月(2 冊)
第 927,928	10 月(2 冊)	第 1007 ~ 1010	8 月(4 冊)	第 1099,1100	6 月(2 冊)
第 929,930	11 月(2 冊)	第 1011 ~ 1013	9 月(3 冊)	第 1101,1102	7 月(2 冊)
第 931	12 月	第 1014,1015	10 月(2 冊)	第 1103 ~ 1105	8 月(3 冊)
第 932,933	享保 5 年 1 月(2 冊)	第 1016 ~ 1018	11 月(3 冊)	第 1106 ~ 1108	9 月(3 冊)
第 934 ~ 936	2 月(3 冊)	第 1019,1020	12 月(2 冊)	第 1109,1110	10 月(2 冊)
第 937 ~ 939	3 月(3 冊)	第 1021 ~ 1023	享保 8 年 1 月(3 冊)	第 1111,1112	11 月(2 冊)
第 940 ~ 943	4 月(4 冊)	第 1024 ~ 1026	2 月(3 冊)	第 1113,1114	12 月(2 冊)

第 1115,1116	享保 11 年 1 月(2 冊)	第 1186	11 月	第 1269 ~ 1271	9 月(3 冊)
第 1117,1118	2 月(2 冊)	第 1187	12 月	第 1272 ~ 1274	10 月(3 冊)
第 1119 ~ 1121	3 月(3 冊)	第 1188,1189	享保 14 年 1 月(2 冊)	第 1275 ~ 1277	11 月(3 冊)
第 1122,1123	4 月(2 冊)	第 1190,1191	2 月(2 冊)	第 1278 ~ 1280	12 月(3 冊)
第 1124,1125	5 月(2 冊)	第 1192,1193	3 月(2 冊)	第 1281 ~ 1283	享保 17 年 1 月(3 冊)
第 1126,1127	6 月(2 冊)	第 1194,1195	4 月(2 冊)	第 1284 ~ 1286	2 月(3 冊)
第 1128,1129	7 月(2 冊)	第 1196,1197	5 月(2 冊)	第 1287 ~ 1289	3 月(3 冊)
第 1130 ~ 1132	8 月(3 冊)	第 1198,1199	6 月(2 冊)	第 1290 ~ 1292	4 月(3 冊)
第 1133,1134	9 月(2 冊)	第 1200,1201	7 月(2 冊)	第 1293 ~ 1295	5 月(3 冊)
第 1135 ~ 1137	10 月(3 冊)	第 1202 ~ 1204	8 月(3 冊)	第 1296 ~ 1298	閏 5 月(3 冊)
第 1138,1139	11 月(2 冊)	第 1205,1206	9 月(2 冊)	第 1299 ~ 1301	6 月(3 冊)
第 1140,1141	12 月(2 冊)	第 1207,1208	閏 9 月(2 冊)	第 1302 ~ 1304	7 月(3 冊)
第 1142,1143	享保 12 年 1 月(2 冊)	第 1209,1210	10 月(2 冊)	第 1305 ~ 1307	8 月(3 冊)
第 1144,1145	閏 1 月(2 冊)	第 1211,1212	11 月(2 冊)	第 1308,1309	9 月(2 冊)
第 1146,1147	2 月(2 冊)	第 1213 ~ 1215	12 月(3 冊)	第 1310,1311	10 月(2 冊)
第 1148 ~ 1150	3 月(3 冊)	第 1216,1217	享保 15 年 1 月(2 冊)	第 1312,1313	11 月(2 冊)
第 1151	4 月	第 1218 ~ 1220	2 月(3 冊)	第 1314,1315	12 月(2 冊)
第 1152,1153	5 月(2 冊)	第 1221 ~ 1223	3 月(3 冊)	第 1316,1317	享保 18 年 1 月(2 冊)
第 1154,1155	6 月(2 冊)	第 1224 ~ 1226	4 月(3 冊)	第 1318,1319	2 月(2 冊)
第 1156,1157	7 月(2 冊)	第 1227,1228	5 月(2 冊)	第 1320,1321	3 月(2 冊)
第 1158,1159	8 月(2 冊)	第 1229 ~ 1231	6 月(3 冊)	第 1322,1323	4 月(2 冊)
第 1160	9 月	第 1232,1233	7 月(2 冊)	第 1324 ~ 1326	5 月(3 冊)
第 1161,1162	10 月(2 冊)	第 1234 ~ 1236	8 月(3 冊)	第 1327 ~ 1329	6 月(3 冊)
第 1163	11 月	第 1237 ~ 1239	9 月(3 冊)	第 1330,1331	7 月(2 冊)
第 1164,1165	12 月(2 冊)	第 1240,1241	10 月(2 冊)	第 1332 ~ 1334	享保 18 年 8 月(3 冊)
第 1166,1167	享保 13 年 1 月(2 冊)	第 1242,1243	11 月(2 冊)	第 1335,1336	9 月(2 冊)
第 1168,1169	2 月(2 冊)	第 1244,1245	12 月(2 冊)	第 1337,1338	10 月(2 冊)
第 1170,1171	3 月(2 冊)	第 1246 ~ 1248	享保 16 年 1 月(3 冊)	第 1339 ~ 1341	11 月(3 冊)
第 1172,1173	4 月(2 冊)	第 1249 ~ 1251	2 月(3 冊)	第 1342,1343	12 月(2 冊)
第 1174,1175	5 月(2 冊)	第 1252 ~ 1254	3 月(3 冊)	第 1344,1345	享保 19 年 1 月(2 冊)
第 1176,1177	6 月(2 冊)	第 1255 ~ 1257	4 月(3 冊)	第 1346,1347	2 月(2 冊)
第 1178,1179	7 月(2 冊)	第 1258 ~ 1260	5 月(3 冊)	第 1348,1349	3 月(2 冊)
第 1180,1181	8 月(2 冊)	第 1261 ~ 1263	6 月(3 冊)	第 1350 ~ 1352	4 月(3 冊)
第 1182,1183	9 月(2 冊)	第 1264,1265	7 月(2 冊)	第 1353,1354	5 月(2 冊)
第 1184,1185	10 月(2 冊)	第 1266 ~ 1268	8 月(3 冊)	第 1355,1356	6 月(2 冊)

第 1357 ~ 1359	7 月(3 冊)	第 1451 ~ 1453	4 月(3 冊)	第 1591 ~ 1594	2 月(4 冊)
第 1360 ~ 1362	8 月(3 冊)	第 1454 ~ 1456	5 月(3 冊)	第 1595 ~ 1598	3 月(4 冊)
第 1363,1364	9 月(2 冊)	第 1457 ~ 1459	6 月(3 冊)	第 1599 ~ 1603	4 月(5 冊)
第 1365 ~ 1367	10 月(3 冊)	第 1460 ~ 1462	7 月(3 冊)	第 1604 ~ 1607	5 月(4 冊)
第 1368 ~ 1370	11 月(3 冊)	第 1463 ~ 1465	8 月(3 冊)	第 1608 ~ 1610	6 月(3 冊) (4 冊の内甲乙)
第 1371 ~ 1373	12 月(3 冊)	第 1466 ~ 1468	9 月(3 冊)	第 1611 ~ 1613	7 月(3 冊)
第 1374,1375	享保 20 年 1 月(2 冊)	第 1469 ~ 1471	10 月(3 冊)	第 1614,1615	閏 7 月(2 冊)
第 1376 ~ 1378	2 月(3 冊)	第 1472 ~ 1474	11 月(3 冊)	第 1616 ~ 1620	8 月(5 冊)
第 1379 ~ 1381	3 月(3 冊)	第 1475 ~ 1477	閏 11 月(3 冊)	第 1621 ~ 1623	9 月(3 冊)
第 1382 ~ 1384	閏 3 月(3 冊)	第 1478 ~ 1480	12 月(3 冊)	第 1624 ~ 1626	10 月(3 冊)
第 1385 ~ 1387	4 月(3 冊)	第 1481,1482	元文 3 年 1 月(2 冊)	第 1627 ~ 1629	11 月(3 冊)
第 1388 ~ 1390	5 月(3 冊)	第 1483 ~ 1486	2 月(4 冊)	第 1630 ~ 1634	12 月(5 冊)
第 1391 ~ 1393	6 月(3 冊)	第 1487 ~ 1490	3 月(4 冊)	第 1635 ~ 1637	元文 6 年 1 月(3 冊)
第 1394 ~ 1396	7 月(3 冊)	第 1491 ~ 1494	4 月(4 冊)	第 1638 ~ 1640	2 月(3 冊)
第 1397 ~ 1399	8 月(3 冊)	第 1495 ~ 1500	5 月(6 冊)	第 1641 ~ 1645	3 月(5 冊)
第 1400 ~ 1402	9 月(3 冊)	第 1501 ~ 1505	6 月(5 冊)	第 1646 ~ 1648	(寛保元) 4 月(3 冊)
第 1403,1404	10 月(2 冊)	第 1506 ~ 1509	7 月(4 冊)	第 1649 ~ 1651	5 月(3 冊)
第 1405,1406	11 月(2 冊)	第 1510 ~ 1515	8 月(6 冊)	第 1652 ~ 1654	6 月(3 冊)
第 1407,1408	12 月(2 冊)	第 1516 ~ 1519	9 月(4 冊)	第 1655 ~ 1657	7 月(3 冊)
第 1409,1410	享保 21 年 1 月(2 冊)	第 1520 ~ 1524	10 月(5 冊)	第 1658 ~ 1660	8 月(3 冊)
第 1411,1412	2 月(2 冊)	第 1525 ~ 1528	11 月(4 冊)	第 1661,1662	9 月(2 冊)
第 1413,1414	3 月(2 冊)	第 1529 ~ 1534	12 月(6 冊)	第 1663,1664	10 月(2 冊)
第 1415 ~ 1417	4 月(3 冊)	第 1535 ~ 1538	元文 4 年 1 月(4 冊)	第 1665 ~ 1667	11 月(3 冊)
第 1418	5 月上	第 1539 ~ 1544	2 月(6 冊)	第 1668 ~ 1670	12 月(3 冊)
第 1419,1420	(元文元) 5 月中下 (2 冊)	第 1545 ~ 1550	3 月(6 冊)	第 1671,1672	寛保 2 年 1 月(2 冊)
第 1421 ~ 1423	6 月(3 冊)	第 1551 ~ 1555	4 月(5 冊)	第 1673,1674	2 月(2 冊)
第 1424 ~ 1426	7 月(3 冊)	第 1556 ~ 1558	5 月(3 冊)	第 1675 ~ 1677	3 月(3 冊)
第 1427 ~ 1429	8 月(3 冊)	第 1559 ~ 1562	6 月(4 冊)	第 1678,1679	4 月(2 冊)
第 1430 ~ 1432	9 月(3 冊)	第 1563 ~ 1567	7 月(5 冊)	第 1680 ~ 1682	5 月(3 冊)
第 1433 ~ 1435	10 月(3 冊)	第 1568 ~ 1572	8 月(5 冊)	第 1683,1684	6 月(2 冊)
第 1436 ~ 1438	11 月(3 冊)	第 1573 ~ 1577	9 月(5 冊)	第 1685	7 月
第 1439 ~ 1441	12 月(3 冊)	第 1578 ~ 1581	10 月(4 冊)	第 1686,1687	8 月(2 冊)
第 1442 ~ 1444	元文 2 年 1 月(3 冊)	第 1582 ~ 1584	11 月(3 冊)	第 1688,1689	9 月(2 冊)
第 1445 ~ 1447	2 月(3 冊)	第 1585 ~ 1588	12 月(4 冊)	第 1690,1691	10 月(2 冊)
第 1448 ~ 1450	3 月(3 冊)	第 1589,1590	元文 5 年 1 月(2 冊)	第 1692,1693	11 月(2 冊)

第 1694 ~ 1696	12 月(3 冊)	第 1759	10 月	第 1804	8 月
第 1697 ~ 1699	寛保 3 年 1 月(3 冊)	第 1760	11 月	第 1805	(寛延元) 9 月
第 1700 ~ 1701	2 月(2 冊)	第 1761	12 月	第 1806	10 月
第 1702,1703	3 月(2 冊)	第 1762,1763	閏 12 月(2 冊)	第 1807	閏 10 月
第 1704 ~ 1706	4 月(3 冊)	第 1764,1765	延享 3 年 1 月(2 冊)	第 1808	11 月
第 1707,1708	閏 4 月(2 冊)	第 1766,1767	2 月(2 冊)	第 1809	12 月
第 1709	5 月	第 1768,1769	3 月(2 冊)	第 1810	寛延 2 年 1 月
第 1710,1711	6 月(2 冊)	第 1770	4 月	第 1811	2 月
第 1712,1713	7 月(2 冊)	第 1771	5 月	第 812,1813	3 月(2 冊)
第 1714,1715	8 月(2 冊)	第 1772	6 月	第 1814	4 月
第 1716,1717	9 月(2 冊)	第 1773,1774	7 月(2 冊)	第 1815	5 月
第 1718,1719	10 月(2 冊)	第 1775,1776	8 月(2 冊)	第 1816	6 月
第 1720,1721	11 月(2 冊)	第 1777	9 月	第 1817,1818	7 月(2 冊)
第 1722,1723	12 月(2 冊)	第 1778	10 月	第 1819	8 月
第 1724,1725	寛保 4 年 1 月(2 冊)	第 1779,1780	11 月(2 冊)	第 1820,1821	9 月(2 冊)
第 1726 ヌ 727	2 月(2 冊)	第 1781,1782	12 月(2 冊)	第 1822	10 月
第 1728,1729	3 月(2 冊)	第 1783	延享 4 年 1 月	第 1823	11 月
第 1730	(延享元) 4 月	第 1784	2 月	第 1824,1825	12 月(2 冊)
第 1731,1732	5 月(2 冊)	第 1785	3 月	第 1826	寛延 3 年 1 月
第 1733 ~ 1735	6 月(3 冊)	第 1786	4 月	第 1827,1828	2 月(2 冊)
第 1736,1737	7 月(2 冊)	第 1787,1788	5 月(2 冊)	第 1829,1830	3 月(2 冊)
第 1738,1739	8 月(2 冊)	第 1789	6 月	第 1831,1832	4 月(2 冊)
第 1740,1741	9 月(2 冊)	第 1790	7 月	第 1833	5 月
第 1742,1743	10 月(2 冊)	第 1791	8 月	第 1834	6 月
第 1744,1745	11 月(2 冊)	第 1792	9 月	第 1835	7 月
第 1746 ヌ 747	12 月(2 冊)	第 1793	10 月	第 1836,1837	8 月(2 冊)
第 1748,1749	延享 2 年 1 月(2 冊)	第 1794	11 月	第 1838,1839	9 月(2 冊)
第 1750	2 月	第 1795,1796	12 月(2 冊)	第 1840,1841	10 月(2 冊)
第 1751	3 月	第 1797	延享 5 年 1 月	第 1842,1843	11 月(2 冊)
第 1752	4 月	第 1798	2 月	第 1844,1845	12 月(2 冊)
第 1753,1754	5 月(2 冊)	第 1799	3 月	第 1846	寛延 4 年 1 月
第 1755	6 月	第 1800	4 月	第 1847,1848	2 月(2 冊)
第 1756	7 月	第 1801	5 月	第 1849,1850	3 月(2 冊)
第 1757	8 月	第 1802	6 月	第 1851,1852	4 月(2 冊)
第 1758	9 月	第 1803	7 月	第 1853,1854	5 月(2 冊)

第 1855,1856	6月(2冊)	第 1898	3月	第 1933	8月,9月
第 1857	閏6月	第 1899	4月	第 1934	10月~12月
第 1858	7月	第 1900	5月	第 1935	宝曆8年1月,2月
第 1859	8月	第 1901	6月	第 1936	3月,4月
第 1860	9月	第 1902	7月	第 1937	5月,6月
第 1861	10月	第 1903	8月	第 1938	7月,8月
第 1862	11月	第 1904	9月	第 1939	9月,10月
第 1863,1864	(宝曆元)12月(2冊)	第 1905	10月	第 1940	11月,12月
第 1865	宝曆2年1月	第 1906	11月	第 1941	宝曆9年1月~3月
第 1866,1867	2月(2冊)	第 1907	12月	第 1942	4月~6月
第 1868,1869	3月(2冊)	第 1908	宝曆5年1月	第 1943	7月~9月
第 1870	4月	第 1909	2月	第 1944	10月~12月
第 1871	5月	第 1910	3月	第 1945	宝曆10年1月~3月
第 1872,1873	6月(2冊)	第 1911	4月	第 1946	4月~6月
第 1874	7月	第 1912	5月	第 1947	7月~9月
第 1875,1876	8月(2冊)	第 1913	6月	第 1948	10月~12月
第 1877	9月	第 1914	7月	第 1949	宝曆11年1月,2月
第 1878	10月	第 1915	8月	第 1950	3月,4月
第 1879	11月	第 1916	9月	第 1951	5月,6月
第 1880	12月	第 1917	10月	第 1952	7月,8月
第 1881	宝曆3年1月	第 1918	11月	第 1953	9月,10月
第 1882	2月	第 1919	12月	第 1954	11月
第 1883	3月	第 1920	宝曆6年1月	第 1955	12月
第 1884,1885	4月(2冊)	第 1921	2月	第 1956	宝曆12年1月,2月
第 1886,1887	5月(2冊)	第 1922	3月	第 1957	3月,4月
第 1888	6月	第 1923	4月	第 1958	閏4月
第 1889	7月	第 1924	5月	第 1959	5月,6月
第 1890	8月	第 1925	6月	第 1960	7月,8月
第 1891	9月	第 1926	7月	第 1961	9月,10月
第 1892	10月	第 1927	8月,9月	第 1962	11月,12月
第 1893	11月	第 1928	10月,11月	第 1963	宝曆13年1月
第 1894	12月	第 1929	閏11月,12月	第 1964	2月
第 1895	宝曆4年1月	第 1930	宝曆7年1月,2月	第 1965	3月,4月
第 1896	2月	第 1931	3月~5月	第 1966	5月,6月
第 1897	閏2月	第 1932	6月,7月	第 1967	7月,8月

第 1968	9月,10月	第 2004	9月	第 2039	7月
第 1969	11月,12月	第 2005	10月	第 2040	8月
第 1970	宝暦 14年 1月	第 2006	11月	第 2041	9月
第 1971	2月	第 2007	12月	第 2042	10月
第 1972	3月	第 2008	明和 4年 1月	第 2043	11月
第 1973	4月	第 2009	2月	第 2044	12月
第 1974	5月	第 2010	3月	第 2045	明和 7年 1月
第 1975	(明和元) 6月	第 2011	4月	第 2046	2月
第 1976	7月	第 2012	5月	第 2047	3月
第 1977	8月	第 2013	6月	第 2048	4月
第 1978	9月	第 2014	7月	第 2049	5月
第 1979	10月	第 2015	8月	第 2050	6月
第 1980	11月	第 2016	9月	第 2051	閏 6月
第 1981	12月	第 2017	閏 9月	第 2052	7月
第 1982	閏 12月	第 2018	10月	第 2053	8月
第 1983	明和 2年 1月	第 2019	11月	第 2054	9月
第 1984	2月	第 2020	12月	第 2055	10月
第 1985	3月	第 2021	明和 5年 1月	第 2056	11月
第 1986	4月	第 2022	2月	第 2057	12月
第 1987	5月	第 2023	3月	第 2058	明和 8年 1月
第 1988	6月	第 2024	4月	第 2059	2月
第 1989	7月	第 2025	5月	第 2060	3月
第 1990	8月	第 2026	6月	第 2061	4月
第 1991	9月	第 2027	7月	第 2062	5月
第 1992	10月	第 2028	8月	第 2063	6月
第 1993	11月	第 2029	9月	第 2064	7月
第 1994	12月	第 2030	10月	第 2065	8月
第 1995	明和 3年 1月	第 2031	11月	第 2066	9月
第 1996	2月	第 2032	12月	第 2067	10月
第 1997	3月	第 2033	明和 6年 1月	第 2068	11月
第 1998	4月	第 2034	2月	第 2069	12月
第 1999,2000	5月(2冊)	第 2035	3月	第 2070	明和 9年 1月
第 2001	6月	第 2036	4月	第 2071	2月
第 2002	7月	第 2037	5月	第 2072	3月
第 2003	8月	第 2038	6月	第 2073	4月

第 2074	5月	第 2109	3月	第 2144	安永 7年 1月
第 2075	6月	第 2110	4月	第 2145	2月
第 2076	7月	第 2111	5月	第 2146	3月
第 2077	8月	第 2112	6月	第 2147	4月
第 2078	9月	第 2113	7月	第 2148	5月
第 2079	10月	第 2114	8月	第 2149	6月
第 2080	11月	第 2115	9月	第 2150	7月
第 2081	(安永元) 12月	第 2116	10月	第 2151	閏 7月
第 2082	安永 2年 1月	第 2117	11月	第 2152	8月
第 2083	2月	第 2118	12月	第 2153	9月
第 2084	3月	第 2119	閏 12月	第 2154	10月
第 2085	閏 3月	第 2120	安永 5年 1月	第 2155	11月
第 2086	4月	第 2121	2月	第 2156	12月
第 2087	5月	第 2122	3月	第 2157	安永 8年 1月
第 2088	6月	第 2123	4月	第 2158	2月
第 2089	7月	第 2124	5月	第 2159	3月
第 2090	8月	第 2125	6月	第 2160	4月
第 2091	9月	第 2126	7月	第 2161	5月
第 2092	10月	第 2127	8月	第 2162	6月
第 2093	11月	第 2128	9月	第 2163	7月
第 2094	12月	第 2129	10月	第 2164	8月
第 2095	安永 3年 1月	第 2130	11月	第 2165	9月
第 2096	2月	第 2131	12月	第 2166	10月
第 2097	3月	第 2132	安永 6年 1月	第 2167	11月
第 2098	4月	第 2133	2月	第 2168	12月
第 2099	5月	第 2134	3月	第 2169	安永 9年 1月
第 2100	6月	第 2135	4月	第 2170	2月
第 2101	7月	第 2136	5月	第 2171	3月
第 2102	8月	第 2137	6月	第 2172	4月
第 2103	9月	第 2138	7月	第 2173	5月
第 2104	10月	第 2139	8月	第 2174	6月
第 2105	11月	第 2140	9月	第 2175	7月
第 2106	12月	第 2141	10月	第 2176	8月
第 2107	安永 4年 1月	第 2142	11月	第 2177	9月
第 2108	2月	第 2143	12月	第 2178	10月

第 2179	11 月	第 2214	9 月	第 2250	7 月
第 2180	12 月	第 2215	10 月	第 2251	8 月
第 2181	安永 10 年 1 月	第 2216	11 月	第 2252	9 月
第 2182	2 月	第 2217	12 月	第 2253	10 月
第 2183	3 月	第 2218	天明 4 年 1 月	第 2254	閏 10 月
第 2184	4 月	第 2219	閏 1 月	第 2255	11 月
第 2185	5 月	第 2220	2 月	第 2256	12 月
第 2186	(天明元) 閏 5 月	第 2221	3 月	第 2257	天明 7 年 1 月
第 2187	6 月	第 2222	4 月	第 2258	2 月
第 2188	7 月	第 2223	5 月	第 2259	3 月
第 2189	8 月	第 2224	6 月	第 2260	4 月
第 2190	9 月	第 2225	7 月	第 2261	5 月
第 2191	10 月	第 2226	8 月	第 2262	6 月
第 2192	11 月	第 2227	9 月	第 2263	7 月
第 2193	(天明元) 12 月	第 2228	10 月	第 2264	8 月
第 2194	天明 2 年 1 月	第 2229	11 月	第 2265	9 月
第 2195	2 月	第 2230,2231	12 月(2 冊)	第 2266	10 月
第 2196	3 月	第 2232	天明 5 年 1 月	第 2267	11 月
第 2197	4 月	第 2233	2 月	第 2268	12 月
第 2198	5 月	第 2234	3 月	第 2269	天明 8 年 1 月
第 2199	6 月	第 2235	4 月	第 2270	2 月
第 2200	7 月	第 2236	5 月	第 2271	3 月
第 2201	8 月	第 2237	6 月	第 2272	4 月
第 2202	9 月	第 2238	7 月	第 2273	5 月
第 2203	10 月	第 2239	8 月	第 2274	6 月
第 2204	11 月	第 2240	9 月	第 2275	7 月
第 2205	12 月	第 2241	10 月	第 2276	8 月
第 2206	天明 3 年 1 月	第 2242	11 月	第 2277	9 月
第 2207	2 月	第 2243	12 月	第 2278	10 月
第 2208	3 月	第 2244	天明 6 年 1 月	第 2279	11 月
第 2209	4 月	第 2245	2 月	第 2280	12 月
第 2210	5 月	第 2246	3 月	第 2281	天明 9 年 1 月
第 2211	6 月	第 2247	4 月	第 2282	2 月
第 2212	7 月	第 2248	5 月	第 2283	(寛政元) 3 月
第 2213	8 月	第 2249	6 月	第 2284	4 月

第 2285	5月	第 2321	閏 2月	第 2362,2363	12月(2冊)
第 2286	6月	第 2322	3月	第 2364	寛政 7年 1月
第 2287	閏 6月	第 2323	4月	第 2365	2月
第 2288	7月	第 2324	5月	第 2366,2367	3月(2冊)
第 2289	8月	第 2325,2326	6月(2冊)	第 2368	4月
第 2290	9月	第 2327	7月	第 2369	5月
第 2291	10月	第 2328,2329	8月(2冊)	第 2370	6月
第 2292	11月	第 2330	9月	第 2371	7月
第 2293	12月	第 2331	10月	第 2372	8月
第 2294	寛政 2年 1月	第 2332	11月	第 2373	9月
第 2295	2月	第 2333,2334	12月(2冊)	第 2374	10月
第 2296	3月	第 2335	寛政 5年 1月	第 2375	11月
第 2297	4月	第 2336	2月	第 2376,2377	12月(2冊)
第 2298	5月	第 2337	3月	第 2378	寛政 8年 1月
第 2299	6月	第 2338	4月	第 2379	2月
第 2300	7月	第 2339	5月	第 2380	3月
第 2301	8月	第 2340	6月	第 2381	4月
第 2302	9月	第 2341	7月	第 2382	5月
第 2303	10月	第 2342	8月	第 2383	6月
第 2304	11月	第 2343	9月	第 2384	7月
第 2305,2306	12月(2冊)	第 2344	10月	第 2385	8月
第 2307	寛政 3年 1月	第 2345	11月	第 2386	9月
第 2308	2月	第 2346,2347	12月(2冊)	第 2387	10月
第 2309	3月	第 2348	寛政 6年 1月	第 2388	11月
第 2310	4月	第 2349	2月	第 2389,2390	12月(2冊)
第 2311	5月	第 2350	3月	第 2391	寛政 9年 1月
第 2312	6月	第 2351	4月	第 2392	2月
第 2313	7月	第 2352	5月	第 2393,2394	3月(2冊)
第 2314	8月	第 2353,2354	6月(2冊)	第 2395	4月
第 2315	9月	第 2355	7月	第 2396	5月
第 2316	10月	第 2356	8月	第 2397	6月
第 2317	11月	第 2357,2358	9月(2冊)	第 2398	7月
第 2318	12月	第 2359	10月	第 2399	閏 7月
第 2319	寛政 4年 1月	第 2360	11月	第 2400	8月
第 2320	2月	第 2361	閏 11月	第 2401	9月

第 2402	10 月	第 2440	12 月	第 2475	11 月
第 2403	11 月	第 2441	享和 2 年 1 月	第 2476,2477	12 月(2 冊)
第 2404	12 月	第 2442	2 月	第 2478	文化 2 年 1 月
第 2405	寛政 10 年 1 月	第 2443	3 月	第 2479	2 月
第 2406	2 月	第 2444	4 月	第 2480,2481	3 月(2 冊)
第 2407	3 月	第 2445	5 月	第 2482	4 月
第 2408	4 月	第 2446	6 月	第 2483	5 月
第 2409	5 月	第 2447	7 月	第 2484	6 月
第 2410,2411	6 月(2 冊)	第 2448	8 月	第 2485	7 月
第 2412	8 月	第 2449	9 月	第 2486	8 月
第 2413	9 月	第 2450	10 月	第 2487	閏 8 月
第 2414	10 月	第 2451	11 月	第 2488	9 月
第 2415	11 月	第 2452	12 月	第 2489	10 月
第 2416,2417	12 月(2 冊)	第 2453	享和 3 年 1 月	第 2490	11 月
第 2418	寛政 11 年 2 月	第 2454	閏 1 月	第 2491,2492	12 月(2 冊)
第 2419	寛政 12 年 3 月	第 2155	2 月	第 2493	文化 3 年 1 月
第 2420	4 月	第 2456	3 月	第 2494	2 月
第 2421	閏 4 月	第 2457	4 月	第 2495	3 月
第 2422	7 月	第 2458	5 月	第 2496	4 月
第 2423	8 月	第 2459	6 月	第 2497	5 月
第 2424	9 月	第 2460	7 月	第 2498	6 月
第 2425	10 月	第 2461	8 月	第 2499	7 月
第 2426	11 月	第 2462	9 月	第 2500	8 月
第 2427,2428	12 月(2 冊)	第 2463	10 月	第 2501	9 月
第 2429	寛政 13 年 1 月	第 2464	11 月	第 2502	10 月
第 2430	2 月	第 2465	12 月	第 2503	11 月
第 2431	(享和元) 3 月	第 2466	享和 4 年 2 月	第 2504,2505	12 月(2 冊)
第 2432	4 月	第 2467	(文化元) 3 月	第 2506	文化 4 年 1 月
第 2433	5 月	第 2468	4 月	第 2507	2 月
第 2434	6 月	第 2469	5 月	第 2508	3 月
第 2435	7 月	第 2470	6 月	第 2509	4 月
第 2436	8 月	第 2471	7 月	第 2510	5 月
第 2437	9 月	第 2472	8 月	第 2511	6 月
第 2438	10 月	第 2473	9 月	第 2512	7 月
第 2439	11 月	第 2474	10 月	第 2513	8 月

第 2512	9月	第 2553	7月	第 2593	5月
第 2515	10月	第 2554	8月	第 2594	6月
第 2516,2517	11月(2冊)	第 2555,2556	9月(2冊)	第 2595	7月
第 2518,2519	12月(2冊)	第 2557	10月	第 2596	8月
第 2520	文化5年1月	第 2558	11月	第 2597	9月
第 2521,2522	2月(2冊)	第 2559	12月	第 2598	10月
第 2523	3月	第 2560	文化8年1月	第 2599	11月
第 2524	4月	第 2561	2月	第 2600	閏11月
第 2525	5月	第 2562	閏2月	第 2601,2602	12月(2冊)
第 2526	6月	第 2563,2564	3月(2冊)	第 2603	文化11年1月
第 2527	閏6月	第 2565	4月	第 2604	2月
第 2528	7月	第 2566	5月	第 2605	3月
第 2529	8月	第 2567	6月	第 2606	4月
第 2530	9月	第 2568	7月	第 2607	5月
第 2531	10月	第 2569	8月	第 2608	6月
第 2532	11月	第 2570	9月	第 2609	7月
第 2533	12月	第 2571	10月	第 2610	8月
第 2534	文化6年1月	第 2572	11月	第 2611	9月
第 2535	2月	第 2573,2574	12月(2冊)	第 2612	10月
第 2536	3月	第 2575	文化9年1月	第 2613	11月
第 2537	4月	第 2576	2月	第 2614	12月
第 2538	5月	第 2577	3月	第 2615	文化12年1月
第 2539	6月	第 2578	4月	第 2616	2月
第 2540	7月	第 2579	5月	第 2617	3月
第 2541	8月	第 2580	6月	第 2618	4月
第 2542	9月	第 2581	7月	第 2619	5月
第 2543	10月	第 2582	8月	第 2620	6月
第 2544	11月	第 2583	9月	第 2621	7月
第 2545,2546	12月(2冊)	第 2584	10月	第 2622	8月
第 2547	文化7年1月	第 2585,2586	11月(2冊)	第 1623	9月
第 2548	2月	第 2587,2588	12月(2冊)	第 2624	10月
第 2549	3月	第 2589	文化10年1月	第 2625	11月
第 2550	4月	第 2590	2月	第 2626,2627	12月(2冊)
第 2551	5月	第 2591	3月	第 2628	文化13年1月
第 2552	6月	第 2592	4月	第 2629	2月

第 2630,2631	3 月(2 冊)	第 2669	文政 2 年 1 月	第 2706	11 月
第 2632	4 月	第 2670	2 月	第 2707,2708	12 月(2 冊)
第 2633	5 月	第 2671	3 月	第 2709	文政 5 年 1 月
第 2634,2635	6 月(2 冊)	第 2672	4 月	第 2710	閏 1 月
第 2636	7 月	第 2673	閏 4 月	第 2711	2 月
第 2637	8 月	第 2674	5 月	第 2712	3 月
第 2638	閏 8 月	第 2675	6 月	第 2713	4 月
第 2639	9 月	第 2676	7 月	第 2714	5 月
第 2640	10 月	第 2677	8 月	第 2715	6 月
第 2641	11 月	第 2678	9 月	第 2716	7 月
第 2642	12 月	第 2679	10 月	第 2717	8 月
第 2643	文化 14 年 1 月	第 2680	11 月	第 2718	9 月
第 2644	2 月	第 2681,2682	12 月(2 冊)	第 2719	10 月
第 2645,2646	3 月(2 冊)	第 2683	文政 3 年 1 月	第 2720	11 月
第 2647	4 月	第 2684	2 月	第 2721	12 月
第 2648	5 月	第 2685	3 月	第 2722	文政 6 年 1 月
第 2649	6 月	第 2686	4 月	第 2723	2 月
第 2650	7 月	第 2687	5 月	第 2724	3 月
第 2651	8 月	第 2688	6 月	第 2725	4 月
第 2652	9 月	第 2689	7 月	第 2726	5 月
第 2653	10 月	第 2690	8 月	第 2727	6 月
第 2654	11 月	第 2691	9 月	第 2728	7 月
第 2655,2656	12 月(2 冊)	第 2692	10 月	第 2729	8 月
第 2657	文化 15 年 1 月	第 2693	11 月	第 2730	9 月
第 2658	2 月	第 2694,2695	12 月(2 冊)	第 2731	10 月
第 2659	3 月	第 2696	文政 4 年 1 月	第 2732	11 月
第 2660	4 月	第 2697	2 月	第 2733	12 月
第 2661	5 月	第 2698	3 月	第 2734	文政 7 年 1 月
第 2662	(文政元) 6 月	第 2699	4 月	第 2735	2 月
第 2663	7 月	第 2700	5 月	第 2736	3 月
第 2664	8 月	第 2701	6 月	第 2737	4 月
第 2665	9 月	第 2702	7 月	第 2738	5 月
第 2666	10 月	第 2703	8 月	第 2739	6 月
第 2667	11 月	第 2704	9 月	第 2740	7 月
第 2668	12 月	第 2705	10 月	第 2741	8 月

第 2742	閏 8 月	第 2780	閏 6 月	第 2818	4 月
第 2743	9 月	第 2781	7 月	第 2819,2820	5 月(2 冊)
第 2744	10 月	第 2782	8 月	第 2821	6 月
第 2745	11 月	第 2783	9 月	第 2822,2823	7 月(2 冊)
第 2746,2747	12 月(2 冊)	第 2784	10 月	第 2824,2825	8 月(2 冊)
第 2748	文政 8 年 1 月	第 2785	11 月	第 2826,2827	9 月(2 冊)
第 2749	2 月	第 2786,2787	12 月(2 冊)	第 2828	10 月
第 2750	3 月	第 2788	文政 11 年 1 月	第 2829	11 月
第 2751	4 月	第 2789	2 月	第 2830,2831	(天保元) 12 月(2 冊)
第 2752	5 月	第 2790	3 月	第 2832	天保 2 年 1 月
第 2753	6 月	第 2791	4 月	第 2833	2 月
第 2754	7 月	第 2792	5 月	第 2834	3 月
第 2755	8 月	第 2793	6 月	第 2835	4 月
第 2756	9 月	第 2794	7 月	第 2836	5 月
第 2757	10 月	第 2795	8 月	第 2837	6 月
第 2758	11 月	第 2796	9 月	第 2838	7 月
第 2759,2760	12 月(2 冊)	第 2797	10 月	第 2839	8 月
第 2761	文政 9 年 1 月	第 2798	11 月	第 2840	9 月
第 2762	2 月	第 2799,2800	12 月(2 冊)	第 2841	10 月
第 2763	3 月	第 2801	文政 12 年 1 月	第 2842	11 月
第 2764	4 月	第 2802	2 月	第 2844,2844	12 月(2 冊)
第 2765	5 月	第 2803	3 月	第 2845	天保 3 年 1 月
第 2766	6 月	第 2804	4 月	第 2846	2 月
第 2767	7 月	第 2805	5 月	第 2847	3 月
第 2768	8 月	第 2806	6 月	第 2848	4 月
第 2769	9 月	第 2807	7 月	第 2849	5 月
第 2770	10 月	第 2808	8 月	第 2850	6 月
第 2771	11 月	第 2809	9 月	第 2851	7 月
第 2772,2773	12 月(2 冊)	第 2810	10 月	第 2852	8 月
第 2774	文政 10 年 1 月	第 2811	11 月	第 2853	9 月
第 2775	2 月	第 2812,2813	12 月(2 冊)	第 2854	10 月
第 2776	3 月	第 2814	文政 13 年 1 月	第 2855	11 月
第 2777	4 月	第 2815	2 月	第 2856	閏 11 月
第 2778	5 月	第 2816	3 月	第 2857,2858	12 月(2 冊)
第 2779	6 月	第 2817	閏 3 月	第 2859	天保 4 年 1 月

第 2860	2 月	第 2911,2912	12 月(2 冊)	第 2969,2970	10 月(2 冊)
第 2861	3 月	第 2913	天保 7 年 1 月	第 2971	11 月
第 2862	4 月	第 2914,2915	2 月(2 冊)	第 2972,2973	12 月(2 冊)
第 2863	5 月	第 2916	3 月	第 2974	天保 10 年 1 月
第 2864	6 月	第 2917	4 月	第 2975	2 月
第 2865	7 月	第 2918,2919	5 月(2 冊)	第 2976	3 月
第 2866	8 月	第 2920	6 月	第 2977	4 月
第 2867,2868	9 月(2 冊)	第 2921	7 月	第 2978	5 月
第 2869,2870	10 月(2 冊)	第 2922	8 月	第 2979	6 月
第 2871 ~ 2873	11 月(3 冊)	第 2923,2924	9 月(2 冊)	第 2980	7 月
第 2874 ~ 2876	12 月(3 冊)	第 2925	10 月	第 2981,2982	8 月(2 冊)
第 2877	天保 5 年 1 月	第 2926	11 月	第 2983	9 月
第 2878,2879	2 月(2 冊)	第 2927,2928	12 月(2 冊)	第 2984	10 月
第 2880,2881	3 月(2 冊)	第 2929	天保 8 年 1 月	第 2985	11 月
第 2882,2883	4 月(2 冊)	第 2930,2931	2 月(2 冊)	第 2986,2987	12 月(2 冊)
第 2884	5 月	第 2932,2933	3 月(2 冊)	第 2988	天保 11 年 1 月
第 2885	6 月	第 2934 ~ 2936	4 月(3 冊)	第 2989	2 月
第 2886	7 月	第 2937 ~ 2939	5 月(3 冊)	第 2990	3 月
第 2887,2888	8 月(2 冊)	第 2940 ~ 2942	6 月(3 冊)	第 2991	4 月
第 2889	9 月	第 2943,2944	7 月(2 冊)	第 2992	5 月
第 2890,2891	10 月(2 冊)	第 2945 ~ 2947	8 月(3 冊)	第 2993	6 月
第 2892	11 月	第 2948 ~ 2950	9 月(3 冊)	第 2994	7 月
第 2893,2894	12 月(2 冊)	第 2951 ~ 2953	10 月(3 冊)	第 2995	8 月
第 2895	天保 6 年 1 月	第 2954,2955	11 月(2 冊)	第 2996	9 月
第 2896	2 月	第 2956,2957	12 月(2 冊)	第 2997	10 月
第 2897	3 月	第 2958	天保 9 年 1 月	第 2998	11 月
第 2898	4 月	第 2959	2 月	第 2999	12 月
第 2899	5 月	第 2960	3 月	第 3000	天保 12 年 1 月
第 2900,2901	6 月(2 冊)	第 2961,2962	4 月(2 冊)	第 3001	閏 1 月
第 2902	7 月	第 2963	閏 4 月	第 3002	2 月
第 2903	閏 7 月	第 2964	5 月	第 3003	3 月
第 2904,2905	8 月(2 冊)	第 2965	6 月	第 3004,3005	4 月(2 冊)
第 2906,2907	9 月(2 冊)	第 2966	7 月	第 3006	5 月
第 2908,2909	10 月(2 冊)	第 2967	8 月	第 3007	6 月
第 2910	11 月	第 2968	9 月	第 3008	7 月

第 3009	8月	第 3044	6月	第 3079	4月
第 3010	9月	第 3045	7月	第 3080	5月
第 3011	10月	第 3046	8月	第 3081	6月
第 3012	11月	第 3047	9月	第 3082	7月
第 3013	12月	第 3048	10月	第 3083	8月
第 3014	天保 13 年 1 月	第 3049	11月	第 3084	9月
第 3015	2月	第 3050	(弘化元) 12月	第 3085	10月
第 3016	3月	第 3051	弘化 2 年 1 月	第 3086	11月
第 3017	4月	第 3052	2月	第 3087	12月
第 3018	5月	第 3053	3月	第 3088	弘化 5 年 1 月
第 3019	6月	第 3054	4月	第 3089	2月
第 3020	7月	第 3055	5月	第 3090	3月
第 3021	8月	第 3056	6月	第 3091	(嘉永元) 4 月
第 3022	9月	第 3057	7月	第 3092	5月
第 3023	10月	第 3058	8月	第 3093	6月
第 3024	11月	第 3059	9月	第 3094	7月
第 3025	12月	第 3060	10月	第 3095	8月
第 3026	天保 14 年 1 月	第 3061	11月	第 3096	9月
第 3027	2月	第 3062	12月	第 3097	10月
第 3028	3月	第 3063	弘化 3 年 1 月	第 3098	11月
第 3029	4月	第 3064	2月	第 3099	12月
第 3030	5月	第 3065	3月	第 3100	嘉永 2 年 1 月
第 3031	6月	第 3066	4月	第 3101	2月
第 3032	7月	第 3067	5月	第 3102	3月
第 3033	8月	第 3068	閏 5 月	第 3103	4月
第 3034	9月	第 3069	6月	第 3104	閏 4 月
第 3035	閏 9 月	第 3070	7月	第 3105	5月
第 3036	10月	第 3071	8月	第 3106	6月
第 3037	11月	第 3072	9月	第 3107	7月
第 3038	12月	第 3073	10月	第 3108	8月
第 3039	天保 15 年 1 月	第 3074	11月	第 3109	9月
第 3040	2月	第 3075	12月	第 3110	10月
第 3041	3月	第 3076	弘化 4 年 1 月	第 3111	11月
第 3042	4月	第 3077	2月	第 3112	12月
第 3043	5月	第 3078	3月	第 3113	嘉永 3 年 1 月

第 3114	2月	第 3149	2月	第 3185	12月
第 3115	3月	第 3150	3月	第 3186	安政3年1月
第 3116	4月	第 3151	4月	第 3187	2月
第 3117	5月	第 3152	5月	第 3188	3月
第 3118	6月	第 3153	6月	第 3189	4月
第 3119	7月	第 3154	7月	第 3190	5月
第 3120	8月	第 3155	8月	第 3191	6月
第 3121	9月	第 3156	9月	第 3192	7月
第 3122	10月	第 3157	10月	第 3193	8月
第 3123	11月	第 3158	11月	第 3194	9月
第 3124	12月	第 3159,3160	12月(2冊)	第 3195	10月
第 3125	嘉永4年1月	第 3161	嘉永7年1月	第 3196	11月
第 3126	2月	第 3162	2月	第 3197,3198	12月(2冊)
第 3127	3月	第 3163	3月	第 3199	安政4年1月
第 3128	4月	第 3164	4月	第 3200	2月
第 3129	5月	第 3165	5月	第 3201	3月
第 3130	6月	第 3166	6月	第 3202	4月
第 3131	7月	第 3167	7月	第 3203	5月
第 3132	8月	第 3168	閏7月	第 3204	閏5月
第 3133	9月	第 3169	8月	第 3205	6月
第 3134	10月	第 3170	9月	第 3206	7月
第 3135	11月	第 3171	10月	第 3207	8月
第 3136	12月	第 3172	11月	第 3208	9月
第 3137	嘉永5年1月	第 3173	(安政元)12月	第 3209	10月
第 3138	閏2月	第 3174	安政2年1月	第 3210	11月
第 3139	3月	第 3175	2月	第 3211	12月
第 3140	5月	第 3176	3月	第 3212	安政5年1月
第 3141	6月	第 3177	4月	第 3213	2月
第 3142	7月	第 3178	5月	第 3214	3月
第 3143	8月	第 3179	6月	第 3215	4月
第 3144	9月	第 3180	7月	第 3216	5月
第 3145	10月	第 3181	8月	第 3217	6月
第 3146	11月	第 3182	9月	第 3218	7月
第 3147	12月	第 3183	10月	第 3219	8月
第 3148	嘉永6年1月	第 3184	11月	第 3220	9月

第23	延宝6年1月～5月20日	第58	7月～9月	第93	10月
第24	5月21日～12月	第59	10月～12月	第94	11月
第25	延宝7年1月～4月	第60	貞享5年1月～3月	第95	12月
第26	5月～8月	第61	4月～6月	第96	元禄7年1月
第27	9月～12月	第62	7月,8月	第97	2月
第28	延宝8年1月～4月	第63	9月,10月	第98	3月
第29	5月～7月	第64	(元禄元) 11月,12月	第99	4月
第30	8月	第65	元禄2年1月,閏1月	第100	5月
第31	閏8月	第66	2月,3月	第101	閏5月
第32	9月～12月	第67	4月,5月	第102	6月～8月
第33	延宝9年1月～5月	第68	6月,7月	第103	9月
第34	6月～8月	第69	8月～10月	第104	10月,11月
第35	(天和元) 9月～12月	第70	11月,12月	第105	12月
第36	天和2年1月～3月	第71	元禄3年1月,2月	第106	元禄8年1月
第37	4月～7月	第72	3月,4月	第107	2月
第38	8月～12月	第73	5月,6月	第108	3月
第39	天和3年1月～4月	第74	7月,8月	第109	4月
第40	5月,閏5月,6月	第75	9月～12月	第110	5月
第41	7月,8月	第76	元禄4年1月～3月	第111	6月
第42	9月,10月	第77	4月～6月	第112	7月
第43	11月,12月	第78	7月～閏8月	第113	8月
第44	天和4年1月,2月	第79	9月～11月	第114	9月
第45	(貞享元) 3月	第80	12月	第115	10月
第46	4月～8月	第81	元禄5年1月～3月	第116	11月
第47	9月～12月	第82	4月,5月	第117	12月
第48	貞享2年1月～5月	第83	6月	第118	元禄9年1月
第49	6月,7月	第84	7月	第119	2月
第50	8月～10月	第85	8月～10月	第120	3月
第51	11月,12月	第86	11月,12月	第121	4月
第52	貞享3年1月～3月	第87	元禄6年1月～3月	第122	5月
第53	閏3月～5月	第88	4月,5月	第123	6月,7月
第54	6月～8月	第89	6月	第124	8月
第55	9月～12月	第90	7月	第125	9月
第56	貞享4年1月～4月	第91	8月	第126	10月
第57	5月,6月	第92	9月	第127	11月

第 128	12月	第 163	12月	鶺鴒 198	11月
第 129	元禄 10年 1月	第 164	元禄 13年 1月	第 199	12月
第 130	2月, 閏2月, 3月	第 165	2月	第 200	元禄 16年 1月
第 131	4月	第 166	3月	第 201	2月
第 132	5月	第 167	4月	第 202	3月
第 133	6月	第 168	5月	第 203	4月
第 134	7月	第 169	6月	第 204	5月
第 135	8月	第 170	7月	第 205	6月
第 136	9月	第 171	8月	第 206	7月
第 137	10月	第 172	9月	第 207	8月
第 138	11月	第 173	10月	第 208	9月
第 139	12月	第 174	12月	第 209	10月
第 140	元禄 11年 1月	第 175	元禄 14年 1月	第 210	11月
第 141	2月	第 176	2月	第 211	12月
第 142	3月	第 177	3月	第 212	元禄 17年 1月
第 143	4月	第 178	4月	第 213	2月
第 144	5月	第 179	5月	第 214	3月
第 145	6月	第 180	6月	第 215	(宝永元) 4月
第 146	7月	第 181	7月	第 216	6月
第 147	8月	第 182	8月	第 217	7月
第 148	9月	第 183	9月	第 218	8月
第 149	10月	第 184	10月	第 219	9月
第 150	11月	第 185	11月	第 220	10月
第 151	12月	第 186	12月	第 221	11月
第 152	元禄 12年 1月	第 187	元禄 15年 1月	第 222	12月
第 153	2月	第 188	2月	第 223	宝永 2年 1月
第 154	3月	第 189	3月	第 224	2月
第 155	4月	第 190	4月	第 225	3月
第 156	5月	第 191	5月	第 226	閏4月
第 157	7月	第 192	6月	第 227	5月
第 158	8月	第 193	7月	第 228	6月
第 159	9月	第 194	8月	第 229	7月
第 160	閏9月	第 195	閏8月	第 230	8月
第 161	10月	第 196	9月	第 231	9月
第 162	11月	第 197	10月	第 232	10月

第 233	11月	第 268	11月	第 314	9月
第 234	宝永3年2月	第 269	12月	第 315	10月
第 235	3月	第 270	宝永6年1月	第 316	11月
第 236	4月	第 271	2月	第 317	12月
第 237	5月	第 272	3月	第 318	正徳2年1月
第 238	6月	第 273	4月	第 319	2月
第 239	7月	第 274	5月	第 320	3月
第 240	8月	第 275	6月	第 321	4月
第 241	9月	第 276	7月	第 322	5月
第 242	10月	第 277	8月	第 323	6月
第 243	11月	第 278	9月	第 324	7月
第 244	12月	第 279	10月	第 325	8月
第 245	宝永4年1月	第 280	11月	第 326	9月
第 246	2月	第 281	12月	第 327	10月
第 247	3月	第 282	宝永7年1月	第 328	11月
第 248	4月	第 283	2月	第 329	12月
第 249	5月	第 284	3月	第 330	正徳3年1月
第 250	6月	第 285	4月	第 331	2月
第 251	7月	第 286,287	5月(2冊)	第 332	3月
第 252	8月	第 288,289	6月(2冊)	第 333	4月
第 253	9月	第 290,291	7月(2冊)	第 334	5月
第 254	10月	第 292	8月	第 335	閏5月
第 255	11月	第 293	閏8月	第 336	6月
第 256	12月	第 294	9月	第 337	7月
第 257	宝永5年1月	第 295	10月	第 338	8月
第 258	閏1月	第 296,297	11月(2冊)	第 339	9月
第 259	2月	第 298,299	12月(2冊)	第 340	10月
第 260	3月	第 300,301	宝永8年1月(2冊)	第 341	11月
第 261	4月	第 302,303	2月(2冊)	第 342	12月
第 262	5月	第 304,305	3月(2冊)	第 343	正徳4年1月
第 263	6月	第 306,307	4月(2冊)	第 344	2月
第 264	7月	第 308,309	(正徳元)5月(2冊)	第 345	3月
第 265	8月	第 310,311	6月(2冊)	第 346	4月
第 266	9月	第 312	7月	第 347	5月
第 267	10月	第 313	8月	第 348	6月

第 349	7月	第 385	6月	第 419	5月
第 350	8月	第 385A	7月4日～29日 (御用留書)	第 420	6月
第 351	9月	第 386	9月	第 421	7月
第 352	10月	第 387	10月	第 422	8月
第 353	11月	第 388	11月	第 423	9月
第 354	12月	第 389	12月	第 424	10月
第 355	正徳5年1月	第 390	享保3年1月	第 425	11月
第 356	2月	第 391	2月	第 426	12月
第 357	3月	第 392	3月	第 427	享保6年1月
第 358	4月	第 393	4月	第 428	2月
第 359	5月	第 394	5月	第 429	3月
第 360	6月	第 395	6月	第 430,431	4月(2冊)
第 361,362	7月(2冊)	第 396	7月	第 432	5月
第 363	8月	第 397	8月	第 433	6月
第 364	9月	第 398	9月	第 434	7月
第 365	10月	第 399	10月	第 435	閏7月
第 366	11月	第 400	閏10月	第 436	8月
第 367	12月	第 401	11月	第 437	9月
第 368	正徳6年1月	第 402	12月	第 438	10月
第 369	2月	第 403	享保4年1月	第 439	11月
第 370	閏2月	第 404	2月	第 440	12月
第 371	3月	第 405	3月	第 441	享保7年1月
第 372	4月	第 406	4月	第 442	2月
第 373	5月	第 407	5月	第 443	3月
第 374	6月	第 408	6月	第 444	4月
第 375	(享保元)7月	第 409	7月	第 445	5月
第 376	8月	第 410	8月	第 446	6月
第 377	9月	第 411	9月	第 447	7月
第 378	10月	第 412	10月	第 448	8月
第 379	11月	第 413	11月	第 449	9月
第 380	12月	第 414	12月	第 450	10月
第 381	享保2年2月	第 415	享保5年1月	第 451	11月
第 382	3月	第 416	2月	第 452	12月
第 383	4月	第 417	3月	第 453	享保8年1月
第 384	5月	第 418	4月	第 454	2月

第 455	3月	第 490	享保 11 年 1 月	第 525	11 月
第 456	4月	第 491	2月	第 526	12 月
第 457	5月	第 492	3月	第 527	享保 14 年 1 月
第 458	6月	第 493	4月	第 528	2月
第 459	7月	第 494	5月	第 529	3月
第 460	8月	第 495	6月	第 530	4月
第 461	9月	第 496	7月	第 531	5月
第 462	10月	第 497	8月	第 532	6月
第 463	11月	第 498	9月	第 533	7月
第 464	12月	第 499	10月	第 534	8月
第 465	享保 9 年 1 月	第 500	11月	第 535,536	9月(2 冊)
第 466	2月	第 501	12月	第 537	閏 9 月
第 467	3月	第 502	享保 12 年 1 月	第 538	10月
第 468	4月	第 503	閏 1 月	第 539	12月
第 469	閏 4 月	第 504	2月	第 540,541	享保 15 年 1 月(2 冊)
第 470	5月	第 505	3月	第 542	2月
第 471	6月	第 506	4月	第 543	3月
第 472	7月	第 507	5月	第 544	4月
第 473	8月	第 508	6月	第 545	5月
第 474	9月	第 509	7月	第 546	6月
第 475	10月	第 510	8月	第 547	7月
第 476	11月	第 511	9月	第 548,549	8月(2 冊)
第 477	12月	第 512	10月	第 550	9月
第 478	享保 10 年 1 月	第 513	11月	第 551,552	10月(2 冊)
第 479	2月	第 514	12月	第 553	11月
第 480	3月	第 515	享保 13 年 1 月	第 554	12月 1 日～ 17 日
第 481	4月	第 516	2月	第 555	享保 16 年 1 月
第 482	5月	第 517	3月	第 556	2月
第 483	6月	第 518	4月	第 557	3月
第 484	7月	第 519	5月	第 558	4月
第 485	8月	第 520	6月	第 559,560	5月(2 冊)
第 486	9月	第 521	7月	第 561	6月
第 487	10月	第 522	8月	第 562	7月
第 488	11月	第 523	9月	第 563	8月
第 489	12月	第 524	10月	第 564	9月

第 565	10月	第 603	8月	第 644,645	6月(2冊)
第 566	11月	第 604	9月	第 645A	7月
第 567,568	12月(2冊)	第 605	10月	第 646	8月
第 569	享保 17年 1月	第 606	11月	第 647	9月
第 570	2月	第 607	12月	第 648	10月
第 571	3月	第 608	享保 20年 1月	第 649	11月
第 572	4月	第 609	2月	第 650	閏 11月
第 573,574	5月(2冊)	第 610	3月	第 651,652	12月(2冊)
第 575	閏 5月	第 611	閏 3月	第 653,654	元文 3年 1月(2冊)
第 576	6月	第 612	4月	第 655	2月
第 577	7月	第 613	5月	第 656	3月
第 578	8月	第 614	6月	第 657	4月
第 579	9月	第 615	7月	第 658	5月
第 580	10月	第 616	8月	第 659	6月
第 581	11月	第 617	9月	第 660	7月
第 582,583	12月(2冊)	第 618	10月	第 661	8月
第 584	享保 18年 1月	第 619	11月	第 662	9月
第 585	2月	第 620	12月	第 663	10月
第 586	3月	第 621	享保 21年 1月	第 664	11月
第 587	4月	第 622	2月	第 665,666	12月(2冊)
第 588	5月	第 623	3月	第 667	元文 4年 1月
第 589	6月	第 624,625	4月(2冊)	第 668	2月
第 590	7月	第 626	5月 1日～ 15日	第 669	3月
第 591	8月	第 627	(元文元) 5月 16日～ 30日	第 670,671	4月(2冊)
第 592	9月	第 628,629	6月(2冊)	第 672,673	5月(2冊)
第 593	10月	第 630	7月	第 674	6月
第 594	11月	第 631	8月	第 675	7月
第 595	12月	第 632	9月	第 676,677	8月(2冊)
第 596	享保 19年 1月	第 633	10月	第 678,679	9月(2冊)
第 597	2月	第 634,635	11月(2冊)	第 680	10月
第 598	3月	第 636,637	12月(2冊)	第 681	11月
第 599	4月	第 638	元文 2年 1月	第 682,683	12月(2冊)
第 600	5月	第 639	2月	第 684,685	元文 5年 1月(2冊)
第 601	6月	第 640,641	4月(2冊)	第 686,687	2月(2冊)
第 602	7月	第 642,643	5月(2冊)	第 688,689	3月(2冊)

第 690,691	4月(2冊)	第 730	3月	第 766	延享3年1月
第 692,693	5月(2冊)	第 731	4月	第 767	2月
第 694,695	6月(2冊)	第 732,733	閏4月(2冊)	第 768	3月
第 696	7月	第 734	5月	第 769	4月
第 697	閏7月	第 734A	6月	第 770	5月
第 698	8月	第 735	7月	第 771	7月
第 699	9月	第 736	8月	第 772	8月
第 700	10月	第 737	9月	第 773	9月
第 701	11月	第 738	10月	第 774	10月
第 702	元文6年1月	第 739	11月	第 775	11月
第 703	2月	第 740	12月	第 776	12月
第 704	(寛保元)3月	第 741	寛保4年1月	第 777	延享4年1月
第 705,706	4月(2冊)	第 742	2月	第 778	2月
第 707	5月	第 743	(延享元)3月	第 779	3月
第 708	6月	第 744	4月	第 780	4月
第 709	7月	第 745	5月	第 781	5月
第 710	8月	第 746	6月	第 782	6月
第 711	9月	第 747	7月	第 783	7月
第 712	10月	第 748,749	8月(2冊)	第 784	8月
第 712A	11月(御用留書)(用人)	第 750	10月	第 785	9月
第 713	12月	第 751	11月	第 786	10月
第 714	寛保2年1月	第 752	12月	第 787	11月
第 715	2月	第 753	延享2年1月	第 788	12月
第 716	3月	第 754	2月	第 789	延享5年1月
第 717,718	4月(2冊)	第 755	3月	第 790	2月
第 719	5月	第 756	4月	第 791	3月
第 720	6月	第 757	5月	第 792	4月
第 721	7月	第 758	6月	第 793	5月
第 722	8月	第 759	7月	第 794	6月
第 723	9月	第 760	8月	第 795	7月
第 724	10月	第 761	9月	第 796	(寛延元)8月
第 725	11月	第 762	10月	第 797	9月
第 726,727	12月(2冊)	第 763	11月	第 798	10月
第 728	寛保3年1月	第 764	12月	第 799	閏10月
第 729	2月	第 765	閏12月	第 800	11月

第 801	12 月	第 836	宝暦 10 年 1 月～ 12 月	第 871	安永 5 年 1 月～ 4 月
第 802	寛延 2 年 1 月	第 837	宝暦 12 年 1 月～ 6 月	第 872	5 月～ 8 月
第 803	2 月	第 838	7 月～ 12 月	第 873	9 月～ 12 月
第 804	3 月	第 839	宝暦 13 年 1 月～ 6 月	第 874	安永 6 年 1 月～ 4 月
第 805	4 月	第 840	7 月～ 12 月	第 875	5 月～ 8 月
第 806	5 月	第 841	宝暦 14 年 1 月～ 6 月	第 876	9 月～ 12 月
第 807	6 月	第 842	(明和元) 7 月～ 閏 12 月	第 877	安永 7 年 1 月～ 3 月
第 808	7 月	第 843	明和 2 年 1 月～ 6 月	第 878	4 月～ 7 月
第 809	8 月	第 844	7 月～ 12 月	第 879	閏 7 月～ 12 月
第 810	9 月	第 845	明和 3 年 1 月～ 6 月	第 880	安永 8 年 1 月～ 5 月
第 811	10 月	第 846	7 月～ 12 月	第 881	6 月～ 8 月
第 812	11 月	第 847	明和 4 年 1 月～ 7 月	第 882	9 月～ 12 月
第 813	12 月	第 848	8 月～ 12 月	第 883	安永 9 年 1 月～ 4 月
第 814	寛延 3 年 1 月	第 849	明和 5 年 1 月～ 4 月	第 884	5 月～ 8 月
第 815	2 月	第 850	5 月～ 10 月	第 885	(天明元) 閏 5 月～ 8 月
第 816	3 月	第 851	明和 6 年 1 月～ 4 月	第 886	9 月～ 12 月
第 817	4 月	第 852	5 月～ 8 月	第 887	天明 2 年 1 月～ 4 月
第 818	5 月	第 853	9 月～ 12 月	第 888	5 月～ 8 月
第 819	6 月	第 854	明和 7 年 1 月～ 4 月	第 889	9 月～ 12 月
第 820	7 月	第 855	5 月～ 8 月	第 890	天明 3 年 1 月～ 5 月
第 821	10 月 (9 月は K215-74 にあり)	第 856	9 月～ 12 月	第 891	6 月～ 9 月
第 822	11 月	第 857	明和 8 年 1 月～ 4 月	第 892	10 月～ 12 月
第 823	寛延 4 年 1 月	第 858	5 月～ 8 月	第 893	天明 4 年 1 月～ 3 月
第 824	2 月	第 859	9 月～ 12 月	第 894	4 月～ 7 月
第 825	3 月	第 860	明和 9 年 1 月～ 4 月	第 895	8 月～ 12 月
第 826	4 月	第 861	5 月～ 8 月	第 896	天明 5 年 1 月～ 5 月
第 827	5 月	第 862	(安永元) 9 月～ 12 月	第 897	6 月～ 9 月
第 828	6 月	第 863	安永 2 年 1 月～ 4 月	第 898	10 月～ 12 月
第 829	閏 6 月	第 864	5 月～ 8 月	第 899	天明 6 年 1 月～ 3 月
第 830	7 月	第 865	9 月～ 12 月	第 900	4 月～ 6 月
第 831	8 月	第 866	安永 3 年 1 月～ 4 月	第 901	7 月～ 9 月
第 832	9 月	第 867	5 月～ 8 月	第 902	10 月～ 12 月
第 833	10 月	第 868	9 月～ 12 月	第 903	天明 7 年 1 月～ 3 月
第 834	11 月	第 869	安永 4 年 1 月～ 5 月	第 904	4 月～ 6 月
第 835	(宝暦元) 12 月	第 870	10 月～ 閏 12 月	第 905	7 月～ 9 月

第 906	10月～12月	第 941	4月	第 975	文化元年1月,2月
第 907	天明8年1月～3月	第 942	5月(御用留)	第 976	3月,4月
第 908	4月～7月	第 943	6月～8月	第 977	5月,6月
第 909	天明9年1月～4月	第 944	9月,10月	第 978	7月,8月
第 910	(寛政元)5月～閏6月	第 945	11月,12月	第 979	9月,10月
第 911	7月～9月	第 946	寛政11年1月,2月	第 980	11月,12月
第 912	10月～12月	第 947	3月,4月	第 981	文化2年1月,2月
第 913	寛政2年1月～3月	第 948	5月,6月	第 982	3月,4月
第 914	4月～6月	第 949	7月,8月	第 983	5月,6月
第 915	7月～9月	第 950	9月,10月	第 984	7月～閏8月
第 916	10月～12月	第 951	11月,12月	第 985	9月,10月
第 917	寛政3年1月～5月	第 952	寛政12年1月,2月	第 986	11月,12月
第 918	6月～9月	第 953	3月～閏4月	第 987	文化3年1月,2月
第 919	10月～12月	第 954	5月,6月	第 988	3月
第 920	寛政4年1月～閏2月	第 955	7月,8月	第 989	4月
第 921	3月,4月	第 956	9月,10月	第 990	5月,6月
第 922	5月～8月	第 957	11月,12月	第 991	7月,8月
第 923	9月～12月	第 958	寛政13年1月,2月	第 992	9月,10月
第 924	寛政5年8月～10月	第 959	(享和元)3月,4月	第 993	11月,12月
第 925	11月,12月	第 960	5月,6月	第 994	文化4年1月,2月
第 926	寛政6年1月～3月	第 961	7月,8月	第 995	3月,4月
第 927	7月～10月	第 962	9月,10月	第 996	5月,6月
第 928	11月,閏11月,12月	第 962A	11月,12月(御用留書)(用人)	第 997	7月,8月
第 929	寛政7年1月～4月	第 963	享和2年1月,2月	第 998	9月,10月
第 930	5月～9月	第 964	3月,4月	第 999	11月,12月
第 931	10月～12月	第 965	5月,6月	第 999A	文化5年1月,2月(御用留書)(用人)
第 932	寛政8年1月～3月	第 966	7月,8月	第 1000	3月,4月
第 933	4月,5月	第 967	9月,10月	第 1001	5月～閏6月
第 934	6月～9月	第 968	11月,12月	第 1002	7月,8月
第 935	寛政9年1月～3月	第 969	享和3年1月,閏1月,2月	第 1003	9月,10月
第 936	4月～6月	第 970	3月,4月	第 1004	11月
第 937	7月～9月	第 971	5月,6月	第 1005	12月
第 938	10月～12月	第 972	7月,8月	第 1006	文化6年1月,2月
第 939	寛政10年1月,2月	第 973	9月,10月	第 1007	5月,6月
第 940	3月	第 974	11月,12月	第 1008	7月,8月

第 1009	9月,10月	第 1044	4月～7月	第 1079	6月～9月
第 1010	11月,12月	第 1045	8月～10月	第 1080	10月～12月
第 1011	文化7年1月,2月	第 1046	(天保元)11月,12月	第 1081	天保10年1月～4月
第 1012	3月,4月	第 1047	天保2年1月,2月	第 1082	5月～7月
第 1013	5月,6月	第 1048	3月,4月	第 1083	8月～12月
第 1014	7月,8月	第 1049	5月～7月	第 1084	天保11年1月～5月
第 1015	9月,10月	第 1050	8月～10月	第 1085	6月～9月
第 1016	11月,12月	第 1051	11月,12月	第 1086	10月～12月
第 1017	文化8年3月,4月	第 1052	天保3年1月～3月	第 1087	天保12年1月～3月
第 1018	5月,6月	第 1053	4月～6月	第 1088	4月～7月
第 1019	7月,8月	第 1054	7月～9月	第 1089	8月～12月
第 1020	9月,10月	第 1055	10月～12月	第 1090	天保13年1月～3月
第 1021	11月,12月	第 1056	天保4年1月～3月	第 1091	4月,5月
第 1022	文化9年1月～3月	第 1057	4月～6月	第 1092	6月,7月
第 1023	4月～6月	第 1058	7月,8月	第 1093	8月,9月
第 1024	7月～9月	第 1059	9月,10月	第 1094	10月～12月
第 1025	10月～12月	第 1060	11月,12月	第 1095	天保14年1月,2月
第 1026	文化10年1月～3月	第 1061	天保5年1月～3月	第 1096	3月
第 1027	4月～6月	第 1062	4月～6月	第 1097	4月
第 1028	7月～9月	第 1063	7月～9月	第 1098	5月～7月
第 1029	10月～12月(閏11月欠)	第 1064	10月～12月	第 1099	8月～閏9月
第 1030	文化11年1月～3月	第 1065	天保6年1月～3月	第 1100	10月～12月
第 1031	4月～6月	第 1066	4月～6月	第 1101	天保15年1月～3月
第 1032	7月～9月	第 1067	7月～9月	第 1102	4月～6月
第 1033	10月～12月	第 1068	10月～12月	第 1103	7月,8月
第 1034	文化12年1月～3月	第 1069	天保7年1月～3月	第 1104	9月,10月
第 1035	4月,6月	第 1070	4月～6月	第 1105	(弘化元)11月,12月
第 1036	文政11年1月～3月	第 1071	7月～9月	第 1106	弘化2年1月～3月
第 1037	4月～6月	第 1072	10月～12月	第 1107	4月～6月
第 1038	7月～9月	第 1073	天保8年1月～3月	第 1108	7月～9月
第 1039	10月～12月	第 1074	4月～6月	第 1109	10月～12月
第 1040	文政12年1月～3月	第 1075	7月～9月	第 1110	弘化3年1月～4月
第 1041	4月～6月	第 1076	10月～12月	第 1111	5月,閏5月,6月
第 1042	7月～12月	第 1077	天保9年1月～3月	第 1112	7月～9月
第 1043	文政13年1月～閏3月	第 1078	4月,閏4月,5月	第 1113	10月～12月

第 1114	弘化 4 年 1 月～ 3 月	第 1149	(安政元) 12 月	第 1184	7 月, 8 月
第 1115	4 月, 5 月	第 1150	安政 2 年 4 月, 2 月	第 1185	9 月, 10 月
第 1116	6 月, 7 月	第 1151	3 月, 4 月	第 1186	11 月, 12 月
第 1117	8 月, 9 月	第 1152	5 月, 6 月	第 1187	文久 2 年 1 月～ 3 月
第 1118	10 月～ 12 月	第 1153	7 月, 8 月	第 1188	4 月, 5 月
第 1119	弘化 5 年 1 月～ 3 月	第 1154	9 月, 10 月	第 1189	6 月, 7 月
第 1120	(嘉永元) 4 月～ 6 月	第 1155	11 月	第 1190	8 月, 9 月
第 1121	7 月～ 9 月	第 1156	12 月	第 1191	10 月～ 12 月
第 1122	10 月～ 12 月	第 1157	安政 3 年 1 月～ 3 月	第 1192	文久 3 年 1 月, 2 月
第 1123	嘉永 2 年 1 月～ 4 月	第 1158	4 月, 5 月	第 1193	3 月, 4 月
第 1124	閏 4 月～ 6 月	第 1159	6 月, 7 月	第 1194	7 月, 8 月
第 1125	7 月～ 9 月	第 1160	8 月, 9 月	第 1195	元治元年 4 月, 5 月
第 1126	10 月, 11 月	第 1161	10 月, 11 月	第 1196	6 月～ 8 月
第 1127	12 月	第 1162	12 月	第 1197	9 月, 10 月
第 1128	嘉永 3 年 1 月～ 3 月	第 1163	安政 4 年 1 月, 2 月	第 1198	11 月, 12 月
第 1129	4 月～ 6 月	第 1164	3 月, 4 月	第 1199	慶応元年 1 月～ 3 月
第 1130	7 月～ 9 月	第 1165	5 月, 閏 5 月, 6 月	第 1200	4 月, 5 月
第 1131	10 月, 11 月	第 1166	7 月, 8 月	第 1201	閏 5 月, 6 月
第 1132	12 月	第 1167	9 月, 10 月	第 1202	7 月, 8 月
第 1133	嘉永 4 年 1 月～ 3 月	第 1168	11 月, 12 月	第 1203	9 月～ 11 月
第 1134	4 月～ 6 月	第 1169	安政 5 年 1 月～ 3 月	第 1204	12 月
第 1135	10 月～ 12 月	第 1170	4 月, 5 月	第 1205	慶応 2 年 1 月
第 1136	嘉永 5 年 1 月～ 3 月	第 1171	6 月, 7 月	第 1206	2 月, 3 月
第 1137	4 月～ 6 月	第 1172	8 月, 9 月	第 1207	4 月
第 1138	7 月～ 9 月	第 1173	10 月, 11 月	第 1208	5 月, 6 月
第 1139	嘉永 6 年 5 月, 6 月	第 1174	12 月	第 1209	7 月, 8 月
第 1140	7 月, 8 月	第 1175	安政 6 年 1 月, 2 月	第 1210	9 月, 10 月
第 1141	9 月, 10 月	第 1176	3 月, 4 月	第 1211	11 月, 12 月 (御用留)
第 1142	11 月, 12 月	第 1177	5 月, 6 月	第 1212	慶応 3 年 1 月, 2 月
第 1143	嘉永 7 年 1 月, 2 月	第 1178	7 月, 8 月	第 1213	3 月～ 5 月
第 1144	3 月, 4 月	第 1179	9 月, 10 月	第 1214	6 月, 7 月
第 1145	5 月, 6 月	第 1180	11 月, 12 月	第 1215	8 月, 9 月
第 1146	7 月, 閏 7 月	第 1181	安政 7 年 1 月～ 閏 3 月 (万延元年)	第 1216	10 月, 11 月
第 1147	8 月, 9 月	第 1182	文久元年 1 月～ 3 月 (万延 2 年)	第 1217	12 月
第 1148	10 月, 11 月	第 1183	4 月～ 6 月	第 1218	慶応 4 年 1 月, 2 月

第 1219 3月1日～16日
〔藩庁日記抄〕御日記方 TK215-3
写 27冊 半紙 和
内容：
第1 寛文元年6月～同9年12月
第2 寛文10年正月～同11年12月
第3 寛文12年正月～同13年12月
第4 延宝2年正月～同年12月
第5 延宝3年正月～同年12月
第6 延宝4年正月～同年12月
第7 延宝5年正月～同6年12月
第8 延宝7年正月～同8年12月
第9 延宝9年正月～天和2年8月22日
第10 天和2年8月24日～同年12月
第11 天和3年正月～同年12月
第12 天和4年正月～貞享元年12月
第13 貞享2年正月～同年12月
第14 貞享3年正月～同年12月
第15 貞享4年正月～同年12月
第16 貞享5年正月～元禄2年12月
第17 元禄3年正月～同4年12月
第18 元禄5年正月～同年12月
第19 元禄6年正月～同7年12月
第20 元禄8年正月～同9年12月
第21 元禄10年正月～同年12月
第22 元禄11年正月～同12年7月
第23 元禄12年7月～同年12月
第24 元禄13年正月～同14年12月
第25 元禄15年正月～同16年12月
第26 元禄17年正月～宝永3年12月
第27 宝永4年正月～同7年12月

◇

元禄日記 TK215-4
元禄10～宝永5(1697～1708)写 3冊 半紙 和
内容：
第1 元禄10年正月～同11年7月
第2 元禄13年,11月～同15年9月
第3 元禄15年9月～宝永5年7月
註：表紙には元禄元年正月より13年とあり 題名も後人のつけたもの

御用留 TK215-5
写 1冊 半紙 和
内容：元禄12年,13年 宝永5年～享保元年

御用留書 御家老 TK215-6
慶応元～3(1865～67)写 4冊 半紙
内容：慶応元年正月～6月 慶応元年7月～12月 慶
応2年正月～12月 慶応3年正月～12月

御用留書 御用人 TK215-7
元治2～慶応3(1865～67)写 36冊 半紙
内容：元治2年-正月～同年5月 慶応元年閏5月
16日～同年12月(11月欠) 慶応2年正月～同年12
月 慶応3年正月～同年12月 それぞれ各月1冊

御城御用伝帳 慶応元年～同3年 御用人 TK215-8
慶応元～3(1865～67)写 3冊 半紙 和

御伝帳預帳 御書方 TK215-9
元治元(1864)写 1冊 美濃 和

凶事帳 御用人 TK215-10
元治2～慶応3(1865～67)写 4冊 半紙 和
内容：元治2年正月～12月 元治2年正月～12月
慶応3年正月～8月 慶応3年9月～12月

剪紙扣 御家老 TK215-24
元治2～慶応3(1865～67)写 3冊 半紙
内容：元治2年 慶応2年 慶応3年

剪紙扣 御用人 TK215-25
元治2～慶応3(1865～67)写 3冊 半紙
内容：元治2年 慶応2年 慶応3年

不時御用留 慶応2年正月～11月 当用方 TK215-26
慶応2(1866)写 1冊 半紙

御用留書(江戸)天保12年1月～12月 御家老
天保12(1841)写 1冊 半紙 和 TK215-11

◇

御朱印写 TK215-28
写 9通
内容：厳有院様家綱公(津軽越中守宛 寛文4) 常憲
院様綱吉公(津軽越中守宛 貞享元) 文昭院様家宣公(津
軽土佐守宛 正徳2) 有徳院様吉宗公(津軽土佐守宛
享保2) 惇信院様家重公(津軽岩松宛 延享3) 浚明院
様家治公(津軽出羽守宛 宝暦11) 文恭院様家齐公(津
軽土佐守宛 天明8) 慎徳院様家慶公(弘前侍従宛 天
保10) 温恭院様家定公(弘前侍従宛 安政2)

御朱印写 TK215-29
写 9通
内容：厳有院様家綱公(津軽越中守宛 寛文4) 常憲
院様綱吉公(津軽越中守宛 貞享元) 文昭院様家宣公(津
軽土佐守宛 正徳2) 有徳院様吉宗公(津軽土佐守宛
享保2) 惇信院様家重公(津軽岩松宛 延享3) 浚明院
様家治公(津軽出羽守宛 宝暦11) 文恭院様家齐公(津
軽土佐守宛 天明8) 慎徳院様家慶公(弘前侍従宛 天
保10) 温恭院様家定公(弘前侍従宛 安政2)

御朱印写 写 10通 内容：厳有院様 常憲院様 文昭院様 有徳院様 惇信院様 俊明院様 文恭院様 慎徳院様 温恭院様 昭徳院様	TK215-29 イ	写 1冊 半紙 和			
御朱印写 写 7通 内容：厳有院様家綱公（津軽越中守宛 寛文4）常憲院様綱吉公（津軽越中守宛 貞享元）文昭院様家宣公（津軽土佐守宛 正徳2）有徳院様吉宗公（津軽土佐守宛 享保2）惇信院様家重公（津軽岩松宛 延享3）俊明院様家治公（津軽出羽守宛 宝暦11）文恭院様家齊公（津軽土佐守宛 天明8）	TK215-30	御朱印一卷 宝永7年 宝永7（1710）写 1冊 半紙 和	TK215-97		〔御上洛御供御免之儀御奉書〕5月20日 津軽越中守（信牧）宛 写（原本）1通 註：安藤対馬守重信 土井大炊頭利勝 酒井備後守忠利 本多上野介正純 酒井雅楽頭忠世より
御朱印写 写 9通 内容：家綱公（寛文4）綱吉公（貞享元）家宣公（正徳2）吉宗公（享保2）家重公（延享3）家治公（宝暦11）家齊公（天明8）家慶公（天保10）家定公（安政2）	TK215-31	御朱印御頂戴之一件 延享2年11月～同3年12月 延享3（1746）写 1冊 半紙 和	TK215-98		〔花山院少将御赦免之儀御奉書〕7月26日 津軽土佐守（信義）宛 〔寛永13〕（1636）写（原本）1通 註：阿部豊後守忠秋 堀田加賀守正盛 松平伊豆守信綱 酒井讃岐守忠勝 土井大炊頭利勝より
御朱印写 写 2通 内容：家定公（安政2）家茂公（安政7）	TK215-31 イ	〔御朱印改之儀ニ付酒井左衛門尉より御渡御書付〕 辰7月 〔宝暦10〕（1760）写（原本）1通	TK215-82		〔朝鮮使日光社参に付鞍置馬用立御奉書〕 12月14日 津軽土佐守（信義）宛 〔寛永13〕（1636）写（原本）1通 註：阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱 酒井讃岐守忠勝 土井大炊頭利勝より
御朱印写 写 3通 内容：常憲院様綱吉公（貞享元）文昭院様家宣公（正徳2）文恭院様家齊公（天明8）	TK215-32	御朱印御改一件 宝暦10年 宝暦10（1760）写 1冊 半紙 和	TK215-99		〔相良清兵衛御預被仰付儀に付渡部図書より書状〕 大道寺隼人宛 寛永17（1640）写 1通
手目録（寛文4年より安政2年まで御朱印御判物目録） 写 1通	TK215-83	御朱印御頂戴一件書継 宝暦11年 宝暦11（1761）写 1冊 半紙 和	TK215-100		〔証人大道寺隼人松野大学兩人死亡に付右代人差上何之儀御奉書〕正月21日 津軽土佐守（信義）宛 〔正保3〕（1646）写（原本）1通 註：杉浦内蔵允正友 酒井紀伊守忠吉 牧野内匠頭信成より
御朱印一件之写 貞享元年 御右筆	TK215-96	〔領知御朱印頂戴一件〕宝暦11年 宝暦11（1761）写 1冊 半紙 和	TK215-101		〔富岡武兵衛一件書状〕 山田慶山（勝重）杉出八兵衛（吉成） 〔正保4〕（1647）写 1通 註：盛岡采女 北村久左衛門宛
		覚（天保九年御代替御朱印御改に付） 天保写 1包（5冊） 内容：美濃帳（2冊）半切物（1通）入記張（1冊）認振書貽（1通）井上様よりの小札雛形共	TK215-33		
		〔御朱印御判物御改之儀ニ付御書付〕 安政6（1859）写（原本）2通	TK215-92		
		〔領知御朱印頂戴覚〕延享3年 貞享元年 宝暦10年 天明7年 写 1冊 横長 和	TK215-102		



- 村山七左衛門儀に付同又左衛門訴訟之儀 TK215-39
杉山八兵衛神保三右衛門より盛岡采女へ書状
〔正保5〕(1648) 写 1通
- 〔丸橋忠弥油井正雪謀叛露頭之儀用状〕 TK215-109
傍嶋九郎左衛門 渡辺次太夫
〔慶安4〕(1651) 写 1通
- 〔異国船着岸之節領内無油断万事堅可申付儀御奉書〕
2月22日 津輕土佐守(信義)宛 TK215-40
写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 〔長崎江黒船着岸之儀に付御奉書〕8月10日 TK215-41
津輕土佐守(信義)宛
写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 〔阿蘭陀船着岸之儀御奉書〕12月2日 TK215-42
津輕土佐守(信義)宛
写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 〔異国之大船奥州并九州筋漂海上之儀について御奉書写〕
10月20日 津輕土佐守(信義)宛 TK215-43
写 1通
註:阿部対馬守 阿部豊後守より
重陽之御内書写とも
- 庄右衛門様御意之旨拙者共申上候覚 TK215-107
北村弥右衛門 森岡主膳
〔延宝6〕(1678) 写 1冊 半紙
- 注:庄右衛門は津輕兵部(信章)
- 御手伝御用書拔 TK215-105
写 1冊(合本)半紙 和
内容:日光御修覆(天和3年)増上寺御普請(正徳3年)
上野坊中瓦葺(寛保元年)甲州川々御普請(安永4年)
上野御普請(天保4年)
- 弘前中屋敷割申付候覚帳并屋敷割 TK215-44
写 1冊・1枚 16×43
註:久保田数馬 木村奎之助 大湯彦右衛門 松田五郎
左衛門
- 覚(諸人仁愛之心有之様)元禄15年 TK215-45
〔元禄15〕(1702) 写(原本)1通
註:幕府よりの書付 徳川実記の元禄15年10月15日
にあり
- 覚(今度地震火事に付て作事申付候儀云々) TK215-46
元禄16年
〔元禄16〕(1703) 写 1通
註:幕府老中土屋相模守より渡されたもの 大火後の家
作ならびに衣服その外軽くすべきこと 火事の際の心得
- 覚(家作之儀前々茂相達候通云々)元禄16年 TK215-47
〔元禄16〕(1703) 写 1通
註:幕府老中土屋相模守より渡されたもの 儉約令
- 〔弘前城西之方外曲輪土居修復願之通申付候儀御奉書〕
5月27日 津輕土佐守(信寿)宛 TK215-48
享保3(1718) 写(原本)1通
註:井上河内守正岑 水野和泉守忠之 戸田山城守忠真
久世大和守重之より
- 〔弘前城西之方外曲輪土居修復出来届書〕(控)
- 享保3(1718) 写 1通 TK215-110
- 〔弘前城本丸戌亥之方石垣修補願并絵図〕 TK215-111
書状共 津輕土佐守(信寿)
享保4(1719) 写 4通
- 〔弘前城本丸戌亥方石垣修補之儀御奉書〕 TK215-49
2月29日 津輕土佐守(信寿)宛
享保4(1719) 写(原本)1通
註:久世大和守重之 水野和泉守忠之 戸田山城守忠真
井上河内守正岑より
- 〔弘前城本丸戌亥之方石垣修復出来届書〕(控)
享保7(1722) 写 1通 TK215-112
- 〔弘前城本丸西方石垣外修補普請之御奉書〕 TK215-50
3月15日 津輕土佐守(信寿)宛
享保14(1729) 写(原本)1通
註:水野和泉守忠之 酒井讚岐守忠音 松平左近将監乘
邑より
- 〔弘前城本丸西之方堀下石垣外修補願之通御奉書〕
4月19日 津輕岩松(信寧)宛 TK215-51
延享5(1748) 写(原本)1通
註:本多伯耆守正珍 松平右近将監武元 堀田相模守正
亮 酒井雅楽頭忠恭より
- 〔弘前城本丸西之方石垣修補願書〕(扣) TK215-81
4月23日 津輕出羽守
写 1通
- 西館織部殿在々御廻ニ付右一卷留帳 TK215-12
宝曆3(1753) 写 1冊 半紙 和
- 御自筆之写 御日記方 TK215-13

- 写 1冊 半紙 和
往：宝暦7年より文政3年まで(1757～1820)の御
自筆書付の写
- 〔地震ニ付拝借金之儀御書付〕 TK215-78
津軽出羽守(信寧)宛
〔明和3〕(1766)写(原本)2通
- 蝦夷騒擾一件取計始末覚 其他 TK215-14
寛政2～文化13(1790～1816)写 10冊 美濃・
美濃横・半紙横 和
内容：蝦夷騒擾一件取計始末覚(新井田孫三郎 横井関
左衛門 寛政2) 惣人数并武器覚(新井田孫三郎 横
井関左衛門 寛政2 註：くなしり島騒擾ニ付取鎮先手
之人数及持参武器覚) 二番立行列 御陣立着到(藤出
弥六 土門八郎 文化8 2冊) 御陣立江罷出候人数名
前(文化13) 就御備立着到(廻間忠蔵 対馬六左衛門
文化10) 松前江被差出候御人数御行列帳箱館交代御人
数一番立行列 二行列
- 大川端土井大炊頭様御屋敷御讓請一件 TK215-103
享和3年 御聞役
享和3(1803)写 1冊 半紙 和
- 〔弘前城堀浚之儀願之通被申付之儀御奉書〕 TK215-52
2月9日 津軽越中守(寧親)宛
享和2(1802)写(原本)1通
註：松平伊豆守信明 牧野備前守忠精 安藤対馬守信成
戸川采女正氏教より
- 〔弘前城堀浚并土留石修補願之通被仰付之儀御奉書〕
3月9日 津軽越中守(寧親)宛 TK215-53
文化元(1804)写(原本)1通
註：土井大炊頭利厚 青山下野守忠裕 牧野備前守忠
精 戸田采女正氏教より
- 〔弘前城本丸櫓取建願之通仰付之御奉書〕 TK215-54
12月16日 津軽越中守(寧親)宛
文化5(1808)写(原本)1通
註：青山下野守忠裕 土居大炊頭利厚 牧野備前守忠精
松平伊豆守信明より
- 〔堀田撰津守松前辺見廻帰参之節松前より三厩迄乗船之儀
御書付〕6月9日 TK215-63
津軽越中守(寧親)宛
〔文化4〕(1807)写(原本)1通
- 〔異国通詞罷越居候様願書〕 TK215-64
御附紙共 6月6日 津軽越中守(寧親)
文化4(1807)写(原本)1通
- 〔異国船来着に付御暇帰道中駅々人馬之儀願書〕
御附紙共 6月7日 津軽越中守(寧親) TK215-66
文化4(1807)写(原本)1通
- 〔関所通裏印之儀御書取〕 TK215-65
文化4(1807)写(原本)1通
註：具足鉄炮国元へ差下に付関所通裏印之儀につき証文
差出べき旨
- 〔朝鮮人对州江来聘ニ付万石以上高役金惣国役割合上納之
儀ニ付伺書〕御附紙共 TK215-67
文化5(1808)写(原本)2通
註：津軽越中守家来兼松蔵之丞より
- 〔蝦夷地御用定例買上米之外臨時買上之儀伺〕 TK215-80
御附紙共 11月18日
写(原本)1通
註：半軽越中守家来河野六郎より
- 〔蝦夷地勤番人数越年人数増減并詰場所之儀伺書〕
御附紙共 午11月7日 津軽越中守(寧親) TK215-79
〔文化7〕(1810)写(原本)1通
- 〔松前奉行江平井群蔵内意伺并御口達書〕 TK215-62
文化8(1811)写(原本)2通
註：津軽越中守家来平岡群蔵より
- 〔北蝦夷并ソウヤ詰人数之儀達書〕 TK215-72
津軽越中守(寧親)宛
文化11(1814)写(原本)1通
- 〔蝦夷地勤番人数越年増減并詰場所之儀伺書〕 TK215-68
御附紙共 9月14日
文化11(1814)写(原本)1通
註：津軽越中守家来笠原八郎兵衛より
- 〔北蝦夷地并ソウヤ御固人数之儀伺書〕 TK215-73
御附紙共 9月14日
文化11(1814)写(原本)1通
註：津軽越中守家来笠原八郎兵衛より
- 〔北蝦夷地并ソウヤ詰人数松前引取越年之儀御達書〕
9月 TK215-74
文化11(1814)写(写本)1通
- 〔蝦夷地警固之儀書付之写〕10月 TK215-75
津軽越中守(寧親)宛
文化11(1814)写 1通
- 〔松前之内大筒台場固向之儀達書〕11月 TK215-71
文化11(1814)写(原本)1通
- 〔松前之内大筒台場引渡之儀伺書〕 TK215-70
御附紙共 11月

- 文化 11 (1814) 写 (原本) 1 通
 註：津軽越中守家来笠原八郎兵衛より
- 〔蝦夷地御固引之儀達書〕 12 月 TK215-69
 文化 11 (1814) 写 (原本) 1 通
- 〔廻米之儀ニ付吟味之儀書付〕 TK215-76
 津軽越中守 (寧親) 宛
 文政元 (1818) 写 (原本) 1 通
- 〔蝦夷地御固之儀ニ付御書付〕 TK215-77
 津軽越中守 (寧親) 宛
 文政 4 (1821) 写 (原本) 1 通
- (侍従様御隠居被御願候ニ付) 御内密調 TK215-15
 写 5 冊 美濃 和
 内容：1 神田橋様田安様より御内密之儀ニ付始末取調覚書 (文政 5 笠原八郎兵衛) 2 仙台喜七出訴一件留記 (文政 4 年 12 月より) 3 別段御用留 (文政 6) 4 覚書 (三奉行) 5 別帳 (文政 11 年 4 月 29 日出来) 2～5 までは慶応元年の写
- 御自筆之写 TK215-55
 〔天保 10〕 (1839) 写 1 冊 半紙 和
 註：天保 10 年津軽順承家督相続の節
- 書状扣 天保 10 年 8 月～安政 7 年 御家老 TK215-16
 天保 10～安政 7 (1839～60) 写 1 冊 半紙 和
- 御用書覚 早道 TK215-17
 写 (弘化 2 頃) 1 冊 横長 和
 註：福島頼母 森岡民部 棟方晴吉 田村勇人 小山内儀兵衛 黒滝主殿 笠原近江等お叱りを受けた面々の日常生活を早道者が調べて報告したもの
- 出水一件 (侍従様御立退 金姫様御逗留) TK215-106
 弘化 3 年
 弘化 3 (1846) 写 1 冊 半紙 和
- 〔大目付言上書〕 嘉永 3 年 TK215-59
 高杉友衛 桜庭兵右衛門
 嘉永 3 (1850) 写 13 通
- 〔御目付言上書〕 嘉永 3 年 TK215-60
 嘉永 3 (1850) 写 12 通
- 御用書覚 TK215-18
 写 (嘉永 3 頃) 2 冊 横長 和
 註：盛岡城及び城下の状況南部藩内の内情を乞喰孫太郎に見聞させた報告により町目付が書いたもの (嘉永 3 年?)
- 〔早道者言上書〕 嘉永 3 年頃 TK215-61
 写 (嘉永 3 頃) 25 冊 横長
- 先年より松前表江出張御人数之内病死之族江回向料御寄附被仰付候一件 嘉永 4 年 TK215-19
 嘉永 4 (1851) 写 1 冊 (書状共) 半紙 和
 註：箱館三ヶ寺へ病死者埋葬し出張人数引払後箱館法源寺にて年忌回向の御礼金仰付けられた際の一件留 右についての書状下書及び松前家中よりの書状 (原本) を添えてある
- 〔御屋敷相對替願之通被仰付御書付〕 TK215-56
 嘉永 5 年 11 月 25 日 津軽越中守 (順承) 宛
 嘉永 5 (1852) 写 (原本) 1 通
- 言上扣 嘉永 6 年 10 月より TK215-20
 桜庭兵右衛門 土岐渡人
 嘉永 6 (1853) 写 1 冊 半紙横 和
- 註：桜庭兵右衛門 土岐渡人は大目付 嘉永 6 年 10 月より同 7 年 6 月まで
- 〔箱館表御固之儀御書付〕 TK215-86
 津軽越中守 (順承)
 嘉永 7 (1854) 写 (原本) 1 通
- 堀織部殿村垣与三郎殿松前蝦夷地江下向一件 TK215-21
 当用方
 嘉永 7 (1854) 写 1 冊 半紙 和
- 公義衆御帰府ニ付御用留写 (嘉永 7 年 11 月迄) TK215-22
 文久 3 (1863) 写 1 冊 半紙
 註：幕府箱館奉行役人 (堀織部正) ら帰京の際の御用留写
- 公儀御目付衆御領内西滨海辺通御見分ニ付御取扱之覚 写 1 冊 半紙 和 TK215-23
- 〔松前東西蝦夷地御用ニ付松前伊豆守上知之旨御書付〕 TK215-87
 津軽越中守 (順承) 宛
 安政 2 (1855) 写 (原本) 1 通
- 〔東西蝦夷地上知被仰出向後警衛向御書付〕 TK215-90
 津軽越中守 (順承) 宛
 安政 2 (1855) 写 (原本) 1 通
- 〔箱館表松前地并蝦夷地警衛向之儀口達之覚〕 TK215-88
 御書紙共
 安政 2 (1855) 写 (原本) 2 通
 註：箱館奉行堀織部正より
- 〔名代御暇津軽本次郎蝦夷地御用相心得可致儀御書付〕 TK215-91
 津軽越中守 (順承) 宛
 安政 2 (1855) 写 (原本) 1 通

- 〔箱館并蝦夷地警衛向専務之儀ニ付参勤御暇之儀御書付〕
津輕越中守（順承）宛 TK215-89
安政5（1858）写（原本）1通
- 〔西蝦夷地之内陣屋附地所被下御引渡之儀伺〕 TK215-93
御附紙共 11月
〔安政6〕（1859）写（原本）1通
註：津輕土佐守家来平井修理より
- 〔西蝦夷地内陣屋附地所被下御引渡之儀伺〕 TK215-94
御附紙共 11月
〔安政6〕（1859）写（原本）1通
- 〔蝦夷地警固之儀〕御内意 加藤清兵衛 TK215-58
写 2通
- 〔馬喰町御貸附金年延之儀願書〕 TK215-84
御書取共 7月, 9月
万延元（1860）写 2通
註：津輕土佐守家来比良野助太郎より
- 〔馬喰町御貸附金年延之儀願書并書付〕 TK215-85
御書取共 10月, 11月
万延元（1860）写 3通
註：津輕土佐守家来比良野助太郎より
- 御国使者勤方之覚 TK215-104
〔万延元〕（1860）写 1冊 半紙 和
- 御出府より御上京御帰府迄之一件 TK215-95
元治元年より慶応元年まで 御書方
元治元, 慶応元（1864, 65）写 1冊 半紙 和
- 坂商示諭案 TK215-57
写 1通

註：大阪御用商人への示諭案

御日記（東都日録） TK215-27

写 302冊 美濃 和

註：江戸城の日録であるが天文11年徳川家康の誕生記事に始まっている

内容：

上帙1 14冊 天文11～天王12（1542～84）

1巻～5巻 6巻～13巻 14巻～17巻 18巻, 19巻 20巻 21巻～23巻 24巻, 25巻 26巻～28巻 29巻, 30巻 31巻～34巻 35巻, 36巻 37巻 38巻, 39巻 40巻, 41巻

上帙2 16冊 天正12～慶長15（1584～1610）

42巻～44巻 45巻～48巻 49巻～51巻 52巻～57巻 58巻 59巻 60巻春 60巻夏 60巻秋 60巻冬 61巻 62巻 63巻 64巻 65巻 66巻

上帙3 21冊 慶長16～寛永3（1611～26）

67巻 68巻 69巻 70巻 71巻, 72巻 73巻 74巻 75巻 76巻 77巻 78巻 79巻 80巻 81巻 82巻

上帙4 24冊 寛永3～正保2（1626～45）

89巻～112巻 各1冊

上帙5 25冊 正保2～承応2（1645～53）

113巻～137巻 各1冊

中帙1 24冊 承応3～寛文10（1654～70）

138巻～161巻 各1冊

中帙2 18冊 寛文11～延宝6（1671～78）

162巻～179巻 各1冊

中帙3 17冊 延宝6～9（1678～81）

180巻～196巻 各1冊

小帙4 17冊 延宝9～天和2（1681～82）

197巻～213巻 各1冊

中帙5 18冊 天和2～貞享2（1682～85）

214巻～231巻 各1冊

下帙1 20冊 貞享2～元禄3（1685～90）

232巻～234巻 各1冊 235巻, 236巻 237巻～251巻 各1冊 252巻, 253巻

下帙2 21冊 元禄3～9（1690～96）

254巻 255巻, 256巻 257巻～259巻 各1冊 260巻, 261巻 262巻～268巻 各1冊 269巻, 270巻 271巻～277巻 各1冊

下帙3 22冊 元禄10～14（1697～1701）

278巻～289巻 各1冊 290巻, 291巻 292巻～295巻 各1冊 296巻, 297巻 298巻, 299巻 300巻 301巻 302巻, 303巻

下帙4 22冊 元禄15～宝永6（1702～09）

304巻～308巻 各1冊 309巻, 310巻 311巻, 312巻 313巻～317巻 各1冊 318巻, 319巻 320巻～323巻 各1冊 324巻上 324巻下 325巻～327巻 各1冊

下帙5 23冊 宝永6～正徳5（1709～15）

328巻～350巻 各1冊

TK216 明治大正時代

日記部寄〔弘前藩庁編〕 TK216-1

明治元, 2（1868, 69）写 8冊 半紙 和

内容：明治元年 明治2年

註：項目別に記入した日記

御用留書 御家老（執政） TK216-2

慶応4, 明治2（1868, 69）写 6冊 半紙

内容：慶応4年正月～閏4月 慶応4年5月～8月

慶応4年9月～12月 明治2年正月～5月 明治2年6月～9月 明治2年10月～11月9日

註：明治2年より御家老改め執政

御用留書 御用人（議定堂） TK216-3

- 慶応4～明治3 (1868～70) 写 35冊 半紙
 内容：慶応4年正月 2月 3月乾 3月坤 4月 閏
 4月 5月～12月 各1冊 明治2年正月～10月
 各1冊 11月乾 11月坤 12月乾 12月坤 明治3
 年正月 2月乾 2月坤 3月～6月 各1冊
 註：明治2年7月より用人改め参政 同年12月より議
 定堂
- 諸稟底簿** 藩庁 (県庁) **TK216-4**
 明治3,4 (1870,71) 写 35冊 半紙
 内容：明治3年,6月19日～29日 7月1日～15日
 17日～晦日 8月1日～15日 16日～29日 9月1
 日～15日 16日～晦日 10月朔日～15日 15日～
 29日 同10月1日～15日 16日～29日 11月1
 日～15日 16日～晦日 12月1日～15日 16日～
 29日 部寄1～9部寄10～19 部寄20～36の4
 明治4年正月朔日～17日 20日～晦日 2月1日～
 15日 16日～晦日 3月1日～15日 16日～29日
 4月1日～21日 22日～晦日 5月1日～15日 16
 日～晦日 6月1日～15日 16日～29日 7月～11
 月 各月1冊
 註：議定堂御用留書を改題したもので諸稟は諸申出の意
 である
- 御用留書** (江戸) 御用人 **TK216-5**
 慶応4～明治3 (1868～70) 写 17冊 半紙 和
 内容：慶応4年11月29日～12月中 明治2年正月,2
 月 3月,4月 5月,6月 7月～12月 各月1冊
 明治3年正月～4月 各月1冊 5月,6月 7月,8月,9
 月 10月,閏10月,11月,12月
 註：御用人→参政→議定堂→藩庁
- 御城御用伝帳** 御用人 **TK216-6**
 明治元～3 (1868～70) 写 3冊 半紙 和
 内容：慶応4年 明治2年 明治3年1月～4月
- 御軍政御用留** 御用人 (議定堂) **TK216-7**
 慶応4,明治2 (1868,69) 写 30冊 半紙
 内容：慶応4年3月18日～4月24日 4月25日～
 閏4月13日 14日～5月12日 12日～晦日 6月
 朔日～7月15日 16日～29日 8月朔日～15日
 16日～25日 25日～晦日 9月朔日～4日 5日～
 10日 11日～20日 21日～29日 10月朔日～15
 日 16日～晦日 11月日～15日 16日～晦日 12月
 朔日～15日 16日～29日 明治2年正月 2月朔日
 ～15日 16日～晦日 3月朔日～16日 17日～晦日
 4月～6月 各1冊 7月,8月 9月 10月, 11月
- 騷擾一件** 慶応4年 御書方 **TK216-88**
 慶応4 (1868) 写 1冊 半紙 和
- 所々戦争御届一件** 明治元年 御右筆 **TK216-89**
 明治元 (1868) 写 1冊 半紙 和
- 御用之覚** 明治元年 **TK216-8**
 明治元 (1868) 写 1冊 半紙 和
 註：明治元年11月,12月新政府行政官などよりの達し
 留
- 剪紙扣** 御家老 (執政) **TK216-43**
 慶応4,明治2 (1868,69) 写 2冊 半紙
 内容：慶応4年 明治2年
- 剪紙扣** 御用人 (議定堂) **TK216-44**
 慶応4,明治3 (1868,70) 写 4冊 半紙
 内容：慶応4年正月～7月 8月～12月 明治3年正
 月～4月29日 5月
- 吉留** 御用人 **TK216-15**
 明治2～4 (1869～71) 写 5冊 半紙 和
- 内容：明治2年正月～9月 10月～12月 明治3年
 6月～9月 10月～12月 明治4年1月～11月
 註：御用人→藩庁→〔弘前県庁〕
- 凶事帳** 御用人 (議定堂) **TK216-9**
 明治2,3 (1869,70) 2冊 半紙 和
 内容：明治2年正月～12月 明治3年正月～6月
- 民事局当務日誌** 民事局当務方 **TK216-10**
 明治3,4 (1870,71) 写 16冊 半紙 和
 内容：明治3年8月 9月 10月 閏10月 11月
 12月 明治4年正月～10月 各月1冊
 註：明治4年8月租税署当用方
- 当務日誌抜書** 当務方 **TK216-11**
 明治3 (1870) 写 2冊 半紙 和
 内容：明治3年9月,10月 閏10月
- 御用留書** 明治3年6月21日～12月28日 **TK216-12**
 民事局庶務懸
 明治3 (1870) 写 1冊 半紙
- 不時御用留** 明治3年11月～12月 **TK216-13**
 民事局当務方
 明治3 (1870) 写 1冊 半紙
- 養老剪紙扣** **TK216-45**
 明治2 (1869) 写 1冊 半紙
- 軍事賞典剪紙扣** 議定堂 **TK216-46**
 明治2 (1869) 写 1冊 半紙
 内容：12月
- 賞典剪紙控** 議定堂 **TK216-47**
 明治2 (1869) 写 3冊 半紙

- 内容：明治2年12月乾,坤 明治3年6月
- 御慰勞御用留** 明治3年2月乾坤合冊 **TK216-14**
 明治3(1870)写 1冊 半紙 和
 註：明治元年,2年に各地出張した人々への慰勞
- 諸御用留** 明治3年10月～同4年10月 **TK216-82**
 会計掛
 明治3,4(1870,71)写 1冊 半紙 和
- 〔御布告并旧県用答留等〕** 明治3年～同6年 **TK216-16**
 明治3～6(1870～73)写 25冊 半紙
- 〔青森御飯屋よりの御用状留〕** 明治4年 **TK216-83**
 明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 大属中より県元江之署用控** 明治4年 **TK216-94**
 明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 諸願伺留** 記録署 **TK216-17**
 明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 〔諸願綴〕** **TK216-84**
 〔明治4,5〕(1871,72)写 1冊 半紙 和
 註：開墾地屋敷地など払下願
- 引越手順留** 明治4年7月25日～10月 **TK216-18**
 藩庁(県庁)
 明治4(1871)写 2冊 半紙 和
 註：藩士の在宅帰農など引越願などの留帳
- 御用留** 明治4年11月〔青森県弘前支庁〕 **TK216-19**
 明治4(1871)写 1冊 半紙
- 濟書附留** 明治4年10月～同5年7月 **TK216-20**
- 〔青森県〕会計局(東京詰)
 明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 〔城郭兵部省管轄被仰仰付県庁より達書〕** **TK216-92**
 明治4年
 〔明治4〕(1871)写 1通
 註：青森県より津軽家家令完
- 亀甲倉廩引渡証書** 津軽承昭宛 **TK216-90**
 明治4(1871)写 1通
- 西ノ郭武庫一件** **TK216-91**
 明治5,6(1872,73)写 3通
- 記(田屋所引越濟士卒家居取建入用材木柁木舞払付之儀)**
 元弘前県 **TK216-86**
 明治5(1872)写 1冊 半紙 和
- 〔京都大坂敦賀御屋敷上地一件〕** 明治5年 **TK216-87**
 明治5(1872)写 1冊 半紙 和
- 旧事務日誌** 明治5年正月～6月 **TK216-21**
 元弘前県旧事務掛
 明治5(1872)写 1冊 半紙 和
- 御用留書** 御家令 御家扶(津軽家職) **TK216-22**
 明治4(1871)写 2冊 半紙
 内容：明治4年正月～4月 8月
 註：旧藩主および大奥を中心とした記事 明治4年7月14日弘前藩を廃し弘前県となる 津軽承昭が知事を免ぜられたが一人の新官もなく9月に至り野田豁通を弘前県大参事に任じた しかし未だ県治の組織定らず12月1日青森県を青森に移して開庁する迄は旧藩治の体制が存続している
- 御用留牒** 明治5年正月～6月 **TK216-23**
 会算方(津軽家職)
 明治5(1872)写 1冊 半紙
- 〔御一家出張所〕日誌**〔御一家出張所〕 **TK216-24**
 明治5～33(1872～1900)写 20冊 半紙 和
 内容：明治5年10月～同6年5月 明治6年6月～12月 明治7年1月～6月 7月～12月 12月～明治8年(変事) 明治8年1月～12月 明治9年1月～12月 明治10年・1月～12月 明治11年1月～12月 明治12年1月～12月 明治13年1月～12月 明治14年1月～12月 明治15年1月～12月 明治16年1月～12月 明治17年1月～12月 明治18年1月～12月 明治25年1月～同27年7月 明治27年8月～同33年6月
 註：旧藩主津軽家の弘前出張所の日誌
- 申継帳** 明治6年～明治8年 津軽家家扶 **TK216-25**
 明治6～8(1873～75)写 1冊 半紙 和
 註：御一家家扶の日誌
- 〔家禄奉還書類〕** **TK216-93**
 明治8,9(1875,76)写 1袋
- 御用伝**〔津軽家弘前出張所〕 **TK216-26**
 明治9～12(1876～79)写 3冊 半紙 和
 内容：明治9年 同10年 同12年
- 旧弘前県年廃卒復旧調・戸籍局長ヨリ推問答書**
 明治10年,12年 **TK216-27**
 明治10,12(1877,79)写 1冊(合綴)半紙
- 諸願届書留・諸願伺留** **TK216-28**
 御一家出張所〔津軽家弘前出張所〕
 明治6～37(1873～1904)写 2冊 半紙 和

内容：明治6年～同18年 明治15年～同37年	明治5～17 (1872～84) 写 1冊 半紙 和	明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
県庁并山林局弘前市役所江願伺届書ノ類綴り TK216-29 明治28年1月～同34年 明治28～34 (1895～1901) 1冊 半紙 和 註：諸願書の中に旧弘前城内公園関係 隅櫓払下の件 その他	東京来翰留 明治7年1月～同8年12月 TK216-38 〔津軽家弘前出張所〕 明治7,8 (1874,75) 写 1冊 半紙 和	青港並荒川村引越之面々御分与田畑調 TK216-61 附内郷願闔外題共 調方 〔明治4〕(1871) 写 1冊 半紙 和
◇	書面 TK216-39 写 1冊 半紙 註：那須均より神東太郎への書状 西南戦争状況	油川・浦町・横内三組御買入田畑御分与調帳 TK216-60 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
御用状留 慶応4年正月～12月 TK216-30 藤代三組御代官 慶応4 (1868) 写 1冊 半紙	東京状入 TK216-40 明治10 (1877) 写 1袋 内容：西館書簡 別紙入 (1束) 津軽家家扶より 佐藤伊三郎宛書簡1通	浦町組村々御買入田畑御分与調帳 TK216-59 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
東京往復御用状留 明治3年11月～同4年9月 会算方 TK216-31 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 半紙 和	東京表ヨリ御用状留〔津軽家弘前出張所〕 TK216-41 明治11～24 (1878～91) 写 3冊 半紙 和 内容：明治11年1月～同12年1月 明治18年1月～同19年12月 明治20年～同24年	常盤組村々士卒在住屋敷調帳 TK216-74 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
東京江之御用状扣 明治4年正月～11月 TK216-32 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	往復電報帳〔津軽家弘前出張所〕 TK216-42 写 1冊 半紙 私 註：明治15年～同23年	藤崎組前田屋舗村屋敷調帳 TK216-75 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
東京表よりの御用状扣 県庁 TK216-33 明治4 (1871) 写 2冊 半紙 和	◇	弘前管所支配田舎館組御買上田方御分与調書上帳 TK216-50 御買上田畑検査役 明治4 (1871) 写 6冊 半紙 和 内容：田舎館狐淵両村 大曲堀切両村 諏訪堂村 大根子村 大光寺村 畑中八反田両村
青森県江御用状扣 出納方 TK216-34 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	田畑御分賦留 1～9 藩庁 (県庁) TK216-48 明治4 (1871) 写 9冊 半紙 註：土族田畑分与されたので移住のための屋敷地賦りの願書と屋敷地賦りの留書	田舎館組御買上田方御分与調帳 TK216-51 御買上田畑検査方 明治4 (1871) 写 2冊 半紙 和 内容：境松村 馬場尻村
青森県ヨリ来状留 出納方 TK216-35 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	〔在宅屋敷地割渡願留〕明治4年 TK216-85 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 私	田舎館組屋舗割調帳 TK216-72 明治4 (1871) 写 4冊 半紙 和 内容：田舎館村 豊蒔村 垂柳・枝川両村 堂野前村
青杜ヨリ廻達本書 TK216-36 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	御分与田方繰替并屋舗地願御用留 租税署 TK216-62	田舎館組高樋村江御分与屋舗不足分猿賀・原両村江割入調牒 伊藤寅一 TK216-73
東京ヨリノ御用状留 明治5年～明治17年 TK216-37 〔津軽家弘前出張所〕		

明治4(1871)写 1冊 半紙 和		明治4(1871)写 4冊 半紙 和 内容：高崎村 堅田村 清野袋村 下湯口・湯口・黒滝 三ヶ村		柴田・町居田・岡部・川添・川附五ヶ村 濁川・新屋敷・ 中野林三ヶ村 土滝・大畑・林・広森四ヶ村	
大光寺村畑方屋舗割調帳 検査方	TK216-66			広須両組御分与残田方調	TK216-55
明治4(1871)写 1冊 半紙 和				写 1冊 半紙 和	
大光寺組屋敷帳	TK216-65	堀越組在着士卒屋敷割帳 調方	TK216-64	広須組田方御分与惣括帳	TK216-52
明治4(1871)写 9冊 半紙 和		明治4(1871)写 5冊 半紙 和		明治4(1871)写 8冊 半紙 和	
内容：本町村 小和森村 館田村 長田村 中佐渡村		内容：門外村 取上村・外崎村 清水森・松木平両村		内容：広須・金田・桃井・広菴四ヶ村 稲盛・近岡・小曲・ 下古川四ヶ村 豊田・吉出・沖善津・芦部岡・沼館・繁 田六ヶ村 上木造・蓮沼・升館・吉岡四ヶ村 玉水・末 吉・沖菴三ヶ村 芦沼村 永田・蓮花田両村 兼館・岡 部里・生田・善積・石館・堅固・山野里七ヶ村	
新屋町村 李平村 金屋村 田中村		大和沢村 境関・福田・福村・新里4ヶ村			
大光寺組屋敷調帳	TK216-67	藤代組村々田畑御分与調帳	TK216-56	広須組御買入田方御分与調帳	TK216-53
明治4(1871)写 4冊 半紙 和		明治4(1871)写 1冊 半紙 和		明治4(1871)写 2冊 半紙 和	
内容：苗生松村 館山村 松崎村 松館村				内容：桑野木田村 荒川村	
大光寺組杉館村明屋敷并畑方共屋敷割調帳	TK216-68	廻関村御分与田方調帳	TK216-57	俵元新田屋敷割	TK216-79
検査方		明治4(1871)写 1冊 半紙 和		[明治4] (1871)写 1冊 半紙 和	
明治4(1871)写 1冊 半紙 和		尾原村御分与田方調帳	TK216-58	金木組村々士族卒屋敷割調帳	TK216-76
		明治4(1871)写 1冊 半紙 和		写 1冊 半紙 和	
大鱈組畑方并屋舗地共調帳 屋敷検査方	TK216-70	赤石組并支配村々屋舗地調帳	TK216-81	金木組毘沙門・長富両村士族卒屋敷割調帳	TK216-77
明治4(1871)写 4冊 半紙 和		鯨ヶ沢官所詰 大庄屋		明治4(1871)写 1冊 半紙 和	
内容：大沢村 石川村 乳井村 薬師堂村		明治4(1871)写 1冊 半紙 和		金木新田村々士族卒屋舗割調帳	TK216-78
				明治4(1871)写 1冊 半紙 和	
大鱈組屋敷帳	TK216-69	赤石組在宅士卒屋敷割帳 調方	TK216-80		
明治4(1871)写 5冊 半紙 和		明治4(1871)写 7冊 半紙 和			
内容：森山村 八幡館村 高畑村 吹上村 古懸・長峰 両村		内容：舞戸・田浦・館三ヶ村 中村 日照田・館前・種 里・鬼袋四ヶ村 岩崎・横磯・月屋三ヶ村 久田・正道 尻・森山三ヶ村 松神・黒崎両村 南浮田・湯船・小屋 敷三ヶ村			
第十六区大沢村御分与屋敷地調帳	TK216-71	木造新田田方御分与惣括帳	TK216-54		
大沢村庄屋利吉		明治4(1871)写 8冊 半紙 和			
明治5(1872)写 1冊 半紙 和		内容：木造・下木造・松岡三ヶ村 山田・猫淵両村 床 前・大館・広岡・蒔岡・駒田・越水・西広森・牛潟・車 力・菊川・近野・平野拾二ヶ村 上福原・中福原・下福 原・三原四ヶ村 桜井・里見・上中館・下中館四ヶ村			
和徳組田畑御分与調帳	TK216-49				
明治4(1871)写 1冊 半紙 和					
和徳組士卒屋敷割帳 調方	TK216-63				

TK280 伝記

御改名一件 天保10年～慶応元年 御書方 TK280-1
天保10～慶応元(1839～65)写 1冊 半紙 和

TK280.3 人名録(分限帳 知行帳)

瑞祥院様御代よりの旧家当時御目見以上の面々 上

写 1冊 横長 TK280.3-1

註：下は御目見以下の面々であり古図書保存会文庫にある 瑞祥院は津軽為信の法号

給知御判并別紙目録留帳 TK280.3-2

寛文12年～延宝4年

写 1冊 半紙倍 和

給知御書出留帳 貞享4年～宝永6年 TK280.3-3

写 1冊 美濃 和

分限帳 元禄8年 御日記方 TK280.3-4

元禄8(1695)写 10冊 半紙倍 和

註：元禄9年と記入されているが8年であろう

分限帳 元禄10年 御日記方 TK280.3-5

元禄10(1697)写 10冊 半紙倍 和

内容：

第1ノ2 御持足軽頭 江戸足軽頭 諸手足軽順 江戸御長柄奉行 御長柄奉行

第2 御用人 大目付 御目付 御中小性頭 御徒頭 寄合 御手弓頭 御手筒頭 御手道具頭 大納戸 儒者 御医者 御茶道頭 坊主頭 御台所頭 御賄頭 当分御目付支配御掃除方并追廻し小人 同支配 追廻し小人 絵師 表祐筆 物書 小細工人 二之御丸御馬屋方支配頭 御馬乗方 御馬飼料改役

第3 御近習 御小性組 御児小性頭 御近習小性 御咄衆 御小納戸 御膳番 御右筆

第4 江戸諸士并小役人 京大坂大津敦賀板久役人 若殿様御守 若殿様付 若殿様付坊主 若殿様御馬口取 若殿様御馬沓籠持 御奥様附 磐麻呂様附 与一様付

第5 御城代 御留主居組頭 御城付足軽頭 寺社奉行 町奉行 郡奉行 同支配所役人 新田奉行 新田方役人 広須新田代官 勘定奉行

第5ノ5 作事奉行 普請奉行 今井伊右衛門 御広敷番人 青森町奉行 鯨ヶ沢町奉行 深浦町奉行 十三町奉行 碓関町奉行 大間越町奉行 野内町奉行 蟹田町奉行 今別町奉行 山川奉行 牧支配 尾太銅山役人 奥内鉄吹奉行

第6 江戸御国無役 御手廻組外 江戸隠居

第7 江戸御合力 御国御合力 上方御合力

第8 寺社方

第9 御能役者 町年寄 豊田勾当 座当頭 町御扶持切米取 御目見以下町御扶持切米取 板行之者

分限帳調書抜 御日記方 TK280.3-6

元禄10(1697)写 1冊 半紙 和

小細工人分限并江戸登順番勤年数宗門 TK280.3-191

改帳 元禄11年

元禄11(1698)写 1冊 美濃 和

註：正徳2年(1712)まで

分限帳 宝永3年 御日記方 TK280.3-7

宝永3(1706)写 10冊 半紙倍

内容：

第1 御家老 御手廻組頭 御馬廻組頭 御簀奉行 御持鑓奉行 大組足軽頭 棟方十左衛門支配早道之者

第1ノ2 御持足軽頭 諸手足軽頭 江戸足軽頭 御長柄奉行 江戸御長柄奉行 御聞役

第2 御用人 大目付 御中小性頭 御徒頭 寄合 御手弓頭 御手筒頭 佐山権内山田仁右衛門支配郷警固 右兩人支配百人小人 御手道具頭 大納戸 御医者 御茶道頭 坊主頭

第2ノ2 御台所頭 御賄頭 絵師 表右筆 物書御物書方物書 小細工人 二之御丸御馬屋方支配頭 御

馬乗方 御馬飼料改役 長泉院殿付足軽警固 一戸儀 右衛門毛内安兵衛支配織物御用方足軽警固 当分御目付支配御掃除方追廻し小人 碓関御道奉行支配 御手廻番頭支配小使足軽 御馬廻番頭支配小使足軽 成田文左衛門支配御書物場下役人并小使 御武具奉行支配 足軽 屋敷奉行支配小人 道奉行支配足軽 水道奉行 支配足軽 御金奉行支配手代 白米 御蔵奉行支配小人 常小屋賄所手代

第3 御小姓組頭 御近習小姓 御小納戸 御膳番 御右筆

第4 江戸諸士并小役人 京大坂大津敦賀板久役人 御前様附 若殿様附 御奥様附 右京様附

第5ノ5 作事奉行 普請奉行 御広敷御用達 青森町奉行 鯨ヶ沢町奉行 深浦町奉行 十三町奉行 碓関町奉行 大間越町奉行 野内町奉行 蟹田町奉行 今別町奉行 山川奉行 岩木川奉行 牧支配

第6 江戸御国無役 御手廻組外 江戸隠居

第7 江戸御合力 御国御合力 上方御合力

第9 御能役者 町年寄 宮村検校 町御扶持切米取

町支配分限帳 正徳元年 御日記方 TK280.3-8

正徳元(1711)写 1冊 半紙倍 和

分限帳 正徳2年 御日記方 TK280.3-9

正徳2(1712)写 10冊 半紙倍 和

内容：

第1 御家老 御手廻組頭 御馬廻組頭 御簀奉行 御持鑓奉行 大組足軽頭 大目付当支配早道之者

第1ノ2 御持足軽頭 諸手足軽頭 江戸足軽頭 御長柄奉行 江戸御長柄奉行 御頭並 御聞役

第2 御用人 大目付 御目付 御中小性頭 御徒頭 寄合 御手弓頭 御手筒頭 佐山権内支配郷警固 佐出権内支配百人小人 御手道具頭 大納戸 御医者 儒者 御茶道頭 坊主頭

第2ノ2 御台所頭 御日記役 御賄頭 絵師 表右

筆 書写役 日記方物書 御書方物書 小細工人 御鷹方 二之御丸御馬屋方支配頭 御馬乗方 御馬飼料役并常附小人 工藤加左衛門毛内安兵衛支配織物御用方足輕警固 成田文左衛門本支配御書物場下役人并小使 御武具奉行支配足輕 屋敷奉行屋敷改支配足輕 道奉行水樋奉行支配足輕 御金奉行支配 手代 白米 御蔵奉行支配小人 常小屋賄所手代

第3 御小姓組頭 御小姓頭 御近習小姓 御小納戸 御膳番 御右筆

第4 江戸諸士并小役人 京大坂天津敦賀潮久御役人〔第5ノ1〕御城代 御留守居組頭 御城附足輕頭 寺社奉行 町奉行 郡奉行 勘定奉行

第7 江戸御合力 御国御合力 上方御合力

第8 寺社方 座当

第9 御能役者 町年寄 宮村檢校 町御扶持切米取

分限元帳 寛延3年 御書物方 TK280.3-155

寛延3～天明4 (1750～84) 写 21冊 半紙 和註：寛延3年から天明4年まで (1750～84) の元帳内容：

第1 御家老 御城代 御手廻組頭 御馬廻組頭 御留守居組頭 御用人 御元司 御側御用人 大目付 簀奉行 御持鑓奉行 大組足輕頭 御持足輕頭 諸手足輕頭 江戸足輕頭 御城附足輕頭 物頭格 御国長柄奉行 長柄奉行格 江戸御取次 江戸長柄奉行 御聞役 大寄合并無役 御取次格

第2 寺社奉行 郡奉行 町奉行 勘定奉行 御小性組之頭 御兒小姓頭 御中小性頭 御錠口役 御徒頭 御目付 背広敷御用達 青森町奉行 鱒沢町奉行 深浦町奉行 十三町奉行 寄合 寄合格 岩木川奉行 御手廻番頭 御馬廻番頭

第3 碓関町奉行 大間越町奉行 野内町奉行 作事奉行 蟹田町奉行 今別町奉行 御手弓頭 御手筒頭 御手道具頭 御手廻一番組より五番組迄 同組 同格

第4 御馬廻七組 日記役 御馬廻組頭月番支配 御

広舗御用達并御広敷附 八拾三騎

第5 御留守居三組 (一番～三番) 同御目見以上支配 同御目見以下支配

第6 御近習小性 同格 御近習医者 同格 御近習詰御伽之者 御小納戸 御膳番 御小姓組四組 御小姓組格 御祐筆 大納戸 御禿童 御茶道頭 御茶道坊主頭 御禿童格 御近習坊主 同格 御茶道方 坊主小頭 御用所坊主 表坊主 表坊主狂言方 表坊主時計師 御絵師 馬医

第7 御台所頭 御台所吟味役 御料理人小頭 御台所目付 御料理人 下料理人 御家具之者小頭 儒者 儒医 医者 目医 外科 針医 齒医 御抱守 松五郎様御抱守 平三郎様附 同御抱守 平三郎様御近習 平三郎様御御中小性 平三郎様御徒 平三郎様御御坊主 御中小性一番組 同二番組 寺社役 御中小性格 二之丸脚馬屋方 御書物預役 御馬乗方 二之大御馬屋飼料役 調方役人 表右筆御家老附 表右筆 御本司附表右筆 慈照院様附 貞正院様附 松平摂津守様 御奥様附 阿部備中守様御奥様附

第8 御徒 御徒目付 早道之者

第9 代官 漆奉行 三新田漆奉行 御米方并勘定小頭 勘定人 勘定人見習 御日記物書 御印紙取扱役 足輕目付 小細工人小頭 小細工人 御鷹匠小頭 御鷹匠

第10 山方吟味役 山方メ役 同物書 同小使 駒越拾歩一役人 浅瀬石拾歩一役人 金山当言 山役人 高岡附小人 五ヶ所御牧方 鉄吹小頭 西浜漁師頭

第12 寺社奉行支配 郡奉行支配

第13 町奉行支配 勘定奉行支配 三奉行支配

第14 御台所支配 作事方支配

第15 青森町奉行支配 鱒ヶ沢町奉行支配 深浦町奉行支配 十三町奉行支配 碓ヶ関町奉行支配 大間越町奉行支配 野内町奉行支配 蟹田町奉行支配 今別町奉行支配 柳原御屋敷預 柳島御屋敷預 浜御屋敷預 御広間帳付 古物預 江戸御馬飼料役中之口人使

下座見 経師 江戸組警固 惣御屋敷預 上方役人 湖来御屋敷預 越前敦賀御屋敷預人使格 江戸長柄預 第16 御手弓並 御手筒並 御供中間小頭 御鑓持 御草履取 御俠箱持 御陸尺 松五郎様御草履取 平三郎御草履取 与一様附 式部様御草履取 和三郎殿附 御警固 百人小人小頭 百人小人 御長柄三組小頭 同並

第17 御家老与力 御元司附人 御城代与力 御手廻与力 御馬廻与力 御留守居与力 大組与力〔第18上〕諸手一番組～諸手六番組

〔第18下〕諸手七番組～諸手十二番組 諸手足輕頭御用番支配

〔第20〕御城附三組

〔第21〕御旗警固 御持鑓仲間 御持筒足輕

〔第22〕三馬屋方支配

分限元帳 天明4年10月改 御書物方 TK280.3-42

天保3 (1832) 写 26冊 美濃 和

註：天明4年 (1784) から文化2年 (1805) までの分限元帳

第1 御家老 同手伝 同次順 御城代 同次順 御手廻組頭 御馬廻組頭 御留守居組頭 御用人 御側御用人 大目付 御旗奉行 御持鑓奉行 大組足輕頭 御持筒足輕頭 諸手足輕頭 江戸足輕頭 御城附足輕頭 者頭格 御国長柄奉行 同格 同次順御取次 江戸長柄奉行 御聞役 大寄合 同格 無役 隠居

第2 寺社奉行 郡奉行 同兼役 同手伝 町奉行 勘定奉行 同兼役 同手伝 山奉行 御小性組之頭 御兒小性頭 御中小性頭 御錠口役 同兼役 御徒頭 御目付 青森町奉行 鱒ヶ沢町奉行 深浦町奉行 十三町奉行 寄合 同格 岩木川奉行 御手廻番頭 御手廻番頭 諸手物頭より四奉行迄御役免

第3 碓ヶ関町奉行 大間越町奉行 野内町奉行 作事奉行 蟹田町奉行 今別町奉行 御手弓頭 御手筒頭 御手道具頭 御手廻一番組より五番組迄 同無足 御

手廻組外 御手廻格
 第4 御馬廻 同無足 御馬廻組頭 月番支配御日記役
 御馬廻格 御前様御附御広舗御用達 御広舗御取次
 御広舗附 御広舗小使 御広舗御番人
 第5 乾 御留守居一番組 同御目見以上支配 同御目
 見以下支配 御留守居二番組
 第5 坤 御留守居二番組御目見以上支配 同御目見以
 下支配 御留守居三番組 同三番組御目見以上支配
 同三番組御目見以下支配 御手廻御役免
 第6 御近習小性 御近習小性格 御近習医者 御近習
 詰 御伽之者 御小納戸同兼役 御膳番 御小性 御
 祐筆同兼役 大納戸 御禿童 同格 御茶道頭 御茶
 道 坊主頭 御近習坊主 御茶道方坊主頭 同格 御
 用所坊主 表坊主 御絵師
 第7 御台所頭 同兼役 儒者 儒医 医者 目医 外
 科 針医 齒医 表医者格 御抱守 若殿様御附 御
 部屋様御附 御中小性 同格 御召馬役 人別調方役
 同物書 一之御丸御馬屋方 御馬乗方 三御馬屋馬医
 御書物預 表右筆 真寺院様御附 濟光院様御附 備
 中守様御奥様御附 義貞院様御附 妙銓院様御附 与
 一様御附 和三郎殿附 御前様御附 御前様御附御用
 達 吉之助殿附
 第8 御徒五組小頭同並 御徒目付 早道小頭 早道之
 者 同見習
 第9 御日記物書 同見習 学校物書 御鷹匠小頭 同
 格 御鷹匠 飼差 大目付支配土籍方物書 山奉行
 支配山方締役 同格 同物書 同小使 拾歩一役 山
 方警固 同代 山役人 脇道番人 鉄炮改役 足軽目
 付
 第10 表右筆支配 屋舗奉行支配 御書役支配 御武
 具奉行支配 御楽屋奉行支配 作事奉行支配
 第11 乾坤 寺社奉行支配 郡奉行支配
 第12 町奉行支配
 第13 勘定奉行支配
 第14 御台所頭支配 諏訪門兵衛支配

第15 九浦町奉行支配 柳原御屋舗預 同御門番 柳
 島御屋舗預 同御門番 浜御屋舗預 同御門番 御広
 間帳附 同見習 古物役 中之口人使 同格 下座見
 経師 江戸足軽警固 御武器手代 江戸詰府足軽 御
 内玄関番 同見習 御聞役物書 江戸長柄小頭 京都
 役人 大坂役人 越前敦賀御屋舗

第16 御手弓頭支配 御手筒頭支配 御手道具頭支配
 長柄御用番支配
 〔第17〕 諸手足軽六組 乾
 〔第18〕 諸手足軽六組 坤
 〔第19〕 大組足軽三組
 〔第20〕 御城附足軽三組
 〔第21〕 御旗警固二組 御持鎗仲間二組 御持筒足軽
 三組
 〔第22〕 二之御丸御馬屋方 三御馬屋方
 〔第23〕 御家老与力 御城代与力 御手廻与力 御馬
 廻与力 御留守居与力 大組与力
 〔第24〕 掃除小人

掃除小人 御書物方 TK280.3-43
 寛政5(1793)写 1冊 美濃 和

〔御城代与力人別書上覚〕〔寛政6年〕 TK280.3-192
 高倉五兵衛
 〔寛政6〕(1794)写 1通

〔御手廻四番組与力人別書上覚〕〔寛政6年〕
 松浦甚五左衛門 TK280.3-193
 〔寛政6〕(1794)写 1通

〔御馬廻式番組与力人別書上覚〕〔寛政6年〕
 棟方作右衛門 TK280.3-194
 〔寛政6〕(1794)写 1通

〔御手廻五番組与力分限書上之儀覚〕〔寛政6年〕

堀五郎左衛門 TK280.3-195
 〔寛政6〕(1794)写 1通

〔御馬廻六番組与力人別書上覚〕〔寛政6年〕
 溝江伝左衛門 TK280.3-196
 寛政6(1794)写 1通

学校分限元帳 寛政8年改 御書物方 TK280.3-156
 天保3(1832)写 1冊 美濃 和
 註：寛政8年から文化5年迄(1796～1808)の元帳

分限元帳 文化2年8月改 御書物方 TK280.3-62
 写 35冊 美濃 和
 註：文化2年(1805)から文政11(1828)年までの
 分限元帳

内容：

第1 乾 御用人 御用人兼役 同手伝見習 御側御用
 人 寺社奉行 大目付 御旗奉行 同格 御持鍵奉行
 同格 大組足軽頭 同格 御持筒足軽頭 同格 諸手
 足軽頭 諸手物頭格 江戸足軽頭

第1 坤 御城府足軽頭 同格 物頭格 御国長柄奉行
 同格 御取次 江戸長柄奉行 御聞役 大寄合 同格
 御家老嫡子 御留守居組頭格御役免 御用人御役免
 御武具奉行加役 御楽屋奉行加役 無役 隠居

第2 乾 寄合 寺社奉行 郡奉行 同兼役 同手伝
 町奉行 同格 同兼役 勘定奉行 同兼役 同手伝
 山奉行 同兼役 御小性之頭 御児小性頭 御中小性
 頭 御錠口役 同兼役 御徒頭 御日付

第2 坤 青森町奉行 同格 鯨ヶ沢町奉行 同格 深
 浦町奉行 十三町奉行 御使者 同格 岩木川奉行
 岩木川下奉行 岩木川杖突 御手廻一番組番頭 同二
 番組番頭 同三番組番頭 同四番組番頭 同五番組番
 頭 御馬廻一番組番頭 同二番組番頭 同三番組番頭
 同四番組番頭 同五番組番頭 同六番組番頭 同七番
 組番頭 御馬廻番頭格 諸物頭御役免 江戸指頭御役

免 物頭格御役免 長柄奉行格御役免 寄合御役面
 第3 碓ヶ関町奉行 大間越町奉行 野内町奉行 作事奉行 蟹田町奉行 今別町奉行 御手弓頭 御手筒頭 御手道具頭 御手廻一番組より五番組迄 同無足 新田奉行 御手廻組外 四奉行以下御役免
 第4 御馬廻七組無足共 御馬廻組外 御日記役 御馬廻格 寺社役 御広舗御用達 同番人
 第5上 御留守居一番組 同以上御留守居支配 同以下御留守居支配
 第5中 御留守居二番組 同以上御留守居支配 同以下御留居支配
 第5下 御留守居三番組 同支配 御目見以上御留守居 支配次順 学問所取次役 作事奉行五浦町奉行御役面 経学添学頭御役免 御手廻御役免 御小仕組御役面 御広敷御用達御役免
 第6乾 御近習小性 同兼役 同格 御近習医者 同格 御近習詰 御伽之者 御小納戸役 同兼役 御膳番 御小仕組四組
 第6坤 御祐筆 大納戸役 御禿童 御茶道頭 御茶道坊主頭 同兼役 同格 御近習坊主 御茶道方 坊主小頭 受払坊主 御用所坊主 表坊主 御絵師
 第7上 御台所頭 同兼役 儒者 儒医 医者 目医 外科 針医 齒医 表医者格 小普請医 御抱守 若殿様御附 御部屋様御附 御中小性一番組
 第7中 御中小性二番組 勘定奉行支配人別調方役 同物書 御中小性格 御召馬役 御召馬医 御馬乗方 三御馬屋馬医
 第7下 御書物預 表右筆 真寿院様御附 欽姫様御附 (詰番 御用聞 番人 毛坊主) 満佐姫様御附 (御中小仕) 良姫様御附 (御内用取扱) 御内証姉御附 三十郎殿附 甲斐守殿御附人 那須与一殿御附 笠原八郎兵衛妻被下方
 第8 御徒五組小頭並共 御徒目付 早道小頭 早道之者 同見習
 第9 御日記物書 同見習 御鷹匠小頭 同格 御鷹匠

餌差小頭 餌差 山奉行支配 (山方吟味役 山方締役 山方物書 出方小使 拾歩一役 山方警固 山方警固代 山役人 所々脇道番人) 大目付支配 (足軽目付)
 第10乾 表右筆支配 屋舗奉行支配 御書役支配 御武具奉行支配 作事奉行支配 (作事小頭 受払役 小細工小頭 同並 同見習 同格)
 第10坤 彫物師 時計細工師 大工頭 畳屋頭 鍛冶頭 塗師小頭 塗師 作事物書 御堀警固 石切小頭 屋舗奉行支配手附 南溜池守 杖突 大工小頭 大工棟梁 木挽小頭 屋祢茸小頭 大工 作事小使 鳶小頭 鳶小頭常加勢 鳶之者
 第11乾 寺社奉行支配 郡奉行支配 (御代官 添奉行 郡所小頭 郡所物書 地高調役 上淵堰奉行 三新田 普請奉行 在目付 郡所物書 同見習 五ヶ所牧頭 廻堰村溜池奉行 御代官手代)
 第11坤 郡奉行支配 (御代官手代 郡所小使 賀田塩硝御蔵守 御薬園守 常盤山附小人小頭 同格 同所常附小人 三之丸御庭番附小人 富田御屋敷懸 富田御屋敷附 同常附小人 御代官小使 西浜漁師頭 鉄吹小頭 鉄吹 砂森大工 品目鍛冶 大作人頭 塩消炊 御目見并在御扶持方 紙漉)
 第12 町奉行支配
 第13 御台所吟味役 御召馬飼料役 同格 御米方勘定小頭 御勝手方勘定小頭兼役并加勢共 勘定小頭 勘定小頭兼役 同格 作事吟味役 同格 勘定人 同見習 同格 同格見習 買物役 同格 掃除頭 同格 奉公人取扱役 上納方御金蔵手代 御払方御金蔵手代 手形役人 紙御蔵常手附 掃除小頭 同格 勘定所小使 御召馬飼焚 革方取扱 御操合方
 第14 御台所頭支配 後藤理右衛門支配
 第15 九浦町奉行支配 柳原御屋舗預 同御門番 柳島御屋舗預 同御門番 浜御屋舗預 同御門番 御屋舗御門番 御広間帳附 古物預 中ノ口人使 同格 下座見 経師 江戸足軽警固 御武器手代 常府足軽 江戸足軽 御内玄関番 同見習 御聞役 物書 毛坊

主 京都役人 大坂役人 越前敦賀御屋敷 上総小人 小頭 御普代鳶小頭 松前御用相勤候御出入之者江被下方
 第16 御手弓頭支配 御手筒頭支配 御手道具頭支配 長柄三組同御用番支配
 第17 芙蓉之間御廊下詰御附人 御家老与力 御城代与力 御手廻与力 御馬廻与力 御留守居与力 大組与力
 [第18上] 諸手足軽六組 乾 (一番組～六番組)
 [第18下] 諸手足軽六組 坤 (七番組～十二番組)
 [第20] 大組足軽三組
 [第21] 御城附足軽三組
 [第22] 御旗警固二組 御持鎗仲間一組 (一番組)
 [第23] 御持鎗仲間一組 (貳番組) 御持筒足軽三組
 [第24] 二之丸御馬屋方支配 三之丸御馬屋方支配 受払役支配
 [第25] 掃除小人 乾 (い部～そ部)
 [第26] 掃除小人 坤 (つ部～す部 新規召抱段取跡式)

掃除小人 乾坤〔御書物方〕 TK280.3-157
 写 2冊 美濃 和
 註：文化2年から同13年(1805～1816)までの分限元帳

〔文政五年正月御礼次第〕 TK280.3-153
 文政5(1822)写 5冊 横長 半紙
 註：文政5年(1822)正月登城御目見の人名録

石寄 TK280.3-158
 〔文政8〕(1825)写 1冊 横長 和

分限元帳 文政11年6月改 TK280.3-162
 文政11～嘉永3(1828～50)写 28冊 美濃 和
 註：文政11年(1828)より嘉永3年(1850)までの元帳

内容：

- 第1 芙蓉之間御廊下詰 御家老 同手伝 御城代 同格 御手廻組頭 御馬廻組頭 同格 御留守居組頭 同格 御用人 同兼役 同手伝并見習 御側御用人 同格 寺社奉行 大寄合 同格 大目付 御旗奉行 同格 御持鎗奉行 同格 御留守居 大組足輕頭 同格 御持筒足輕頭 同格 諸手足輕頭 同格 江戸足輕頭 御城附足輕頭 物頭 同格 御国御長柄奉行 同格 江戸御長柄奉行 芙蓉之間御廊下詰嫡子并御家老嫡子 御取次 同格 御用人御役面 御武具奉行加役 御楽屋奉行加役 無役
- 第2 寄合 同格 御錠口役 同兼長 同格 御元ノ郡奉行 同兼役 同手伝 町奉行 同格 同兼役 勘定奉行 同兼役 同手伝 山奉行 同兼役 同手伝 御中小性頭 同格 御徒頭 同格 御目付 青森町奉行 同格 鯨ヶ沢町奉行 同格 深浦町奉行 十三町奉行 同格 御使番 同格 岩木川奉行 御手廻番頭 御馬廻番頭 御馬廻番同格
- 第3 碓関町奉行 大間越町奉行 野内町奉行 作事奉行 蟹田町奉行 今別町奉行 川奉行 (川方受払役 川方杖突 川方鳶之者 川方小使共) 御手弓頭 御手筒頭 御手道具頭 御手廻一番組より五番組 同組外 四奉行以下熨斗目以上之御役免 御手廻格 新田奉行 御手筒頭御役面 御膳番御役免
- 第4 御馬廻一番組より七番組 同無足 御日記役 御印紙方 御馬廻格 寺社役 御広舗御用達 同御番人 御馬廻番 同陸尺上締 同陸尺小頭 同陸尺役割 同女中陸尺
- 第5上 御留守居一番組 同支配 同二番組 同支配
- 第5下 御留守居三番組 同支配 同組外 同支配並 学問所取次役 御手廻御役免 同格御役免
- 第6 御近習小性 同兼役 同格 御近習医者筆頭 御近習医者 同格 御近習詰 御小納戸役 同兼役 御膳番 同格 御小性組四組 組分不知部 御小性組格 御祐筆 同格 大納戸役 御禿童 御茶道頭 同格

- 御茶道 同格 坊主頭 同兼役 同格 御近習坊主 同格 御茶道附 同格 坊主小頭 同格 受払坊主 御用所坊主 同格 表坊主 御絵師
- 第7上 御台所頭 同兼役 同格 御医者 医者無足 外科 針医 表医者格 小普請医 御中小性一番組 同二番組 同御雇加勢共 御中小性格 人別調役人別 方物書 同格 奉公人下取扱 御召馬役 同格 御召馬医 御馬乗方 御馬役格 三御馬屋馬医 馬医格 表右筆 同格
- 第7下 御取次 御用聞 御広敷番人 御玄関番御徒代 毛坊主 侍従様御附 屋形様御休息御附 御前様御附 本姫様御附 武之助殿御附 若殿様御附 御姫様御附 御内証様御附 那須与一殿御附
- 第8 御徒小頭 (一番組～五番組) 同並 御徒小頭 同格 御徒格 御徒御雇 御鋏炮組 御徒目付 早道小頭 早道之者 早道見習
- 第9 御日記物書 同見習 御日記物書御雇 御鷹匠小頭 同格 御鷹匠 同見習 飼差小頭 同格 飼差山方吟味役 同格 山方ノリ役 同格 諸木仕立方 諸木仕立地見継 山方物書 山方小使 拾歩一役 同格 山方警固 同代 山役人 早瀬野脇道番人 碓ヶ関脇道番人 童子越細越脇道番人 足輕目付
- 第10 表右筆支配 御書役支配 御武具奉行支配 御楽屋奉行支配 作事奉行支配
- 第11 寺社奉行支配 郡奉行支配
- 第12 町奉行支配
- 第13 御台所吟味役 御召馬飼料役 同格 御勝手方小頭 同兼役并加勢 勘定小頭 同格 作事吟味役 同格 勘定人 同見習 勘定人格 買物役 同格 掃除頭 御金蔵手代 手形役 紙御蔵手附 掃除小頭 同格 勘定所小使 御召馬飼焚 御勝手方御繰 合御用取扱 御用筆師 尾太銅山方小頭 同下役 海岸御締方下役
- 第14 御台所頭支配 後藤多宮支配
- 第15 九浦町奉行支配

- 第16 御手弓頭支配 御手筒頭支配 御手道具頭支配 長柄三組同御用番支配
- 第17 芙蓉之間御廊下詰御附人 津輕監物与力 津輕頼母与力 笠原八郎兵衛与力 津輕多膳与力 大道寺隼人与力 西館宇膳与力 津輕主水与力 大道寺治郎市 (玄蕃) 与力 笠原近江与力 森岡山城与力 津輕因幡与力 津輕金蔵与力 大道寺族之前与力 津輕多膳与力 高倉駿河与力 堀五郎左衛門与力 喜多村監物与力 御城代与力 御手廻一番組与力 同二番組与力 同三番組与力 同四番組与力 同五番組与力 御馬廻一番組与力 同二番組与力 同三番組与力 同四番組与力 同五番組与力 同六番組与力 同七番組与力 御留守居一番組与力 同二番組与力 同三番組与力 大組一番組与力 同二番組与力 同三番組与力 [第18上] 諸手足輕六組 乾 (一番組～六番組) [第18下] 諸手足輕六組 坤 (七番組～十二番組) 諸手御用番支配
- [第19] 大組三組
- [第20] 御城附足輕三組
- [第21] 御旗警固式組貝吹共 御持鑼式組警固並共 御持筒三組警固並共
- [第22] 二之丸御馬屋方支配 三之丸御馬屋方支配 青沼支配 有海榮作支配 木立常吉支配
- [第23上下] 小人 上下
- [第24] 廻小人

〔新規召抱小人〕 (新規召抱段取跡式) TK280.3-161
文政11～天保13 (1828～42) 写 1冊 美濃 和

覚 TK280.3-67
写 1冊 半紙 和
註：天保4年～同9年 (1833～1838) 役分限の覚

分限牒 天保～安政 TK280.3-74
写 1冊 31.2×7.3 和

御元方分限元帳 天保8年より TK280.3-163

御書物方

天保8～10(1837～39)写 1冊 美濃 和

分限元帳 嘉永4年改 TK280.3-166

嘉永4～明治2(1851～69)写 26冊 美濃 和

註：嘉永4年(1851)より明治2年(1869)までの元帳内容：

第1 御家老 同手伝 御城代 同格 御家老御役免

御書院大番頭 同格 表御書院大番頭 同格 御留守居組頭 同格 御用人 同兼役 同手伝 御側御用人 寺社奉行 大寄合 同格 表御書院大番頭御役免 同格御役兄 御留守居組頭御役免 大目付 御旗奉行 同格 御持鍵奉行 同格 公用人 御留守居 大組足輕頭 同格 御持筒足輕頭 同格 御書院番予備銃対頭 表御書院番予備銃隊頭 諸手足輕頭 同格 江戸足輕頭 御城附足輕頭同格 物頭格 御長柄奉行 同格 江戸御長柄奉行 御家老嫡子 御取次 同格 御用人御役免 御武具奉行加役 無役 隠居

第2 御中小性組之頭 寄合 同格 御錠口役 同兼役 郡奉行 同兼役 同手伝 町奉行 同格 同兼役 勘定奉行 同兼役 同手伝 山奉行 同兼役 御中小性頭 同格 御徒頭 御目付 青森町奉行 同格 鯨ヶ沢町奉行 同格 深浦町奉行 十三町奉行 同格 御使番 同格 御書院番組頭(一番組～五番組)同格 表御書院番組頭(一番組～七番組)同格 諸物頭御役免 同格御役免

第3 碓ヶ関町奉行 同格 大間越町奉行 野内町奉行 作事奉行 同兼役 同手伝 同助 蟹田町奉行 今別町奉行 同格 御手弓頭 御手筒頭 御手道具頭 御書院番銃隊(一番組～五番組)同無足 御手廻組外 四奉行以下熨斗目以上御役免 御書院番銃隊格

第4 表御書院番銃隊(一番組～七番組)同無足 御馬廻組外 同日記役 表御書院番銃隊格 寺社役 御広

舗御用達 同御番人

第5上 御留守居一番組 同支配 同二番組 同支配

第5下 御留守居三番組 同支配 学問所取次役 同格 御手廻御役免 御小性組御役免

第6 御近習小性 同兼役 同格 御近習医者 同格

附近習衆 同格 御小納戸役 同兼役 御膳番 御小性組 同右筆 大納戸役 御禿童 御茶道頭 御茶道 同格 坊主頭 同兼役 同格 同近習坊主 同格 御茶道附 同格 坊主小頭 同格 受払坊主 御用所坊主 表坊主 御絵師

第7上 御台所頭 同兼役 同格 同医者 同無足 外科 針医 表医者格 小普請医 御中小性 同格

人別調役 人別方物書 奉公人下取扱 御召馬役 御召馬医 御馬乗方 三御馬屋馬医 表右筆 同格

第7下 御側御用人 御小性組之頭 御錠口役 勘定奉行 御目付 御近習小性 同格 御簾番 御近習医者 同格 御近習詰 御広敷御用達 御広敷御番人 御小納戸役 御近習番 御右筆 御禿童 御茶道御近習坊主 毛坊主 御中小性 御書方物書 御台所頭 御料理人 御台所受払役 板之間小頭 板之間之者 勘定小頭 勘定人 作事受払役 御馬飼料役 二ノ御丸御馬屋方下役 御召馬口取小頭 中口人使 御仲間小頭 御草履取 御挾箱持 御陸尺金姫様御附 御取次 御用聞 御番人 御附 御附御用人(以上江戸関係)

第8 御徒一番組小頭 同並 同二番組小頭 同並 同三番組小頭 同並 同四番組小頭 月並 同五番組小頭 同並 御徒並 御徒小頭格 御徒格 御徒目付 早道小頭 早道之者 早道見習

第9 御日記物書 同見習 御鷹匠小頭 御鷹匠 同見習 餌差 山林調方 山方吟味役 山方締役 山林締役 諸木仕立方 同見習 諸木仕立地見継 山方 物書 山方小使 拾歩一役 同格 山方警固 同代山役人 早瀬野脇道番人 碓ヶ関脇道番人 童子越細越脇道番人 足輕目付

第10 表右筆支配 御書役支配 御武具奉行支配 御楽屋奉行支配 作事奉行支配

第11 寺社奉行支配 郡奉行支配

第12 町奉行支配

第13 御台所吟味役格 御勝手方小頭 同兼役並加勢

勘定小頭 同格 作事吟味役 同格 勘定人 同見習 勘定人格 御買物役 同格 掃除頭 上納方御金蔵手 伝 御払方御金蔵手代 同居 手形役 同格 紙御蔵手附 掃除小頭 同格

第14 御台所頭支配 後藤多宮支配

第15 青森町年寄 青森御印書 青森作事役 青森町同心警固 青森町同心 新組足輕御雇 青森御蔵舁取 青森町人 鯨ヶ沢町同心警固 鯨ヶ沢町年寄 鯨ヶ沢作事役 鯨ヶ沢同心 鯨ヶ沢御蔵舁取 鯨ヶ沢町人 深浦町年寄 深浦町同心警固 深浦町同心 深浦町人 十三町年寄 十三町同心警固 十三町同心 碓ヶ関町年寄 碓ヶ関町同心警固 碓ヶ関町同心 碓ヶ関町仮屋常附小人 大間越町同心警固 大間越町同心 大間越町年寄 入良川銀山下取扱 野内町年寄 野内町同心警固 野内町同心 蟹田町年寄 蟹田町同心警固 蟹田町同心 御献上并御用鱈仕立方取扱 今別町同心警固 今別町同心 今別町年寄 三厩町年寄 浦々御船頭 柳島御屋舗預 柳島御庭御鉢木取扱 大川端御屋舗預 向御屋敷預 向御屋敷御門番 品川戸越村御屋敷預 横川御中屋敷 三ツ目通御屋敷預 浜町御中屋舗 江戸御広間帳附江戸中之口人使 江戸経師 江戸常府足輕 江戸足輕三番組警固 江戸足輕四番組警固 江戸足輕 江戸御武器手代 御留守居物書 毛坊主 御普代抱鷺小頭 仲人頭 上総部屋小頭 同格 生涯扶持之者 京都御留守居 同物書 京都勘定人 同会所下取扱 京都御使者取次 京都御門番 京都小人 大坂御留守居 大坂勘定奉行 同勘定人 同会所下取扱 大坂手形役 大坂御門番 大坂御館人 大坂御屋舗附小人 越前敦賀御屋舗守 箱館御留守居

第16 御手弓頭支配 御手筒頭支配 御手道具頭支配

長柄三組同御月番支配
第17 大道寺族之助与力 喜多村監物与力 津輕凶書
与力 添田有方与力 森岡民部与力 西館宇膳与力
山中兵部与力 杉山八兵衛与力 津輕凶書与力 杉山
上総与力 大道寺族之助与力 御城代与力 御書院番
銃隊与力 表御書院番銃隊与力 御留守居組与力 大
組与力

〔第18〕諸手足輕十二組

〔第19〕大組三組

〔第20〕御城附足輕三組

〔第21〕御旗警固二組貝吹共 御持鑓二組警固並共
御持筒三組警固並共

〔第22〕二之御丸御馬屋方支配 三馬屋方支配 青沼春
吉支配 有海登支配 木立要吉支配

〔第23〕小人

〔第24〕廻小人 雇小人

分限帳 御住居御近習小性 TK280.3-75

嘉永4～安政5 (1851～58) 写 1冊 美濃 和

分限元帳 明治2年6月改 TK280.3-167

明治2,3 (1869,70) 写 21冊 美濃 和

内容：

第1 大参事 執政 権大参事 執政次席 陸軍隊長
少参事 会議所議長 二等上准格 隊長 隊長次席
学校知局事 軍務知局事 文武知局事次席 参政 参
政手伝 参政次席 准格 御側詰 権少参事 同助勤
軍監 会議所副長 大監察 一等銃隊司令士 二等銃
隊司令士 予備銃隊司令士 同次席 一等銃卒中隊司
令士 同次席 二等銃卒中隊司令士 同次席 三等銃
卒中隊司令士 同次席

第2 文武局司務 文武議事次席 民事局司務 郡政掛
市政掛 郡政司 市政司 会計司 同手伝 会計局
司務次席 側司 三等銃隊司令士 同次席 煩隊司令
士 同手伝 四等銃隊司令士 同手伝 上々附役面

監察 東浦司務 西浦司務 同次席 青森市令 同次
席 鱒ヶ沢市令 深浦市令 十三市令 同次席 御近
侍 同次席 一等銃隊半隊司令士 同次席 二等銃隊
半隊司令士 同次席 予備銃隊半隊司令士 銃卒小隊
司令士 姫君附 准格 役免

第3 三等銃隊半隊司令士 煩隊半隊司令士 四等銃隊
半隊司令士 營造方司務上席 營造司 碓ヶ関市令
同次席 大間越市令 野内市令 蟹田市令 今別市令
同次席 武庫司次席 一等銃卒半隊司令士 庖厨司次
席 御近侍医 同次席 医師 表医上席 表医 同次
席 役免 准格 小普請医 給使頭 同次席

第4 一等銃隊一番隊 同隊二番隊 同隊三番隊 同隊
四番隊 同隊五番隊 同隊一番隊々外 同隊二番隊々
外 同隊三番隊々外 同隊々外組分不知 同隊次席
浪之間諸番見継 浪之間詰番

第4の2 (明治2年11月) 一等銃隊一番隊 同二番隊
同三番隊 隊分不知之部 一等銃隊一番隊々外 同二
番隊々外 同三番隊々外 一等銃隊次席

第5 二等銃隊 (一番隊～七言隊) 同隊外 同次席
第5の2 (明治2年11月) 二等銃隊 (一番隊～四番隊)
同隊外 同次席

第6 三等銃陽一番隊 同二番隊 同隊外 東浦属事
西浦属事 三等銃隊次席 筆生上席 留書筆生 同加
勢 筆生 筆生兼 筆生手伝并介 筆生次席 营造調
方次席 准格 勘算方次席 营造勘算方次席 庖厨勘
算方次席 准格 御目見以下廉相勤准格之部 無役

第7 予備銃隊一番隊 同二番隊 同隊外 予備銃隊同
隊外 御目見以下予備隊

第8 大輿給事 大輿番人 記録方書記 書記 同手伝
記録方筆生 同手伝 同見習 政事堂給使 同小使
同加勢 外使 公務方書記 公務方筆生 鷹師締方
鷹師 同見習 餌差 高岡祭司下取扱 同見習 高
岡掃除頭 高岡掃除方 巡察方 糾察方加勢 隱密
方 同見習 見聞方上席 見聞方

第9 社寺調方 同手伝 同筆生 郡政調方 郡政方筆

生 同見習 郡民事局筆生役免 生産調方 同手伝
生産勘算方 三新田普請奉行 御牧頭 廻堰村溜池守
鷹野崎大筒方下役 小泊大筒方下役 金井沢大筒方下
役 三厩大筒方下役 諸組帳合方 諸組村々庄屋 福
村塩硝藏守 西浜漁師頭 鉄吹小頭 鉄吹砂森大工
品目鍛冶 今泉鉄山御雇之者 大作人頭 在御扶持方
生産調方 三之御丸四之北御庭懸 三之御丸御庭常附
小人 四之北常附小人 御葉園守 百沢御宮守

第11上 营造調方 营造勘算方 組工人 金具師 大
工頭 時計師 鍛冶頭 塗師頭 同小頭 塗師 鳶頭
石切小頭 鳶之者締方 大工小頭 木挽小頭 大工
雇職 鳶之者

第11下 庖厨司 庖丁人 庖厨勘算方 会計庶務調方
商社調方 厩馬飼料方 山林調方 勘算方 山林締方
会計局筆生 諸木仕立方 山林見廻締方 山林見廻方
諸木仕立地見継 買物方 上納方金庫帳合方 掃除頭
手形取扱 紙庫帳合方 掃除締方 会計局小使 厩口
取次席

第13 学校議事 同手伝 学校監察 同手伝 学校筆
生 軍務局議事 教授司上締 軍務議事 同兼役 軍
務議事手伝 軍務局司務役免 事務局監察 同役面
海軍調方 砲術調方 同手伝 燥教調方 同手伝 事
務局書記 団筆生 同筆生見習 軍務局筆生 役免
武庫司 武庫締方 同加勢 准格 (諸職人之部) 武庫
帳合方 同次席 焰焔師

第15 煩隊一番隊 同二番隊 同三番隊 四等銃隊一
番隊 同二番隊 同三番隊 同四番隊 同五番隊

第16 四等銃隊六番隊 同七番隊 同八番隊 同九番
隊 同十番隊 同十一番隊 同十二番隊

第17 四等銃隊十三番隊 同十四番隊 同十五番隊
同十六番隊 同十七番隊 同十八番隊 同十九番隊

第18 青森市井調方 青森捕亡 新組足輕御雇 青森
倉廩舛取 青森町人 鱒ヶ沢市井調方 鱒ヶ沢捕亡
鱒ヶ沢倉廩舛取 深浦市井調方 深浦捕亡 深浦町人
十三市井調方 十三捕亡 碓関市井調方 碓関捕亡

大間越捕亡 大間越市井調方 入良川銀山下取扱 野内市井調方 野内捕亡 蟹田市井調方 蟹田捕亡 今別捕亡 今別市井調方 三厩市井調方 浦々船頭 柳島御庭御鉢木取扱 品川戸越村御屋敷預 江戸経師 江戸常府足輕 上総部屋小頭 生涯扶持之者 京都御留守居物書 京都勘定人 同会所下取扱 京都御使者取次 京都御門番 京都小人 大坂御留守居 大坂会計司 大坂勘算方 大坂勘算方下役 大坂会所下取扱 大坂御門番 大坂御館入 大坂御屋敷附小人 越前敦賀御屋敷守 松前スツ新組足輕					
[第19] 掃除方					
[第20] 明治2年11月] 番士 (番士 番卒 准少下士)					
[第21] (明治2年11月) 奥 (御家令 御側詰 御家扶 高岡祭司役 御附 浪之間詰番見継 高岡御宮番 浪之間詰番 奥書記 庖厨司 奥医師 御用聞 厩馬乗責 奥給使 鷹師締方 絵師 御先供方 奥筆生 厩馬飼料方 厩馬医 奥番人 高岡祭司下役 包丁人 茶道附給使 鷹師 庖厨勘算方 細工人 家具方 庖丁方手附 表給使締方 受払給使 表給使 厩口取締方 同次席 厩口取 厩附掃除方 仲間締方 同次席 江戸仲間締方 仲間)					
近衛様・醍醐様・遍照尊院御合力京阪御館入敦賀御屋敷預 御勝手方 慶応3 (1867) 写 1冊 半紙 和	TK280.3-83				
従前三拾俵以上元帳 写 (明治2) 1冊 半紙倍 和	TK280.3-84				
従前式拾俵以上元帳 [明治2] (1869) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-85				
(銭給并式人扶持) 掃除方 明治2年分限方 明治2 (1869) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-91				
一等銃卒六組隊外次席共 明治2 (1869) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-89				
二等銃卒嚮導并銃卒同上席次廉隊外共 明治2年 [明治2] (1869) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-90				
三等銃卒 写 (明治2,3) 1冊 美濃 和	TK280.3-174				
士族分限帳 明治3年 1分限方 明治3 (1870) 写 1冊 半紙倍 和	TK280.3-93				
士族一列 3分限方 明治3 (1870) 写 1冊 半紙倍 和	TK280.3-92				
従前御留守居組并御中小性家格従前百俵并四拾俵以上元帳 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-175				
会計營繕元帳 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-176				
[従前二等銃隊家格元帳] 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-173				
御一門一等銃隊家格元帳 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-168				
砲隊・第壹一番小隊より二番小隊迄元帳 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和 註：砲隊長 砲隊壹番隊 同式番隊 第一大隊予備一番小隊 同二番小隊	TK280.3-169				
第一三番小隊より七番小隊迄元帳 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和 註：第一大隊予備三番小隊より七番小隊まで	TK280.3-86				
第一八番より十番迄元帳 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和 註：第一大隊予備八番小隊より十番小隊まで	TK280.3-87				
第二五番小隊より十番小隊迄元帳 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和 註：第二大隊予備五番小隊より十番小隊まで	TK280.3-170				
第三一番より五番迄元帳 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和 註：第三大隊予備一番小隊より五番小隊まで	TK280.3-171				
第三六番より十番迄元帳 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 美濃 和 註：第三大隊予備六番より十番まで	TK280.3-88				
第一中隊より第三中隊迄元帳 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-172				
学校軍事陸軍元帳 [明治4年] 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-138				
学校・練兵所元帳 分限掛 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-177				
医師嫡子家禄御扶持方従前拾五俵以上元帳 [明治4年] 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK280.3-139				
各所倉廩掛人員調 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK280.3-140				

諸湊掛并別段締方人員調 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-141	明治3,4(1870,71)写 1冊 美濃		家祿米之内勤学之者東京振分扶持明細書 〔明治4〕(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-185
元会計局營繕署〔名員〕明治4年 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-142	〔小人(俵)元帳〕 〔明治4〕(1871)写 1冊 美濃 註：卒と改める	TK280.3-183	雇人員調(去八月以来廃止候雇人員調) 明治4年 明治4(1871)写 1冊 横長 和	TK280.3-143
掃除方 明治4(1871)写 1冊 美濃 和	TK280.3-178	〔卒分限元帳〕 明治4(1871)写 1冊 美濃	TK280.3-184	雇人員調(去八月以来廃止候雇人員調) 明治4年 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-144
雇掃除方 明治4年 明治4(1871)写 1冊 美濃 和	TK280.3-179	士族給祿明細帳 元弘前県 明治4(1871)写 2冊 美濃・半紙 和 内容：明治4年7月15日より同年9月中 同年10月,11月 合綴：士族給祿調之内点羽之分	TK280.3-132	明治四年八月廃止人名調 写 1冊 半紙 和	TK280.3-145
市在両京分限元帳 明治3,4(1870,71)写 1冊 美濃 内容：御用達上常 御用達 同加担 御扶持町人 御仕立屋 縫箔師 町医 牢医 時鐘撞 鉄吹小頭 鉄吹砂森大工 品目鍛冶 今泉鉄山御雇之者 大作人頭 在御扶持方 百沢御宮守 青森捕亡 新組足軽御雇 青森倉廩舁取 青森町人 鯨ヶ沢捕亡 鯨ヶ沢倉廩舁取 鯨ヶ沢町人 深前捕亡 深浦町人 十三捕亡 碓ヶ関捕亡 碓ヶ関御飯屋常附小人 大間越節亡 入良川銀山下取扱野内捕亡 蟹田捕亡 今別捕亡 浦々船頭 柳島御庭御鉢木取扱 品川戸越村御屋敷預 江戸経師 江戸常府足軽 仲人頭 上総部屋小頭 生涯扶持之者 京都御留守居物書 京都勘定人 同会所下取扱 京都御門番 京都小人 大坂御留守居 大坂勘算方下役 大坂会所下取扱 大坂御門番 大坂御館入 大坂御屋敷番附小人 越前敦賀御屋敷守	TK280.3-180	官員等外文武教官及兵隊及管内外詰増分共月給渡明細調 元弘前県 明治4(1871)写 2冊 美濃・半紙 和 内容：明治4年7月15日より9月中 同年10月,11月	TK280.3-133	明治四年八月廃止之内卒類似之名員 明治10(1877)写 1冊 半紙 和	TK280.3-146
〔一代士族分限元帳〕 明治3,4(1870,71)写 1冊 美濃 註：卒の家筋にて一代士族 小者之家筋にて一代士族	TK280.3-181	卒給金渡明細調 明治4年10月,11月 元弘前県 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-134	明治四年来年八月廃止相成候士族卒并外役々共名員調(草稿) 明治4年 明治10(1877)写 1冊 半紙 和	TK280.3-147
使部仕丁元帳 上	TK280.3-182	給祿倉廩一時渡明細調 明治4年 元弘前県 明治4(1871)写 3冊 美濃 和	TK280.3-135	御廃止卒及雇掃除方名員調 明治4年11月 明治4(1871)写 1冊 横長 和	TK280.3-148
		市在扶持給分渡明細調 明治4年12月 元弘前県 明治4(1871)写 1冊 美濃 和	TK280.3-136	明治四年十一月廃止名員調 明治10(1877)写 1冊 美濃 和	TK280.3-149
		給祿収納米差継渡明細調 明治4年 元弘前県 明治4(1871)写 2冊 美濃 和	TK280.3-137	明治四年十一月廃止之内卒類似之者名員 明治10(1877)写 1冊(5冊合綴)半紙 和	TK280.3-150
				家祿請取書拾式通・御賞典奉還之面々 明治8,9(1875,76)写 1冊 半紙	TK280.3-151

◇

分限元帳 (天明) (江戸・京都・大阪) TK280.3-186 天明4～文化2 (1784～1805) 写 4冊 半紙 和 内容: 第1 第2 第3 第4	御黒印被下候人別知行付覚 元文元年 元文2 (1737) 写 1冊 横長 和	TK280.3-13	写 1冊 (3部) 横長 和
分限元帳 (江戸・京都・大阪) 文化2年改 TK280.3-187 文化2～文政7 (1805～24) 写 3冊 半紙 和 内容: 第1 第2 第6	御知行御書出頂戴不仕面々書上写 元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 元文元 (1736) 写 1冊 半紙 和	TK280.3-14	与力知御黒印被下候人別覚 TK280.3-23 元文元年11月, 同2年正月 写 1冊 横長 和
分限元帳 (文政) (江戸・京都・大阪) TK280.3-188 文政7～天保13 (1824～42) 写 3冊 半紙 和 内容: 第1 第6 第7	御知行御書出頂戴不仕面々書上写 元文元年 唐牛午治 蒔苗市兵衛 元文2 (1737) 写 1冊 半紙 和	TK280.3-15	御家中知行高人別帳 元文元年 TK280.3-24 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 元文元 (1736) 写 2冊 横長 和
分限元帳 (天保) (江戸・京都・大阪) TK280.3-189 天保13～慶応3 (1842～67) 写 4冊 半紙 和 内容: 第1 第3 第5 第8	御書出被下候人別帳 (下書) [元文元年] [元文元] (1736) 写 1冊 半紙 和	TK280.3-16	御家中知行高人別帳 元文2年 TK280.3-25 唐牛午治 蒔苗市兵衛 元文2 (1737) 写 3冊 半紙 和
分限帳 御家扶 TK280.3-190 写 (明治) 1冊 美濃 和	御側廻之面々 元文元年 元文元 (1736) 写 1冊 半紙 和	TK280.3-17	知行御書出被下候人別覚 [元文2年] [元文2] (1737) 写 2冊 横長 和 註: 1冊は下書か
◇	御隠居様附御側廻之面々 元文元年 元文元 (1736) 写 1冊 半紙 和	TK280.3-18	御書出被下候御座席付并人別留 元文2年 TK280.3-27 元文2 (1737) 写 1冊 美濃 和
御書出被下候御座席并人別留 TK280.3-10 写 1冊 美濃 和 内容: 正徳2年 正徳3年 (江戸) 享保15年 享保 16年 (江戸)	覚 TK280.3-19 元文元 (1736) 写 1冊 半紙 和 註: 元文元年知行書出の覚書	TK280.3-19	知行御書出頂戴之人数出順 [元文2年] [元文2] (1737) 写 1冊 横長 和
御家中御黒印并御知行目録写相改候人別覚 TK280.3-11 元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 秋元藤十郎 元文元 (1736) 写 1冊 横長 和	御知行御書出頂戴不仕江戸勝手之面々 TK280.3-20 元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 元文元 (1736) 写 1冊 半紙 和	TK280.3-20	寺社御書出頂戴人別出順の覚 [元文2年] [元文2] (1737) 写 1冊 横長 和
御家中御黒印并目録写相改候人別覚 TK280.3-12 元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 秋元藤十郎 元文元 (1736) 写 1冊 横長 和	御知行御書出頂戴不仕江戸勝手之面々 TK280.3-21 元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 元文元 (1736) 写 1冊 半紙 和	TK280.3-21	御書出被下候節御家老中より切紙覚 TK280.3-30 元文2 (1737) 写 1冊 半紙 和
	新知御加増并現米より地方成分知或高減候人別覚 [郷村方 御用および郷村方江書出候扣] TK280.3-22 元文元年	TK280.3-22	知行御書出帳 宝暦6年 TK280.3-31 宝暦6 (1756) 写 5冊 半紙・美濃 和
			御書出請取人別帳 宝暦6年 TK280.3-32 宝暦6 (1756) 写 5冊 (合綴) 横長 和

知行御書出被下候人別並御座席附 宝暦6年 宝暦6(1756)写 2冊 横長 和	TK280.3-33	御書出被下置候人別御家中知行高調帳 寛政6年 寛政6(1794)写 2冊 半紙 和	TK280.3-44	信明公寧親公御代与力知人別調帳 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-54
知行御書出被下候人別并御座席附 〔宝暦6年〕 写 1冊 横長 和	TK280.3-34	知行御書出写請取人別帳 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-45	信明公御代新知御加増并高減候部人別調帳 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-55
知行書出差遣人別并席附 宝暦6年 宝暦6(1756)万 3冊 半紙倍 和	TK280.3-35	知行御書出帳 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 美濃 和	TK280.3-46	信寧公御代新知御加増并高減候部人別調帳 附分知之事 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-56
御書出頂戴不仕面々口上書〔宝暦6年〕 宝暦6(1756)写 1冊 横長 和	TK280.3-36	知行御書出下帳 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 半紙倍 和	TK280.3-47	寧親公御代新知御加増人別項帳 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-57
知行高并加増分知減候改帳 宝暦6年 宝暦6(1756)写 1冊 横長 和	TK280.3-37	知行御書出被下候人別并御座席附 〔寛政6年〕 写 3冊 横長 和	TK280.3-48	旧知之部人別調帳 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-58
御書出被下候付御家老中より御連名御切紙 宝暦6年 宝暦6(1756)写 1冊 半紙 和	TK280.3-38	知行御書出被下候人別并御座席附 〔寛政6年〕 〔寛政6〕(1794)写 3冊 半紙倍・和	TK280.3-49	前賚之部人別調帳 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-59
覚 宝暦6(1756)写 10冊 横長 和 註：宝暦6年(1756)知行目録頂戴の際書出の綴	TK280.3-39	知行御書出被下候人別御座席附 寛政6年 寛政6(1794)写 3冊 半紙 和	TK280.3-50	御当代様一通御文段旧知新知加増減石調帳府与力知之事 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-60
覚 写(宝暦6?)1冊 横長 和 註：宝暦6年(1756)に知行目録書出の際の不審のものについて調べたものか	TK280.3-40	知行ニ付覚〔寛政6年〕 〔寛政6〕(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-51	御家中知行三拾石以上之御役御馬廻格以上御次第帳 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-61
不審帳(御書出認候人数之義ニ付) 写(宝暦6?)1冊 横長 和 註：宝暦6年(1756)の知行目録書出の際の不審なものを書いたもの	TK280.3-41	御書出被下候ニ付御切紙扣 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 半紙 和	TK280.3-52	御書出写差上候面々〔文政8年〕 写 5冊 横長 和	TK280.3-63
		信明公御代御書出頂戴無之当御代右頂戴之席江入候人別調帳 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK280.3-53	御書出写差上候面々 初日～五日目 文政8(1825)写 5冊 横長 和	TK280.3-159

御家中知行三拾石以上之御役御馬廻格以上御次第帳 文政8年 文政8(1825)写 1冊(10冊の中) 横長 和	TK280.3-64	御書出之写差出候面々 安政6年 安政6(1859)写 6冊 横長 和 内容:初日(8月24日)御家老より長柄奉行格迄 2日目(8月25日)寄合より五浦町奉行迄 3日目(8月26日)御手廻一番より御留守居一番組迄 4日目(8月27日)御小性組之頭より大納戸役迄 5日目(8月28日)標題次のとおり 寺社御書出員数書 但和解書無シ 五日之内差上候後御書出写差出候人別 註:石高記入	TK280.3-76	知行御書出被下置候人別帳 安政6年 安政6(1859)写 2冊 横長 和	TK280.3-80
御書出被下置候面々 文政8年 工藤伝兵衛 土門八郎 文政8(1825)写 3冊 横長 和	TK280.3-65	御書出之写差出候人別 安政6年 安政6(1859)写 6冊 横長 和 内容:初日(8月24日)御家老より御長柄奉行格迄 2日目(8月25日)寄合より五浦町奉行迄 3日目(8月26日)御手廻一番組より御留守居壹番組迄 4日目(8月27日)御小性組之頭より大納戸役迄 5日目(8月28日)寺社方 五日之内差出候後之御書出之写差出候人別(10月24日) 註:石高記入なし	TK280.3-77	覚 〔安政6〕(1859)写 1冊 半紙 和 註:知行御書出頂戴仰せ付けられた回章及びそれにつき代々の御書出の写等の書き方	TK280.3-81
御書出被下置候面々 文政8年 文政8(1825)写 3冊 横長 和	TK280.3-66	知行御書出被下置候人別御座敷附 安政6年 安政6(1859)写 3冊 横長 和 内容:初日(11月27日)2日目(11月28日)3日目(11月晦日)	TK280.3-78	御家中知行三拾石以上調帳 安政6年 安政6(1859)写 1冊 横長 和	TK280.3-82
御書出被下置候名前 初日,二日目 文政8(1825)写 2冊 横長 和	TK280.3-160	御書出被下置候面々 天保11年 北原惣蔵 中田善左衛門 天保11(1840)写 3冊 横長 和	TK280.3-70	御家中并諸組諸支配松前表にて病死致候子孫取調帳 天保4年改 分限方 天保4~弘化2(1833~45)写 1冊 半紙 和	TK280.3-68
御家中知行三拾石以上之御役御馬廻格以上御次第帳 天保10年 天保10(1839)写 1冊 横長 和	TK280.3-69	御書出被下置候面々 天保11年 天保11(1840)写 3冊 横長 和	TK280.3-164	在方八拾歳以上之男女人別調帳 天保14年 郡奉行 天保14(1843)写 1冊 横長 和	TK280.3-73
御書出被下置候面々 天保11年 天保11(1840)写 3冊 横長 和	TK280.3-70	〔知行御書出被下候御小性組面々〕 天保11年 天保11(1840)写 1通	TK280.3-197	〔華族御名賞典賜高ノ内分与人別〕 〔明治8〕(1875)写 1冊 半紙 和	TK280.3-198
御書出被下置候面々 天保11年 天保11(1840)写 3冊 横長 和	TK280.3-164	御書出写差上候面々 天保11年 天保11(1840)写 5冊 横長 和	TK280.3-71	拾五俵以上田畑御分限士族卒名前帳 租税署 明治4(1871)写 2冊 半紙 和 内容:(いろは寄せ)いよりく迄 やよりす迄	TK280.3-94
〔知行御書出被下候御小性組面々〕 天保11年 天保11(1840)写 1通	TK280.3-197	御書出御日割後出候部 天保11年 天保11(1840)写 1冊 横長 和	TK280.3-72	士族村寄帳 田畑調方 写 1冊(2冊ノ内)半紙 和	TK280.3-95

外ヶ浜願濟並闔外差繰士族卒闇帳 租祝署田畑調方 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-96	明治4(1871)写 2冊 半紙 和		写 1冊 半紙 和
赤石組村々士卒水帳 乾坤 租税署 明治4(1871)写 2冊 半紙 和	TK280.3-116	高杉組村々士卒水帳 租税署 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-115	八拾俵〔水帳〕 TK280.3-119 明治4(1871)写 8冊(10冊の内)半紙 和 内容:1和徳・堀越・大鱈三組 2尾崎・大光寺両組 3猿賀租 5藤崎・柏木両組 7広田・飯詰・金木三組 8金木新田・駒越・藤代・高杉四ヶ組 9赤石・広須両組 10木造支配・木造新田
赤田組村々士卒水帳 天地人 租税署 明治4(1871)写 3冊 半紙 和	TK280.3-110	常盤組村々士卒水帳 租税署 明治4(1871)写 1間・半紙 和	TK280.3-104	
飯詰組村々士卒水帳 租税署 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-108	浪岡組村々士卒水帳 乾坤 租税署 明治4(1871)写 2冊 半紙 和	TK280.3-105	六拾俵〔水帳〕 TK280.3-120 明治4(1871)写 3冊 半紙 和 内容:1和徳・堀越・大鱈・尾崎・大光寺・猿賀六ヶ組 2田舎館・藤崎・柏木・常盤・浪岡・赤田・広田七ヶ組 3飯詰・金木・駒越・藤代・高杉・赤石・広須・木造八ヶ組
田舎館組村々士卒水帳 1~4 租税署 明治4(1871)写 4冊 半紙 和	TK280.3-103	藤崎組村々士卒水帳 乾坤 租税署 明治4(1871)写 2冊 半紙 和	TK280.3-106	
大鱈組村々士卒水帳 租税署 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-101	藤代組村々士卒水帳 天地人 租税署 明治4(1871)写 3冊 半紙 和	TK280.3-114	五拾俵水帳 TK280.3-121 明治4(1871)写 1冊 半紙 和
尾崎組村々士卒水帳 天地人 租税署 明治4(1871)写 3冊 半紙 和	TK280.3-102	広須組村々士卒水帳 乾坤 租税署 明治4(1871)写 2冊 半紙 和	TK280.3-112	
柏木組村々士卒水帳 明治4年 租税署 明治4(1871)写 2冊 半紙 和	TK280.3-107	広田組村々士卒水帳 乾坤 租税署 明治4(1871)写 2冊 半紙 和	TK280.3-111	四拾俵〔水帳〕 TK280.3-122 明治4(1871)写 6冊(10冊の内)半紙 和 内容:和徳・堀越両組 4田舎館・藤崎両組 5柏木・常盤・ 増館・浪岡四ヶ組 6赤田・広田・飯詰・俵元新田四ヶ組 7金木・駒越両組 9赤石・広須両組
金木組村々士卒水帳 天地人 租税署 明治4(1871)写 3冊 半紙 和	TK280.3-109	堀越組村々士卒水帳 租税署 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-98	三拾俵〔水帳〕 TK280.3-123 明治4(1871)写 17冊(19冊の内)半紙 和 内容:1和徳組 2堀越・大鱈両組 3尾崎組 4大光寺組 5猿賀組 7田舎館組 8藤崎組 9柏木組 10常盤・増館・浪岡三ヶ組 11赤田組 12広田・飯詰・俵元新田三組 13金木組 14金木新田・駒越両組 15藤代組村々分与水帳 16木造組 17広須組 18木造新田
木造新田村々士卒水帳 天地人 租税署 明治4(1871)写 3冊 半紙 和	TK280.3-113	増館組村々士卒水帳 租税署 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK280.3-117	
猿賀組村々士卒水帳 1~4 租税署 明治4(1871)写 4冊 半紙 和	TK280.3-100	和徳組村々士卒水帳 天地人 租税署 明治4(1871)写 3冊 半紙 和	TK280.3-97	
大光寺組村々士卒水帳 乾坤 租税署	TK280.3-99	◇		
		百五拾俵水帳	TK280.3-118	式拾八俵壹升水帳 TK280.3-124

- 写 1冊 半紙 和
- 式拾八俵式斗七升・式拾五俵水帳 TK280.3-125
写 1冊 半紙 和
- 式拾俵〔水帳〕 TK280.3-126
明治4(1871)写 14冊(17冊の内)半紙 和
内容:1 和徳組 3 尾崎組 4 大光寺組 5 猿賀組 6 猿賀組浅瀬石村 7 田舎館組 8 藤崎組 9 柏木組 11 赤田・広田両組 12 飯詰・金木両組 13 金木・駒越両組 14 藤代・高杉両組 16 広須組 17 木造新田
- 拾五俵〔水帳〕 TK280.3-127
明治4(1871)写 6冊 半紙 和
内容:1 和徳・堀越・大鱈・尾崎・大光寺五ヶ組 2 猿賀組 3 田舎館・藤崎・柏木・常盤・増館・浪岡六ヶ組 4 赤田・広田・飯詰・金木・同新田五ヶ組 5 駒越・藤代・高杉・赤石四ヶ組 6 広須・木造両組
- 端石水帳 TK280.3-128
明治4(1871)写 1冊 半紙 和
註:四十俵～二俵
- 百俵八十俵四拾俵三拾俵式拾俵油川浦町両組水帳
明治4(1871)写 1冊 半紙 和 TK280.3-129
- 百俵八十俵四拾俵三拾俵式拾俵油川浦町両組水帳
租税署 TK280.3-130
明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 四拾俵三拾俵式拾俵五俵浦町横内両組水帳
租税署 TK280.3-131
明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 南部家元日二日礼諸士本座帳 TK280.3-154
写 1冊 横長 和
註:南部家の天保4年までの家禄増減并改名とも改め
- 華族類別録 TK280.3-152
写(明治7,8頃)1冊 半紙 和
- TK288 系譜 家伝 紋章
- 〔系譜〕御日記方 TK288-1
写 10冊 美濃 和
内容:1 為信公 2 信牧公 3 信義公 4 信政公 5 信寿公 6 信興公 7 信著公 8 信寧公 9 信明公 10 寧親公
- 為信公・信牧公・信義公〔系譜〕御日記方 TK288-2
写(貞享頃)1冊 半紙 和
- 御家中御由諸之覚 元禄6年～宝永2年 TK288-3
弘前日記方
宝永2(1705)写 1冊 半紙倍 和
註:津軽信政の係累
- 妙心院様御代御由緒 明和4年 御日記方 TK288-4
安政2(1855)写 1冊 半紙 和
註:妙心院(津軽信政)の係累
- 玄圭院様御由緒帳 明和4年 TK288-5
安政2(1855)写 1冊(2冊の内)半紙 和
註:玄圭院(津軽信寿)の係累
- 信明公御系譜 TK288-6
写 1冊 半紙 和
- 系譜 御日記方 TK288-7
寛政2(1790)写 1冊 半紙 和
註:津軽信政より信明までの系譜
- 公儀御書付之儀に付御旧記書抜 御日記方 TK288-8
寛政11(1799)写 3冊 半紙 和
- 公儀御尋ニ付御旧記書抜 御日記役 TK288-9
文化7(1810)写 1冊 半紙 和
註:文化7年12月10日山屋長太夫殿江差上候扣
- 御両敬御続之覚 TK288-27
天保5(1834)写 1冊 半紙 和
- 御両敬一件 弘化3年～文久4年 御書方 TK288-31
弘化3～文久4(1846～64)写 1冊 半紙 和
- 近衛様江御庶子之儀御願一件 TK288-26
弘化4年～嘉永4年
弘化4～嘉永4(184751)写 1冊 半紙
- 近衛様よりは是迄御系譜御猶子と御書直の処以来御庶子と御改被仰出候一件 TK288-10
嘉永2(1849)写 1冊 半紙 和
- 御系譜御触面并御差出迄之一件 TK288-24
弘化2年～嘉永2年
嘉永2(1849)写 1冊 27×20
附:御判物御朱印御領知目録写郷付高辻帳御扣入記
- 武之助様御続調扣 TK288-28
嘉永4(1851)写 1冊 半紙 和
- 承烈公御続并細川様御続并御両敬 TK288-29
安政4(1857)写 1冊 半紙 和



承烈公御統并細川様御統并御両敬 安政4(1857)写 1冊 半紙 和	TK288-30	天保10(1839)写 4冊 横長 和 註：初日之部(12月20日) 2日目之部(12月21日) 3日目之部(12月22日) 4日目之部(12月23日)	慶応3(1867)写 5冊 美濃 和 註：江戸常府藩士由緒書
御分知那須家一件 文政8年～安政5年 御書方 写 1冊 半紙 和	TK288-35	御書出員数書 安政6年 安政6(1859)写 5冊 美濃(横) 和	由緒書 TK288-22 明治5(1872)写 83冊(合本) 半紙 和 註：卒族が明治5年に書き上げたもの 内容：
(当時御不用) 御紋本 写 1冊 美濃半 和	TK288-25	御書出和解書 安政6年 安政6(1859)写 5冊 美濃(横) 和	第1 阿保吉之助 阿保金十郎 阿保熊五郎 阿保治三郎(正則) 阿保鉄太郎 阿保富蔵 阿保良助 阿保鱈蔵 阿部蔵八 阿部重太郎(正久) 阿部助九郎(朝始) 阿部辰十郎 阿部民蔵(正之) 阿部常八郎 阿部寅十郎 阿部豊司 相坂兼蔵 相坂文助 青木初弥 赤平岩次郎(久進)
覚 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 註：木立要左衛門 成田形助 橋本平作 神文次郎が宝暦6年知行目録頂戴の際に書出したもの	TK288-11	員数書并和解書(五日之内差出候後差出候様被仰付候面々) 安政6年 安政6(1859)写 1冊 横長 和	第2 赤石永吉(良清) 赤石亀太郎 赤石儀右衛門 赤石佐一郎 赤石元五郎 赤石虎三郎 赤平永吉 秋元新三郎 秋元善之丞(吉利) 秋元兵治郎(清貞) 秋元兵馬 秋元礼八 浅井角三郎 浅井良作 浅岡喜太郎 浅野安之進 浅利勝五郎 浅利元三郎(元則) 浅利万十郎 浅利柳太郎(利正) 浅利谷八
御書出員数書 文政8年 文政8(1825)写 5冊 横長 和 註：初日(9月20日) 2日目(9月21日) 3日目(9月22日) 4日目(9月23日) 5日目(9月24日) 標題は寺社御書出員数書	TK288-12	[知行御書出和解覚] 写 1通	第3 飛鳥源蔵(良記) 飛鳥寿吉 飛鳥冲一(良武) 雨宮巳之助 荒川丑右衛門(佐次) 荒川源太(清久) 荒木関佐吉郎 荒田直蔵 新谷亀次郎 新谷熊四郎(註：熊吉を熊四郎と朱書で改めている) 新谷幸四郎(元久) 新谷藤助 新谷平太郎 新谷弥五郎 安藤武次郎 安藤酉蔵(正久)
知行之訳書 文政8年 文政8(1825)写 5冊 横長 和 註：初日(9月20日) 2日目(9月21日) 3日目(9月22日) 4日目(9月23日) 5日目(9月24日) 標題は寺社知行之訳書	TK288-13	[小山内孫三郎知行書出員数覚] 小山内孫三郎 写 1通	第4 五十嵐久之助(正則) 五十嵐源太郎(忠正) 五十嵐権八 五十嵐惣八(安近) 五十嵐常吉(良貞) 生駒鉄郎 生駒彦弥(正吉) 伊東熊吉(成光) 伊東彦左衛門 伊藤市五郎 伊藤清作(祐之) 伊藤金弥 伊藤久蔵(久保) 伊藤辰之助(吉久) 伊藤辰弥(国基) 伊藤忠吉 伊藤富衛 伊藤福弥 伊藤平作(矩基) 伊藤与五郎(秀吉) 伊藤与治郎 伊藤与惣蔵 伊藤松太郎 伊藤雄蔵(祐一) 伊庭富次郎(則長) 猪股藤次郎
御書出員数書 天保10年 天保10(1839)写 5冊 半紙(横) 和 註：初日(12月20日) 2日目(12月21日) 3日目(12月22日) 4日目(12月23日) 5日目(12月24日) 標題は寺社御書出員数書	TK288-14	[神周八知行御出員数覚] 神周八 写 1通	第5 飯田丑之助 飯田才吉(舛定) 石岡源八郎(則正) 石岡久蔵 石岡松七 石岡善太(吉久) 石岡兵八郎(知
御書出訳書 天保10年	TK288-15	松前表ニテ病死跡調 乾坤 分限方 天保4～慶応2(1833～66)写 2冊 美濃 和 註：文久3年「京都御守衛登ニ付被仰付之表」も附記されている	
		江戸御家中明細帳 元治元年 元治元～慶応2(1864～66)写 8冊 半紙 和 内容：第1～8	
		江戸御家中明細書 慶応2年改	

定)石岡弥之助 石岡弥兵衛 石川伊太郎(正吉)石川市太郎(安定)石川勝吉 石川源藏(註:惣太郎事)石川郷吉 石川常藏(良則)石川新八郎(行正)石川甚八郎(永吉)石川酉藏(正勝)石川升藏(忠由)石川良太郎(定直)石川林藏(教友)

第6 石郷岡運吉 石郷岡吉太郎(正清)石郷岡金藏 石郷岡糸右衛門(久吉)石郷岡平治(光昌)石沢石五郎(吉正)石沢嘉七 石沢糸之丞 石沢駒治郎 石沢幸吉 石沢三司 石沢常三郎(吉久)石沢清次(正利)石沢外吉 石沢徳弥 石沢豊治 石田勘吉 石田蔵助 石田七郎治 石田与四郎

第7 石塚吉之丞 石塚源十郎(清房)石塚三藏 石戸谷栄吉 石戸谷栄五郎(久知)石戸谷勝太郎 石戸谷糸吉 石戸谷末吉(房之)石戸谷末三郎(久方)石戸谷末十郎 石戸谷惣藏(栄儀)石戸谷定七 石戸谷貞藏 石戸谷鉄藏(清治)石戸谷藤七 石橋制一(忠連)石山定三郎 板垣幸治郎(久則)板垣孫六 板垣茂市 板垣礼次郎

第8 一野坪宗四郎(元利)一戸喜内 一戸小太古 一戸幸之助 一戸重藏 一戸常右衛門(光定)一戸八十郎 一戸平太(註:八郎事)一戸巳之助 一戸雄作(清忠)一戸与助 一戸六弥(正次)出間蔵次郎 出間幸太 出間清吉 出間万藏 泉谷嘉兵衛 稲城松兵衛(敏秋)

第9 岩井鉄藏 岩井松太郎 岩川茂右衛門(亮一)岩川伝七 岩佐徳太郎(正清)岩崎金三郎 岩崎宗太郎 岩崎外太郎 岩崎直作(恭要)岩田林三郎(正久)岩淵久一 岩間藤次郎 岩間兵司(数吉)今井藤八

第10 内田多三郎(正行)内海元作 打越新六 海野甚藏 海老名重助 海老名彦太郎 蝦名菊次郎 蝦名清松(寛清)蝦名沢五郎 蝦名準吉(光任)蝦名新吾(則吉)小笠原音吉 小笠原熊吉 小笠原重次郎 小笠原直藏 小笠原要七郎 小川弥市(景喜)小車善作

第11 小山内永之助(喜正)小山内勝太郎 小山内勝之助 小山内喜久弥 小山内喜藏 小山内熊次郎 小

山内慶助(孟明)小山内綱七 小山内駒吉 小山内権藏 小山内才助 小山内多市 小山内長十郎 小山内豊作 小山内豊三郎(貞正)小山内福藏(正吉)小山内兵藏

第12 小田桐伊三郎(正幸)小田桐角藏 小田桐龜三郎 小田桐吉藏(代数調と首記している)小田桐清吉 小田桐金弥 小田桐久治(正久)小田桐末吉(利安)小田桐専一(清久)小田桐豊藏 小田桐五郎 小野円太郎 小野兼次郎 小野喜三郎 小野欽吉 小野五郎 小野権吉 小野小右衛門 小野三郎治(朝道)小野丈左衛門 小野専之助(良貞)小野善太郎(光貞)小野善八郎 小野長松(愛知)小野門之丞

第13 小野寺孝五郎(政清)小畑宇太郎 小畑兵治 小山伊四郎 小山熊八郎 小山清三郎 小山友治郎 小山弥九郎(義房)尾崎寅藏 織田辰吉 織田増吉 大井敏雄(惟之)大川市太郎 大川蔵之丞 大川駒吉(定一)大川団藏(盛正)大川藤弥(政久)大沢久司(義直)大沢慶藏 大沢常次郎 大沢伝吉 大沢彦市(兼一)大沢元作(元春)

第14 大瀬将太郎(政智)大瀬藤四郎(正勝)大瀬彦吉 大瀬平五郎 大高源太 大高三四郎 大高六藏 大谷安五郎 大西定吉(正則)大室幸四郎 大森重吉 大湯平作(安務)太田岩五郎 太田亀吉(久重)太田俊吉 太田助次郎 太田善次郎(善正)太田民弥 太田千代吉 太田藤七 太田藤十郎(久吉)太田友作 太田豊吉(幸正)太田八之丞(正則)太田紋次郎 太田弥助 太田勇太郎

第15 岡野礼次郎(一匡)岡野谷金次郎 岡本市右衛門(正安)岡本三弥 岡本蓮太郎(有勝)岡山銀十郎 奥村鶴松(英秀)奥山岩助 長内伊之松 長内寅市 長内春司 長内又古 長内門三郎 長内安市 長利要作

第16 加賀田竜五郎(利恭)加藤浅次郎(伯孝)加藤久兵衛(孝一)葛西伊三郎 葛西市太郎(利定)葛西宇三郎(標題 首記とも代数調)葛西斧吉(兼房)葛

西勝之丞 葛西銀作(教明)葛西久八 葛西熊吉 葛西熊太郎(忠孝)葛西蔵四郎 葛西蔵之助 葛西謙治(行求)葛西三八郎 葛西末吉(正久)葛西外弥(清久)葛西忠吉 葛西忠太 葛西貞次郎(貞久)葛西友之助(元房)葛西伴藏 葛西万之助(安之)葛西桃吉(容敏)葛西弥太郎(正則)葛西竜之助 葛西和吉(容保)

第17 嘉瀬福太郎(祐久)嘉瀬竜藏 柿崎朝次郎(正行)柿崎永藏 柿崎篤衛 柿崎常助 角田今吉 角田永次郎(清成)角田亀五郎(正安)角田儀作(清孝)角田吉治郎 角田広太郎(忠一)角田権内(行定)角田貞藏(清則)角田友次郎(友定)角田福次郎(定勝)角田松四郎(寛行)角田勇藏 角田竜一 柏原又作 片山要作 堅田治郎(註:小田桐を改む)

第18 金沢岩藏(吉久)金沢勝助(正光)金沢助左衛門 金沢成三郎 金沢精一 金沢多古 金沢忠藏 金沢豊九郎(正利)金沢平三郎(直茂)金沢兵次郎 金沢米藏 金田岩吉 金山勇吉 鎌田永吉(吉房)鎌田勝弥 鎌田金藏 鎌田銀次郎 鎌田寿平(季長)鎌田秀一(盛祐)鎌田甚兵衛(勝正)鎌田忠吉(正行)鎌田徳四郎 鎌田弥市 鎌田与惣平 兼平辰三郎(吉久)兼平繁太郎 兼平礼藏 神山丈助 紙沢忠太郎(則久)唐牛吉太郎(嘉幸)唐牛半助 唐牛平作(正秀)唐牛由太郎

第19 川合亀弥 川口喜代吉 川口駒之助 川口良之助 川崎与五郎 川村市三郎(清吉)川村永作(註:古川を川村と朱書で改めている)川村宇吉(註:斎藤と改姓)川村馬吉 川村喜与治 川村吉太郎 川村軍太郎(直一)川村幸吉 川村末次郎 川村仙之助(一弘)川村善四郎 川村伝次郎 川村徳藏 川村豊作 川村長十郎 川村又五郎(一布)川村百次郎 川村門三郎 川村弥市(正之)川村弥三郎 川村要七(清之)川村利右衛門 川村和市(吉久)川元小十郎(盛紀)川元重吉 川山定五郎

第20 木立啓藏 木村磯八 木村栄次 木村栄七郎 木村勝之助 木付官次郎(正丁)木村喜久弥 木村喜

太郎 木村吉助 木村吉蔵 木村金左衛門 木村熊次郎 木村庫之介 木村小治郎 木村此太郎 木村三吾 木村七郎 木村周一 木村重次郎 木村重次郎 (標題首記共に代数調) 木村政次郎 木村甚之助 木村惣左衛門 (正久) 木村其吉

第21 木村東一 (正道) 木村藤太 (宗直) 木村友蔵 (則利) 木村八三郎 木村初弥 (近正) 木村繁次郎 木村武一 木村福之助 (祐則) 木村平次郎 (吉定) 木村孫兵衛 (永久) 木村安太郎 木村勇助 (清久) 木村与十郎 木村竜治 (註: 木村八五郎事) 木村良之進 木村礼八 木村六一郎 木山治助 木和田万太郎 (註: 万次郎を万太郎に改名) 貴田谷蔵

第22 菊池卯太郎 菊池斧弥 菊池嘉兵衛 菊池喜平治 菊池恒太郎 (立貞) 菊池権太 (忠一) 菊池文之丞 菊池理兵衛 (利富) 菊地岩一 菊地宇三郎 菊池永馬 (利正) 菊地藤三郎 菊地寅四郎 菊地千代吉 北川栄助 北川源十郎 (久吉) 桐原又吉 (綱賀) 金謙作 (善定)

第23 久慈保治郎 久保田兼吉 久保田兵治郎 (正久) 久保田弥六郎 (弥栄) 工藤浅蔵 (久吉) 工藤亥助 (友久) 工藤石太郎 工藤岩五郎 (清重) 工藤岩次郎 (安則) 工藤永助 工藤栄太郎 工藤乙太郎 工藤音吉 工藤覚弥 (長正) 工藤勝太郎 工藤亀吉 工藤亀弥 工藤儀十郎 工藤喜兵衛 工藤喜代太郎 (正清) 工藤吉蔵 (久通) 工藤金弥 工藤浪之助 工藤倉蔵 工藤軍太郎

第24 工藤慶吉 工藤源之丞 (景福) 工藤源弥 (直正) 工藤堅司 (正房) 工藤幸助 (久方) 工藤幸蔵 (則正) 工藤権蔵 工藤左之助 工藤才吉 工藤才八 工藤宰六 工藤作吉郎 工藤三郎 (昌静) 工藤三郎治 工藤繁太郎 (光正) 工藤秀三郎 (方英) 工藤庄治 (藤勝) 工藤常左衛門 工藤助吉 (安正) 工藤助三郎 工藤助四郎 (貞久) 工藤清司 工藤清四郎 (則正) 工藤清則 工藤惣三郎 (安久) 工藤其一郎 (其敬)

第25 工藤太吉 (吉也) 工藤多吉 工藤多喜弥 (則一) 工藤多之助 (時寛) 工藤岳七 工藤辰三郎 (武貞) 工

藤忠太郎 工藤長作 工藤定市 (一之) 工藤鉄吉 工藤藤十郎 工藤富吉 工藤富五郎 工藤友助 工藤豊五郎 (勝清) 工藤豊吉 工藤直次郎 工藤直太郎 工藤直之助 (行春) 工藤八郎 工藤初之進 工藤初弥 (正忠) 工藤兵一 (森朋) 工藤兵次郎

第26 工藤征右衛門 (正一) 工藤征五郎 工藤征治 (吉光) 工藤征八 工藤又助 工藤万次郎 工藤三穂蔵 工藤元右衛門 (一正) 工藤文次郎 (茂久) 工藤元一 (清久) 工藤勇三郎 工藤与四吉 工藤与惣太郎 工藤由蔵 (祐之) 工藤良吉 工藤竜三郎 (方政) 工藤林次郎 (良則) 榊引勝郎 榊引久八 (直貞) 榊引左次郎 口川惣三郎

第27 熊谷吉太郎 熊谷藤吉 (直負) 熊ヶ谷徳治 (宣久) 熊谷元吉 (正行) 熊谷悠治 熊谷林蔵 (正次) 桑田峰吉 栗林市十郎 栗林幸吉 栗原富三郎 黒石忠助 (愛直) 黒滝伊三郎 黒滝熊五郎 (一幸) 黒滝熊蔵 黒滝幸之助 黒滝作太郎 (行成) 黒滝七郎 黒滝善作 黒滝清作 黒滝作太郎 黒滝与作 (友久) 黒滝泰三郎 (惟直) 桑田栄太郎 (茂吉) 桑田勝四郎

第28 小石久蔵 小枝豊次郎 小坂銀次郎 (正則) 小坂元八 小島定吉 小島善兵衛 小島外弥 小館宇門吉 (利知) 小寺伊右衛門 (年久) 小寺清蔵 (正義) 小寺兵七 (吉成) 小寺要一 小林栗弥 (則秀) 小林子之作 小林柁蔵 (正清) 小林要吉 (清久)

第29 古川伊兵衛 古川卯十郎 (正則) 古川永七 古川栄次郎 (則正) 古川喜之丞 古川条弥 (武久) 古川源太郎 (一忠) 古川俊治 古川善哉 古川貞蔵 古川富吉 (奉仕年数書上) 古川常作 (利則) 古川八郎 古川峰弥 古川安之丞 古川勇吉 古川友蔵 古川要五郎 古村常三郎 古村福太郎 古村弥作

第30 後藤銀次郎 (光吉) 後藤三郎 (季正) 後藤忠次郎 (方俊) 後藤元作 (勝正) 後藤良吉郎 (註: 表書の良吉郎の吉を太と朱書で改めている) 今市太郎 今嘉源太 (則正) 今勝三郎 今吉之助 今久太郎 (清応) 今小太郎 今精一 (克己) 今清次郎 今孫三郎 今忠七 今忠太

郎 (吉止) 今百吉 (栄永) 今兵吉郎 (行吉) 今元称 近藤嘉作 (盛道) 近藤謙吾 近藤善之助 (正則) 近藤徳三 (行忠)

第31 佐川嘉八 佐川八十八 佐々木石太郎 (則吉) 佐々木京大郎 佐々木円次郎 佐々木勝蔵 佐々木喜代吉 佐々木熊四郎 (清定) 佐々木源三郎 (高久) 佐々木清一 佐々木千代太郎 佐々木綱吉 佐々木常蔵 (正久) 佐々木貞太 佐々木伝蔵 (文友) 佐々木豊蔵 佐々木寅三郎 (正吉) 佐々木寅之助 佐々木繁太郎 佐々木文称 (直正) 佐々木元吉 (則定) 佐々木友一 (正直) 佐々木与惣平 (久吉) 佐々木竜次郎 (則泰)

第32 佐藤浅之助 (利正) 佐藤綾蔵 佐藤幾之助 (武久) 佐藤丑蔵 佐藤永太郎 佐藤嘉助 佐藤嘉六 佐藤勝蔵 (好口〔火に雫]) 佐藤菊弥 佐藤吉之丞 佐藤金三郎 (吉忠) 佐藤銀称 (善行) 佐藤蔵一 (安久) 佐藤蔵太郎 佐藤源司 佐藤権七 (盛行) 佐藤幸三郎 (高清) 佐藤孝太郎 佐藤広吉 佐藤才八 佐藤周作 佐藤重次郎 佐藤末五郎 佐藤末四郎 佐藤善四郎 佐藤武哉 佐藤為蔵 佐藤忠市 佐藤忠吉 (晴貞)

第33 佐藤綱吉 佐藤東之助 佐藤藤市 (註: 笹と朱書あり) 佐藤時衛 (光照) 佐藤徳蔵 (久吉) 佐藤徳太郎 佐藤富三郎 佐藤富蔵 佐藤留作 佐藤友太郎 佐藤友八 佐藤豊作 (友貞) 佐藤寅助 佐藤寅太郎 (正久) 佐藤直吉郎 (吉貞) 佐藤初太郎 (則久) 佐藤繁蔵 佐藤藤弥 (元久) 佐藤文市 (則勝) 佐藤文蔵 (政元) 佐藤又助 (久清) 佐藤又蔵 佐藤又八 佐藤亦作 (正則) 佐藤万三郎 佐藤茂助 佐藤元四郎 佐藤弥三吉 (則久) 佐藤嘉之丞 佐藤竜吉 佐藤了太郎

第34 佐野武四郎 (正武) 佐野政治 佐野巳五郎 (清和) 佐野林蔵 (知成) 斎木東兵衛 斎木豊太郎 斎藤二八郎 (行則) 斎藤八三郎 斎藤八之丞 斎藤春太郎 (善久) 斎藤春吉 斎藤彦衛 (正久) 斎藤彦吉 (弘善) 斎藤福松 (成正) 斎藤房吉 (行知) 斎藤平次郎 (則正) 斎藤柁太郎 斎藤松三郎 斎藤又十郎 斎藤茂三郎 斎藤文之助 (正之) 斎藤八十右衛門 斎藤竜次郎 (正行)

第35 斎藤岩吉(則吉) 斎藤宇吉郎 斎藤卯太郎 斎藤永三郎 斎藤永之丞(是行) 斎藤永之助(一昌) 斎藤英一(良一) 斎藤可治 斎藤一雄(近嘉)(註:幸太郎と朱書で改めている) 斎藤勝衛 斎藤龜太郎 斎藤勘太郎 斎藤喜三左衛門(武寅) 斎藤儀右衛門(久之) 斎藤吉五郎(定吉) 斎藤吉録 斎藤銀吾 斎藤蔵岩 斎藤敬一 斎藤駒蔵

第36 斎藤左吉(吉達) 斎藤才之助(直正) 斎藤繁八 斎藤品吉 斎藤宗一 斎藤重五郎(重久) 斎藤清達 斎藤太郎 斎藤大次郎 斎藤長松 斎藤常蔵 斎藤常八郎 斎藤哲太郎(標題 代数調) 斎藤伝一 斎藤伝蔵(正盛) 斎藤富之丞 斎藤友八(久則) 斎藤寅三郎

第37 坂本嘉市 坂本勝右衛門 坂本吉蔵 坂本熊平(正則) 坂本源蔵 坂本清吉郎 坂本民次郎(正利) 坂本鉄弥 坂本富蔵 坂本平吉 坂本巳之丞 境源八郎(久一) 境峰太郎(定行) 境和作 榊儀十郎 榊重作 榊富弥 榊田彦蔵(清英)

第38 桜田勘作 桜田周次郎(久道) 桜庭岩蔵(正勝) 桜庭宇七(久忠) 桜庭吉三郎 桜庭熊吉(清各) 桜庭久五郎(行良) 桜庭蔵次郎 桜庭健次郎(正忠) 桜庭源蔵 佐藤幸助 桜庭才吉(正幸) 桜庭重五郎 桜庭丈八 桜庭善次郎 桜庭忠作(忠則) 桜庭初太郎 桜庭文蔵(正行) 桜庭保次郎 桜庭竜太郎 桜谷専蔵

第39 笹吉弥 笹得太郎(正賢) 笹富七 笹寅九郎 笹征五郎 笹森岩之丞 笹森宇之丞 笹森兼九郎 笹森左源司 笹森志馬之助(正行) 笹森武雄 笹森豊平里見宇作(友道) 沢清作(好清) 沢田常吉(義清) 沢田蔵太郎 三戸喜久弥 三戸勇助 三戸与惣平(由高)

第40 塩崎勝弥(茂則) 塩谷新兵衛 鹿内円次郎(正之) 鹿内権五郎(利治) 鹿内作兵衛 庭内忠八(嘉正) 鹿内友蔵 七戸慶司(行正) 七戸源次郎 七戸寅吉郎 柴田宇三郎 柴田永十郎 柴田甚蔵(勝正) 柴田専助(利正) 柴野藤吉(代数調) 柴谷浅次郎(尚正) 柴谷弥吉(吉久) 柴谷竜蔵 渋谷市太郎 渋谷市之進(克久) 渋谷与八 渋谷由蔵 渋谷林左衛門 島田宇市

島田久左衛門(久吉)

第41 下沢八三郎(保躬) 下山亀次郎 下山末大郎 下山末八郎(祐理) 白川慶太郎 白川利助 白沢源治 白沢源太 白取音太郎(元明) 白取常四郎 白取惣四郎 白取定市 白取門次郎(永吉) 白銀長十郎 白戸喜三郎 白戸九十郎(治道) 白戸多三郎 神栄吉郎 神吉弥 神左之助(正清) 神清助 神松三郎(代数調) 神元太郎(正則)

第42 須藤栄吉(正澄) 須藤栄太郎 須賀嘉市 須藤久蔵(則誠) 須藤源蔵(貞則) 須藤幸太郎 須藤才助 須藤善六 須藤貞吾(景安) 須藤伝右衛門(正貞) 須藤藤次郎(正次) 須藤徳三郎(重威) 須藤留次郎 須藤友右衛門 須藤春司 須田源之丞 諏訪岩太郎 助川金太郎(利光) 杉沢宇十郎 杉沢宇太郎 杉沢弁次郎(正之) 杉沢良太郎(孝和) 杉村嘉吉郎(久篤)

第43 鈴木岩太郎(正則) 鈴木勝太郎(久成) 鈴木亀蔵 鈴木重五郎 鈴木多左衛門 鈴木定助 鈴木伝八郎 鈴木豊市 鈴木寅松 鈴木直作 鈴木柁五郎(正清) 鈴木又八(忠賀) 鈴木友蔵(忠之) 瀬尾準蔵 清藤熊太郎 清藤忠八 清藤常三郎(直政) 清藤和作(則一) 清野勝五郎(仲孝) 清野慶太郎(久行) 清野佐次右衛門(則正) 清野助吉 清野雄平 関亀作

第44 相馬岩次郎(安定) 相馬浜蔵 相馬力弥 相馬長七 相馬初次郎 相馬定十郎 相馬善三郎 相馬定八(定久) 相馬藤助(則正) 相馬磯吉 相馬藤三郎 相馬又六 相馬甚助 相馬寅太郎 田川丑次郎 田口幸太郎(久光) 田沢銀作 田沢熊作 田沢又五郎(正久) 田沢又四郎(正房) 田城豊次郎(孝之)

第45 田中岩吉 田中字之助(敏順) 田中亀弥 田中喜兵衛(久成) 田中金作 田中欽作(勝正) 田中熊之助 田中慶助(吉久) 田中甚吉 田中末三郎(因厚) 田中泰太郎 田中長太郎(正清) 田中藤之助 田中直次郎 田中伴内(註:勝蔵事) 田中筆八(正則) 田中文之助 田中孫一(嘉幸) 田中松三郎

第46 田村重治 田村新十郎(安満) 田村善之助(長

善) 田村鉄三郎 田村与惣雄 高木宇兵衛(正幸) 高木栄治 高木金吉 高木喜久司 高木幸吉 高木寿太郎(正幸) 高木繁吉(定英) 高木福蔵 高木万次郎 高木亮蔵 高崎豊平 高坂喜三郎(正為) 高杉喜平太(正清) 高杉末吉(兼久) 高杉辰弥(政一) 高杉留太郎(義久) 高杉松太郎 高杉要太郎(貞久) 高杉良作(景久)

第47 高田岩吉 高田栄太郎(義久) 高田吉弥(貞正) 高田久吉(元勝) 高田久兵衛(正直) 高田末八 高田末松 高田善蔵 高田友蔵 高田友弥(則元) 高田寅太郎 高橋浅吉 高橋永太郎(則定) 高橋玄丈 高橋健之丞 高橋権之進 高橋直次郎 高橋孫一 高浜弥八(久田) 高橋要次郎

第48 高松次郎左衛門(剛安) 高谷金治 高谷長次郎 高谷藤太 高屋治平 高屋善之丞 高屋多吉 高屋忠吉郎(正安) 高屋友三郎(正友) 高屋福三郎(定之) 高屋三千郎(利政) 高山蔵之助 高山治助 高山莊四郎 竹内嘉四郎 竹内儀兵衛 竹内源次郎 竹内末吉郎 竹内清三郎 竹内常吉 竹内伝蔵 竹内豊吉(正久) 竹内寅太郎 竹内春蔵 竹内彦吉 竹内福太郎 竹内平吉(正則) 竹内平治郎 竹内峰弥 竹内勇助 竹内雄馬(則正)

第49 竹中弥十郎 竹原大吉 竹村宇三郎 竹村勝太郎 竹村賢十郎(久方) 竹村大助 竹森助六(竹道) 竹森清一郎(行善) 竹森文吉 竹山永十郎 武井亀次郎(則正) 武田慶司(重正) 武田常三郎(正敏) 武田元吉 武林友三郎 鉄林与五郎(忠義) 武部健次郎(則正) 建部虎一 唯木又之丞

第50 館山吉右衛門 館山寿吉(則正) 館山末立助 館山善太郎 館山滝太郎 谷口富吉(久列) 種市久五郎(定章) 種市末三郎 種市友之助 種市勇太郎 玉井万蔵 樽沢福四郎 丹代宇一郎 丹代友次郎 旦代猪之助 丹藤東太 丹藤徳弥 丹藤由太郎(光清)

第51 千葉作太郎(盛清) 千葉覚之助(清晴) 千葉欽左衛門(定房) 千葉熊五郎 千葉周吉(秀尹) 千葉多

- 助(良三)千葉富三郎(道行)千葉春吉 千葉紋之丞(久二)築館元吉 対馬伊之助(久吉)対馬市右衛門(英正)対馬栄五郎(景旧)対馬勝之丞 対馬喜代吉(実一)対馬吉左衛門 対馬金吉(定久)対馬金藏 対馬久吉 対馬左馬之助 対馬定次郎 対馬三五郎
- 第52 対馬省吾(矩方)対馬惣助 対馬惣太郎 対馬多吉郎 対馬忠平(貞勝)対馬定五郎(茂久)対馬貞太郎(方立)対馬鉄藏 対馬直十郎 対馬元次郎 対馬元之助(正直)対馬元弥(治德)対馬八内 対馬山吉 対馬淀五郎 対馬竜太郎(清水) 蔦河清彦(定義) 土田象吉 土門熊吉(善延)
- 第53 出町定四郎 寺井文藏(文雄)寺沢勘左衛門 寺島外吉 寺島忠一郎 寺島百吉(貞行)寺田嘉助 寺川清太 寺田久五郎 寺川久助 寺田慶助 寺田源次郎 寺田周吉 寺田常太郎 寺田清五郎(則吉)寺田民弥 寺田長吉 寺田定吉 寺田富五郎
- 第54 土岐愛太郎(宜序)土岐重藏 土岐末吉(盛利)土岐助九郎(嘉盛)土岐百次郎 戸川清太郎 戸崎勇作(正久)外崎熊吉 外崎謙一 外崎健次郎(則定)外崎貞八(誠正)外崎巳之作(政行)富山善吉 富島嘉助 富舛久治郎 東海栄藏 東海又之丞(正久)東野専次郎 友木弥惣衛(清久)豊田重治郎(註:重次郎とも)豊田浪吉(徳正)
- 第55 奈良永之進 奈良栄之丞 奈良嘉吉 奈良儀兵衛 奈良政之助(広理)奈良善三郎(元利)奈良太右衛門(貞善)奈良多作 奈良忠作 奈良定八郎(正忠)奈良寅藏(泰久)奈良寅之進(直良)奈良保之助 奈良元七 奈良勇之助 奈良岡徳四郎(周俊)内藤才吉 中川金太郎 中川孝三郎(広久)中川才十郎 中川丹弥 中川寅太郎(吉久)
- 第56 中島市松 中島源七(久則)中田伊三郎 中田熊次郎(善中)中田順之助(勝良)中田長七 中田助弥 中田盛吾(産正)中館刑之進 中野久四郎 中野才兵衛 中野定次郎(朝孝)中野惣四郎 中野文吉郎(正武)中野元弥 中畑熊藏(久縄)中畑三八 中畑善四郎 中畑松太郎(正則)
- 第57 中村磯次郎 中村市弥 中村宇三郎 中村梅太郎(良則)中村永五郎 中村栄三郎(清久)中村勝衛(美一)中村勝平(則正)中村喜代吉 中村国太郎(愛久)中村源五郎 中村幸五郎(行定)中村是太郎 中村三吉 中村善三郎(昌貞)中村惣之助(清春)中村末市 中村精一 中村鉄五郎 中村藤五郎(武光)中村徳十郎(正勝)
- 第58 中村直一 中村八郎(行武)中村彦八 中村又藏 中村万弥 中村元八 中村元太郎(元良)中村元之丞(永正)中村勇太郎(則隆)中村与作 中村与惣吉(行吉)中村与之助(一義)永沢又六(直行)永山喜作 永山伝太郎(久成)長尾久治 長尾宗作 長尾彦吉 長尾孫吉 長尾弥作(則之)長崎惣兵衛 梨田佐五郎(清一)浪岡久六
- 第59 成田伊太郎(則清)成田石藏(行久)成田市記(唯肅)成田岩吉 成田岩次郎 成田永治郎(則文)成田勝太郎(清高)成田喜代太郎(宗明)成田儀兵衛 成田吉助 成田久吉(盛正)成田久藏 成田小六 成田幸太郎(正清)成田幸八郎(正利)成田定次郎 成田三郎次 成田丈左衛門(仲孝)成田甚八 成田政一 成田清十郎(則久)成田仙之助 成田善吉(衛吉)成田善七 成田善藏(則定)成田善之丞 成田太源 成田多五郎(勝正)成田多六 成田滝之助(誠哉)
- 第60 成田忠三郎 成田藤吾(房行)成田友作(有種)成田豊吉(正久)成田寅吉 成田八五郎(敦久)成田豹之助 成田春吉 成田米作 成田兵吉 成田鳳助(永年)成田万助 成田元三郎(勝則)成田元藏 成田門次郎 成田弥惣吉 成田弥平太 成田雄之助 成田与之吉 成田四方吉 成田可也 成田利八(吉久)成田理兵衛 成田廉太郎 成田和助 鳴海広太郎(良正)鳴海佐吉(正之)鳴海滝五郎 鳴海伝次郎 鳴海富十郎(幸久)鳴海平吉(知足)
- 第61 二川原兵治 二科格一郎(成徳)新岡重吉 新山寅次郎 西沢音吉 西沢吉五郎(理新)西沢蔵十郎 西村勝三郎 西村千代市 西村豊吉 西村勇一郎 西付与惣司 西村文弥 西山浅吉 西山峰八 乳井岩助(正行)乳井吉右衛門 乳井助市
- 第62 沼田蔵吉(世高)沼田五三郎 野口喜八郎 野崎平太郎 野沢宇一郎(利範)野沢久次郎 野沢淀五郎 野々口新左衛門 野村宇作 野村金弥 野村末八 野村専八 野村惣三郎 野呂儀作 野呂儀作 野呂力太郎(景久)則田善助(光房)
- 第63 羽賀栄藏 羽賀市太郎 羽賀伝左衛門 羽賀元十郎 羽賀亥之吉 芳賀藤四郎(忠光)葉山豊吉 長谷川金吉(良久)長谷川久吉 長谷川東弥(秀久)長谷川重藏(友和)(註:昌益事)長谷川豊四郎(直之)長谷川茂右衛門 長谷部今藏 橋本彦六(久吉)畑福豊三郎(直秀)泰清策 八戸才次郎 八戸勇吉(久吉)
- 第64 花田伊三吉(吉勝)花田栄太郎(茂元)花田吉之助 花田久助 花田宰一(光庸)(註:新吉事)花田修一郎 花田秀次郎 花田宗三郎(則正)花田董英 花田直弥 花田武男(茂勝)花田弥藏(正治)鼻和清次郎 浜田直八(久治)浜館平七(国久)浜田林吉 早川勘藏(利則)早川丈吉郎 速見亮司 林藏之的(光勝)林喜助 原田岩四郎(言利)原子多作(貞久)原子春次郎 原田文之丞 原子平助 伴三十郎 伴三藏(久正)
- 第65 樋口官藏(正之)樋口権六 樋口忠之丞 樋口弥久左衛門 樋口勇吉(幸栄)菱田豊次郎 百沢忠三郎(寿敬)広島助吉 平川喜助 平川三太 平川文兵衛(清敏)平沢鉄三郎 平野助十郎(清定)平山三吉(正記)平山与三郎 深堀熊吉 福岡浅之助 福岡儀十郎 福岡幸作 福岡又平 福岡茂三郎 福岡由太郎 福沢佐吉 福沢新吉 福沢兵三郎
- 第66 福士栄治(貞知)福士嘉次郎 福士勝次郎(正清)福士吉郎太 福士国吉 福士熊四郎 福士幸一郎 福士広太郎 福士定五郎 福士伝七 福士藤吉郎 福士八郎 福士百太郎 福士文吉 福士柁之丞(利久)福士元次郎 福士門治郎(喜伴)福士弥五郎(直之)福

士勇太郎 福士与惣市(正則) 福士要助 福士雷助(光久) 福士竜藏 福士林藏

第 67 福島岩太郎 福島武作 福田宇平治 福田作太郎 福田多助(房芳) 福田武三郎(重正) 福田藤兵衛(直道) 福真浅之丞 福真鉄弥 福真友之助 福真万次郎 藤井源吉 藤岡八十八(正重) 藤岡与兵衛 藤川久藏(吉長) 藤川保一郎(茂良) 藤川政次郎 藤沢永之助(英昌) 藤島仁三郎(元春)

第 68 藤田岩八 藤田宇作 藤川卯之助 藤田栄吉郎 藤田久宅 藤田久六 藤田慶吉(延成) 藤田健太郎(知秀) 藤田昇一 藤田新藏(信之) 藤田善四郎 藤田善助 藤田善八郎(勝久) 藤田善弥 藤田善六 藤田伝弥(常義) 藤田富三郎 藤田虎七 藤田直之助 藤田二兵衛(行道) 藤田平三郎(正行) 藤田福次郎(成久) 藤田平助 藤田元太郎 藤田元太郎(安雄)(註:元太郎事峰吉)

第 69 藤林礼作(敬重) 藤村志津磨(良貞) 藤村万吉 藤本伊兵衛(元清) 藤本岩五郎 藤本源五郎 藤本重藏(之正) 船水堅吉 船水助太郎(成久) 船水末弥(喜正) 船水多七 船水文吉 船水茂作 星出善作 本間鉄之丞 間山儀三郎 間山敬吾 間山豊吉(言智) 間山亦吉(吉光)

第 70 前田宇吉 前田栄助 前田乙吉(成審) 前田嘉七郎 前田官吾(広愛) 前田忠之助(成正) 前田春次郎 前田弥門 蒔苗熊次郎 蒔苗賢一(貞清) 蒔苗才哲(清貞) 蒔苗善吉 蒔苗多三郎 蒔苗東吉(高勝) 蒔苗寅次郎 蒔苗春吉(定雄) 榎木善之助 増田富太郎 町内政次郎 町田尚之進 町田東衛(代数調) 町田方之丞 町田衞吉 町田万助

第 71 松井尾次郎 松岡重次郎 松岡六太郎(吉則) 松川八郎(直忠) 松下左太郎(定吉) 松下茂兵衛 松島源十郎(道生) 松島弥五郎(久一) 松田俊平(永久) 松田千代太郎 松田三穂之助 松野定次郎(知之) 松野弥吉(久章) 松本末太郎(清元) 松本武治 松本鉄左衛門(成正) 松本武兵衛(以正) 松山嘉一郎 松山

兼次郎(註:伊八郎事) 松山徳五郎 丸山良太郎(成吉)

第 72 三浦浅吉(直敏) 三浦浅次郎(註:浅吉事) 三浦嘉吉 三浦勝藏(吉久) 三浦兼五郎(吉兼) 三浦勘助(勝之) 三浦喜一郎(一直) 三浦吉次郎(忠福) 三浦銀七(則光) 三浦沢之典 三浦久六部 三浦熊藏 三浦倉吉 三浦佐市(立頭) 三浦改作 三浦盛之進 三浦惣三郎 三浦惣作(忠宗) 三浦助藏(盛白)

第 73 三浦多市(久重) 三浦多右衛門 三浦太郎吉(利正) 三浦武藏 三浦辰之丞(註:三浦辰之丈とも) 三浦玉之助 三浦忠吾 三浦常次郎 三浦鉄太郎 三浦鉄之進(建善) 三浦友吉 三浦直次郎 三浦直平 三浦平之進 三浦兵馬 三浦文吾(実行) 三浦又八(正之) 三浦松太郎 三浦光郎 三浦八十平 三浦雄太郎 三浦与惣吉 三浦与太郎

第 74 三上奥太郎 三上嘉吉 三上勝次(註:勝治とも) 三上兼四郎 三上勘藏 三上喜久太郎 三上吉太郎 三上吉太郎(一則) 三上国之助 三上熊太郎(吉正) 三上蔵吉(高則) 三上源藏 三上源之助(規之) 三上権太郎 三上小藤太(隆弘) 三上丈次郎 三上丈八 三上重助 三上常一郎(正勝) 三上甚兵衛(光安) 三上末次郎(行祐) 三上清三郎 三上専助

第 75 三上多助 三上屯(亀太郎) 三上忠吉郎(道賢) 三上忠治(尚家) 三上忠弥 三上貞三郎 三上伝市 三上東馬 三上藤十郎 三上豊三郎 三上虎平人(正芳) 三上敏造 三上福三郎 三上兵作(正勝) 三上勇藏(喜治) 三上巳之吉 三上峰九郎(吉久) 三上元弥 三上弥五兵衛 三上勇太郎 三上亮之進(行永)

第 76 三原権平 三橋外太郎(利忠) 三橋銭弥(久之) 三橋直吉 壬生励一郎 壬生田長太 水野春平 溝江慶次郎 溝江銀平 溝江八十八 宮川喜久馬(広章) 宮川忠兵衛(慶乗) 宮川朝五郎 宮川政吉 宮田市弥 宮田吉弥 宮田忠之進(喜幸) 宮田藤次郎(吉久) 宮館辰次郎 宮館寅八 宮本音吉(吉久) 宮本米吉 宮本藤之助(則之) 宮本勇次郎

第 77 棟方兼次郎(正利) 棟方蔵次郎(吉知) 棟方郡

三 棟方昌助 棟方酉之助 棟方安之助 村上慶一郎 村上大次郎 村岡貞藏 村岡直助 村田駒之助 村田雄太郎 村谷徳之助 村山嘉門(忠明)

第 78 毛内三郎 毛内七弥 毛内惣九郎 森新三郎(敬久) 森川完一 森川沢吉 森田岩三郎(武久) 森田蔵太郎(友明) 森内重右衛門 森田文吾 森山半助 森山永太郎(正久) 森山才太郎(長正) 森山宗吉(貞光) 森山豊吉(幸正) 森出虎一 森山弥之吉 元木銀太郎(典之) 元山宇助 百田雄三郎

第 79 八木喜三郎(本昌) 八木沢良太郎 八木橋磯吉(知久) 八木橋喜十郎(福忠) 八木橋嘉吉(吉房) 八木橋金藏 八木橋正之助(正一) 八木橋初太郎(一濤八木橋彦右衛門 八木橋元太郎(定正) 安岡理兵衛 安田市之丞 安田宇八郎(正房) 安田小十郎 安田重大郎 安田辰兵衛 安田忠助 安田長命藏 安田富四郎 安田初弥 安川与八

第 80 柳田八五郎 山内嘉門(義春) 山内勝太郎 山内欽藏(貞行) 山内八十吉(正吉) 山内与助(好孝) 山形永太郎 山上亀吉 山口運吉(成明) 山口吉四郎(代数調) 山口叅五郎(重主) 山口清藏 山口滝次郎 山口巳之吉 山崎清九郎 山崎清次郎 山崎宗五郎 山崎常十郎(重成) 山崎伝藏 山崎兵馬(知元) 山下覚之丞 山下源太郎(正勝) 山添角弥

第 81 山田伊三郎 山田岩藏 山田亀十郎 山田勘藏(註:岩藏と改める) 山田官太郎(常時) 山田作太郎 山田重三郎 山田惣太郎 山田武兵衛 山田兵藏 山田有太郎 山田与右衛門 山野銀藏(知棟) 山本栄太(是一) 山本円次郎 山本貞吉(吉房) 山本平五郎 山谷乙三郎(利義) 山谷勝之助(則正)

第 82 横山兼吉 横山権七 横山三四郎(方正) 横山島五郎 横山多作 横山鉄之助(清長) 松山常吉(之久) 吉屋末吉 吉岡文弥 吉川英八郎(吉英) 吉川銀藏 吉川直之丞 吉崎常弥 吉沢岩右衛門(代数詞) 吉沢又兵衛 吉田勘吉 吉田太郎兵衛 吉田忠兵衛 吉田子之吉 吉谷吉助

第 83 吉町左吉郎 吉町八十八(成政) 吉村良吉 吉元善五郎 吉元末藏 吉本鉄藏 米田助十郎 和島伊助 和島福藏 和島文次郎 和田直太郎(忠徳) 和田勇三郎 和田六郎兵衛 若松岩之丞(吉光) 若林省三(朝敬) 若林専助 若山岩藏

代数調

TK288-23

明治 5 (1872) 写 24 冊 半紙

内容:

第 1 赤石栄作 赤石喜内 赤石富十郎 赤城惣左衛門 赤平永吉 新井勝峰 雨森元吉 河保左源太 阿部勇三郎 安倍与四郎 新谷市三郎 浅田才助 秋元石藏 秋元滝之助 秋元万吉郎 秋元藤次郎 荒田荘左衛門 荒川久作 荒川儀八郎

第 2 一戸専次郎 一戸三九郎 一戸徳三郎 岩谷孫十郎 岩間泰則 岩沼熊太郎 岩田荒次郎 石川虎太郎 石川福十郎 石川喜八郎 石川平之助 石岡秀右衛門 石岡藤之丞 石岡要吉 石火矢春司 石沢与一郎 石沢五左衛門 石沢治右衛門 石郷岡敬作 石郷岡末吉 石戸谷利助 石戸谷守実 岩崎文吉 岩崎駒五郎 岩淵久吉 市川仁三郎 今村溪仙 泉田又市 五十嵐源之丞 五十嵐其一 出間謙助 伊藤良助 伊藤左市 伊藤平作 伊藤門太郎

第 3 宇野栄吉 宇野彙吉 内山覚弥 内田晴三 蝦名貢藏

第 4 太田吉弥 太田敏一 太田五郎右衛門 太田三次郎 太田寅吉 太田覚弥 大瀬清次郎 大川勇之進 大川庄左衛門 大川要助 大川清三郎 大川是助 大川要吉 大沢藏吉 大沢善次郎 大沢三助 大沢久七 大沢永孝 小笠原亥之吉 小笠原常作 小山佐我吉 小川米吉 小畑富太郎 小田桐勝英 小田桐万藏 小田桐熊八郎 小田桐熊吉 小田桐永吉 小野祐之助 小野門之丞 小野弥市 小野畑寅治郎 小倉征治郎 小山内佐左衛門 小山内東一 小山内良吉 小山内民治 小山内繁一

第 5 葛西万之助 葛西斧吉 葛西豊八 葛西岩太郎 葛西弥八 葛西弥平 葛西勇吉 葛西治五右衛門 葛西富弥 葛西武吉 葛西治郎 兼平又三郎 柿崎幸八 亀岡彙吉 嘉瀬富二 金沢喜助 金岡勝弥 金谷友之助 加藤永太郎 角田伝之助 川元弥太郎 川村寿吉 川村長之助 川村嘉兵衛 川村直平 川口利八 川口縫之助 川口元弥 鎌田多之助 鎌田直一 鎌田常次郎 鎌田長藏 鎌田松太郎

第 6 木村米次郎 木村武右衛門 木村幸司 木村三治郎 木村謙藏 木村理助 木村綱八 木村勝之助 木村福右衛門 木村綱右衛門 木村観藏 木村太郎助 木村正治 木村常太郎 木村惣左衛門 木村平次郎 木村文吉 木村勝之丞 木村宇三郎 木村六一郎 木村元吉 木村伊太郎 木山健太 木下多左衛門 菊池元一郎 菊池伝五郎 菊池慶助

第 7 黒滝辰之助 黒滝熊藏 黒滝鉄之助 黒滝源次郎 黒滝藤内 黒土幾弥 工藤啓治郎 工藤与兵衛 工藤久之助 工藤林藏 工藤良太郎 工藤勘五郎 工藤友治郎 工藤小兵衛 工藤直吉 工藤庄助 工藤才五郎 工藤良助 工藤太郎一 工藤七郎 工藤茂兵衛 工藤喜三郎 工藤末太郎 工藤佐助 工藤岩太郎 工藤浦次郎 工藤繁吉 工藤末五郎 工藤兼吉 工藤吉三郎 工藤惣次郎 工藤岳一 工藤幸助 工藤孫弥 工藤清右衛門 工藤宇一郎 工藤兵作 工藤角次郎 工藤喜代藏 工藤鉄弥 工藤吉三郎 工藤茂三郎 九戸藤吉 国友兵藏 栗原藏三郎 熊井三四郎 熊谷重吉 熊谷謙吾 桑田善次郎

第 8 小坂酉次郎 小館岩右衛門 小枝昇馬 小中末八郎 小中銀助 小幡善兵衛 小寺伊右衛門 古木長四郎 今貞次郎 今浅吉郎 今栄八 今彦藏 今沢七 今省内 高坂春吉 古川豊七 古川実太郎 古川多次郎 後藤多久馬 後藤佐左衛門 後藤勇次郎 後藤寅次郎 後藤源四郎

第 9 境寅助 境金之助 斎藤銀弥 斎藤銀弥 斎藤官八 斎藤源左衛門 斎藤雄司 斎藤貞太郎 斎藤伝九

郎 斎藤孫吉 斎藤長兵衛 斎藤徳右衛門 斎藤貞吉 斎藤栄四郎 斎藤専太 斎藤広次郎 斎藤栄吉 斎藤作兵衛 斎藤源之助 斎藤岩吉 佐藤蜂弥 佐藤吉右衛門 佐藤常弥 佐藤東右衛門 佐藤乙太郎 佐藤善八郎 佐藤治右衛門 佐藤定太郎 佐藤新六 佐藤清次郎 佐藤万三郎 佐藤丑藏 佐藤甚左衛門 佐藤左市 佐藤徳之丞 佐藤鉄次郎 佐藤啓吉 佐川鉄五郎 佐々木清次郎 佐々木善吉 佐々木栄八郎 佐々木勝内 佐々木吉之丞 佐々木貞太 坂本栄助 坂本勇吉郎 坂本歳八 沢田孫助 笹田寅吉 笹村佐市 笹森忠太郎 笹森新七 桜田善四郎 桜庭善左衛門 桜庭平太 桜庭巳之松 桜庭彦七 桜庭清七

第 10 渋谷慶治 渋谷謙太 下山晴勝 下山杣七 島田幾左衛門 島田徳次郎 島田幾次衛門 島口松吉 島口定平 島口藏五郎 柴田八郎治 白戸友三郎 白戸末四郎 白戸彙吉 舌川万藏 神堅吉 神万之助 神岩藏

第 11 杉沢卯太郎 杉山喜次郎 杉本村男 鈴木磯馬 鈴木文弥 須藤三助 須藤藏八郎 須藤直作

第 12 青海慶太郎 青海伴次郎 青海源兵衛 関八五郎 関其右衛門 清野市太郎 清野亀太郎 清藤宇八郎 相馬元弥 相馬久左衛門 相馬要吉

第 13 高山専吉 高山庄十郎 高山元吉 高杉茂八 高橋長命吉 高橋栄藏 高杉重吉 高橋民悦 高橋柳司 高橋啓之助 高木亮藏 高木福藏 高木元治郎 高木半弥 高森宗太郎 高屋万藏 高屋善之丞 高谷兼吉 高田辰三郎 丹代友次郎 竹村利政 竹村虎寿 竹中東一郎 竹中鉄五郎 竹中幸作 館山宗五郎 館山久三郎 館山幸助 田中源次郎 田中喜重吉 田村良助 建部豊藏 建部源左衛門 武田又三郎 種市甚藏 谷沢常太郎

第 14 千葉駒助 千葉晴浦 千葉繁太郎 千葉友吉 対馬松太郎 対馬嘉三郎 対馬方次郎 対馬太郎吉 対馬藏次郎 対馬良哲(良之進) 対馬忠藏 土田丑藏 土屋幸之助

第15 手塚儀兵衛 手塚勇藏 手塚喜内 手塚福次郎
寺田弁司 寺田久五郎 寺田斧太郎 寺田四郎吉 寺
田松藏 寺田孫九郎 土岐為弥 外崎弥助 外崎友三
郎 外崎元太郎 外崎滝郎

第16 成田兵内 成田平作 成田嘉助 成田勝太郎
成田市藏 成川広太郎 成田万平 成田与吉 成田岩
太郎 成田潤藏 成田隆助 成田久次郎 成田治助
成田千代作 成田熊太郎 成田常次郎 成田丑吉 成
田与八郎 成田兵弥 成田直藏 成田雄八 中野邦太
郎 中川祐次郎 中田兵作 中川忠八 中村由吉 中
村市右衛門 中村直吉 鳴海元弥 長尾熊藏 長尾与
太郎 奈良藤藏 奈良卯吉 奈良多作 梨田清十郎

第17 二唐松左衛門 二唐尚吉 乳井徳弥 乳井惣司
乳井清定 西沢市太郎 西村寅太郎 西村良助 沼田
富五郎 野尻直作 野尻直作 野崎与七 野呂定吉
野村熊吉

第18 八戸栄吉 浜田久吉 羽賀市之丞 羽賀徳之助
羽賀東吉 長谷川富吉 長谷川梅吉 長谷川寅太郎
花田得一 花田孫六 花田亀次郎 花田伊三吉 原田
勇太郎 原田四郎吉 原田与一郎 伴幸作 平岡忠衛
平沢七郎 樋口左次郎 平川幸太郎

第19 藤田助市 藤田源之助 藤田伝次郎 藤田助弥
藤田貞助 藤田多七郎 藤田鉄太郎 藤田正成 船水
栄吉 福土春弥 福土竜老 福土清太郎 福土才吉
福土伝八 福土常従 福土鉄次郎 福土吉太郎 福土
久兵衛 福土源四郎 福土福助 福土新吉 福田長四
郎 福田虎八郎 細越孫藏 堀江伊兵衛

第20 蒔苗三五郎 松下末次郎 松野米作 前田寅吉
間山広吉 間山喜久内 増田重藏 増田春吉 柁木源
五郎

第21 宮本善右衛門 三橋亀次郎 三国三太郎 三浦
周吉 三浦銀之助 三浦武藏 三浦勇八 三浦寅平
三浦貞吉 三浦千代三郎 三浦長之丞 三浦久藏 三
浦勇藏 三浦与吉 三浦長兵衛 三浦熊三郎 三上健
一郎 三上綱藏 三上儀作 三上藤衛 三上将一 三

上勝治 三上繁吉 三上文治郎 三上弥藏 三上辰六
三上茂次郎 三上兵之助 溝江権次郎

第22 村谷勘右衛門 村谷忠五郎 村上滝五郎 村上
才吉 棟方駒三郎 百川清一郎 森田多五郎 森山平
之助 盛宗直次郎

第23 安田銀次郎 山川千代治 山口滝次郎 山口友
吉 山口百次郎 山口己之七 山本寅次郎 山田捨次
郎 山内九十九 山内礼藏 山内銀称 野藤盛之助
矢部岩之助 油布角弥 吉崎岩四郎 横出鉄弥 皆川
正之助 横山慶八 横山幾治郎 吉村辰三郎 吉沢勘
六

第24 和島本実 和島源吉郎

TK289 個人伝記

津輕信政

〔津輕越中守(信政)宛御切紙〕 TK289-66

寛文6～元禄元(1666～1688)写 17通
内容:御用登城之儀(4月17日(寛文)土屋但馬守等連署)
御用申渡付家来評定所へ差趣之儀(3月3日,4月5日
(寛文)板倉内膳正等)端午之御内書相渡候儀(6月9
日(寛文)酒井雅楽頭)登城参勤御礼(寛文6年3月
29日 板倉内膳正等)重陽之御内書相渡候儀(寛文6
年11月3日 酒井雅楽頭)美濃守宅へ家来差越之儀(寛
文6年11月11日 板倉内膳正等)歳暮之御内書相渡
候儀(寛文7年2月7日 酒井雅楽頭)上覧蹴鞠見物
之儀(寛文7年3月付日 板倉内膳正等連署)東叡山
御参詣行列供奉仰付(寛文7年4月18日 板倉内膳正
等連署)御用之儀登城(御暇)(寛文7年4月22日
板倉内膳正等連署)登城参勤之御礼(延宝5年4月7
日 土屋但馬守等連署)端午之御内書相渡候儀(延宝5
年6月17日 酒井雅楽頭)津輕出羽守同道にて豊後守
宅へ相越(貞享5年4月17日 阿部豊後守等連署)津
輕出羽守同道にて登城(貞享5年7月27日 土屋相模

守等連署)御用之儀にて登城(改元の事)(貞享5年10
月5日 土屋相模守等連署)重陽之御内書相渡候儀(元
禄元年12月2日大久保加賀守)

津輕右京(信興)

右京様兵学御誓詞 宝永6年 TK289-67

宝永6(1709)写 1通

註:山本勘助流兵法并城築繩張起請文 津輕越中守(信
政)宛

若殿様御婚礼一卷 上下 TK289-470

正徳6(1716)写 2冊 半紙 即

津輕信寿

〔津輕平藏(信寿)宛御切紙 附同御請之案文并戸田山
城守様江御口上書〕 TK289-68

12月24日,同月25日大久保加賀守等連署

〔貞享元〕(1684)写(原本)3通

註:御用之儀にて登城(官位之談)

〔津輕出羽守(信寿)宛御切紙〕 TK289-69

戸田山城守等連署

〔貞享2〕(1685)写(原本)1通

註:登城官位之御礼

〔津輕土佐守(信寿)宛御切紙〕 TK289-70

宝永7～享保15(1710～30)写(原本)14通

内容:御用登城之儀(宝永7年12月18日 井上河内
守等連署)御用登城之儀(正徳2年4月18日 大久保
加賀守等連署)御用登城之儀(正徳2年4月20日
大久保加賀守等連署)大久保加賀守宅へ相越儀(正徳2
年4月22日大久保加賀守)御用登城之流(正徳4年4
月12日 久世大和守等連署)歳暮之御内書相渡候儀(享
保4年2月20日 戸田山城守)登城参勤之御礼之儀(享
保4年3月29日 水野和泉守等連署)端午之御内書相

- 渡候儀（享保4年6月24日 井上河内守）朝詳伝使御礼申上候間登城之儀（享保4年9月29日 水野和泉守等連署）重陽之御内書相渡候談（享保4年10月20日 水野和泉守）登城參勤御礼之儀（享保14年4月14日 酒井讃岐守等連署）御用登城之混（享保14年9月14日 酒井讃岐守等連署）端午之御内書相渡候儀（享保15年6月24日 松平左近将監）
- 〔本所火消被仰付之儀御奉書〕 TK289-71
9月25日 津輕土佐守（信寿）宛
〔正徳元〕（1711）写（原本）1通
註：阿部豊後守 井上河内守 大久保加賀守 秋元但馬守より
- 〔本所御材木蔵火之番被仰付候儀御奉書〕 TK289-72
4月16日 津輕土佐守（信寿）宛
享保4（1719）写（原本）1通
註：水野和泉守 戸田山城守 久世大和守 井上河内守より
- 津輕信著
〔津輕出羽守（信著）宛御切紙〕 TK289-73
元文2～延享元（1737～44）写（原本）3通
内容：重陽之御内書可相渡候儀（元文2年10月20日 松平伊豆守）歳暮之御内書可相渡候儀（元文3年2月20日 日本多中務大輔）御用登城之儀（延享元年4月17日 土岐丹後守等連署）
- 〔猿江御材木蔵火之番被仰付候儀御奉書〕 TK289-74
5月13日 津輕出羽守（信著）宛
享保19（1734）写（原本）1通
註：酒井讃岐守 松平左近将監より
- 津輕信寧
信寧公從御忌明至御家督御勤之一件 TK289-471
- 延享元（1744）写 4冊 美濃 和
- 〔本所緑町組合辻番所頭取之儀御切紙〕 TK289-453
8月8日 津輕岩松（信寧）宛
延享元（1744）写（原本）1通
註：御目付駒井靱負より
- 〔津輕岩松（信寧）宛御切紙〕 TK289-75
延享3, 宝曆3（1746,53）写（原本）3通
内容：御用名代登城之儀（延享3年10月10日 西尾隠岐守等連署）御目見被仰付登城之儀 附家来二人御目見被仰付添書（宝曆3年2月17日 西尾隠岐守等連署）
- 〔本所御蔵火之番被仰付候儀御奉書并書付〕 TK289-78
3月10日 津輕岩松（言寧）宛
延享3（1746）写（原本）2通
註：堀田相模守 松平能登守 本多中務大輔 酒井雅楽頭より
- 〔官名土佐守ト相改申度儀伺書〕 TK289-449
御附紙共 12月18日 津輕岩松（信寧）
宝曆3（1753）写（原本）1通
- 〔津輕岩松（信寧）宛御切紙〕 TK289-75
西尾隠岐守等連署
延享3, 宝曆3（1746,53）写（原本）3通
内容：御用名代登城之儀（延享3年10月10日）御目見被仰付登城之儀 附家来二人御目見被仰付添書（宝曆3年2月17日）
- 〔夏中足袋相用度儀伺書〕 TK289-89
御附紙共 津輕信寧
宝曆4～天明2（1754～82）写（原本）21通
内容：津輕土佐守 宝曆4年4月9日 同5年3月25日〔同6年〕3月25日 同7年4月2日 津輕出羽守
- 宝曆11年4月3日 同12年3月28日 同13年3月29日 同14年3月27日 明和2年5月10日 同3年3月28日 同4年4月5日 同6年3月29日 同7年3月28日 同8年4月4日〔同9年〕3月28日 安永2年閏3月28日 津輕越中守 安永3年3月28日 同4年3月28日 同9年3月22日 同10年4月4日 天明2年3月22日
- 〔津輕土佐守（信寧）宛御切紙〕 TK289-444
2月20日 本多伯耆守
宝曆5（1755）写（原本）1通
註：歳暮之御内書相渡候儀
- 〔名改伺之通被仰付御礼之儀御奉書〕 TK289-79
12月22日 津輕出羽守（信寧）宛
宝曆8（1758）写（原本）1通
註：秋元但馬守涼朝より
- 〔名改伺之通被仰付御礼之儀御奉書〕 TK289-80
12月22日 津輕出羽守（信寧）宛
宝曆8（1758）写（原本）1通
註：松平右近将監武元より
- 〔本所御蔵火之番被仰付候御奉書〕 TK289-81
4月20日 津輕出羽守（信寧）宛
宝曆11（1761）写（原本）1通
註：井上河内守 秋元但馬守 松平右近付監 酒井左衛門尉より
- 〔公家衆御馳走人被仰付本所御蔵火之番御免御書付〕 TK289-82
津輕出羽守（信寧）宛
宝曆11（1761）写（原本）1通
註：秋元但馬守より
- 〔津輕出羽守（信寧）宛御切紙〕 TK289-76

宝暦11～明和9(1761～72)写(原本)12通
 内容：登城参勤御礼之儀(宝暦11年4月14日 井上河内守等連署)御用之儀登城(宝暦12年4月17日 松平右京大夫等連署)端午之御内書相渡候儀(明和2年6月24日松平右京大夫)重陽之御内書相渡候儀(明和2年10月22日 松平右近付監)御用之儀登城(明和3年2月6日 阿部伊予守等連署)歳暮之御内書(明和3年2月26日 阿部伊予守)御能見物登城(明和3年4月7日 阿部伊予守等連署)重陽之御内書相渡候儀(明和8年11月20日 松平右京大夫)比佐姫様御婚姻御礼登城(明和8年11月晦日 板倉佐渡守等連署)歳暮之御内書相渡候(明和9年2月28日 松平周防守)御用之儀登城(明和9年4月21日田沼主殿頭等連署)登城病後之御礼(明和9年9月晦日板倉佐渡守等連署)

〔甲州川々御普請御用之儀書付〕 TK289-83
 津軽出羽守(信寧)宛
 明和3(1766)写(原本)1通

〔川々御普請御手伝被仰付神田橋御門番御免書付〕 TK289-84
 津軽出羽守(信寧)宛
 明和3(1766)写(原本)1通

〔川々御普請御手伝御免書付〕 TK289-85
 津軽出羽守(信寧)宛
 明和3(1766)写(原本)1通

〔神田橋御門番被仰付候儀御奉書〕 TK289-86
 6月27日 津軽出羽守(信寧)宛
 明和6(1769)写(原本)1通
 註：松平周防守 松平右京大夫 松平右近将監より

〔浅草御歳火之番被仰付候儀御奉書〕 TK289-87
 3月朔日 津軽出羽守(信寧)宛
 明和9(1772)写(原本)1通

註：田沼主殿頭 板倉佐渡守 松平周防守 松平右京大夫 松平右近将監より

〔神田橋御門番被仰付候儀御奉書〕 TK289-88
 5月朔日 津軽越中守(信寧)宛
 安永4(1775)写(原本)1通
 註：田沼主殿頭 板倉佐渡守 松平周防守 松平右京大夫 松平右近将監より

〔津軽越中守(信寧)宛御切紙〕 TK289-77
 安永4～天明2(1775～82)写(原本)17通
 内容：登城参勤之御礼(安永4年4月14日 田沼主殿頭等連署)御用之儀登城(甲州川々御手伝之儀)(安永4年5月19日 田沼主殿頭等連署)端午之御内書相渡候儀(安永4年6月24日 松平周防守)御用之儀登城(甲州川々御普請御手伝相濟御拝領物被仰付)(安永4年6月29日 松平右京大夫等連署)重陽之御内書相渡候儀(安永4年10月20日 松平右近将監)登城参勤之御礼(安永8年4月20日 田沼主殿頭)端午之御内書相渡候儀(安永8年6月24日田沼主殿頭)重陽次御内書相渡候儀(安永8年10月20日 板倉佐渡守)歳暮之御内書相渡候儀(安永9年2月28日 松平右京大夫)登城参勤御礼被仰付(天明元年4月20日 田沼主殿頭等連署)端午之御内書相渡候儀(天明元年6月24日 松平右京大夫)御能見物登城之儀(天引元年8月24日 田沼主殿頭等連署)重陽之御内書相渡候儀(天明元年10月20日 松平周防守)歳暮之御内書相渡候儀(天明2年2月20日 久世大和守)大納言様元服官位之御祝儀御能見物之儀(天明2年4月3日 松平周防守等連名)御用之儀登城之儀(天明2年4月24日 松平周防守等連名)義姫様御婚姻御礼被仰付(天明2年11月14日 松平周防守連名)

〔神田橋御門看被仰付之儀御奉書〕 TK289-90
 4月24日 津軽越中守(信寧)宛

天明3(1783)写(原本)1通
 註：久世大和守広明 田沼主殿頭意次 松平周防守康福より

〔神田橋御門番名代土佐守差出度儀伺書〕 TK289-450
 御附紙共 4月27日 津軽越中守(信寧)
 天明3(1783)写(原本)1通

津軽信明

〔信明公御目見御鎧召初袖留五節句月次出仕前髪執一件〕
 安永4年～同7年 TK289-472
 写 9冊 美濃 和

〔津軽松五郎(信明)宛御切紙〕12月17日 TK289-91
 松平右近将監等
 安永6(1777)写(原本)1通
 註：御用之儀(叙爵)登城

〔津軽出羽守(信明)宛御切紙〕 TK289-92
 安永6～9(1777～80)写(原本)3通
 内容：登城官位之御礼(安永6年12月20日 田沼主殿頭等連署)官位之宣案頂戴之儀(安永7年2月18日 由良播磨守)御能見物登城之儀(安永9年9月12日 阿部豊後守等連署)

〔夏中足袋相用度儀伺書〕御附紙共 TK289-94
 安永57～寛政3(1778～91)写(原本)10通
 内容：津軽出羽守 安永7年4月25日 安永8年3月25日 安永9年3月22日 安永10年3月22日 津軽土佐守 天明2年3月22日 天明3年3月22日 天明5年4月13日 天明7年5月28日 寛政2年3月25日 寛政3年6月2日

〔津軽出羽守(信明)宛御切紙及御請之写〕TK289-529
 9月12日

〔安永9〕(1780)写 1通
 註：御転任祝儀御能見物登城之儀

仮養子願書（在国中）津輕土佐守（信明） TK289-442

天明4,6(1784,86)写(原本)2通

註：天明4年5月3日差出同5年4月14日差戻 天明6年4月25日差出同7年4月28日差戻

〔御代替誓詞御伺之儀御奉書〕 TK289-95

11月25日 津輕土佐守(信明)宛

元三(1786)写(原本)1通

註：松平周防守康福より

〔津輕土佐守（信明）宛御切紙〕 TK289-93

天明～寛政3(1784～91)写(原本)20通

内容：御用之儀(御家督之儀)登城(天明4年2月29日松平周防守等連名)登城家督之御礼之儀(天明4年3月14日松平周防守等連名)御用之儀(御暇帰国之儀)登城(天明4年4月24日久世大和守)登城参勤之御礼(天明5年4月14日水野出羽守等連署)養子願書返進之儀(天明5年4月14日松平周防守)端午之御内書相渡候儀(天明5年6月24日水野出羽守)重陽之御内書相渡候儀(天明5年10月22日松平周防守)歳暮之御内書相渡候儀(天明6年2月20日牧野越中守)御用之儀(御暇被仰付)登城(天明6年4月22日水野出羽守等連署)御用之儀(愛姫様於幸様縁組願通)登城(天明6年5月11日水野出羽守等連署)歳暮之御内書相渡候儀(天明8年2月26日牧野備後守)御用之儀(御朱印頂戴)登城(天明8年3月4日鳥居丹波守等連署)御用之儀(御暇被仰付)登城(天明8年4月27日松平伊豆守等連署)登城参勤之御礼(寛政元年4月20日松平和泉守)端午之御内書相渡候儀(寛政元年6月24日鳥居丹波守)重陽之御内書相渡候儀(寛政元年10月20日松平和泉守)歳暮之御内書相渡候儀(寛政2年2月20日松平越中守)御用之儀(御

国元江脚暇之節)登城(寛政2年4月14日松平和泉守)養子願返進之儀(寛政3年6月2日松平伊豆守)端午之御内書相渡候儀(寛政3年6月24日戸田采女正)

〔夏中足袋相用申度儀伺書〕 TK289-96

御附紙共 4月5日 津輕土佐守(信明)

寛政元(1789)写(原本)1通

津輕寧親

〔津輕出羽守（寧親）宛御切紙〕 TK289-97

寛政4～8(1792～96)写(原本)6通

内容：歳暮之御内書相渡候儀(寛政4年2月20日松平伊豆守)歳暮之御内書相渡候儀(寛政6年2月20日安藤対馬守)御用之儀(御国許江之御暇)登城(寛政6年4月20日安藤対馬守)仮養子願返進之儀(寛政7年4月2日太田備中守(資愛)御用之儀(御国元江御暇)登城(寛政8年4月17日安藤対馬守等連署)歳暮之御内書相渡候儀(寛政8年2月20日松平伊豆守)

〔津輕越中守（寧親）宛御切紙〕 TK289-98

寛仁12～文且5(1800～22)写(原本)35通

内容：徵募之御内書相渡候儀(寛政12年2月22日松平伊豆守)御用之儀(御暇被仰出)登城(寛政12年4月24日安藤対馬守等連署)登城参勤之御礼(享和元年4月14日安藤対馬守等連署)端午之御内書可相渡候儀(享和元年6月24日松平伊豆守)重陽之御内書可相渡候儀(享和元年10月20日安藤社司守)歳暮之御内書可相渡候儀(享和2年2月20日戸田采女正)御用之儀(御国江御暇之儀)登城之儀(享和2年4月20日牧野備前守等連署)登城参勤之御礼之儀(享和3年4月21日土井大炊頭等連署)端午之御内書可相渡候儀(享和3年6月24日土井大炊頭)重陽之御内書可相渡候儀(享和3年10月20日牧野備前守)歳暮之御内書可相渡候儀(文化元年2月20日戸田采

女正)御用之儀(御国御暇被仰付)登城之儀(文化元年4月21日土井大炊頭 牧野備前守)歳暮之御内書可相渡候儀(文化3年2月20日青山下野守)御用之儀(御国御暇被仰付)登城之儀(文化3年4月22日青山下野守等連署)登城参勤之御礼之儀(文化5年9月26日青山下野守等連署)重陽之御内書可相渡候儀(文化5年10月20日青山下野守)御用之儀(御高直四品被仰付)登城(文化5年12月17日青山下野守等連署)登城領分之高直并四品之御礼之儀(文化5年12月27日青山下野守等連署)歳暮之御内書可相渡候儀(文化6年3月20日牧野備前守)登城御暇之御礼之儀(文化6年3月29日青山下野守等連署)御用之儀(三十郎様壺万石高御願書之儀)登城(文化6年4月4日青山下野守等連署)登城御暇之御礼之儀(文化11年2月18日青山下野守等連署)重陽之御内書可相渡候儀(文化13年10月22日土井大炊頭)登城参勤之御礼之儀(文政元年9月14日大久保加賀守等連署)重陽之御内書可相渡候儀(文政元年10月20日青山下野守)歳暮之御内書可相渡候儀(文政2年2月20日水野出羽守)娘婚姻之御礼登城之儀(文政3年6月20日大久保加賀守等連署)端午之御内書可相渡候儀(文政3年6月24日青山下野守)登城病後の御礼(文政3年9月24日大久保加賀守等連署)重陽之御内書可相渡候儀(文政3年10月20日水野出羽守)御用之儀(侍従被仰付)登城之儀(文政3年12月15日大久保加賀守等連署)登城侍従之御礼之儀(文政3年12月24日大久保加賀守等連署)登城参勤之御礼之儀(文政5年5月14日大久保加賀守等連署)端午之御内書可相渡候儀(文政5年6月24日水野出羽守)重陽之御内書可相渡候儀(文政5年10月20日大久保加賀守)

〔夏中足袋相用度儀伺書〕御附紙共 TK289-99

寛政6～文政7(1794～1824)写(原本)10通

内容：津輕出羽守 寛政6年3月25日 寛政7年4月2日津輕越中守 寛政10年3月25日 寛政12年3

月 25 日 享和元年 3 月 29 日 享和 2 年 3 月 25 日 享和 3 年 3 月 27 日 文化元年 3 月 25 日 文政 5 年 5 月 2 日 文政 7 年 5 月 25 日		侍従様御剃髮御改名 御書方 天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和	TK289-475		
〔神田橋御門番被仰付之儀御奉書〕 3 月 8 日 津輕越中守 (寧親) 宛 文化 3 (1806) 写 (原本) 1 通 註：青山下野守 土井大炊頭 牧野備前守 戸田采女正 より	TK289-100	寧親公御不例一件 御用懸御書方 天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和	TK289-476		若殿様田安銳姫様御縁組一件 御用掛御書方 文化 11 (1814) 写 1 冊 半紙 和
〔夏中足袋相用度伺口上覚〕 御附紙共 津輕越中守 (寧親) 文化 6 (1809) 写 (原本) 1 通	TK289-101	寧親公御逝去一件 御右筆 天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和	TK289-477		信順公御具足御召初一件 文化 11,12 (1814,15) 写 1 冊 半紙 和
〔病気快方に付抱屋敷江罷越歩行仕度儀願書〕 御附紙共 9 月 7 日 津輕越中守 (寧親) 文化 11 (1814) 写 (原本) 1 通	TK289-446	津輕信順 雅之助様御誕生御養迄之一件 御書方 寛政 12 ~ 享和 3 (1800 ~ 03) 写 1 冊 半紙 和	TK289-478		〔津輕大隅守 (信順) 宛御切紙〕 文化 11 ~ 文政 8 (1814 ~ 25) 写 (原本) 5 通 内容：登城官位御礼之義 (文化 11 年 12 月 21 日 青 山下野守等連署) 御用之儀 (御国御暇) 登城之儀 (文化 12 年 2 月 18 日 青山下野守等連署) 官位口宣案頂戴 之儀 ([文政 8 年] 2 月 15 日 由良播磨守) 登城御暇 之御礼之儀 (文政 8 年 4 月 27 日 松平和泉守等連署) 御暇帰国に付南部大膳太夫交替之儀 (文政 8 年 4 月 29 日 青山下野守)
〔大川端屋敷江罷越対面仕度儀伺書〕 御附紙共 9 月 23 日 津輕越中守 (寧親) 文化 11 (1814) 写 (原本) 1 通	TK289-445	〔信順公御嫡子并御名乗一件〕 文化 6 年 文化 6 (1809) 写 5 冊 美濃 和	TK289-488		〔夏中足袋相用度儀伺書〕 御附紙共 津輕大隅守 (信順) 文化 14, 文政 8 (1817,25) 写 2 通 内容：文化 14 年 3 月 25 日 文政 8 年 3 月 23 日
〔津輕甲斐守養子新之助御目見仕度儀内意伺書〕 御附紙共 12 月 3 日 津輕越中守 (寧親) 文政 6 (1823) 写 (原本) 1 通 註：新之助は津輕順徳後順承	TK289-447	若殿様御目見御用留 1 文化 7 (1810) 写 1 冊 半紙 和	TK289-480		〔津輕越中守 (信順) 宛御切紙〕 3 月 28 日 大久保加賀守 文政 10 (1827) 写 (原本) 1 通 註：歳暮之御内書可相渡候儀
御隠居御家督御願より御用召迄之一件 御右筆 文政 8 (1825) 写 1 冊 半紙 和 註：津輕寧親隠居 信順家督	TK289-473	若殿様御乗出并初而御目見被仰上候御用留書 文化 7 年 10 月 ~ 同 8 年閏 2 月 文化 7,8 (1810,11) 写 7 冊 美濃 和	TK289-485		寧親公御不例ニ付為御看病信順公御出府御願一件 天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和
寧親公御剃髮御改名御願一件 天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和	TK289-474	〔津輕雅之助 (信順) 宛御切紙〕 12 月 15 日 文化 11 (1814) 写 (原本) 1 通 註：御用之儀 (叙爵被仰付) 登城之儀 (青山下野守等連署)	TK289-102		〔津輕越中守信順〕 御明細書 TK289-457
		〔信順公初而月次五節句出仕并叙爵一件〕 文化 11 年 御右筆 文化 11 (1814) 写 4 冊 美濃 和	TK289-486		

天保5(1834)写 1通		嘉永7(1854)写(原本)1通			
〔津軽信順隠居願関係覚書〕 〔天保10〕(1839)写 3通	TK289-456	〔津軽大隅守四品被仰付候御書付〕 津軽大隅守(承祜)宛 安政元(1854)写(原本)1通	TK289-463	〔長岡寛五郎儀賀養子被仰付度儀内意伺并願書写〕 御附紙共 津軽越中守(順承) 安政4(1857)写(原本)2通	TK289-448
侍従様柳島御屋敷江御引移御祝儀一件 天保10年 御書方 天保10(839)写 1冊 半紙 和	TK289-483	若殿様於御国許御逝去一件 御書方 安政2(1855)写 1冊 半紙 和	TK289-496	〔長岡寛五郎呼寄可申旨御書付〕 津軽越中守(順承)宛 安政4(1857)写(原本)1通 註:長岡寛五郎は津軽承昭	TK289-464
信順公御逝去一件 文久2年 御用掛尚書方 文久2(1862)写 1冊 半紙 和	TK289-484	津軽順承 〔津軽大隅守(順承)宛御切紙〕 天保11,弘化元(1840,44)写(原本)4通 内容:端午之御内書可相渡候儀(天保11年6月24日 土井大炊頭) 重陽之御内書可相渡候儀(天保11年11 月2日 脇坂中務大輔) 登城病後之御礼(天保11年,11 月晦日 土井大炊頭) 御用之儀登城之儀(弘化元年12 月15日 牧野備前守 阿部伊勢守)	TK289-105	〔御代替之誓詞之儀御書付〕 11月6日,12日 津軽越中守(順承)宛 安政5(1858)写(原本)2通	TK289-460
津軽承祜 〔津軽武之助御目見被仰付候間同道登城之儀御奉書〕 2月14日 津軽越中守(順承)宛 嘉永6(1853)写(原本)1通 註:阿部伊勢守等連署	TK289-441	〔津軽越中守(順承)宛御切紙〕 嘉永6~安政6(1853~59)写(原本)5通 内容:歳暮之御内書可相渡候儀(嘉永6年2月24日 松平伊賀守) 登城御暇之御礼之儀(嘉永6年3月14日 久世大和守等連署) 御用之儀(御判物頂戴) 登城(安 政2年3月4日 内藤紀伊守等連署) 歳暮之御内書相 渡候儀(安政6年2月25日 太田備後守) 隠居之御礼 之儀(安政6年3月晦日 脇坂中務大輔連署)	TK289-106	〔津軽越中守(順承)隠居内意伺及願書案文〕 安政6(1859)写 2通	TK289-530
承祜公御目見一件 御右筆 嘉永6(1853)写 2冊(6冊の内) 半紙 和	TK289-494	〔足袋相用度儀伺書〕 御附紙共 津軽越中守(順承) 嘉永7,安政5(1854,58)写(原本)2通 内容:嘉永7年9月4日 安政5年5月24日	TK289-454	〔津軽順承隠居内意伺〕 〔安政6〕(1859)写 3通	TK289-539
承祜公御目見一件 御右筆 写 5冊 美濃 和	TK289-493	〔代替誓詞之儀御書付〕9月22日 津軽越中守(順承)宛 嘉永7(1854)写(原本)1通	TK289-455	〔津軽越中守隠居願書案〕 津軽越中守(順承) 安政6(1859)写 1通	TK289-452
〔夏中足袋相用度儀伺書〕御附紙共 3月23日 津軽武之助(承祜) 嘉永6(1853)写(原本)1通	TK289-461			〔隠居被仰付候二付席之儀伺書〕 御附紙共 3月27日 津軽越中守(順承) 安政6(1859)写(原本)1通	TK289-466
承祜公御叙爵一件 嘉永6年,同7年 御右筆 嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和	TK289-495			大殿様御移徙一件 御用掛御書方 安政6~文久元(1859~61)写 1冊 半紙 和	TK289-490
〔夏中足袋相用度儀伺書〕御附紙共 3月23日 津軽大隅守(承祜)	TK289-462			〔官名和泉守卜相改申度儀伺書〕 御附紙共 11月晦日 津軽越中守(順承) 万延元(1860)写(原本)1通	TK289-467

順承公御不例一件 御用掛御書方 元治2(1865)写 1冊 半紙 和	TK289-491				
順承公御逝去一件 御右筆 元治2(1865)写 1冊 半紙 和	TK289-492				
津軽承昭 〔寛五郎様御智養子一件〕御側役御用懸 安政3,4(1856,57)写 4冊 半紙 和	TK289-501				
承烈公御智養子一件 御用掛御書方 安政3,4(1856,57)写 2冊 半紙 和	TK289-497				
承烈公御智養子一件 乾 附録 御右筆 安政3,4(1856,57)写 2冊(3冊の内) 半紙 和	TK289-498				
承烈公御目見一件 御右筆 安政4(1857)写 4冊(5冊の内) 美濃 和	TK289-500				
承烈公若殿様御目見一件 1,2 安政4(1857)写 2冊(3冊の内) 半紙 和	TK289-499				
〔若殿様御目見一件〕安政4年 御用懸 安政4(1857)写 7冊 半紙 和	TK289-503				
若殿様御引移一件 安政4年 御用懸 安政4(1857)写 2冊 半紙 和	TK289-502				
承烈公四品御昇進一件 御右筆 安政5(1858)写 1冊(2冊の内) 半紙 和	TK289-504				
〔津軽土佐守(承昭)宛御切紙〕 写(原本)2通 内容:6月26日 端午之御内書相渡候儀(内藤紀伊守) 11月22日 御用登城之儀(脇坂中務大輔)	TK289-443				
〔官名越中守ト相改申度儀伺書〕御附紙共 11月晦日 津軽土佐守(承昭) 万延元(1860)写(原本)1通	TK289-468				文政11(1828)写 1冊 半紙 和 註:御内証様は藩主津軽順承の妾で清瀬と称し法名は諦信院又は光円院 安政5年死去 病气より死去までの記録
〔侍従被仰付候条御書付〕 津軽越中守(承昭)宛 万延元(1860)写(原本)1通	TK289-469				津軽泉姫 御前様御逝去一件 御書方 嘉永元(1848)写 1冊 半紙 和 註:津軽順承室泉姫 法号彰信院
〔津軽越中守(承昭)宛御切紙〕 万延2,文久元(1861)写(原本)2通 内容:歳暮之御内書可相渡候儀(万延2年2月20日 安藤対馬守)登城御暇之御礼(文久元年3月14日 松 平豊前守等連署)	TK289-107				津軽常姫 〔津軽たま書状〕津軽順承宛 写 1通 註:津軽たま(常姫)より父順承へ
弘前藩知事辞令写 津軽少将(承昭)宛 明治2(1869)写 1通	TK289-108				御前様逝去一件 御書方 文久元(1861)写 1冊 半紙 和 註:津軽承昭室常姫 法号明光院 ◇
戦功目録写 津軽少将(承昭)宛 明治2(1869)写 2通	TK289-109				藍原彦市(通志) 誓詞(御近習小性格) 天明4(1784)写 1通
津軽親足 津軽吉之助様御病气満佐姫様御養女三 十郎様急御智養子一件 御書方 文化2(1805)写 1冊 半紙 和 註:津軽吉之助(典暁)は黒五分知 三十郎は津軽親足	TK289-506				赤石安右衛門(行健) 誓詞 寛政8(1796)写 1通 註:赤石安右衛門(行健)御持筒足軽頭格郡奉行勘定奉行兼奥通り 菊他寛司(正礼)御持筒足軽頭格勘定奉行郡奉行兼奥通り
津軽三十郎書状 写 1通	TK289-111				赤石愛太郎 赤石愛太郎母変死取扱より愛太郎水戸表において母の敵 吉之助を討留候一件拔書 嘉永5(1852)写 1冊 半紙 和
津軽甲斐守親足書状 写 3通	TK289-110				
清瀬 御内証様御病气一件 御書方	TK289-5				

秋元杵右衛門(建喜) 誓詞(御目付) 宝曆10(1760)写1通 註:佐藤伴左衛門(明清)田口十兵衛(勅盛)秋元杵右衛門(建喜)成田文左衛門(祐証)	TK289-434	阿部伊勢守書状 津輕出羽守宛 写11通	TK289-6	池田内匠頭書状 津輕越中守宛 写3通	TK289-14
秋元金丸郎(潔武) 誓詞(御目付) 明和3(1766)写1通 註:竹内甚左衛門(兼充)秋元金丸郎(潔武)	TK289-397	阿部伊勢守書状 津輕越中守宛 写8通	TK289-7	石岡十蔵(但武) 誓詞(御目付) 延享2(1745)写1通 註:石岡十蔵(但武)小館源右衛門(実初)	TK289-414
浅井治左衛門(氏清) 誓詞(山奉行) 天保5(1834)写1通	TK289-151	阿部府中守(正博) 阿部備中守書状 津輕越中守宛 写5通	TK289-8	板垣英三郎(蕃久) 誓詞(御小僧) 安永8(1779)写1通	TK289-159
浅越玄隆(保寔) 誓詞(表医師御近習詰) 寛政元(1789)写1通	TK289-152	雨森権八(友之) 誓詞(御用人) 天明8(1788)写1通	TK289-154	板橋周蔵(久敬) 誓詞(寄合御目付代) 天明6(1786)写1通	TK289-160
飛鳥井中納言(雅典) 飛鳥井中納言書状 津輕越中守宛 写1逆	TK289-9	荒尾但馬守 荒尾但馬守書状 津輕越中守宛 写2通	TK289-12	市川十之進(久雄) 誓詞(御近習小性) 元文5(1740)写1通 註:井上忠太(直)毛内藤左衛門(盛幸)佐藤只右衛門(正範)市川十之進(久雄)	TK289-435
飛鳥井侍従宰相書状 津輕越中守宛 写1通	TK289-10	安西助市(恒善) 誓詞(御用人) 文化13(1816)写1通	TK289-155	一戸左吉(清敏) 誓詞(御近習小性) 文政8(1825)写1通	TK289-162
足立又右衛門(真行) 誓詞(御留守居組頭) 寛政5(1793)写1通	TK289-153	安藤弾正少弼(惟久) 安藤弾正少弼書状 津輕越中守宛 写1通	TK289-13	一町田権之進(建雄) 誓紙 宝永8(1711)写1通	TK289-161
油小路大納言(隆前) 油小路大納言書状 津輕出羽守(信明)宛 〔安永7〕(1778)写1通	TK289-11	飯田虎之丞(貞徳) 誓詞(御近習小性) 元治元(1864)写1通	TK289-158	伊東彦八(祐武) 誓詞(御小納戸) 明和3(1766)写1通	TK289-156
阿部伊勢守(正倫)		飯田巽 〔飯田巽書簡〕 写2通	TK289-535	伊東与惣平(英敏)	
		池田内匠頭(政養)			

誓詞（御近習小性） 文化12（1815）写 1通	TK289-157	蝦名謙次郎 〔蝦名謙次郎書状〕 長尾又右衛門（闇市）今栄六宛 写 1通	TK289-542	小笠原伊勢守書状 津輕越中守宛 写 1通	TK289-16
稲垣信濃守（長統） 稲垣信濃守書状 津輕越中守宛 写 4通	TK289-15	ゑん せいし（御次女中） 寛政12（1800）写 1通 註：きそ ゑん さぎ	TK289-438	小笠原其母（泰繁） 誓詞 享和2（1802）写 1通 註：小笠原其母（泰繁）勘定奉行奥通 高屋吾助（清泰） 長柄奉行格勘定奉行奥通	TK289-395
稲葉新蔵（通理） 誓詞（御小納戸） 明和2（1765）写 1通	TK289-163	大石荘司（良遂） 誓詞（御小納戸役） 文政11（1828）写 1通	TK289-171	小笠原良八（泰行） 誓詞 文政6～13（1823～30）写 5通 註：文政6年御近習小性 文政10年御附御近習小性御 附御目付役兼 文政11年御附御錠口役 文政13年3 月御附御小性組之頭 文政13年8月大寄合格御用人伝	TK289-167
稲葉丹下（通理） 誓詞（御用人） 寛政11（1799）写 1通	TK289-164	大田勘右衛門 太田勘右衛門書状 土岐渡人宛 写 3通	TK289-17	小山内作左衛門 〔小山内作左衛門名改之儀〕 〔宝曆6〕（1756）写 2通 註：知行御書出御用懸土岐渡人宛 小山内五左衛門改	TK289-519
戌井宗仙（美雅） 誓詞（御近習医師詰） 寛政9（1797）写 1通	TK289-165	大野甚右衛門 〔大野甚右衛門書状〕 正保4（1647）写 2通	TK289-549	小山内安左衛門（建周） 誓詞（御目付） 安永3（1774）写 1通 註：小山内安左衛門（建周）大道寺鞠負（一徴）	TK289-402
井上忠太（直） 誓詞（御近習小性） 元文5（1740）写 1通 註：井上忠太（直）毛内藤左衛門（盛幸）佐藤只右衛門 （正範）市川十之進（久雄）	TK289-435	大谷津七郎（茂成） 誓詞（御用人） 明和6（1769）写 1通	TK289-172	小山内三太夫（貞雄） 誓詞（御用人） 安永5（1776）写 1通	TK289-168
今井新兵衛（唯晴） 誓詞（御目付） 元文6（1741）写 1通 註：伴新八（建休）千葉縫右衛門（良願）今井新兵衛 （唯晴）	TK289-431	大谷津市太郎（茂直） 誓詞（御中小性御近習詰） 寛政8（1796）写 1通	TK289-173	小山内織部（清伯） 誓詞（御留守居組頭） 享和2（1802）写 1通	TK289-169
印牧喜三（成喜） 誓詞（御中小性御近習番） 天明8（1788）写 1通	TK289-166	大瀧五左衛門（長敬） 誓詞（御留守居組頭） 享保3（1718）写 1通	TK289-174	落合大右衛門（暁昌）	
		小笠原伊勢守（長幸）			

誓詞 (御用人) 安永 8 (1779) 写 1 通	TK289-175	笠原八郎兵衛 (皆雄) 誓詞 (御留守居組頭) 明和 3 (1766) 写 1 通	TK289-183	加藤清兵衛書状 中田善左衛門宛 写 1 通	TK289-18
落合三郎右衛門 (倍資) 誓詞 (御錠口役) 天明 4 (1784) 写 1 通	TK289-176	笠原八郎兵衛 (皆当) 誓詞 文化 7 ~ 文政 6 (1810 ~ 23) 写 4 通 註: 文化 7 年大組足輕頭奥通 文政 5 年御馬廻組頭御 用人兼帯 文政 6 年 11 月御手廻組頭御用人兼帯 文政 6 年 12 月御用人	TK289-184	兼松七郎右衛門 (久容) 誓詞 (御用人) 天明 4 (1784) 写 1 通 註: 工藤伝兵衛 (祐長) 兼松七郎右衛門 (久容)	TK289-406
落合大助 (曼倩) 誓詞 (津輕吉之助殿御附人) 寛政 3 (1791) 写 1 通	TK289-177	笠原近江 (皆充, 順当) 誓詞 (御手廻組頭) 天保 5 (1834) 写 1 通	TK289-185	兼松伴太夫 (久庸) 誓詞 文化 5, 文政 6 (1808, 23) 写 2 通 註: 文化 5 年御用人 文政 6 年御馬廻組頭御用人兼帯	TK289-186
落合中平 (禎祥) 誓詞 (御近習小性) 寛政 6 (1794) 写 1 通	TK289-178	御家老笠原近江江御一字被下候一件 御右筆 天保 6 (1835) 写 1 冊 半紙 和	TK289-511	兼松図書 (久通) 誓詞 (御用人) 天保 6 (1835) 写 1 通	TK289-187
誓詞 (御錠口役) 享和 2 (1802) 写 1 通 註: 落合忠平 (禎祥) 釜范左門 (景福)	TK289-398	蒲田昌清 〔蒲田昌清書状〕 写 2 通	TK289-543	釜范左門 (景福) 誓詞 (御錠口役) 享和 2 (1802) 写 1 通 註: 落合忠平 (禎祥) 釜范左門 (景福)	TK289-398
小野所吉 (方武) 誓詞 (御小性組頭) 文化元 (1804) 写 1 通	TK289-170	加藤清九郎 (盛敬) 誓詞 (御錠口兼役) 寛政 6 (1794) 写 1 通	TK289-179	釜范多門 (景員) 誓詞 (大寄合格御用人手伝) 安政 6 (1859) 写 1 通	TK289-188
小山形藏 (正苗) 〔小山形藏 (正苗) 書状〕 写 3 通	TK289-537	加藤清九郎 (盛美) 誓詞 (御近習小性御小納戸役兼) 文化 12 (1815) 写 1 通	TK289-181	唐牛十郎右衛門 御用人相勤候誓詞前書 〔宝永元〕 (1704) 写 1 通	TK289-189
角田兵馬 (貞竜) 誓詞 (御近習番) 天保 3 (1832) 写 1 通	TK289-182	加藤清兵衛 (盛敬) 誓詞 (長柄奉行格御錠口役) 文化 2 (1805) 写 1 通	TK289-180	唐牛三左衛門 (親由) 誓詞 (大目付) 元文 5 (1740) 写 1 通 註: 唐牛三左衛門 (親由) 吉村場左衛門 (愛友)	TK289-415
葛所勝左衛門 (好教) 誓詞 (御近習小性) 明和 2 (1765) 写 1 通 註: 葛西勝左衛門 (好教) 湯浅多久馬 (茂村)	TK289-411				

唐牛三左衛門 (昌年) 誓詞 (大目付) 寛政 6 (1794) 写 1 通	TK289-190	寛政 8 (1796) 写 1 通 註：赤石安右衛門 (行健) 御持筒足輕頭格郡奉行勘定奉行兼奥通り 菊池寛司 (正礼) 御持筒足輕頭格勘定奉行郡奉行兼奥通り	喜多村監物 (久通) 誓詞 (御家老) 寛保 2 (1742) 写 1 通	TK289-201
唐牛三左衛門 (昌朝) 誓詞 (大目付) 文化 5 (1808) 写 1 通	TK289-191	貴田十郎右衛門 (惟郎) 〔貴田十郎右衛門へ兵学相談之儀〕 文化 5 年 〔文化 5〕 (1808) 写 2 通 註：黒石藩津軽三十郎 (親足) 逗留中兵学相談之儀黒石役人よりの来状写	喜多村監物 (久経) 誓詞 安永 3 ~ 天明 5 (1774 ~ 85) 写 3 通 註：安永 3 年御馬廻組頭 同 7 年御馬廻組頭御用人兼役 天明 5 年御家老	TK289-202
唐牛三左衛門 (昌言) 誓詞 (御留守居組頭) 文政 12 (1829) 写 1 通 註：唐牛三左衛門 (昌言) 大道寺次郎市 (繁元)	TK289-409	誓詞 (御用人) 文政 3 (1820) 写 1 通	喜多村監物 (親守) 御称号御一字被下方之覚 文化 6 (1809) 写 1 冊 美濃 和	TK289-509
誓詞 (御馬廻組頭) 天保 2 (1831) 写 1 通	TK289-192	貴田十郎右衛門 (惟良) 〔貴田十郎右衛門へ兵学講积之儀〕 天保 14 年 〔天保 14〕 (1843) 写 1 通 註：黒石藩主津軽出雲守 (承保) 在国中兵学講积之儀黒石役人よりの来状写	御称号御一字被下候覚 文化 6 年 文化 6 (1809) 写 1 冊 美濃 和	TK289-510
河合辰次郎 (庸徳) 誓詞 (御近習番) 宝暦 9 (1759) 写 1 通	TK289-193	北川族 (正喜) 誓詞 寛政 8, 文政 13 (1796, 30) 写 2 通 註：寛政 8 年御近習番 文政 13 年御附御側御用人	喜多村監物 (久隆) 誓詞 天保 14 ~ 弘化 2 (1843 ~ 45) 写 3 通 註：天保 14 年御用人兼帯 同 15 年御城代格御家老職手伝 弘化 2 年御家老	TK289-203
河合半右衛門 (泉) 誓詞 (御用人) 天明 4 (1784) 写 1 通	TK289-194	誓詞 (御用人奥通) 天保 6 (1835) 写 1 通 註：北川族 (正喜) 須藤半兵衛 (正万) 田井友衛 (晨宴) 多田三左衛門 (昌言) 森岡山城 (元侯)	喜多村富弥 (久盛) 誓詞 (御手廻組頭) 嘉永 7 (1854) 写 1 通	TK289-204
河合作左衛門 (成美) 誓詞 (御用人御留守居兼) 文政 9 (1826) 写 1 通	TK289-195	北川左膳 (正留) 誓詞 (御用人) 文化元 (1804) 写 1 通	北原武左衛門 (高広) 誓詞 (大目付) 明和 5 (1768) 写 1 通	TK289-208
菊池道坤 (敦叟) 誓詞 (御近習詰) 元文 6 (1741) 写 1 通	TK289-205		北原惣蔵 (高厚) 誓詞 (御小性組之頭兼) 天保 10 (1839) 写 1 通	TK289-407
菊池寛司 (正礼) 誓詞	TK289-393			

註：北原惣蔵（高厚）本多東作（久貞）					
北原蔵人（高範） 誓詞（御側御用人兼） 慶応元（1865）写 1通	TK289-209	きの せいし（御側女中） 寛政12（1800）写 1通 註：せや きの	TK289-437	宝暦14（1764）写 1通 註：笹森文五郎（建永）原子藤弥（明郷）工藤嘉次郎（佐共）	
衣笠半助（昌俊） 誓詞（御錠口役御近習小性兼） 文化10（1813）写 1通	TK289-210	久我大納言（信通） 久我大納言書状 津軽出羽守（信明）宛 〔安永7〕（1778）写 1通	TK289-21	工藤弥作（専兌） 誓詞（御近習番） 天明3（1783）写 1通	TK289-211
木村藤兵衛（辰成） 誓詞（御小納戸） 明和9（1772）写 1通	TK289-196	九鬼式部少輔 九鬼式部少輔書状 津軽越中守宛 写 1通	TK289-19	工藤伝兵衛（祐長） 誓詞（御用人） 天明4（1784）写 1通 註：工藤伝兵衛（祐長）兼松七郎右衛門（久容）	TK289-406
木村甚蔵（武彪） 誓詞（御近習番） 寛政8（1796）写 1通	TK289-197	九鬼式部少輔書状 写 1通	TK289-20	工藤甚之助（祐与） 誓詞（御近習小性御目付兼役） 天明9（1789）写 1通	TK289-212
木村奎之助（重教） 誓詞〔御用人） 天保4（1833）写 1通	TK289-198	櫛引儀三郎（清国） 誓詞（御馬廻格奥通） 文久3（1863）写 1通 註：清基と改める	TK289-215	工藤太源次（行昌） 誓詞（御近習小性） 文化3（1806）写 1通	TK289-213
木村繁四郎（一綱） 誓詞（御用人兼帯） 慶応4（1868）写 1通	TK289-199	楠美荘司（則徳） 誓詞（御用人） 文化8（1811）写 1通	TK289-216	工藤伝兵衛（祐之） 誓詞（御用人） 天保10（1839）写 1通	TK289-214
木村建太郎 式百俵水帳 明治4（1871）写 1冊 半紙 和	TK289-2	楠美悠作（則敏） 誓詞（御用人） 嘉永2（1849）写 1通	TK289-217	倉光市次郎（恒亨） 誓詞（勘定奉行） 天保5（1834）写 1通 註：倉光市次郎（恒亨）樋口栄吉（建元）	TK289-426
きそ せいし（御次女中） 寛政12（1800）写 1通 註：きそ ゑん さき	TK289-438	楠美荘司（則敏） 誓詞（御用人兼帯） 慶応4（1868）写 1通	TK289-218	栗原治左衛門（盛富） 誓詞（御目付） 明和5（1768）写 1通 註：後藤弥八（標央）栗原治左衛門（盛富）毛内亦左衛門（茂長）	TK289-433
		工藤嘉次郎（佐共） 誓詞（御近習小姓）	TK289-430		

黒滝助右衛門 〔黒滝助右衛門役替之儀覚〕 黒滝助右衛門 〔寛政6〕(1794)写 1通 註：寄合	TK289-517	近衛家久 〔近衛家久書状〕津輕土佐守(信寿)宛 写 2通	TK289-23	近衛忠熙書状 弘前少将(津輕承昭)宛 写 1通	TK289-33
黒滝藤太(僚師) 〔黒滝藤太へ儒書講釈依頼之儀〕 天保12年 天保12(1841)写 1通 註：黒石藩主津輕出雲守(承保)在国中儒書の講釈依頼	TK289-521	近衛家久書状 津輕出羽守(信著)宛 写 1通	TK289-24	近衛翠山(忠熙)書状 津輕越中守宛 写 1通	TK289-34
河野六部(通篤) 誓詞(御留守居組頭格御側御用人) 慶応4(1868)写 1通	TK289-219	近衛内前 近衛内前書状 津輕右京亮(信寧)宛 写 2通	TK289-25	近衛翠山(忠熙)書状 弘前侍従宛 写 1通	TK289-35
小島元岱 〔小島元岱書状〕佐藤伊三郎宛 写 1通	TK289-527	近衛内前書状 津輕出羽守(信寧)宛 写 1通	TK289-26	近衛翠山(忠熙)書状 津輕和泉守(順承) 写 2通	TK289-36
小館源右衛門(実初) 誓詞(御目付) 延享2(1745)写 1通 註：石川十蔵(但武)小館源右衛門(実初)	TK289-414	近衛内前書状 津輕越中守(信寧)宛 写 2通	TK289-27	近衛翠山(忠熙)書状 津輕土佐守(承昭)宛 写 1通	TK289-37
後藤弥八(標央) 誓詞(御目付) 明和5(1768)写 1通 註：後藤弥八(標央)栗原治左衛門(盛富)毛内亦左衛門(茂長)	TK289-433	近衛経熙 近衛経熙書状 津輕土佐守(信明)宛 写 2通	TK289-28	近衛忠房 近衛忠房書状 弘前侍従(順承)宛 写 1通	TK289-38
近衛家熙 近衛家熙書状 津輕土佐守(信寿)宛 写 3通	TK289-22	近衛忠熙 近衛忠熙書状 津輕越中守宛 写 6通	TK289-29	近衛忠房書状 津輕和泉守(順承)宛 写 1通	TK289-39
		近衛忠熙書状 弘前侍従宛 写 1通	TK289-30	近衛忠房書状 津輕土佐守(承昭)宛 写 3通	TK289-40
		近衛忠熙書状 津輕和泉守(順承)宛 写 1通	TK289-31	近衛忠房書状 弘前少将(津輕承昭)宛 写 2通	TK289-41
		近衛忠熙書状 津輕土佐守(承昭)宛 写 1通	TK289-32	近衛友斎(直一) 誓詞(御近習坊主格御側御用人物書方) 天明元(1781)写 1通	TK289-220
				斎藤小左衛門(喜戸) 誓詞 享和2,文化5(1802,08)写 2通	TK289-227

註：享和2年御用人 文化5年御留守居組頭			
齋藤善兵衛 五拾五俵水帳 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK289-3	笹要人 〔笹要人役替之儀〕笹要人 〔宝曆6〕(1756)写 1通 註：知行御書出御用懸土崎渡人宛 寄合	TK289-520
相良清兵衛 〔相良清兵衛病死之儀に付御奉書〕 7月27日 津輕土佐守(信義)宛 〔明暦元〕(1655)写(原本)1通 註：阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱 酒井雅楽頭忠清より	TK289-43	笹角之丞(盛清) 誓詞(御目付) 安永2(1773)写 1通	TK289-230
さき せいし(御次女中) 寛政12(1800)写 1通 註：きそ ゑん さき	TK289-438	佐々末孫吉(助愛) 誓詞(御秘事御用小細工人) 明和4(1767)写 1通	TK289-221
佐久間喜左衛門 佐久間喜左衛門書置 〔慶安元〕(1648)写(?)1通	TK289-546	佐々木又八(守伊) 誓詞(御目付) 明和7(1770)写 1通 註：佐々木又八(守伊)村上理右衛門(英則)対馬三大夫(政保)	TK289-427
桜庭左衛門次郎(武正) 誓詞(御徒頭) 元文6(1741)写 1通 註：桜庭左衛門次郎(武正)佐藤只右衛門(正範)	TK289-416	佐々木四郎兵衛(盛之) 誓詞(御目付) 明和8(1771)写 1通 註：佐々木四郎兵衛(盛之)佐藤理兵衛(幸篤)	TK289-400
桜庭半兵衛(雅俊) 誓詞 寛政2,3(1790,91)写 2通 註：寛政2年大目付 寛政3年御用人	TK289-228	笹森文五郎(建永) 誓詞(御近習小姓) 宝曆14(1764)写 1通 註：笹森文五郎(建永)原子藤弥(明郷)工藤嘉次郎(佐共)	TK289-430
桜庭富蔵(正彝) 誓詞(大寄合格御用人手伝) 明治2(1869)写 1通	TK289-229	笹森百郎(建繁) 誓詞(御目付) 文政7(1824)写 1通 往：高屋恵吉(清節)笹森百郎(建繁)	TK289-410
		佐田長左衛門 誓詞(御目付) 享和3(1803)写 1通	TK289-222
		佐竹右京大夫(義和) 佐竹右京大夫書状 津輕越中守(寧親)宛 写 6通	TK289-42
		佐藤只右衛門(正範) 誓詞(御近習小性) 元文5(1740)写 1通 註：井上忠太(直)毛内藤左衛門(盛幸)佐藤只右衛門(正範)市川十之進(久雄)	TK289-435
		誓詞(御徒頭) 元文6(1741)写 1通 註：桜庭左衛門次郎(武正)佐藤只右衛門(正範)	TK289-416
		佐藤弥五右衛門(之吉) 誓詞(御目付) 元文6(1741)写 1通	TK289-223
		佐藤伴左衛門(明清) 誓詞(御目付) 宝曆10(1760)写 1通 註：佐藤伴左衛門(明情)田口十兵衛(勅盛)秋元左右衛門(建喜)成田文左衛門(祐証)	TK289-434
		佐藤理兵衛(幸篤) 誓詞(御目付) 明和8(1771)写 1通 註：佐々木四郎兵衛(盛之)佐藤理兵衛(幸篤)	TK289-400
		佐藤官蔵(行前)	

誓詞（御目付） 明和9（1772）写 1通	TK289-224	写 2通	誓詞（大目付） 明和9（1772）写 1通 註：白取数馬（英胤）松浦甚五左衛門（良寛）	TK289-403	
佐藤源太左衛門（豊尋） 誓詞（御用人兼帯） 慶応3（1867）写 1通	TK289-225	柴田三右衛門（勝彭） 柴田三右衛門書状 写 2通	TK289-45	白取数馬（英範） 誓詞（御留守居組頭） 天保5（1834）写 1通 註：山野主馬（元孝）白取数馬（英範）	TK289-412
佐藤清衛（正熙） 〔佐藤清衛書状〕 写 2通	TK289-531	柴田仁右衛門（利貞） 誓詞（御目付） 文化5（1808）写 1通	TK289-232	神東太郎（盛正） 誓詞（大寄合格御用人手伝） 慶応4（1868）写 1通	TK289-234
佐野吉郎兵衛（正武） 誓詞（御錠口役） 寛政11（1799）写 1通 註：藤田長太夫（清貞）佐野吉部兵衛（正武）	TK289-399	渋江道純 〔渋江道純医学館講書出精二付御扶持方被下候旨御書付〕 津軽越中守（順承）宛 安政元（1854）写（原本）1通 註：阿部伊勢守より	TK289-458	神盛苗（盛正） 〔神盛苗書状〕 今栄六 長尾周庸 毛内常保宛 写 2通	TK289-533
佐野茂助（正繩） 誓詞（大寄合格御用人手伝） 嘉永2（1849）写 1通	TK289-226	〔渋江道純医学館出精二付御扶持方被下候二付御礼勤之儀伺書〕 御附紙共 12月26日 津軽越中守（順承） 安政元（1854）写（原本）1通	TK289-459	神省三 〔神省三書状〕 写 1通	TK289-544
沢田次郎（良恭） 誓詞（御近習小姓） 天明5（1785）写 1通 註：竹内彦太郎（軌文）沢田次郎（良恭）	TK289-401	島田与左衛門（静） 誓詞（御用人） 天保10（1839）写 1通	TK289-233	進藤庄兵衛 進藤庄兵衛行状言伝書 写 1冊 半紙 和	TK289-4
沢与左衛門（良恭） 誓詞（御留守居組頭） 寛政13（1801）写 1通	TK289-231	島村三十郎 島村三十郎書状 写 1通	TK289-46	進藤太郎左衛門（正晟） 誓詞（御用人兼帯） 宝暦12（1762）写 1通	TK289-235
釈慈天 〔可足権僧正〕御碑陰之写 写 1枚 31×46	TK289-545	白戸八郎左衛門（清定） 誓詞（御目付） 宝暦10（1760）写 1通 註：白戸八郎左衛門（清定）横島幾次郎（安明）	TK289-425	進藤太郎左衛門（正常） 誓詞（御用人） 文言7（1824）写 1通	TK289-236
柴田蔵人（勝峰） 柴田蔵人書状	TK289-44	白取数馬（英胤）		進藤猛太郎（正行）	

誓詞 (御用人) 弘化 4 (1847) 写 1 通	TK289-237	杉山八兵衛 (成知) 誓詞 文久 3, 慶応 4 (1863,68) 写 3 通 註: 文久 3 年御手廻組頭御用人兼帯 慶応 4 年 4 月御家老 同年 8 月御手廻組頭御用人兼帯	TK289-244	写 3 通
神保三右衛門 〔神保三右衛門書状〕 傍島太兵衛 渡辺次太夫 北村弥右衛門宛 写 1 通	TK289-547	杉山上総 (成知) 誓詞 (御家老) 慶応 4 (1868) 写 1 通	TK289-245	関要蔵 (永誠) 誓詞 (御中小性) 安永 7 (1778) 写 1 通
杉浦丹波守 (正勝) 杉浦丹波守書状 津輕越中守宛 写 4 通	TK289-47	杉山竜江 (成知) 〔杉山竜江書状〕三橋玄溟宛 写 2 通	TK289-532	関小伝次 (正長) 誓詞 (御近習番) 寛政 4 (1792) 写 1 通 註: 吉崎権六 (好昌) 関小伝次 (正長)
杉浦丹波守書状 津輕出羽守宛 写 5 通	TK289-48	鈴木吉郎次 (正賢) 誓詞 (御目付) 寛保 2 (1742) 写 1 通	TK289-246	せや せいし (御側女中) 寛政 12 (1800) 写 1 通 註: せや きの
杉山小藤太 (成知) 誓詞 (御用人) 明和 6 (1769) 写 1 通	TK289-240	須藤要人 (正賀) 誓詞 (組之者共鉄炮稽古之儀に付御秘伝) 正徳 5 (1715) 写 1 通	TK289-238	仙石好古 平三郎様御出府より仙石様江御躰養子一件 御書方 延享元, 安永 4 (1744,75) 写 1 冊 半紙 和
杉山源吾 (成章) 誓詞 (御手廻組頭) 寛政 7 (1795) 写 1 通	TK289-241	須藤五郎太夫 (正盈) 誓詞 寛政 12, 享和 3 (1800,03) 写 2 通 註: 寛政 12 年大目付 享和 3 年御用人	TK289-239	添田春之助 (専盈) 誓詞 (御馬廻組頭) 宝暦 11 (1761) 写 1 通
誓詞 (御馬廻組頭) 寛政 2 (1790) 写 1 通 註: 森岡金吾 (元民) 杉山源吾 (成章)	TK289-405	須藤半兵衛 (正万) 誓詞 (御用人奥通) 天保 6 (1835) 写 1 通 註: 北川族 (正喜) 須藤半兵衛 (正方) 田井友衛 (晨宴) 多田三左衛門 (昌言) 森岡山城 (元侯)	TK289-436	添田主計 (専盈) 誓詞 (御用人兼役) 明和 7 (1770) 写 1 通
杉山東市 (成憲) 誓詞 (大寄合格御用人見習) 文政 10 (1827) 写 1 通	TK289-242	関但馬守 (長輝) 関但馬守書状 津輕越中守宛	TK289-49	添田沢左衛門 (食欲) 誓詞 (御手習組頭) 安永 2 (1773) 写 1 通
杉山上総 (成務) 誓詞 (御用人兼帯) 文政 13 (1830) 写 1 通	TK289-243			添田儀左衛門 (貞順) 誓詞

安永5,7 (1776,78) 写 2通 註：安永5年御家老職手伝役 安永7年御家老	醍醐中納言書状 津輕出羽守 (信明) 宛 写 2通	TK289-58	大道寺鞠負 (一派) 誓詞 (御目付) 安永3 (1774) 写 1通 註：小山内安左衛門 (建周) 大道寺鞠負 (一徹)	TK289-402	
添田儀左衛門 (貞享) 誓詞 (御用人) 文政11 (1828) 写 1通	TK289-252	醍醐中納言書状 津輕土佐守 (信明) 宛 写 3通	TK289-59		
相馬得司 (元暉) 誓詞 (大寄合格御用人手伝) 文久3 (1863) 写 1通 註：西館丑太郎 (建久) 相馬得司 (元暉)	TK289-396	醍醐中納言 (輝弘) 醍醐中納言書状 津輕雅之助 (信順) 宛 写 1通	TK289-60	大道寺隼人 (茂徳) 誓詞 (御馬廻組頭) 天明9 (1789) 写 1通	TK289-258
傍島帶刀 (正秘) 於紀州高野山傍島帶刀入道死去一卷 貞享元年 貞享元 (1684) 写 1冊 美濃 (御日記方の蔵印)	TK289-50	醍醐書状 津輕雅之助 (承祐) 宛 写 1通	TK289-61	大道寺隼人 (繁殖) 誓詞 寛政3 (1791) 写 2通 註：寛政3年正月御用人兼役 寛政3年9月御家老	TK289-259
醍醐大納言 (冬熙) 醍醐大納言書状 津輕右京亮 (信興) 宛 〔享保3,4〕 (1718,19) 写 2通	TK289-53	醍醐中納言 (忠順) 醍醐中納言書状 津輕和泉守 (順承) 宛 写 2通	TK289-62	大道寺宇左衛門 (久繁) 誓詞 文化7~文政11 (1810~28) 写 4通 註：文化7年御用人兼 文化9年御手廻組頭御用人兼 帶御側御用人兼 文化10年御家老 文化11年御用人	TK289-260
〔醍醐冬熙〕書状 津輕右京亮 (信興) 宛 〔享保4〕 (1719) 写 1通 註：上包「津輕土佐守殿基熙」とある	TK289-54	醍醐中納言書状 津輕土佐守 (承昭) 宛 写 3通	TK289-63	大道寺隼人 (久繁) 誓詞 (御家老) 文政13 (1830) 写 1通	TK289-261
〔醍醐冬熙〕書状 津輕出羽守 (信著) 宛 写 1通	TK289-55	醍醐中納言書状 弘前侍従 (津輕承昭) 宛 写 1通	TK289-64	大道寺次郎市 (繁元) 誓詞 (御留守居組頭) 文政12 (1829) 写 1通 註：唐牛三左衛門 (昌言) 大道寺次郎市 (繁元)	TK289-409
醍醐〔兼潔〕 醍醐書状 津輕越中守 (信寧) 宛 写 4通	TK289-56	醍醐大納言 (忠順) 醍醐大納言書状 弘前少将 (津輕承昭) 宛 写 3通	TK289-65	誓詞 (御馬廻組頭) 文政13 (1830) 写 1通 註：野宮典司 (篤恭) 大道寺次郎市 (繁元)	TK289-408
醍醐中納言 (輝久) 醍醐中納言書状 津輕越中守 (信寧) 宛 写 2通	TK289-57	大道寺隼人 (一經) 誓詞 (御用人兼役) 明和3 (1766) 写 1通	TK289-256	誓詞 TK289-394	
		大道寺族之助 (繁一) 誓詞 (御城代) 明和7 (1770) 写 1通	TK289-257		

天保2 (1831) 写 1通 註：大道寺次郎市 (繁元) 御馬廻組頭御用人兼帯 津輕出雲 (清風) 御手廻組頭御用人兼帯	註：堀弥三郎 (利豊) 高倉六部次郎 (盛有)	文久2 (1862) 写 1通
大道寺族之助 (順正) 〔大道寺族之助宛知行状〕津輕承烈花押 安政6 (1859) 写 1通 註：津輕承烈は承昭と改める	誓詞 TK289-429 安永元 (1772) 写 1通 註：堀弥三郎 (利豊) 御馬廻組頭 高倉六郎次郎 (盛有) 御馬廻組頭 津輕十次郎 (尚徳) 御手廻組頭	高杉小春 (好久) 誓詞 (御近習坊主) TK289-270 寛保2 (1742) 写 1通
大道寺族之助 (繁禎) 誓詞 (御家老) TK289-262 慶応4 (1868) 写 1通	高倉主計 (盛之) 誓詞 (御馬廻組頭) TK289-264 天明4 (1784) 写 1通	高杉友衛 (尚節) 誓詞 (長柄奉行格御小性組頭) TK289-271 文化元 (1804) 写 1通
田井友衛 (晨宴) 誓詞 TK289-253 文政9, 天保10 (1826,39) 写 2通 註：文政9年御用人御附御側御用人兼 天保10年御手廻組頭上席御家老職手伝	高倉五兵衛 (盛之) 誓詞 (御城代) TK289-265 寛政6 (1794) 写 1通	高杉左兵衛 (尚節) 誓詞 TK289-273 文化6,9 (1809,12) 写 2通 註：文化6年大目付 文化9年御用人
誓詞 (御用人奥通) TK289-436 天保6 (1835) 写 1通 註：北川族 (正喜) 須藤半兵衛 (正万) 田井文衛 (晨宴) 多田三左衛門 (昌言) 森岡山城 (元侯)	高倉六部次郎 (盛隆) 誓詞 (御馬廻組頭) TK289-266 文化2 (1805) 写 1通	高杉勝太郎 (尚誼) 誓詞 (御近習番) TK289-272 文化3 (1806) 写 1通
田井静馬 (晨清) 誓詞 (御近習小性) TK289-254 天保2 (1831) 写 1通	高倉主税 (盛儀) 誓詞 (御側詰) TK289-421 文政8 (1825) 写 1通 註：高蔵主税 (盛儀) 津輕繁次郎 (朝寛)	高屋権兵衛 (清知) 誓詞 (御用人) TK289-419 元文5 (1740) 写 1通 註：竹内源太夫 (安貞) 高屋権兵衛 (清知)
高倉五兵衛 (盛有) 誓詞 (御家老) TK289-263 宝暦8 (1758) 写 1通	高倉俊河 (盛儀) 誓詞 TK289-267 天保10,11 (1839,40) 写 2通 註：天保10年御城代格御家老職手伝 天保11年御家老	高屋権兵衛 (清全) 誓詞 (大目付) TK289-274 明和3 (1766) 写 1通
高倉六郎次郎 (盛有) 誓詞 (御馬廻組頭) TK289-404 明和7 (1770) 写 1通	高倉敏次郎 (盛治) 誓詞 (御馬廻組頭御用人兼帯) TK289-268 嘉永6 (1853) 写 1通	高屋吾助 (清泰) 誓詞 TK289-395 享和2 (1802) 写 1通 註：小笠原其母 (泰繁) 勘定奉行奥通 高屋吾助 (清泰) 長柄奉行格勘定奉行奥通
	高倉相模 (盛徳) 誓詞 (御馬廻組頭) TK289-269	高屋恵吉 (清節)

誓詞 (御目付) 文政7 (1824) 写 1通 註: 高屋恵吉 (清節) 笹森百郎 (建繁)	TK289-410	竹内彦太郎 (軌文) 誓詞 (御近習小姓) 天明5 (1785) 写 1通 註: 竹内彦太郎 (軌文) 沢用次郎 (良恭)	TK289-401	註: 伴新八 (建休) 千葉縫右衛門 (良願) 今井新兵衛 (唯晴)
多紀安長 多紀安長書状 津輕越中守宛 写 1通	TK289-51	竹内源太夫 (安利) 誓詞 (御馬廻組頭) 文化3 (1806) 写 1通	TK289-278	津輕内膳 (範盛) 誓詞 明和2,7 (1765,70) 写 2通 註: 明和2年御手廻組頭 明和7年御家老
田口十兵衛 (勅盛) 誓詞 (御目付) 宝暦10 (1760) 写 1通 註: 佐藤伴左衛門 (明清) 田口十兵衛 (勅盛) 秋元杢右衛門 (建喜) 成田文左衛門 (祐証)	TK289-434	竹内彦太郎 (軌量) 誓詞 (御側見習) 文化6 (1809) 写 1通	TK289-279	津輕多膳 (貞栄) 誓詞 明和3~天明4 (1766~84) 写 3通 註: 明和3年御馬廻組頭 安永5年御用人兼役 天明4年御家老
竹内源太夫 (安貞) 誓詞 (御用人) 元文5 (1740) 写 1通 註: 竹内源太夫 (安貞) 高屋権兵衛 (清知)	TK289-419	武田藤右衛門 誓詞 [御留守居組頭] 享保3 (1718) 写 1通	TK289-280	津輕文蔵 (清真) 誓詞 明和3, 天明8 (1766,88) 写 2通 註: 明和3年御手廻組頭 天明8年御城代
竹内亦市 (安長) 誓詞 (御用人) 宝暦12 (1762) 写 1通	TK289-275	多田三左衛門 (昌言) 誓詞 (御用人奥通) 天保6 (1835) 写 1通 註: 北川族 (正喜) 須藤半兵衛 (正万) 田井友衛 (晨宴) 多田三左衛門 (昌言) 森岡山城 (元侯)	TK289-436	津輕外記 (玄栄) 誓詞 (御家老) 明和7 (1770) 写 1通
竹内源太夫 (安長) 誓詞 (御留守居組頭) 明和2 (1765) 写 1通	TK289-276	田村市郎右衛門 (辰識) 誓詞 (御小納戸役) 延享2 (1745) 写 1通	TK289-255	津輕十次郎 (尚徳) 誓詞 安永元 (1772) 写 1通 註: 堀弥三郎 (利豊) 御馬廻組頭 高倉六部次郎 (盛有) 御馬廻組頭 津輕十次郎 (尚徳) 御手廻組頭
竹内甚左衛門 (兼充) 誓詞 (御目付) 明和3 (1766) 写 1通 註: 竹内甚左衛門 (兼充) 秋元金九郎 (潔武)	TK289-397	多門伝八郎 多門伝八郎書状 津輕出羽守宛 写 1通	TK289-52	誓詞 (御用人兼役) 安永10 (1781) 写 1通 註: 堀内匠 (利豊) 津輕十次郎 (尚徳)
竹内衛士 (軌当) 誓詞 (御用人) 安永4 (1775) 写 1通	TK289-277	千葉縫右衛門 (良願) 誓詞 (御目付) 元文6 (1741) 写 1通	TK289-431	津輕主水 (尚徳) 誓詞 TK289-287

安永8～天明5 (1779～85) 写 3通 註：安永8年御城代 天明4年御家老手伝役 天明5年御家老		津輕因幡 (玄正) 誓詞 (御家老) 天保6 (1835) 写 1通	TK289-296
津輕兵部 (奉世) 誓詞 (御城代) 安永5 (1776) 写 1通	TK289-286	津輕多膳 (貞升) 誓詞 天保10 (1839) 写 2通 註：天保10年御用人 同年六月御家老	TK289-297
津輕金蔵 (模宏) 誓詞 天明4, 寛政4 (1784,92) 写 2通 註：天明4年御側見習 寛政4年御用人兼役	TK289-288	津輕図書 (尚友) 〔津輕図書宛知行状写〕 安政6 (1859) 写 1通	TK289-525
津輕中書 (貞正) 誓詞 (御用人) 寛政6 (1794) 写 1通	TK289-289	誓詞 嘉永3～慶応4 (1850～68) 写 3通 註：嘉永3年御馬廻組頭 嘉永6年御家老 慶応4年御家老	TK289-298
津輕永孚 (貞正) 誓詞 寛政9,10 (1797,98) 写 3通 註：寛政9年正月御馬廻組頭 寛政9年11月御城代格御家老職手伝 寛政10年御家老	TK289-290	津輕平八郎 (清貞) 誓詞 (御用人兼帯) 慶応4 (1868) 写 1通	TK289-299
津輕大炊之助 (清尚) 誓詞 (御留守居組頭) 寛政8 (1796) 写 1通	TK289-291	築館奥左衛門 (但生) 誓詞 (御目付) 明和3 (1766) 写 1通 註：築館奥左衛門 (但生) 土門小四郎 (実常)	TK289-420
津輕直記 (朝定) 誓詞 (御手廻組頭御用人兼役) 文化4 (1807) 写 1通	TK289-292	対馬三太夫 (政保) 誓詞 (御目付) 明和7 (1770) 写 1通 註：佐々木又八 (守伊) 村上理右衛門 (英則) 対馬三太夫 (政保)	TK289-427
津輕右近 (玄正) 誓詞 文政7,8 (1824,25) 写 2通 註：文政7年御手廻組頭御用人兼帯 文政8年御城代	TK289-293	対馬小次郎 〔対馬小次郎役替之儀覚〕 対馬小次郎	TK289-518
津輕繁次郎 (朝寛) 誓詞 (御側詰) 文政8 (1825) 写 1通 註：高倉主税 (盛儀) 津輕繁次郎 (朝寛)	TK289-421		
津輕金蔵 (範疇) 誓詞 (御用人) 文政11 (1828) 写 1通	TK289-294		
津輕主水 (尚賢) 誓詞 (御手廻組頭) 文政12 (1829) 写 1通 註：堀五郎左衛門 (利安) 津輕主水 (尚賢)	TK289-424		
津輕金太郎 (範之) 誓詞 (御馬廻組頭) 文政12 (1829) 写 1通 註：津輕金太郎 (範之) 津輕出雲 (清風) 満江伝左衛門 (景昇)	TK289-428		
津輕出雲 (清風) 誓詞 (御馬廻組頭) 文政12 (1829) 写 1通 註：津輕金太郎 (範之) 津輕出雲 (清風) 満江伝左衛門 (景昇)	TK289-428		
誓詞 (御手廻組頭) 天保2 (1831) 写 1通	TK289-295		
誓詞 天保2 (1831) 写 1通 註：大道寺次郎市 (繁元) 御馬廻組頭御用人兼帯 津輕出雲 (清風) 御手廻組頭御用人兼帯	TK289-394		

〔寛政6〕(1794)写 1通 註：御手廻		戸沢元吉(国禎) 誓詞(老頭修司小性組頭) 寛政元(1789)写 1遣	TK289-305	土門八郎(実知) 誓詞(御近習番) 文化2(1805)写 1遣	TK289-302
対馬刑部(正邦) 誓詞(御馬別組頭格御用人兼) 天保12(1841)写 1通	TK289-281	戸沢半左衛門(惟備) 誓詞(大寄合格御用人手伝) 天保6(1835)写 1通	TK289-306	都谷森甚之丞(正備) 誓詞(御用人) 文政11(1828)写 1遣 註：野呂典司(篤恭)都谷森甚之丞(正備)山鹿次郎作(高厚)	TK289-432
ときわ せいし(御仲居) 寛政12(1800)写 1通 註：ときわ わかな	TK289-440	戸沢新左衛門(惟備) 誓詞 天保6(1835)写 2遣 註：天保6年4月御用人奥通 天保6年12月大寄合格御用人手伝奥通	TK289-307	都谷森甚弥(正守) 誓詞(御用人手伝) 明治2(1869)写 1達	TK289-309
土岐渡人(貞愛) 誓詞(大目付) 明和2(1765)写 1通	TK289-300	戸沼清右衛門 〔戸沼清右衛門書状〕佐藤伊三郎宛 写 1連	TK289-528	豊島勘左衛門(仲賢) 誓詞(御留守居組頭) 寛政7(1795)写 1通	TK289-310
土岐渡人(貞如) 誓詞(大目付) 文化元(1804)写 1通	TK289-301	外崎只右衛門 外崎只右衛門書状 土岐渡人宛 写 1通	TK289-113	豊島範司(仲方) 誓詞(御目付) 天保4(1833)写 1通 註：廻間永太郎(庶仲)豊島範司(仲方)	TK289-418
徳川家康 権現様御自筆之御書并御書付写及同書致差上候御使者勤方之覚 飯田半兵衛宛 天和4(1684)写 7通・1冊 美濃 註：徳川家康の書状并書付の写を幕府へ提出した際の控とその使者勤方之覚	TK289-114	外崎与藏(円) 誓詞(御近習番) 寛政6(1794)写 1通	TK289-308	中田勇藏(武軌) 誓詞 天明元(1781)写 1通	TK289-311
戸沢半左衛門(惟顕) 誓詞(松五郎様御守役) 明和4(1767)写 1通	TK289-303	富岡武兵衛 〔富岡武兵衛書状〕 〔正保4〕(1647)写 1遣	TK289-548	中西新次郎(子章) 誓詞(御近習小姓) 宝暦11(1761)写 1通	TK289-312
戸田次左衛門(武善) 誓詞(大目付) 天明4(1784)写 1遣	TK289-304	土門小四郎(実常) 誓詞(御目付) 明和3(1766)写 1遣 註：築館奥左衛門(但生)土門小四郎(実常)	TK289-420	永野仁左衛門(建利) 誓詞(御目付) 明和4(1767)写 1通 註：野宮伴左衛門(盛房)永野仁左衛門(建利)	TK289-413

中畑伊男理 〔中畑伊男理書狀〕 写 7通	TK289-540	註：佐藤伴左衛門（明清）田口十兵衛（勅盛）秋元杳右衛門（建喜）成田文左衛門（祐証）	誓詞 文久3, 慶応元（1863,65）写 2通 註：文久3年御城代格御家老織手伝 慶応元年御家老	TK289-319
〔中畑伊男理帰弘養生願〕 写 1通	TK289-541	成田徳右衛門（行篤） 誓詞（作事奉行奥通り） 寛政9（1797）写 1通	乳井貢 乳井貢書狀 土岐渡人宛 写 1通	TK289-121
那須与一（資明） 那須与一書狀 写 12通	TK289-115	難波前大納言（宗城） 難波前大納言書狀 津軽出羽守（信明）宛 写（安永7）1通	野上藤右衛門（忠光） 誓詞（御目付） 安永3（1774）写 1通	TK289-320
那須芝山（資明） 那須芝山書狀 写 6通	TK289-116	西館織部（建貞） 誓詞（御手廻組頭） 宝暦11（1761）写 1通	野宮伴左衛門（盛房） 誓詞（御目付） 明和4（1767）写 1通 註：野宮伴左衛門（盛房）永野仁左衛門（建利）	TK289-413
成島忠八郎（和鼎） 成島忠八郎書狀 写 1通	TK289-117	西館幸之助（建邦） 誓詞（御馬廻組頭） 明和9（1772）写 1通	野呂登（升） 〔野呂登役替之儀覚〕野呂登 〔寛政6〕（1794）写 1通 註：寄合	TK289-516
成島仙蔵（勝雄） 成島仙蔵書狀 写 4通	TK289-118	西館織部（建部） 誓詞（御手廻組頭） 天明4（1784）写 1通	誓詞（大目付） 寛政9（1797）写 1通	TK289-321
成島邦之助（司直） 成島邦之助書狀 写 2通	TK289-119	西館宇膳（建国） 誓詞 寛政13～文政13（1801～30）写 3通 註：寛政13年御馬廻組頭 文化13年御用人兼帯 文政13年御家老	野呂典司（篤恭） 誓詞（御用人） 文政11（1828）写 1通 註：野呂典司（篤恭）都谷森甚之丞（正備）山鹿次郎作（高厚）	TK289-432
成田久左衛門（家春） 誓詞（勝之助附） 享保7（1722）写 1通	TK289-313	西館丑太郎（建久） 誓詞（大寄合格御用人手伝） 文久3（1863）写 1通 註：西館丑太郎（建久）相馬得司（元暉）	誓詞（御馬廻組頭） 文政13（1830）写 1通 註：野呂典司（篤恭）大道寺次郎市（繁元）	TK289-408
成田文左衛門（祐証） 誓詞（御目付） 宝暦10（1760）写 1通	TK289-434	西館宇膳（建哲）		

萩原源司 〔萩原源司書状〕 清水忠五郎 前田善次郎宛 写 1通	TK289-451	誓詞（御用人） 安永9（1780）写 1通	TK289-325	藤田長太夫（清貞） 誓詞（御錠口役） 寛政11（1799）写 1通 註：藤田長太夫（清貞）佐野吉郎兵衛（正武）	TK289-399
廻間永太郎（庶仲） 誓詞（御目付） 天保4（1833）写 1通 註：廻間永太郎（庶仲）豊島範司（仲方）	TK289-418	樋口栄吉（建元） 誓詞（勘定奉行） 天保5（1834）写 1通 註：倉光市次郎（恒亨）樋口栄吉（建元）	TK289-426	藤田主税（通厚） 誓詞（御近習小姓） 文化元（1804）写 1通	TK289-331
花田繁太郎（由貞） 誓詞（御近習小性） 文化3（1806）写 1通	TK289-322	平井仙左衛門（憲章） 誓詞（御側御用人） 天保8（1837）写 1通	TK289-326	藤田莊助（清颯） 誓詞 文政7,8（1824,25）写 2通 註：文政7年大寄合格御用人手伝 文政8年御用人	TK289-332
原子藤弥（明郷） 誓詞（御近習小姓） 宝曆14（1764）写 1通 註：笹森文五郎（建永）原子藤弥（明郷）工藤嘉次郎（佐共）	TK289-430	平岡群蔵（大年） 誓詞 寛政4,文化9（1792,1812）写 2通 註：寛政4年御近習小性御小納戸兼 文化9年大寄合格御側御用人兼	TK289-327	藤田権三郎（禎幹） 誓詞 文政8（1825）写 2通 註：文政8年正月御用人 文政8年5月御側御用人兼帶	TK289-333
伴八郎（矩点） 誓詞〔御目付〕 元文5（1740）写 1通	TK289-323	平岡群蔵（泰年） 誓詞（御用人） 文化12（1815）写 1通	TK289-328	古田忠兵衛（安定） 誓詞（松五郎様御近習小姓） 安永2（1773）写 1通 註：藤岡新八（正峰）古田忠兵衛（安定）	TK289-417
伴新八（建休） 誓詞（御目付） 元文6（1741）写 1通 註：伴新八（建休）千葉縫右衛門（良願）今井新兵衛（唯清）	TK289-431	藤岡新八（正峰） 誓詞（松五郎様御近習小姓） 安永2（1773）写 1通 註：藤岡新八（正峰）古田忠兵衛（安定）	TK289-417	北条新蔵 北条新蔵書状 津軽越中守宛 写 1通	TK289-122
伴野文四郎（道善） 誓詞（大寄合格御用人手伝） 天保12（1841）写 1通	TK289-324	藤田弥六（照房） 誓詞（御小性組頭） 明和2（1765）写 1通	TK289-329	北条安房守（氏興） 北条安房守書状 津軽出羽守宛 写 2通	TK289-123
樋口弥三郎（建侯）		藤田莊助（清応） 誓詞〔別段御用懸〕 安永9（1780）写 1通	TK289-330	北条弥五郎 北条弥五郎書状 津軽出羽守宛 写 1通	TK289-124

堀弥三郎（利豊） 誓詞（御馬廻組頭） 明和7（1770）写 1通 註：堀弥三郎（利豊）高倉六郎次郎（盛有）	TK289-404	堀五郎左衛門（利之） 誓詞 天保12～15（1841～44）写 3通 註：天保12年御用人兼帯 天保13年御家老手伝 天保15年御家老	TK289-337	註：寛政2年御用人 寛政3年御馬廻組頭 寛政6年御家老
誓詞 安永元（1772）写 1通 註：堀弥三郎（利豊）御馬廻組頭 高倉六郎次郎（盛有）御馬廻組頭 津軽十次郎（尚徳）御手廻組頭	TK289-429	堀丹後守三十郎（直央） 堀三十郎書状 津軽越中守宛 写 3通	TK289-125	まち せいし（御年寄） 寛政12（1800）写 1通
堀内匠（利豊） 誓詞（御用人兼役） 安永10（1781）写 1通 註：堀内匠（利豊）津軽十次郎（尚徳）	TK289-422	堀丹後守書状 津軽越中守宛 写 1通	TK289-126	町田助太郎（定静） 誓詞（寺社奉行勘定奉行兼奥通） 文化9（1812）写 1通
堀五郎左衛門（和親） 誓詞（御手廻組頭） 安永10（1781）写 1通	TK289-334	本多淡路守（繁文） 本多淡路守書状 津軽越中守宛 写 2通	TK289-127	松平伊豆守（信明） 松平伊豆守書状 津軽越中守宛 写 1通
堀五郎左衛門（利寛） 〔堀五郎左衛門役替之儀覚〕堀五郎左衛門 寛政6（1794）写 1通 注：御手廻五番組頭	TK289-512	本多東作（久貞） 誓詞（御小性組之頭兼） 天保10（1839）写 1通 註：北原惣蔵（高厚）本多東作（久貞）	TK289-407	松平伊豆守（信吉） 松平伊豆守書状 津軽和泉守（順承）宛 写 5通
誓詞（御城代） 文化2（1805）写 1通	TK289-335	本多東作（久元） 誓詞（大目付） 慶応4（1868）写 1通	TK289-338	松平紀伊守（信庸） 松平紀伊守書状 津軽越中守宛 写 1通
堀五郎左衛門（割安） 誓詞（御馬廻組頭御用人兼帯） 文政9（1826）写 1通	TK289-336	蒔苗孫右衛門 〔蒔苗孫右衛門役替之儀覚〕蒔苗孫右衛門 〔寛政6〕（1794）写 1通 註：御長柄奉行格	TK289-515	松平左近将監 松平左近将監書状 津軽越中守宛 写 2通
誓詞（御手廻組頭） 文政12（1829）写 1通 註：堀五郎左衛門（利安）津軽主水（尚賢）	TK289-424	牧野左次郎（恒貞） 誓詞 寛政2～6（1790～94）写 3通	TK289-341	松平土佐守（豊資） 松平土佐守書状 津軽越中守宛 写 5通
				松平大和守（直恒） 松平大和守書状 津軽越中守宛 写 9通

松平大和守書状 津軽出羽守宛 写 5通	TK289-136	誓詞 安永7,天明5(1778,85)写 2通 註:安永7年御用人 天明5年御馬廻組頭	TK289-343	[寛政6](1794)写 1通 註:御馬廻六番組頭
松平大和守亀三郎(直温) 松平亀三郎書状 津軽越中守宛 写 1通	TK289-137	満天姫 満天姫君之儀にて公義江被差出候御書付之写 寛政2年 寛政2(1790)写 1通	TK289-129	溝江鉄蔵(景德) 誓詞(御留守居組頭) 享和3(1803)写 1通
松平大和守書状 津軽越中守宛 写 5通	TK289-138	間宮平次郎(孝寛) 間宮平次郎書状 写 2通	TK289-128	溝江伝左衛門(景德) 誓詞(御馬廻組頭) 文化5(1808)写 1通
松平大和守(矩典) 松平大和守書状 津軽越中守宛 写 5通	TK289-139	間宮求馬(勝正) 誓詞(御用人) 文政11(1828)写 1通	TK289-339	溝江伝左衛門(景昇) 誓詞(御馬廻組頭) 文政12(1829)写 1通 註:津軽金太郎(範之)津軽出雲(清風)溝江伝左衛門(景昇)
松野敬蔵(直一) 誓詞(御小性組御道具預介) 文化6(1809)写 1通	TK289-344	間山鎮五郎(伝) 誓詞(御使番郡奉行勘定奉行手伝奥通) 文政12(1829)写 1通	TK289-340	三日市大夫次郎(秀文) 三日市大夫次郎書状 津軽越中守宛 写 1通
松野茂右衛門(直純) 誓詞(大寄合格若殿様御側御用人兼役) 文化11(1814)写 1通 註:茂左衛門と改めた	TK289-345	三浦良助(良兼) 誓詞(御近習小姓御小納戸役兼) 史永6(1777)写 1通	TK289-347	三橋左十郎(定一) 誓詞(御用人) 天保15(1844)写 1通
誓詞(御用人) 文政9(1826)写 1通	TK289-346	三浦貞三郎(良貨) 誓詞(御禿恪) 天明7(1787)写 1通	TK289-348	三橋左十郎(定永) 誓詞(御側御用人) 慶応4(1868)写 1通
松前若狭守(章広) 松前若狭守書状 津軽越中守宛 写 17通	TK289-140	三上喜左衛門(助有) 誓詞(御近習小姓御小納戸役兼) 寛政8(1796)写 1通	TK289-349	三橋玄溟(左十郎) 〔三橋玄溟書状〕 今栄六 長尾又右衛門(周庸)宛 写 1通
松浦甚五左衛門(良寛) 誓詞(大目付) 明和9(1772)写 1通 註:白取数馬(英胤)松浦甚五左衛門(良寛)	TK289-403	溝江伝左衛門 〔溝江伝左衛門役替之儀寛〕溝江伝左衛門	TK289-514	宮沢治右衛門(昌庸)

誓詞 文政7,8 (1824,25) 写 2通 註：文政7年大寄合格御側御用人見習 文政8年御用人御附御側御用人兼	TK289-354	明治4 (1871) 写 1冊 美濃 附：田方繰替願 (鳴海謙六)	〔森美濃守書狀〕津輕越中守宛 写 3通	TK289-145
棟方作之助 (貞豊) 誓詞 (御馬廻組頭) 天明3 (1783) 写 1通	TK289-355	毛内藤左衛門 (盛幸) 誓詞 (御近習小性) 元文5 (1740) 写 1通 註：井上忠太 (直) 毛内藤左衛門 (盛幸) 佐藤只右衛門 (正範) 市川十之進 (久雄)	森和泉守 (忠哲) 森和泉守書狀 津輕越中守宛 写 5通	TK289-146
棟方作右衛門 (貞豊) 〔棟方作右衛門役替之儀覚〕 棟方作右衛門 寛政6 (1794) 写 1通 註：御馬廻二番組頭	TK289-513	誓詞 宝曆9, 安永3 (1759,74) 写 2通 註：宝曆9年御錠口授勘定奉行兼役 安永3年大目付	森岡内蔵之助 (元甫) 誓詞 (御馬廻組頭) 享保9 (1724) 写 1通	TK289-359
誓詞 寛政11,12 (1799,1800) 写 2通 註：寛政11年御用人兼役 寛政12年御手廻組頭	TK289-356	毛内亦左衛門 (茂長) 誓詞 (御目付) 明和5 (1768) 写 1通 註：後藤弥八 (標央) 栗原治左衛門 (盛富) 毛内亦左衛門 (茂長)	森岡主膳 (元徳) 誓詞 (御家老) 明和8 (1771) 写 1通	TK289-360
棟方貞助 (貞全) 誓詞 (御側見習) 享和3 (1803) 写 1通	TK289-357	毛内貫太郎 〔毛内貫太郎書狀〕 今榮六 長尾又右衛門 (周庸) 宛 写 2通	森岡金吾 (元民) 誓詞 (御馬廻組頭) 寛政2 (1790) 写 1通 註：森岡金吾 (元民) 杉山源吾 (成章)	TK289-405
村垣淡路守 (定行) 〔村垣淡路守書狀〕津輕越中守宛 写 6通	TK289-142	毛内常保 〔毛内常保書狀〕長尾周庸 今榮六宛 写 2通	誓詞 (御用人兼帯) 文化9 (1812) 写 1通	TK289-361
村上理右衛門 (英則) 誓詞 (御目付) 明和7 (1770) 写 1通 註：佐々木又八 (守伊) 村上理右衛門 (英則) 対馬三太夫 (政保)	TK289-427	森美濃守右兵衛佐 (忠賛) 森右兵衛佐書狀 津輕出羽守 (寧親) 宛 写 1通	森岡金吾 (元侯) 誓詞 天保2,4 (1831,33) 写 2通 註：天保2年御留守居組頭 天保4年御馬廻組頭御用人兼帯	TK289-362
村上長次郎 〔村上長次郎〕水帳 弘前藩庁	TK289-550	森右兵衛佐書狀 津輕越中守 (寧親) 宛 写 18通	森岡山城 (元侯) 誓詞 (御用人奥通) 天保6 (1835) 写 1通 註：北川族 (正喜) 須藤半兵衛 (正万) 田井友衛 (晨宴) 多田三左衛門 (昌言) 森岡山城 (元侯)	TK289-436

誓詞 (御家老) 天保 6 (1835) 写 1 通	TK289-363	山鹿次郎作 (高厚) 誓詞 寛政 12, 文政 8 (1800,25) 写 2 通 註: 寛政 12 年御劍術御稽古之節御側江罷通候に付 文政 8 年御側御用人	TK289-370	山田彦兵衛 (勝委) 誓詞 (御用人兼役) 安永 10 (1781) 写 1 通	TK289-376
森岡民部 (元知) 誓詞 天保 12, 文久 2 (1841,62) 写 2 通 註: 天保 12 年御用人兼帯 文久 2 年御馬廻組頭御用人兼帯	TK289-364	誓詞 (御用人) 文政 11 (1828) 写 1 通 註: 野呂典司 (篤恭) 都谷森甚之丞 (正備) 山鹿次郎作 (高厚)	TK289-432	山田剛太郎 (勝雅) 誓詞 (御馬廻組頭) 寛政 9 (1797) 写 1 通	TK289-377
門馬六弥 (幸親) 誓詞 (御目付) 明和 7 (1770) 写 1 通	TK289-365	山鹿八郎左衛門 (高補) 誓詞 (御近習小性) 文化 14 (1817) 写 1 通	TK289-371	山田剛太郎 (勝承) 誓詞 (御手廻組頭) 文化 2 (1805) 写 1 通	TK289-378
八木橋吉弥 (影雄) 誓詞 (御錠口役) 文化 4 (1807) 写 1 通	TK289-366	山口勝右衛門 (式法) 誓詞 享保 3 (1718) 写 1 通	TK289-372	山田源吾 (勝理) 誓詞 (御小性組御小納戸役助) 天保 2 (1831) 写 1 通	TK289-379
八木橋其母 (影行) 誓詞 文久 3 (1863) 写 2 通 註: 文久 3 年正月御小性組之頭 文久 3 年 5 月御側御用人	TK289-367	山崎図書 (道冲) 誓詞 (御小姓組頭格) 寛政 2 (1790) 写 1 通	TK289-373	山田登 (広之) 誓詞 嘉永 5,6 (1852,53) 写 2 通 註: 嘉永 5 年御小性組之頭 嘉永 6 年大寄合格御用人手伝	TK289-380
矢島玄順 (優勝) 誓詞 (表医老奥通) 享和 2 (1802) 写 1 通	TK289-368	山崎所左衛門 (清良) 誓詞 (御留守居組頭) 慶応 4 (1868) 写 1 通	TK289-374	山田十郎兵衛 (勝正) 誓詞 (御手廻組頭御用人兼帯) 慶応 4 (1868) 写 1 通	TK289-381
柳沢伊賀守 (光被) 柳沢伊賀守書状 津輕越中守宛 写 1 通	TK289-147	山科前宰相 (山科言総) 山科前宰相書状 津輕土佐守 (信義) 宛 写 (寛永 21 ?) 1 通	TK289-148	山野角治郎 (元袁) 誓詞 (御用人) 明和 9 (1772) 写 1 通	TK289-382
山鹿八郎左衛門 (高美) 誓詞 (御節御用) 寛政 10 (1798) 写 1 通	TK289-369	山田彦兵衛 (勝令) 誓詞 (御用人兼役) 宝暦 8 (1758) 写 1 通	TK289-375	山野十右衛門 (元袁) 誓詞 (御馬廻組頭) 寛政 8 (1796) 写 1 通	TK289-383
				山野主馬 (元孝)	

誓詞 (御留守居組頭) 天保 5 (1834) 写 1 通 註：山野主馬 (元孝) 白取数馬 (英範)	TK289-412	吉村甚五右衛門 (愛友) 誓詞 [御目付] 享保 3 (1718) 写 1 通	TK289-388	渡部金八郎 (利往) 誓詞 (御側見習) 文化 3 (1806) 写 1 通	TK289-392
山野角大江 (元敏) 誓詞 (御用人兼帯) 文久 3 (1863) 写 1 通	TK289-384	吉村場左衛門 (愛友) 誓詞 (大目付) 元文 5 (1740) 写 1 通 註：唐牛三左衛門 (親由) 吉村場左衛門 (愛友)	TK289-415	TK 2 9 0 . 3 地図 絵図	
山屋長太夫 (英正) 誓詞 寛政 7, 文化 5 (1795,1808) 写 2 通 註：寛政 7 年御目付 文化 5 年御用人	TK289-385	吉村場左衛門 (愛仍) 誓詞 (御用人) 天保 4 (1784) 写 1 通	TK289-389	青森県管内全図 鎌田商店編 青森 鎌田商店 明治 25 (1892) 1 舗 83×111 畳物	TK290.3-2
湯浅多久馬 (茂村) 誓詞 (御近習小性) 明和 2 (1765) 写 1 通 註：葛西勝左衛門 (好教) 湯浅多久馬 (茂村)	TK289-411	よそ よそよりの書状 写 4 通	TK289-149	御郡中絵図 写 (慶安年中) 1 舗 (箱入) 360×433	TK290.3-3
横島幾次郎 (安明) 誓詞 (御目付) 宝暦 10 (1760) 写 1 通 註：白戸八郎左衛門 (潰走) 横島幾次郎 (安明)	TK289-425	わか せいし (御仲居) 寛政 12 (1800) 写 1 通 註：ときわ わかな	TK289-440	津軽領画図 写 1 舗 470×400 註：「安永 8 年於江戸表日本諸国之図御屋舗江壳払ニ来候ニ付右之内御国之絵図計写取候図也」「春田丹波入御覽候日本絵図之内写」とある	M18
横島勝右衛門 (安恒) 誓詞 (御目付) 寛政 5 (1793) 写 1 通	TK289-386	和田玄庸 〔和田玄庸書状〕奥崎 高杉宛 写 1 通	TK289-526	陸奥国津軽領絵図 写 8 舗 55×360	M19
吉崎権六 (好昌) 誓詞 (御近習番) 寛政 4 (1792) 写 1 通 註：吉崎権六 (好昌) 関小伝次 (正長)	TK289-423	渡辺桂蔵 (寛徳) 誓詞 (御目付) 享和 3 (1803) 写 1 通	TK289-390	陸奥国津軽領絵図 写 8 舗 55×360	M20
吉沢忠左衛門 (英長) 誓詞 (御役者) 寛政 5 (1793) 写 1 通	TK289-387	渡部将監 (利生) 誓詞 (御家老職手伝御城代恪) 文化元 (1804) 写 1 通	TK289-391	陸奥国津軽領絵図 写 8 舗 55×360	M21
				陸奥国津軽郡之図 文政 7 (1824) 写 (百川文平) 1 舗 232×230 註：田舎庄 鼻和庄 平賀庄 黒石領色別村名	M22
				御郡内惣図 写 1 ケ 68×100 註：津軽の主なる川・崎・潟・湾のみ記入	TK290.3-4

御領分磁石見当図 写 1 舗 290×298 量物	M23	写 1 舗 95×135		大光寺組猿賀組絵図 写 1 舗 123×117	M39
〔御領分磁石見当図〕下画 写 1 舗 290×287	M24	(津軽郡内) 山沢図解 坤 (仕立山) 写 1 冊 (23 丁) 32×24 仮和	TK290.3-8	大鱈組尾崎組絵図 写 1 舗 88×122	M40
領内方位図式 写 1 舗 280×305 註：岩木山を中心とする領内方位図	M25	◇		碓ヶ関山絵図 写 1 舗 158×127	M41
陸奥国津軽領海辺通之絵図 写 5 舗 ① 131×128 ② 108×171 ③ 182×190 ④ 115×165 ⑤ 105×206 量物	M26	浦町組横内組絵図 写 1 舗 103×164	M30	三ツ目内山絵図 写 1 舗 134×111	M42
津軽領海辺図 写 1 舗 175×171	TK290.3-5	荒川村より浅虫村迄山絵図 写 1 舗 161×127	M31	〔三ツ目内川西ノ俣沢絵図〕 嘉永6 (1853) 写 1 枚 54×39 註：西ノ俣沢より秋田境まで	TK290.3-9
外浜内郷合〔山絵〕図 〔寛保3〕(1743) 写 2 舗 (3 舗の内) 110×152 量物 註：「御領分中御境通并内郷外浜合山絵国下書」に御境通は4枚に 内郷外浜通は3枚に清書したとある これはその清書したものと思われる	M27	油川組絵図 写 1 舗 88×122	M32	虹貝島田山絵図 写 1 舗 135×124	TK290.3-10
御領分中御境通并内郷外浜合山絵図下書 舟広新五兵衛 工藤万左衛門 寛保3 (1743) 写 2 舗 132×324・133×278 量物	M28	新城村より瀬部地村迄山絵図 写 1 舗 114×221	M33	薬師堂村領山絵図 写 1 舗 55×79 註：薬師堂村領山と御小納戸山及び他封領と色分図	TK290.3-11
陸奥国津軽郡之内六枚橋村より八幡村迄村々山沢図 寛政5 (1793) 写 1 舗 138×122 註：津軽半島山沢図	M29	浪岡組絵図 写 1 舗 82×116	M34	和徳組堀越組絵図 写 1 舗 131×143	M43
外ヶ浜通御山絵図 写 1 冊 (17 丁) 32×24 仮和	TK290.3-6	常盤組増館組絵図 写 1 舗 87×124	M35	湯口山絵図 写 1 舗 124×90	TK290.3-12
十川村ヨリ戸門村迄山絵図	TK290.3-7	藤崎組柏木組絵図 写 1 舗 103×82	M36	相間山絵図 写 1 舗 127×110	TK290.3-13
		藤崎村絵図 大和4 (1684) 写 1 舗 202×192 註：藤崎村軒数 小字田畑等級の記載がある	M37	村市山絵図 写 1 舗 160×127	M44
		田舎館組絵図 写 1 舗 102×73	M38		

轟木村風合瀬村山絵図式 文政6(1823)写 1枚 47×32 註：轟木村領風合願村領境界図	TK290.3-14	飯詰山絵図 写 1 舗 105×80	M51	写 1 舗 107×90 註：寛政頃	
亀ヶ岡領新道図 元禄9(1696)写 1 舗 378×212 附：亀ヶ岡新町地割	M45	前田野目村より戸沢村迄山絵図 写 1 舗 138×95	M52	弘前分間真図 文化3(1806)写 4 舗 附3冊(箱入) 註：五厘間4枚合図 附：方位間数連測帳2冊 町割路幅間数絵図帳1冊	TK290.3-20
木造〔新田〕之絵図 写 1 舗 95×103 註：木造より田吉・廻堰 廻堰より桑野木田・木筒・野木・十面沢 上木作より床舞まで道程記入	TK290.3-15	飯詰組羽野木沢原子俵元俵元新田豊成福山浅井六ヶ村之図 TK290.3-17 文久3(1863)写 1 舗(数枚の内)50×207		弘前御城下町割屋敷割 写 1 舗 328×306 註：弘前の町割計画図下書と思われる 年代不明	M56
川口ヨリ桜井迄 川口ヨリ舟岡迄里程図 写 1 枚 34×49	TK290.3-16	金木組絵図 写 1 舗 87×207 註：一里塚 十町抗の記入がある	M53	宇和野志多野下屋舗之図 写 1 舗 117×143	TK290.3-21
赤田組広須組絵図 写 1 舗 87×142	M46	小田川村より尾別村まで山絵図 写 1 舗 114×189	M54	〔弘前町割図〕 写 2 舗 ①70×140 ②37×88 註：徳田町西方萱町附近及び長坂町笹森町附近町割図	TK290.3-22
広須御派之図(寛文4年) 延宝4(1676)写 1 舗 170×205	M47	〔金木新田之図〕 〔元禄11〕(1698)写 1 舗 128×170 註：御領分御絵図下画(元禄2年(1689))とある ◇	TK290.3-18	長勝寺林石森絵図 写 1 舗 89×134	TK290.3-23
五所川原領ヨリたつひかり辺迄御派之図 延宝4(1676)写 1 舗 126×142 註：寛文4年の広須御派の絵図の内からこの度普請する場所の分を絵図につくったとある	M48	弘前古御絵図 写 1 舗 218×215 註：慶安2年(1649)作製の絵図と推定 家中侍は氏名町家は職業と名前を記入している	M55	唐内坂北之森御絵図 松田五郎左衛門 天和2(1682)写 1 舗 145×190 註：1分1間	TK290.3-24
広須御新田所図 天保3(1683)写 1 舗 257×166 註：「天和2年10月2日ニ差上ケ申候控」「御新田所村数六十六 右之内三村名付ケ不申候」とある	M49	津軽弘前古絵図 万治2(1659)写 1 舗 244×335 註：「万治2年霜月出来」とあり 士族の名を記している	L3	弘前楮町之図 写 1 舗 49.5×68	TK290.3-25
飯詰組広田組絵図 写 1 舗 115×206	M50	弘前中惣屋敷絵図 寛文13(1673)写 1 舗 385×376 註：家中侍の氏名町家の名前を記入	L4	〔向外瀬御薬園図〕 〔明治4?〕(1871)写 2 枚 1 枚物	TK290.3-1
		弘前分見惣絵図 TK290.3-19	TK290.3-19	〔岩木川流域図〕(范中村領より藤騎村領迄) 写 1 舗 172×45.5	TK290.3-26

青森之図（青森御町絵図） 写 1 舗 88×161 註：寛文初期のもの	TK290.3-27	天和3で1683）写 1 舗 28×81 註：深浦から岩崎までの絵図 新開田の記入あり	平内領絵図面 写 1 舗 93×139	TK290.3-43
津軽郡外浜青森之図 写 1 舗 60×96 註：寛文11年御仮屋取建以前	TK290.3-28	津軽郡西之浜鱈ヶ沢之図 写 1 舗 64×114	かりば沢絵図 附書付 延宝8（1680）写 1 通 31×88 註：黒石領南部領境の図と長橋茂右衛門の覚書	TK290.3-44
青森之図 写 1 舗 103×55 註：大火焼失区域及び火元の記入あり 寛文13年か	TK290.3-29	大間越道御絵図 写 1 枚 30×42	〔平内堀差山絵図〕 〔延宝8〕（1680）写 1 舗 173×240 量物	M60
青森御絵図 天和3（1683）写 1 舗 74×130 註：青森町から狩揚沢迄の山沢図 南部領境界朱線引きあり	TK290.3-30	岩木山之図 写 1 枚 23×41	狩場沢附近山絵図（堀差山見分図） 藤田留兵衛 正徳3（1713）写 1 舗 105×90 註：正徳3年堀差山見分の図	TK290.3-45
碓ヶ関峠古懸山入口迄海道筋絵図 金沢勘右衛門 写 2 枚 24×34	TK290.3-31	阿波羅山図 写 1 舗 117×312 註：袋に石郷岡八九郎の署名あり 破損甚だしい ◇	〔御老中并公儀御役人〕御裏印山絵図写 正徳4年 御山方 安永2（1773）写 1 舗 附1冊 120×271 長物 註：堀差山絵図以所（御山方 安永2（1773）写 半紙）	M61
碓ヶ関之滝之絵図 写 1 枚 43×40	TK290.3-32	従三角山御茶屋場山崎迄峰筋見分ノ図 附書付 金沢勘右衛門等 元禄4（1691）写 1 舗・1通 188×292	〔南部境山絵図〕（浅虫領鍵カケより碓ヶ関山境兎尻まで） 写 1 舗 65×120	TK290.3-46
今別・黒崎・三馬屋之御絵図 写 7 枚 内容：今別村御絵図1舗（160×69） 黒崎町之御絵図1舗（40×104） 三馬屋町御絵図1舗（48×140） 御本陣家之図4枚（41×30） 註：蟹田平館今別三馬屋の御本陣家	TK290.3-33	黒石御絵図 写 1 舗 76×154 註：黒石から葛川迄	碓ヶ関山津苅沢奥通図（兎尻） 写 1 枚 40×55	TK290.3-47
十三御絵図 天和3（1683）写 1 舗 53×59	TK290.3-34	浅瀬石御山沢図 写 1 舗 187×103	〔秋田領南部領と碓ヶ関山境絵図〕 延宝4（1676）写 1 舗 123×185	TK290.3-48
深浦之絵図	TK290.3-35	〔浅瀬石・荒川山沢図〕 写 1 舗 55×80	小山縫殿丞方ヨリ之絵図并書付 延宝4（1676）写 1 舗・3通 85×147・30×43 註：秋田南部津軽領境志つ可峠附近の山沢図	TK290.3-49
		黒石領平内山絵図 写 1 舗 110×115	御山御境分之図	TK290.3-50
		〔黒石領平内絵図〕（浅虫より狩場沢迄山絵図） 写 1 舗 254×292		

- 延宝4(1676)写 1冊 46×76
 註：三ツ目内村以南秋田領までの山沢絵図 山奉行外崎佐五衛門見分作成のもの
- 碓ヶ関山境之絵図 附覚 TK290.3-51
 天和2(1682)写 2枚・1通 42×61
 註：御当領南部秋田領境附近の山沢図
 附：覚(他領の杣盗取取締触)
- 碓ヶ関領より相馬領迄御境図式 附奥羽境矢立峠一卷(寛文10年) TK290.3-52
 写(附嘉永元写)1冊・1冊 80×83・半紙
- 南部之図 TK290.3-53
 安政3(1856)写 1冊 60×78
 註：浅瀬石川上流南部境の絵図 ◇
- 従津軽碓ヶ関口南部城下迄之絵図 TK290.3-54
 写 1冊 60×147
- 奥州之内南部領十郡之図 TK290.3-55
 写 1冊 103×223
 註：各郡の石高の記入がある
- 名所図絵(陸奥名碑略) TK290.3-56
 茂林斎(菅原陳之)編
 仙台 編者 文化13(1816)刊 1帖 30×9 折本
 内容：燕沢碑考 坪の碑考 和泉灯の伝 牛石古記 野田玉川楓山思惑橋 興の井都島 末松山 松ヶ浦島
- 蝦夷闔境輿地全図 藤田惇斎(金良)編 TK290.3-57
 東京 江戸書物問屋 嘉永7(1854)刊 1冊 26×19 畳物
- 後志国島牧郡〔海岸絵図〕 TK290.3-58
 写(明治初)1冊 28×80
 註：モイワよりヤムワッカまで
- シマコマキ場所廉絵図 TK290.3-59
 写 1冊 40×125
 註：後志国島牧郡ヘシカルウスよりヤムワッカまで
- スツキ場所絵図 TK290.3-60
 写 1冊 40×100
 註：後志国島牧郡モイワよりヘシカルウスまで
- TK291 青森県
- 御領分御絵図目録同合紋 附書付 TK291-2
 〔金沢勘右衛門 清水九郎兵衛〕
 貞享4(1687)写 1冊(9丁)附1通 30×21 仮和
 註：本城より領内所々への遠さ 川筋遠さ 山の高さ 地形高下を記したもの 附の書付は御絵図下書 同日録 同合紋など差上げについての金沢勘右衛門 清水九郎兵衛連名のもの
- 御巡見御道書 文化3年 TK291-3
 文化3(1806)写 4冊・7枚
 内容：第1 駒越組ヨリ西浜通御巡見行程(14×41) 御巡見御道割(9×13) 覚書2冊(14×41) 第2〔駒越組ヨリ西浜通御巡見行程図〕7枚 唐内坂～相馬村～国吉村 国吉村～長面村 舞戸村～鯨ヶ沢町～芦荻村～種里村～赤石村 牛島～金井沢村～荒崎 金井沢村荒崎～深浦町正道尻村～松神村 黒崎村～大間越町～御境
- 御道割明細書 文久元年 郡奉行 TK291-1
 文久元(1861)写 2冊 半紙 和
 註：文久元年8月東海岸通大筒台場見分のため青森・
- 蟹田・三厩・小泊・十三・中里・平井・板柳の道中の各村々の明細書
- 〔巖城山沢名帳〕当用方 TK291-4
 写 1冊 横長
- TK299 県外紀行
- 鎌倉絵図 TK299-1
 刊(木版)1冊 64×47
- 鎌倉名所記(文化改正新版) TK299-2
 鎌倉 常陸屋伊三郎 文化刊 1冊 半紙
- 江之島金亀山三宮細見之図 TK299-3
 東武 斎藤杉朝 刊(木版)1冊 40.5×59.5
- 武州金沢擲築山地蔵院能見堂八景之画図 TK299-4
 文政10(1827)(木版)1冊 67×47

TK 300 社会科学

TK 312 政治史

諸帳調御讓渡目録 元弘前県 TK312-1
 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
 註：元弘前県より青森県へ讓渡目録

讓渡目録 明治4年 TK312-2
 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和
 註：旧弘前県より青森県への讓渡帳簿目録

TK 319 外国 国際問題

魯西亜書牘和解 嘉永5年 TK319-1
 写 1冊 美濃 和

俄羅斯書翰和解 TK319-2
 写 1冊 美濃 和

TK 320.9 法令集

条例規則類入 TK320.9-1
 1袋 (3冊)
 内容：日本坑法 (刊) 家禄引換公債証書発行条例 (明治7写) 地所書入買入規則 (明治9写)

TK 322.5 武家法後期 (藩政)

〔寛政集〕天地 TK322.5-2
 写 (寛政) 2冊 美濃 和
 内容：天巻 当番 御用ニ付登城 御近習医者被為召於山吹之間被仰渡 御家老御用人被仰度 誓詞 壱役壱人御用 御飛脚到着 御用ニ付御武蔵江罷通候儀御献上物出火 諸番人病氣 御障子御火鉢湯手水御定 中奥并御

書院御鍵 阿芙油一粒金丹人參封印 御風呂屋 御役人中不時登城 長柄奉行以上諸書付 浪之間見継 御鷹上鳥 御逢 御先番書上御門堅御馬伺御道書 御武蔵より御武器差上 御鷹高覧 武芸高覧 他所町人并黒石役人登城 御歳暮大寄合以上使者 御役人中并御城代御留守居組頭御裏廻寄附 初御目見御能 御伝馬継飛脚 御印紙受取并渡方 舛御極印 城中破損御修覆 御住居取沢之井釣瓶縄 組引渡御茶壺被献方 病氣調 御菖蒲飾御煤取 大晦日正月元日 (以下略) 全77項目
 地巻 御上下之節碇ケ関御先詰 御供登 四壮江御社参高岡百沢救聞守堂御社参 御先詰 御下浜御供 御湯治御供 御家老宅御成御先詰 御仏参御先詰 両御寺御名代先 御法事 御茶湯御法事 御施餓鬼 御朱印添登 御鷹野御先番 八幡宮御祭礼御名代 御新初 御弓初 御鉄炮初 諸社御神事 二之丸御馬場御馬事 外馬場江御出 西之郭御馬場御馬事 御郭廻御出 野稽古高覧 駒寄御用 御小姓組見分 御徒召抱出席 諸役詞出席 御検見人対談 地割方 (以下略) 全55項目

文化集 TK322.5-3

写 (文化) 29冊 美濃 和
 内容：第1年頭三ケ日 (在国) 第2御謡初之式 第3正月四日より廿八日迄之式 (在国) 第4御在国年頭御礼 第5御発駕之式 第6御着城之式 第7御能御囃子 第8諸芸高覧 第9諸御出 第10諸御先詰 (在国) 第11年頭着服 (在国留守) 第12御在国御不断之1 第13御在国御不断之2 第14御在国御不断之3 第15御在国御不断之4 第16年頭三ケ日 (御留守) 第17正月四日より同廿八日迄之式 (留主) 第18御留主年夜中当番取扱 第19御留主年御不断之1 第20御留主年御不断之2 第21御留主年御不断之3 第22御煤取難名歳暮大晦日 (在国) 第23御煤取難名歳暮大晦日 (留守) 第24御用番勤方1 第25御用番勤方2 第26初御目見之事 第27御在国詰御礼取扱 第28御留守諸御礼 第29別巻

御定書 TK322.5-4
 写 2冊 (1包) 和
 内容：御用勤方之格式 (美濃半) 無題 (寛文元年諸法度11ヶ条から天和3年まで (半紙) 外に覚 (西館織部)

御定書 TK322.5-5
 写 3冊・1通 (1包) 半紙半 (横) 和
 内容：諸式要集 御用之帳 御用勤方之格式 覚1通

御定書 TK322.5-6
 文化7 (1810) 写 3冊 半紙 和

◇

江戸御屋舗諸色御定書 延宝5年 TK322.5-7
 写 1冊 半紙 和

江戸御留守役付勤方之覚 延宝8年 TK322.5-8
 写 1冊 美濃 和

御留守中御表御門覚書 延宝8年 TK322.5-9
 写 1冊 美濃 和
 註：勤務の心得

御留守中御目付江被仰渡覚 延宝8年 TK322.5-10
 写 1冊 美濃 和
 註：勤務の心得

御留守中御広間御番中江被仰渡覚 TK322.5-11
 天和2年
 写 1冊 美濃 和
 註：勤務の心得

御留守中御武頭江被仰渡覚 天和2年 TK322.5-12

写 1冊 美濃 和 註：勤務の心得					
御留守中田村藤太夫江之覚書・御留守中田 田市郎左衛門江被仰渡覚書 天和2年	TK322.5-13	村藤太夫久保			
写 1冊 美濃 和 註：勤務の心得					
江戸御屋舗御定書扣 天和3年	TK322.5-14				
写 1冊 美濃 和					
御留守之面々江被仰渡御条目 貞享3年	TK322.5-15				
写 1冊 美濃 和 註：家中への諸注意書					
御家中諸事相慎物入無之御書付御留守之 面々江被仰渡御 条目御屋舗前喧嘩口論有之節人数并取扱御書付御門出入御 書付 元禄4年	TK322.5-16				
写 1冊 半紙 和					
御相伝	TK322.5-17				
1通 巻紙 註：勤務心得					
御留守中御条目之写 寛保3年	TK322.5-18				
寛保3(1743)写 1冊 美濃 和					
御留守中昼廻夜廻之覚	TK322.5-19				
寛保3(1743)写 1冊 美濃 和					
御発駕以後出火之節御定書 寛保3年	TK322.5-20				
寛保3(1743)写 1冊 美濃 和					
勤書大概編集	TK322.5-21				
文化13(1816)写 1冊 半紙 和					
申継抜書	TK322.5-22				
写 1冊 半紙 和 註：文政8年から安政2年に至る(1825～55)諸規 式など					
勤書大概編集 長尾戸左衛門等	TK322.5-23				
天保10(1839)写 1冊 半紙 和					
通用番勤式	TK322.5-24				
天保11(1840)写 1冊 半紙 和 註：「中奥御用物」の蔵印あり					
御留守中勤書大概	TK322.5-25				
元治2(1865)写(館山儀敬)1冊 半紙 和 蔵書印：中奥御用物					
勤書大概 前田彦市	TK322.5-26				
慶応2(1866)写 2冊 半紙 和 蔵印：中奥御用物					
勤方図式	TK322.5-84				
写 1枚 24×28					
誓詞之留 安政元年	TK322.5-75				
安政元(1854)写 2通 註：御代替に付於老中松平伊賀守殿宅誓詞相勤候一式の留					
御役誓詞案文(御馬廻組頭 御留守居組頭 御用人兼役 大目付)	TK322.5-76				
写 1通					
誓詞前書控	TK322.5-77				
写 32通					
誓詞控					TK322.5-205
写 2冊 美濃 和					
誓詞控異文例集					TK322.5-206
写 1冊 美濃 和					
御側廻誓詞控					TK322.5-207
写 1冊 美濃 和					
誓詞扣					TK322.5-216
写 1冊 美濃 和					
元帳頭書 坤 分限方					TK322.5-82
天保6(1835)写 1冊 半紙 和 註：宝暦よりの分限元帳の頭書をあつめたもの					
(御次第帳)合驗					TK322.5-2
写 1枚 美濃 註：御次第帳の符号					
改正一列 明治2年 分限方					TK322.5-83
明治2(1869)写 1冊 半紙 和					
改正職制一列					TK322.5-218
[明治2](1869)写 1冊 横長 和					
改正職制一列					TK322.5-219
[明治2](1869)写 1冊 横長 和					
改正職制一列并規則 分限方					TK322.5-28
明治2(1869)写 1冊 半紙 和					
御目見以下改正一列并規則 分限方					TK322.5-29
明治2(1869)写 1冊 半紙 和					

御廃止役々并格役准席定 〔明治2〕(1869)写 1冊 横長 和	TK322.5-220	御書出調様并御文言替候扣 元文2年 元文2(1737)写 1冊 美濃 和	TK322.5-40	寛政6年 寛政7(1795)写 1冊 半紙 和
御家令 写(明治)1冊 半紙 和	TK322.5-221	御書出調様并御文言替候扣 元文2年 元文2(1737)写 1冊 半紙 和	TK322.5-41	御書出御文段下書 文政8年 文政8(1825)写 12冊 半紙 和
◇ 御書出被下候御座席付之覚 正徳2年 正徳2(1712)写 1冊 半紙倍 和	TK322.5-42	〔知行御書出御用懸土岐渡人宛用状〕 〔宝暦6年〕 宝暦6(1756)写 9通 註：元司乳井貢及び用人棟方十左衛門より	TK322.5-222	御書出御文段下書 文政8年 文政8(1825)写 11冊 美濃 和
御書出之扣 正徳2年 正徳2(1712)写 1冊 美濃 和 註：正徳2年知行目録のひながた	TK322.5-43	覚 宝暦6(1756)写 1冊 横長 和 註：宝暦6年地方知行御蔵入仰せ付けられ家中并寺社 方知行目録書出の際の覚書	TK322.5-51	御書出御文段 文政8年 文政8(1825)写 11冊 美濃 和
御書出被下候御座敷付覚 正徳3年 正徳3(1713)写 2冊 半紙倍 和	TK322.5-44	御書出御文言下書 寛政6(1794)写 2冊 半紙	TK322.5-78	御書出被下候御座敷付覚 正徳3年 正徳3(1713)写 2冊 半紙倍 和
御書出被下候御座席附覚 正徳3年 正徳3(1713)写 1冊 半紙倍 和	TK322.5-45	御書出惣触廻状留〔寛政6年〕 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK322.5-50	御書出被下候御座席附覚 正徳3年 正徳3(1713)写 1冊 半紙倍 和
御書出御文言替候扣 正徳2年～享保12年 写 1冊 美濃 和	TK322.5-33	〔知行御書出御用懸宛用状〕寛政6年 寛政6(1794)写 36通 註：用人桜庭半兵衛より	TK322.5-223	御書出被下候次第 享保15(1730)写 1冊 横長 和
御書出被下候次第 享保15(1730)写 1冊 横長 和	TK322.5-49	三ヶ日御書出被下候御役付〔寛政6年〕 御小姓組頭 〔寛政6〕(1794)写 1冊 半紙 和	TK322.5-53	御家中并寺社方御印目録御城ニ而請取候覚帳 元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 元文元(1736)写 1冊 横長 和
御家中并寺社方御印目録御城ニ而請取候覚帳 元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 元文元(1736)写 1冊 横長 和	TK322.5-46	御書出御用諸品伺控 寛政6年 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK322.5-54	御家中并寺社方御印目録御城ニテ請取候覚帳 元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 寛政6(1794)写 1冊 横長 和
御家中并寺社方御印目録御城ニテ請取候覚帳 元文元年 高屋新十郎 蒔苗市兵衛 寛政6(1794)写 1冊 横長 和	TK322.5-47	御書出御用諸窺取扱向留帳 附心得之事	TK322.5-52	御書出被下候御座席付之覚 元文2年 元文2(1737)写 2冊 半紙倍 和
御書出被下候御座席付之覚 元文2年 元文2(1737)写 2冊 半紙倍 和	TK322.5-48	御書出御用諸色伺留帳 文政8年 御右筆	TK322.5-58	知行御書出被下置候御規式帳 文政8年 文政8(1825)写 3冊 美濃 和
		知行御書出被下置候御規式帳 文政8年 文政8(1825)写 3冊 美濃 和	TK322.5-55	知行御書出被下置候御規式帳 文政8年 工藤伝兵衛 土門八郎 文政8(1825)写 3冊 半紙 和
		御書出仕分帳 文政8年 工藤伝兵衛 土門八郎 文政8(1825)写 1冊 半紙 和	TK322.5-57	御書出御用諸色伺留帳 文政8年 御右筆

文政8(1825)写 1冊 半紙 和		註：用人津軽直記より		濃) 新知御文段(美濃) 高被減候御文段(美濃) 新知御減御文段(美濃) 与力知御文段(美濃)
御書出諸伺留帳 文政8年 工藤伝兵衛 土門八郎 文政8(1825)写 1冊 半紙 和	TK322.5-59	[知行御書出御用懸宛用状] 〔天保11〕(1840)写 1通 註：御楽屋奉行より	TK322.5-229	横目録 安政6(1859)写 6通 註：知行目録書式
御触留帳 文政8年 工藤伝兵衛 土門八郎 文政8(1825)写 1冊 半紙 和 註：御書出頂戴の時の諸留帳	TK322.5-60	御書出諸伺留帳 北原惣蔵 中田善左衛門 天保10(1839)写 1冊 半紙 和 合綴：御書出御用諸色伺帳(天保10) 御触留帳(天保10) 御用状ニテ被仰付候留帳(天保11)	TK322.5-63	知行御書出被下置候御規式帳 安政6年 小山内官蔵 奈良祐右衛門 安政6(1859)写 3冊 半紙 和
御書出御用扱向留帳 附心得之事 工藤伝兵衛 土門八郎 文政9(1826)写 1冊 半紙 和 註：文政8年8月～同9年2月	TK322.5-61	知行御書出被下置候御規式帳 天保11年 北原惣蔵 中田善左衛門 天保11(1840)写 3冊 半紙 和	TK322.5-64	知行御書出被下置候御規式帳 附御書出頂戴相濟御礼之覚 安政6年 安政6(1859)写 4冊(合本) 半紙 和
本行寺并小野山城御書出頂戴残ニ付被下方一件 文政9年 工藤伝兵衛 土門八郎 文政9(1826)写 1冊 半紙 和	TK322.5-62	知行御書出被下置候御規式帳 天保11年 天保11(1840)写 3冊 半紙倍 和	TK322.5-65	御書出御用扱向留帳 小山内官蔵 奈良祐右衛門 安政6(1859)写 1冊 半紙 和
[知行御書出頂戴ニ付覚] 天保10年 天保10(1839)写 1冊 半紙 和	TK322.5-224	御書出仕分帳 天保11年 北原惣蔵 中田善左衛門 天保11(1840)写 1冊 半紙 和	TK322.5-66	御書出諸伺留帳 小山内官蔵 奈良祐右衛門 安政6(1859)写 1冊 半紙 和
御書出御文段 天保11年 天保11(1840)写 12冊 美濃 和 内容：御書出被下候剪紙控 寺社江被下候御書出御文段 御書出凡例 御書出頂戴不仕候面々旧知御文段 御書出被下候後高被減候御文段 新知御文段 与力知御文段 御書出被下置候後御減御加増之御文段 御書出被下候分前賚之御文段 高岡御神領御書出 分知之御文段 御書出被下候後御加増被下候御文段	TK322.5-37	御書出御用扱向留帳 附心得之事 北原惣蔵 中田善左衛門 天保11(1840)写 1冊 半紙 和 註：天保10年12月～同11年3月	TK322.5-67	[知行御書出御用懸宛用状] 〔安政6〕(1859)写 1通 註：御用懸用人工藤伝兵衛より
[知行御書出御用懸宛用状] 〔天保10年,11年〕 天保10,11(1839,40)写 8通	TK322.5-227	御書出御文段 安政6年 安政6(1859)写 14冊 半紙・美濃 和 内容：御書出被下候剪紙控(半紙) 高岡御神領田畑帳(半紙) 寺社江被下候御書出御文段(美濃) 分知之御文段(美濃) 高岡御神領御書出(美濃) 御書出被下候後御加増御文段(美濃) 御書出被下候後之御減御加増之御文段(美濃) 御書出被下候分前賚之御文段(美濃) 御書出頂戴不仕候面々旧知御文段(美濃) 御書出凡例(美	TK322.5-38	心得書 写 1包(半紙3枚 巻紙1) 註：知行御書出の心得
				御書出被下置候三ヶ日御座舖附御規式下帳 写 1冊 半紙 和
				知行御書出被下候御文段下書

- 写 1冊 半紙 和
覚 TK322.5-39
写 1冊 横長
註：家老よりの切紙の部
- 御書出上包之形御座敷并積分共書付及御形 TK322.5-80
いろいろ
写 1包
- 御印御書替頂戴御席次第帳 TK322.5-235
写 1冊 半紙横 和
◇
- 〔参府時節伺の儀に付御奉書〕 TK322.5-89
津軽土佐守（信義）宛
写（原本）4通
内容：第1（2月8日 阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋松平伊豆守信綱より）第2（2月10日 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より）第3（2月20日 阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より）第4（12月9日阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より）
- 〔御暇無事帰国に付御奉書〕 6月3日 TK322.5-90
津軽土佐守（信義）宛
写（原本）1通
註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 御暇帰国に付使者差越御肴進上披露之儀御奉書
6月10日 津軽土佐守（信義）宛 TK322.5-91
写（原本）1通
註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 御暇帰国に付使者差越鶴并漬蕨昆布進上披露之儀御奉書
6月29日 津軽土佐守（信義）宛 TK322.5-92
写（原本）1通
註：阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿 松平伊豆守信綱より
- 〔御暇無事帰国承届之儀御奉書〕 9月朔日 TK322.5-93
津軽土佐守（信義）宛
写（原本）1通
註：阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿 松平伊豆守信綱より
- 〔御暇無事帰国御礼諸品進上披露之儀御奉書〕
9月10日 津軽土佐守（信義）宛 TK322.5-94
写（原本）1通
註：阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿 松平伊豆守信綱より
- 〔舎弟左京御暇在所相着に付塩鶴臘臍進上披露之儀御奉書〕 6月20日 津軽土佐守（信義）宛 TK322.5-95
写（原本）1通
註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋より 左京は津軽十郎左衛門信英
- 〔御暇無事帰国に就御肴進上披露之儀御奉書〕
7月朔日 津軽越中守（信政）宛 TK322.5-96
寛文7（1667）写（原本）1通
註：土屋但馬守数直 久世大和守広之 稲葉美濃守正則より
- 〔参勤時分之儀御伺に付御奉書〕 2月5日 TK322.5-97
津軽越中守（信政）宛
延宝5（1677）写（原本）1通
註：土屋但馬守数直 久世大和守広之 稲葉美濃守正則より
- 〔参勤時分儀伺之通相济御礼之儀御奉書〕 TK322.5-98
正月4日 津軽土佐守（信寿）宛
享保8（1723）写（原本）1通
註：戸田山城守忠真より
- 〔御暇帰国御礼御樽肴献上披露之儀御奉書〕 TK322.5-99
津軽出羽守（信寧）宛
明和7（1770）写（原本）3通
内容：第1（6月23日 田沼主殿頭意次より）第2（6月23日 阿部豊後守正充より）第3（6月19日 板倉佐渡守勝清 松平周防守康福 松平右京大矢輝高 松平右近将監武元より）
- 〔参勤御用捨御礼之儀御奉書〕 TK322.5-100
津軽越中守（信寧）宛
安永5（1776）写（原本）2通
内容：第1（正月21日 阿部豊後守正充より）第2（正月19日 松平右近将監武元より）
- 〔御暇帰国御礼御樽肴献上披露之儀御奉書〕 TK322.5-101
津軽越中守（信寧）宛
安永9（1780）写（原本）3通
内容：第1（6月13日 田沼主殿頭意次 板倉佐渡守勝清 松平周防守康福 松平右京大矢輝高より）第2（6月15日 水野出羽守忠友より）第3（6月16日 阿部豊後守正充より）
- 〔滞府養生仕度儀願書〕 TK322.5-162
御附紙共 9月5日
津軽越中守（信寧）
天明2（1782）写（原本）1通
- 御暇帰国御礼御樽肴進上之儀御奉書 TK322.5-102
津軽土佐守（信明）宛

天明4～8(1784～88)写(原本)5通
 内容:第1(天明4年9月22日 水野出羽守忠友より)第2(天明6年閏10月22日 鳥居丹波守忠意 水野出羽守忠友 牧野越中守貞長 松平周防守康福より)第3(天明6年閏10月22日 井伊掃部頭直幸より)第4(天明8年6月21日 本多弾正大弼忠籌より)第5(天明8年6月22日 松平伊豆守信明 鳥居丹波守忠意 牧野備後守貞長より)

〔参勤時分御伺之儀御奉書〕 TK322.5-104

津軽土佐守(信明)宛
 天明4～6(1784～86)写(原本)3通
 内容:第1(天明4年11月27日 水野出羽守忠友より)第2(天明6年11月25日 鳥居丹波守忠意 水野出羽守忠友 牧野越中守貞長 松平周防守康福より)第3(天明6年11月25日 井伊掃部頭直幸より)

〔滞府養生之儀御願書〕御附紙共 TK322.5-133

天明6年7月29日 津軽土佐守(信明)
 天明6(1786)写(原本)1通

〔御暇帰国御礼之儀御中陰明之節可仕候哉伺書〕

御附紙共 9月10日 津軽土佐守(信明) TK322.5-103
 天明6(1786)写(原本)1通

〔御暇帰国御礼御樽肴献上之儀御奉書〕 TK322.5-105

津軽出羽守(寧親)宛
 寛政4～8(1792～96)写(原本)6通
 内容:第1(寛政4年6月15日 本多弾正大弼より)第2(寛政4年6月16日 戸田采女正氏教 松平和泉守乘完 松平伊豆守信明 鳥居丹波守忠意 松平伊豆守定信より)第3(寛政6年7月2日 安藤対馬守信成 太田備中守資愛 戸田采女正氏教 松平伊豆守信明より)第4(寛政6年7月2日 本多弾正大弼古節より)第5(寛政8年6月19日 安藤対馬守哲成 太田備中

守賢兄 戸田采女正氏教 松平伊豆玉信明より)第6(寛政8年5月21日 本多弾正大弼忠籌より)

〔御暇帰国御礼若君様江御樽肴献上披露之儀御奉書〕

津軽出羽守(寧親)宛 TK322.5-106
 寛政6,8(1794,96)写(原本)2通
 内容:第1(寛政6年7月2日 太田備中守資愛より)第2(寛政8年6月19日 太田備中守資愛より)

〔参勤時分御伺之儀御奉書〕 TK322.5-107

津軽出羽守(寧親)宛
 寛政8(1796)写(原本)2通
 内容:第1(12月21日 本多弾正大弼忠籌より)第2(12月22日 安藤対馬守信成 太田備中守資愛 戸田采女正氏教 松平伊豆守信明より)

〔御暇帰国御礼御樽肴献上披露之儀御奉書〕 TK322.5-108

津軽越中守(寧親)宛
 寛政10～文化6(1798～1809)写(原本)8通
 内容:第1(寛政10年6月13日 安藤対馬守信成 太田備中守資愛 松平伊豆守信明より)第2(寛政10年6月13日 水野出羽守忠友より)第3(寛政10年6月15日 本多弾正大弼忠籌より)第4(享和2年6月15日 牧野備前守忠精 安藤対馬守信成 戸田采女正氏教 松平伊豆守信明より)第5(享和2年6月15日 水野出羽守忠友より)第6(文化3年6月19日 安藤対馬守信成より)第7(文化3年6月19日 青山下野守忠裕より)第8(文化6年6月11日 安藤対馬守信成より)

御発駕之節出張并御目見申上候人別帳 TK322.5-116

寛政11(1799)写 1冊 横長 和

〔参勤時分御伺之儀御奉書〕 TK322.5-110

津軽越中守(寧親)宛

文化元～文政4(1804～21)写(原本)5通
 内容:第1(文化元年12月3日 青山下野守忠裕 土井大炊頭利厚 牧野備前守忠精 戸田采女正氏教より)第2(文政元年3月13日 水野出羽守忠成より)第3(文政元年3月13日 松平能登守乗保より)第4(文政元年3月13日 阿部備中守忠精 酒井若狭守忠進 青山下野守忠裕 土井大炊頭利厚より)第5(文政4年12月29日 大久保加賀守忠真 水野出羽守忠成 青山下野守忠裕 土井大炊頭利厚より)

〔参勤御用捨在邑被仰付御礼之儀御奉書〕 TK322.5-111

津軽越中守(寧親)宛
 文化4(1807)写(原本)2通
 内容:第1(11月19日 松平伊豆守信明より)第2(11月19日 安藤対馬守信成より)

〔津軽三十郎来春迄在所願之通被仰付御礼之儀御奉書〕

津軽越中守(寧親)宛 TK322.5-112
 文化5(1808)写(原本)2通
 内容:第1(9月6日 安藤対馬守信成より)第2(9月6日 土井大炊頭利厚より)

〔御暇帰国御礼縮緬并御樽肴献上披露之儀御奉書〕

6月11日 津軽越中守(寧親)宛 TK322.5-109
 文化6(1809)写(原本)1通
 註:青山下野守忠裕 土井大炊頭利厚 牧野備前守忠精 松平伊豆守信明より

〔津軽三十郎参府願之儀御奉書〕8月22日 TK322.5-113

津軽越中守(寧親)宛
 文化6(1809)写(原本)1通
 註:土井大炊頭利厚より

上使を以御国元江之御暇被仰出候一件 乾 TK322.5-214
 文化6年 御書役

- 文化 6 (1809) 写 1冊 美濃 和
- 〔大隅守同道御暇発足仕度儀願書〕 TK322.5-141
御附紙共 2月5日 津軽越中守 (寧親)
文化 12 (1815) 写 (原本) 1通
- 〔大隅守松前御固向并領分海岸固向等見習同道御暇ニ付御礼勤之儀伺書〕 御附紙共 2月16日 TK322.5-140
津軽越中守 (寧親)
文化 12 (1815) 写 (原本) 1通
- 〔御暇并参勤時節振違相成候ニ付御礼之儀伺書〕
御附紙共 3月26日 津軽越中守 (寧親) TK322.5-137
文化 12 (1815) 写 (原本) 1通
- 〔御暇帰国仰出後不快ニ付療養滞府儀願書〕 TK322.5-142
御附紙共 4月11日 津軽越中守 (寧親)
文化 12 (1815) 写 (原本) 1通
- 〔越中守様大隅守様同道御暇願度内意伺〕 TK322.5-138
御附紙共
文化 12 (1815) 写 (原本) 2通
註：津軽越中守家来笠原八郎兵衛より
- 〔御暇帰国御礼御樽肴献上披露之儀御奉書〕 TK322.5-117
津軽大隅守 (信順) 宛
文化 12, 文政 8 (1815, 25) 写 (原本) 3通
内容：第 1 (文化 12 年 7 月 19 日 酒井讃岐守忠進 青山下野守忠裕 土井大炊頭利厚 牧野備前守忠精 松平伊豆守信明より) 第 2 (文政 8 年 7 月 4 日 松平能登守乗保 酒井若狭守忠進より) 第 3 (文政 8 年 7 月 4 日 植村駿河守家長より)
- 〔御暇帰国御礼干鯛献上之儀御奉書〕 TK322.5-118
津軽大隅守 (信順) 宛
- 文化 12 (1815) 写 (原本) 2通
内容：第 1 (7 月 19 日 水野出羽守忠成より) 第 2 (7 月 19 日 松平能登守乗保より)
- 〔若殿様参府時分詞濟御礼之儀御奉書〕 TK322.5-114
津軽越中守 (寧親) 宛
文化 13 (1816) 写 (原本) 2通
内容：第 1 (正月 11 日 土井大炊頭利厚より) 第 2 (正月 11 日 松平能登守乗保より)
- 〔参府時分伺御礼之儀御奉書〕 TK322.5-121
津軽大隅守 (信順) 宛
文化 13 (1816) 写 (原本) 2通
内容：第 1 (正月 11 日 土井大炊頭利厚より) 第 2 (正月 11 日 松平能登守乗保より)
- 〔参府願之通被仰出御礼之儀御奉書〕 TK322.5-122
津軽大隅守 (信順) 宛
文化 13 (1816) 写 (原本) 2通
内容：第 1 (3 月 13 日 松平能登守乗保より) 第 2 (3 月 13 日 酒井若狭守忠進より)
- 〔御暇被仰出候後不快ニ付滞府養生仕度儀願書〕
御附紙共 5月3日 津軽越中守 (寧親) TK322.5-144
文化 14 (1817) 写 (原本) 1通
- 〔病氣ニ付名代津軽甲斐守御暇願之儀御書取〕
文化 14 (1817) 写 (原本) 1通 TK322.5-145
- 〔御暇被仰出候後病氣ニ付滞府養生仕度儀願書〕
御附紙共 6月29日 津軽越中守 (寧親) TK322.5-146
文化 14 (1817) 写 (原本) 1通
- 〔参勤時節伺之儀伺書〕 TK322.5-135
御附紙共 3月27日 津軽越中守 (寧親)
- 写 (文化) (原本) 1通
- 〔病氣ニ付大隅守名代御暇願之儀内意伺〕 TK322.5-147
御附紙共 3月28日 津軽越中守 (寧親)
文政 2 (1819) 写 (原本) 1通
- 〔病氣ニ付大隅守名代御暇願書〕 TK322.5-148
御附紙共 4月11日 津軽越中守 (寧親)
文政 2 (1819) 写 (原本) 1通
- 〔病氣ニ付大隅守名代御暇願ニ付御書付〕 TK322.5-153
津軽越中守 (寧親) 宛
文政 2 (1819) 写 (原本) 1通
- 〔越中守名代御暇帰国御礼御樽肴献上披露之儀御奉書〕
津軽大隅守 (信順) 宛 TK322.5-119
文政 2 (1819) 写 (原本) 2通
内容：第 1 (5 月 9 日 松平能登守乗保 酒井若狭守忠進より) 第 2 (5 月 9 日 大久保加賀守忠真 水野出羽守忠成 阿部備中守正精より)
- 〔津軽大隅守参府時分之儀御書付〕 TK322.5-152
津軽越中守 (寧親) 宛
文政 3 (1820) 写 (原本) 1通
- 〔南部播磨守名代御暇下蝦夷地御用致旨之御書付〕
津軽越中守 (寧親) 宛 TK322.5-150
文政 3 (1820) 写 (原本) 1通
- 〔病氣ニ付名代大隅守参府時節之儀伺書〕 TK322.5-149
御附紙共 津軽越中守 (寧親)
文政 3 (1820) 写 (原本) 1通
- 〔参勤発駕之紙面之趣御奉書〕 TK322.5-115
津軽越中守 (寧親) 宛

- 文政5(1822)写(原本)2通
内容:第1(4月27日 酒井若狭守座進より)第2(4月27日 水野出羽守忠成より)
- 〔病氣ニ付滞府養生仕度願書〕 TK322.5-154
御附紙共 津軽越中守(寧親)
文政6(1823)写(原本)1通
- 〔御暇上使御沙汰有候ても病氣にて出勤致難き旨届に付御書取〕 TK322.5-155
文政6(1823)写(原本)1通
- 〔病氣快気次第御暇被仰出炭旨願書〕 TK322.5-156
御附紙共 5月7日 津軽越中守(寧親)
文政6(1823)写(原本)1通
- 〔病氣ニ付名代津軽甲斐守其儘在所之儀願之通被仰付候随て当秋頃隠居願之儀内意伺〕 TK322.5-157
御附紙共 6月18日
文政6(1823)写(原本)1通
註:津軽越中守家来河合半右衛門より
- 〔病氣ニ付名代津軽甲斐守在所仕越中守滞府養生致度儀内意伺〕御附紙共 10月15日 TK322.5-158
文政6(1823)写(原本)1通
註:津軽越中守家来河合半右衛門より
- 〔御暇帰国御礼縮緬并御樽肴献上披露之儀御奉書〕
7月4日 津軽大隅守(信順)宛 TK322.5-120
文政8(1825)写(原本)1通
註:松平和泉守乗寛 大久保加賀守忠真 水野出羽守忠成 青山下野守忠裕より
- 〔参府延着之儀に就御奉書〕7月朔日 TK322.5-123
津軽越中守(信順)宛
- 文政13(1830)写(原本)2通
内容:第1 牧野備前守忠精より 第2 松平和泉守乗寛より
- 〔参勤出立難成儀御奉書〕8月朔日 TK322.5-124
津軽越中守(信順)宛
文政13(1830)写(原本)2通
内容:第1 水野越前守忠邦より 第2 水野出羽守忠成より
- 〔御暇帰国御礼言上之儀御奉書〕11月5日 TK322.5-125
津軽大隅守(順承)宛
天保10(1839)写(原本)1通
註:井伊掃部頭直亮より
- 〔参府発足致難儀に付御奉書〕8月22日 TK322.5-126
津軽大隅守(順承)宛
天保15(1844)写(原本)2通
内容:第1 戸田山城守忠温より 第2 阿部伊勢守正弘より
- 〔参府在所発足之儀御奉書〕9月9日 TK322.5-127
津軽大隅守(順承)宛
天保15(1844)写(原本)1通
註:阿部伊勢守正弘より
- 〔十二月迄在邑願之通御礼之儀御奉書〕 TK322.5-129
12月2日 津軽越中守(順承)宛
嘉永元(1848)写(原本)2通
内容:第1 松平伊賀守忠優より 第2 久世大和守広周より
- 〔御参勤時分伺之儀御奉書〕 TK322.5-128
12月11日 津軽越中守(順承)宛
嘉永2(1849)写(原本)1通
- 註:久世大和守広周より
- 〔参府時節伺書之儀忌中ニ付伺〕御附紙共 TK322.5-234
嘉永4(1851)写 1通
註:津軽越中守(順承)家来北川六左衛門より
- 〔滞府養生之儀御伺書并類例〕 TK322.5-130
御附紙共 6月3日 津軽越中守(順承)
嘉永6(1853)写(原本)2通
- 〔滞府養生願之通御書付〕 TK322.5-131
津軽越中守(順承)宛
嘉永6(1853)写(原本)1通
- 〔松前表警衛并領分海岸防禦筋ニ付差図仕度秋中迄ニ参府仕度儀願書〕御附紙共 TK322.5-170
6月4日 津軽越中守(順承)
嘉永6(1853)写(原本)1通
- 〔病氣快方在所江発足ニ付代替誓詞之儀伺書〕
御附紙共 TK322.5-169
8月24日 津軽越中守(順承)
嘉永6(1853)写(原本)1通
- 〔松前表警衛并領分海岸防禦筋ニ付差図仕度秋中迄ニ参府仕度儀内意伺書〕 TK322.5-176
御附紙共 6月4日 津軽越中守(順承)
嘉永7(1854)写(原本)1通
- 〔病氣ニ付大隅守名代御暇願之儀内意伺書〕TK322.5-178
御附紙共 2月24日 津軽越中守(順承)
安政2(1855)写(原本)1通
- 〔病氣ニ付大隅守名代御暇之儀願書〕 TK322.5-179
御附紙共 3月4日 津軽越中守(順承)

- 安政 2 (1855) 写 (原本) 1 通
- 〔名代御暇大隅守死去ニ付名代御暇之儀内意伺書〕
御附紙共 8 月 20 日 津輕越中守 (順承) TK322.5-185
安政 2 (1855) 写 (原本) 1 通
- 〔名代御暇大隅守死去ニ付名代御暇之儀願書〕
御附紙共 TK322.5-186
9 月 18 日 津輕越中守 (順承)
安政 2 (1855) 写 (原本) 1 通
- 〔名代津輕本次郎参府時節之儀伺書〕 TK322.5-177
御附紙共 12 月 12 日 津輕越中守 (順承)
〔安政 2〕(1855) 写 (原本) 1 通
- 〔病氣ニ付御暇免足延引願書〕 TK322.5-187
御附紙共 5 月 11 日 津輕越中守 (順承)
安政 4 (1857) 写 (原本) 1 通
- 〔病氣ニ付滞府養生之儀御書付〕 TK322.5-190
津輕越中守 (順承) 宛
安政 4 (1857) 写 (原本) 1 通
- 〔病氣ニ付滞府養生仕度内意伺書〕 TK322.5-189
御附紙共 閏 5 月 3 日 津輕越中守 (順承)
安政 4 (1857) 写 (原本) 1 通
- 〔病氣ニ付滞府養生仕度内意伺書〕 TK322.5-191
御附紙共 8 月 20 日 津輕越中守 (順承)
安政 4 (1857) 写 (原本) 1 通
- 〔病氣ニ付滞府養生仕度願書〕 TK322.5-192
御附紙共 9 月 3 日 津輕越中守 (順承)
安政 4 (1857) 写 (原本) 1 通
- 〔病氣ニ付来年参勤之時節迄滞府養生仕度儀内意伺〕
御附紙共 10 月 20 日 津輕越中守 (順承) TK322.5-193
安政 4 (1857) 写 (原本) 1 通
- 〔病氣ニ付来年参勤之時節迄滞府養生仕度願書〕
御附紙共 10 月 25 日 津輕越中守 (順承) TK322.5-194
安政 4 (1857) 写 (原本) 1 通
- 〔参勤時節之儀伺書〕 TK322.5-230
御附紙共 4 月 19 日 津輕土佐守 (承昭)
〔安政 6〕(1859) 写 1 通
- 〔参勤時分御伺之儀御奉書〕 TK322.5-132
閏 3 月 5 日 津輕土佐守 (承昭) 宛
〔万延元〕(1860) 写 (原本) 1 通
註：安藤对馬守 (信睦) 脇坂中務大輔 (安宅) 内藤紀伊守 (信親) より
- 〔御暇及参府時節改之儀願書〕 TK322.5-197
御附紙共 2 月 11 日 津輕越中守 (承昭)
万延 2 (1861) 写 (原本) 1 通
- 〔参勤之時節供伺書〕 TK322.5-198
御附紙共 2 月 18 日 津輕越中守 (承昭)
万延 2 (1861) 写 (原本) 1 通
- 御暇御時節之供ニ付御右筆方間合 TK322.5-231
書取共
写 2 通
- ◇
- 〔東照大権現三十三回忌大赦之儀御奉書〕 TK322.5-73
4 月 28 日 津輕土佐守 (信義) 宛
〔慶安元〕(1648) 写 (原本) 1 通
註：阿部对馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 〔本所御藏火之番小出伊勢守代岩城伊予守被仰付候御奉書〕
4 月 19 日 津輕岩松 (信寧) 宛 TK322.5-85
延享 3 (1746) 写 (原本) 1 通
註：堀田相模守 松平能登守 本多中務大輔 酒井雅楽頭より
- 〔本所御藏火之番岩城伊予守代織田山城守被仰付候御奉書〕
6 月朔日 津輕岩松 (信寧) 宛 TK322.5-86
延享 4 (1747) 写 (原本) 1 通
註：本多伯耆守 堀田相模守 酒井雅楽頭より
- 〔本所御藏火之番織田山城守代分部若狭守被仰付候御切紙〕
4 月 16 日 津輕岩松 (信寧) 宛 TK322.5-88
延享 5 (1748) 写 (原本) 1 通
註：松平右近将監 本多伯耆守 堀田相模守 酒井雅楽頭より
- 〔本所御藏火之番分部若狭守代六郷伊賀守被仰付候御切紙〕
9 月 11 日 津輕岩松 (信寧) 宛 TK322.5-87
寛延元 (1748) 写 (原本) 1 通
註：松平右巡将監 本多伯耆守 堀田相模守 酒井雅楽頭より
- 御尋御用留帳 宝曆 13 年 TK322.5-1
笠原八郎兵衛 館山善左衛門
宝曆 13 (1763) 写 1 冊 横長 和
註：包紙に「於評定所田村源太兵衛儀付御尋御用一卷大目付」とある
- 〔虎皮鞆覆無用之儀御書付〕 TK322.5-161
津輕松五郎 (信明) 宛
安永 6 (1777) 写 (原本) 1 通
- 〔省略ニ付御供立之儀御届書〕 TK322.5-163

- 御附紙共 4月26日 津輕土佐守(信明)
天明4(1784)写(原本)1通
- 〔江戸御抱足輕不法之儀御吟味之儀御達書〕 TK322.5-74
2月25日 津輕越中守(寧親)宛
享和2(1802)写(原本)1通
- 〔瑠地院熱海湯治願書〕 TK322.5-164
御附紙共 4月23日 津輕越中守(寧親)
享和3(1803)写(原本)1通
- 〔瑠地院熱海湯治日増願書〕 TK322.5-165
御附紙共 8月27日 津輕越中守(寧親)
享和3(1803)写(原本)1通
- 〔虎皮鞍覆相用度儀願書并例書〕 TK322.5-134
御附紙共 6月朔日 津輕越中守(寧親)
写(原本)2通
- 〔駕籠御免之儀御書取〕 TK322.5-136
津輕越中守(寧親)宛
文化11(1814)写(原本)1通
註：津輕頼母 兼松伴太夫 笠原八郎兵衛 駕籠御免之儀
- 〔御城内杖相用度儀伺書〕 TK322.5-143
御附紙共 10月19日 津輕越中守(寧親)
文化13(1816)写(原本)1通
- 〔亀戸抱屋敷江罷越歩行仕度儀願書〕 TK322.5-151
御附紙共 津輕越中守(寧親)
文政3,7(1820,24)写(原本)2通
内容：文政3年8月9日 文政7年2月18日
- 〔病気快気ニ付出勤仕度儀内意伺〕 TK322.5-159
御附紙共 5月21日
- 文政7(1824)写(原本)1通
註：津輕越中守家来河合半右衛門より
- 御逼塞一件 文政10年 御書方 TK322.5-204
文政10(1827)写 1冊 半紙 和
- 〔御朱印書替之節拾万石高御判物被下度儀願書〕
御附紙共 津輕越中守(信順) TK322.5-171
天保9(1838)写(原本)1通
- 〔養母金姫病氣ニ付出府願之儀内意伺〕 TK322.5-200
御附紙共 9月25日
〔嘉永4〕(1851)写(原本)1通
註：津輕越中守家来北川六左衛門より
- 〔越中守分知津輕出雲守智養子家督之儀添願書差出ニ付伺〕
御附紙共 TK322.5-233
〔嘉永4〕(1851)写 1通
註：津輕越中守(順承) 家来北川六左衛門より
- 〔大道寺族之助乗物御免之儀御書付〕 TK322.5-188
津輕越中守(順承)宛
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔津輕寛五郎御目見御城内供連之儀伺〕 TK322.5-202
〔安政4〕(1857)写 1通
註：津輕越中守家来比良野助太郎より
- 〔叔父松平越前守隠居御慎被仰付候ニ付御差扣之儀伺書〕
御附紙共 7月7日 津輕越中守(順承) TK322.5-181
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔大叔父松平越前守隠居御慎被仰付候ニ付御差扣之儀伺書〕
御附紙共 7月7日 津輕土佐守(承昭) TK322.5-182
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔横川端御屋敷三方相对替仕度儀願書〕 TK322.5-180
添書 絵図面 御附紙共 津輕越中守(順承)
安政5(1858)写(原本)3通
- 〔横川端御屋敷三方相对替仕度願之儀御書付〕
津輕越中守(順承)宛 TK322.5-183
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔家督御礼不申上候内礼日惣出仕等之節心得方之儀伺書〕
御附紙共 2月10日 津輕土佐守(承昭) TK322.5-196
安政6(1859)写(原本)1通
- 〔堀五郎左衛門乗物御免之儀御書付〕 TK322.5-195
津輕越中守(順承)宛
安政6(1859)写(原本)1通
- ◇
- 〔隠居之衆取締之儀ニ付廻状写〕 別紙共 TK322.5-166
写 1通
註：和泉守より御書付達につき
- 大坂大番頭御請言上 TK322.5-212
写 1冊 美濃 和
- 〔大隅守初て供奉御勤候付御願之儀伺〕 TK322.5-168
御附紙共
写(原本)1通
註：津輕越中守家来比良野助太郎より
- 〔忌中出火之節人数計差出之儀伺書〕 TK322.5-160
御附紙共 亥7月21日 津輕土佐守
写(原本)1通

公事裁許 文政元年～天保15年 御右筆 写 1冊 半紙 和 註：御用銅紛失 遊女屋喧嘩 贖金 南部御用銅難船	TK322.5-203	御附紙共 3月29日 津輕越中守（順承） 安政2（1855）写（原本）1通	写 1冊 美濃 和
〔本所大川端土佐守頭取組合辻番所修復仕度伺〕 御附紙共 10月24日 写（原本）1通 註：津輕土佐守家来坂卷久雄より	TK322.5-201	〔ケヘィール筒在所江差下申度儀伺書〕 御附紙共 4月15日 津輕土佐守 写（原本）1通	〔松平下総守消息格〕 写 1冊 美濃 和
〔柳席取締筋申合之儀廻状写〕 津輕武之助（承祐）宛 写 1通	TK322.5-167	◇	永井日向守消息案 写 1冊 美濃 和
〔関所女手形御家来断之儀御書取〕 文化12（1815）写（原本）1通	TK322.5-139	諸断状文格並取扱稿本 平井修理（俊章） 天保11（1840）写（自筆）1冊 美濃 和	戸田左門格 写 1冊 美濃 和
〔具足差登申度関所通証文之儀願書〕 御附紙共 9月16日 津輕越中守（順承） 嘉永6（1853）写（原本）1通	TK322.5-172	〔御右筆心得書〕 写 7冊 半紙 和 内容： 第1 御奉書并御切紙認方之事 御仰渡書并御家老衆申渡書認方之事 御飛脚之節御書目録認方之事 御家老衆江之御書并上方町人江之御直書登せ方等之事 第3 高覧帳認方之事 御能御囃子番組認方之事 御目見帳并諸御札帳認方之事 組引渡書之事 第6 若殿様より古懸江献端物之事 百沢江奉納御絵馬之事 高岡之部 第7 御家老宅江御成之節被下方之事 御家老衆江被下物之事 御家中江名被下方之事 上方町人江被下物之事 第11 御部屋様江下屋敷被下候事 岩松様江被進候御大小箱上書之事 勝之助様平三郎様江御鞍馬被進候事 松五郎様御袴着ニ付御取替之事 御誕生様江御名被進方之事 第12 江戸御供登之節請取物之事 御下浜御供之事 第16 二字札認方ニ付請取物之事 御書案之事 御陣立之事	御書案御目録格帳 御右筆 写 1冊 美濃 和
〔拾匁玉筒差遣申度関所通証文之儀願書〕 御附紙共 4月5日 津輕越中守（順承） 嘉永7（1854）写（原本）1通	TK322.5-174		彝用迷討秘抄惣目録 写 1冊 半紙 和
〔鉄炮差下申度関所通証文之儀願書〕 御附紙共 5月25日 津輕越中守（順承） 嘉永7（1854）写（原本）1通	TK322.5-175		〔諸例諸文格間合〕 写 56通
〔硝石鉛差登申度関所通証文之儀願書〕 御附紙共 12月25日 津輕越中守（順承） 嘉永7（1854）写（原本）1通	TK322.5-173		〔丹羽左京大央（長富）隠居内意伺并願書案文〕 安政5年 写 1冊 横長 和
〔弓差下申度関所通証文之儀願書〕	TK322.5-184	堀田備中守消息案	急相統願 附属書類共 文久元年 阿部伊予守（正教） 写 7通
			◇
			民部省御書付之写并雛形共式通 明治3（1870）写 1冊 美濃 和
			TK322.5-215
			TK322.5-232
			TK322.5-226
			TK322.5-225
			TK322.5-30
			TK324
			民法 私法
			戸籍法改正ノ注意 明治7年 第三大区々長 明治7（1874）写 1冊 半紙 和
			TK324-1

TK337 貨幣 通貨					
[御小納戸御用代請取証] 明治2年 大倉屋喜八郎 〔明治2〕(1869) 写 (原本) 1通	TK337-7	拜借金勘定調帳 明治9年 松山久左衛門 明治9(1876) 写 1冊 半紙 和	TK338-2	伊達郡之内 附御国郷村帳調方訳書(天保6年) 天保5(1834) 写 3冊 美濃 和	
藩札発行元帳調 元弘前県 明治4(1871) 写 1冊 美濃 和	TK337-1	為換金并拝借金控 明治15年6月~同38年 明治15~38(1882~1905) 写 1冊 半紙 和	TK338-3	陸奥国津軽郡一円郷村高帳 2巻 天保5年 伊達郡之内 天保5(1834) 写 2冊 美濃 和	TK342-5
藩札発行元帳調 元弘前県 明治4(1871) 写 1冊 美濃 和	TK337-2	御立替帳 明治3年 会計方 明治3(1870) 写 1冊 半紙	TK338-4	陸奥国津軽郡一円郷村高帳 天保5年 伊達郡之内 天保5(1834) 写 1冊 美濃 和	TK342-6
藩札引換留帳 明治写 1冊 半紙 和	TK337-3	青森分株券発売ニ付枝社最寄加入取扱方 順序書・旧株割増規則 写(明治初)1冊 半紙 和 註:東京石油会社株券 石油本会社用紙使用	TK338-5	陸奥国津軽郡一円郷村高帳 天保5年 伊達郡之内(御右筆扣) 天保5(1834) 写 1冊 美濃 和	TK342-228
藩札引換留帳 明治写 1冊 半紙 和	TK337-4	公債証書銀行株券記番号帳 明治22年12月~同38年〔津軽家〕 明治38(1905) 写 1冊 半紙 和	TK338-6	陸奥国之内領知郷村高辻帳 天保9年 天保9(1838) 写 1冊 半紙倍 和	TK342-7
TK341 財政学					
古金銀并通貨御引入調扣 明治17年 高杉要太郎 明治17(1884) 写 1冊 半紙 和 註:津軽家弘前詰会算係高杉要太郎が調べたもの 明治 4年から11年までの調	TK337-5	益徹問答 写 1冊 半紙 和	TK341-1	陸奥国之内領知郷村高辻帳 嘉永7年 嘉永7(1854) 写 1冊 半紙倍 和	TK342-8
TK342 財政史					
紙庫品直段附 写 1冊 美濃半横 和 註:年代不明であるが 明治5年に至る附箋がある	TK337-6	陸奥国津軽郡高辻村々帳 寛文4年 寛文4(1664) 写 1冊 半紙倍	TK342-1	陸奥国之内領知郷村高辻帳写并御添目錄写 安政2年 安政2(1855) 写 2冊 半紙・半紙倍 和	TK342-9
TK338 金融 銀行					
御金拝借願書 都谷森逸眠 写 1冊 美濃 和 註:津軽家弘前出張所への願書	TK338-1	津軽伊織上知小屋敷村飛内村馬場尻村下目内沢村万小役帳 元禄3(1690) 写 1冊 半紙倍	TK342-2	陸奥国之内領知郷村高辻帳 安政6年 安政6(1859) 写 1冊 半紙倍 和	TK342-10
		津軽伊織上ヶ地御取ヶ并小役米銀窺帳 元禄3(1690) 写 1冊 半紙倍 和	TK342-3	陸奥国之内領知部村高辻帳 安政6年 安政6(1859) 写 1冊 半紙倍 和	TK342-11
		陸奥国津軽郡一円郷村高帳 2巻 天保5年	TK342-4	陸奥国之内領知郷村高辻帳写并御添目錄写 万延元年 万延元(1860) 写 2冊 半紙倍 和	TK342-12

陸奥国之内領知郷村高辻帳写并御添目録写 万延元年 万延元(1860)写 2冊 半紙倍 和	TK342-13	[嘉永4](1851)写 1冊 半紙 和 註:嘉永3年10月~同4年9月中の御国許正金賦	東京御借財調〔弘前藩庁〕 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK342-23
陸奥国之内領知郷村高辻帳 慶応4年 慶応4(1868)写 1冊 美濃 和 註:京都御所へ差出したものの控	TK342-15	御常用御残金調 文久3年 浜町御小納戸役 文久3(1863)写 1冊 半紙 和	東京借財調 明治3(1870)写 1冊 美濃 和	TK342-24
陸奥国津軽郡之内郷村高帳 明治3年 弘前藩 明治3(1870)写 1冊 半紙 和 合綴:出納総括(明治4年 元治元年~慶応4年の平均) 二月より九月中御金賦大都(明治4年)社寺禄扶持(明治4年) 在町給扶持(明治4年) 元治元子年より明治元辰年迄(1864~68)五ヶ年平均租税高調 土族卒適宜減禄調(明治4年)	TK342-14	大宮御所新規御造立ニ付御入用御国役金割合上納高帳 慶応4(1868)写 1冊 半紙 和	東京借財調 明治3(1870)写 1冊 美濃 和	TK342-25
松前西蝦夷地被下地所運上金高帳 慶応4年 弘前少将(津軽承昭) 慶応4(1868)写 1冊 半紙 和 註:黒印あり 京都御所へ差出したものの控	TK342-16	◇	東京常府士族借財引受并勤番之族借財引受明細帳 〔弘前藩庁〕 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK342-26
御所御書付之写 慶応4年 慶応4(1868)写 1冊 半紙 和 註:京都御所から村高帳など差出すようにとの書付	TK342-17	御殿并伊丹表借用銀年賦返納之儀御用状 萩原源司 小見山藤兵衛 嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和	東京常府士族借財引受并勤番之族借財引受明細調 明治3(1870)写 1冊 美濃 和	TK342-27
高岡御金仕分ケ帳 寛政元年~慶応2年 寛政元~慶応3(1789~1867)写 1冊 半紙 和	TK342-227	〔馬喰町御賃附金年延之儀ニ付願書〕 御附紙共 万延元(1860)写(原本)4通 註:津軽土佐守家来比良野助太郎より	東京常府士族借財引受并勤番之族借財引受明細調 明治3(1870)写 1冊 美濃 和	TK342-28
覚 嘉永3年 勘定奉行 嘉永3(1850)写 3冊 半紙 和 註:借財改め直しのことがらについての覚書	TK342-18	〔大坂御借財大都取調之表〕西12月 写 1通	東京諸町人より買上品代滞明細帳 〔弘前藩庁〕 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK342-29
御国正金賦	TK342-19	〔江戸表御借財之内減少之口々大都調〕 亥12月 写 1通	東京諸町人より買上品代滞明細調 明治3(1870)写 1冊 美濃 和	TK342-30
		御借財之内減少調 写 1通 註:亥年6月より12月迄御借財之内減少大都調	東京諸町人より買上品代滞明細調 明治3(1870)写 1冊 美濃 和	TK342-31
		借財証札写 出納方 弘化2~明治5(1845~72)写 1冊 美濃 和 註:年賦証文之事 黒石県ニ付借入金受取手形写 その他数点を合綴したもの	北国辺より借財調 明治3(1870)写 1冊 美濃 和	TK342-32
			北国辺より借財調 明治3(1870)写 1冊 美濃 和	TK342-33

大坂借財明細調 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和	TK342-34	国債調 明治4年〔元弘前県〕 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-206	註：今井九左衛門 武田熊七 野村常三郎 近藤慶次郎 の4名の名儀で英人より1万弗借入れる
大坂借財明細調 明治3 (1870) 写 1冊 美濃 和	TK342-35	目録 弘前県 〔明治4〕(1871) 写 1冊 半紙 和 註：大蔵省へ差出すための藩債調などの帳面目録	TK342-43	書面県債之儀惣体消却之見込相立更ニ可伺出事 青森県 (旧弘前県) TK342-53 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和 内容：当座差繰金返弁伺之儀 外国関係負債返弁伺之儀 新県庁并巡羅兵勤学生入費調
大坂借財明細調 明治3 (1870) 写 1冊 美濃 和	TK342-36	旧県元借財調 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-44	
藩債総括取調帳 弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-37	旧藩債惣括 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-45	◇
藩債総括取調帳 (東京之扣) 弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-38	旧藩債惣括 明治4年10月,11月 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-46	御当用御金銀本方払方帳 宝永6年 TK342-197 宝永6 (1709) 写 1冊 美濃
藩債取調帳 弘前県 明治4 (1871) 写 6冊 美濃 和 内容：1 県元之部 2 東京之部 3 東京之部 4 大坂之部 5 大坂古借之部 6 内国之部	TK342-39	大坂新借調 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-47	当子年御収納米一紙目録 惣括目録共 TK342-225 出町安兵衛等 元治元 (1864) 写 (原本) 2通
藩債取調帳 弘前県 〔明治4〕(1871) 写 7冊 美濃 和 内容：1 県元之部 2 東京之部 3 東京之部 4 大坂之部 5 大坂古借之部 6 内国之部 7 外国 之部	TK342-40	大坂新借調 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-48	諸席渡諸色取調帳 TK342-55 明治2年,同3年 会算掛 明治2,3 (1869,70) 写 1冊 半紙 和 内容：御小納戸御料紙并御家令御家扶年中御定渡 御広 敷渡諸色調 女中御給金調 御湯殿御風呂屋御茶道方御 定渡諸色并諸器物調 厩渡諸色調 別段掛・掛掛・修宮 掛・御門番御定渡諸色調 年中郷定物并増渡并御減向取 調書上 御乗物入用品并有板物調帳
当座借財調帳 藩債調追録 弘前県 明治4 (1871) 写 2冊 美濃 和	TK342-41	藩債消却目途惣括 東京之扣 旧弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-49	
藩債 弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-42	藩債消却対談之義ニ付伺 青森県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和 註：藩債取調帳の日録共	TK342-50	
藩債調 明治4年〔元弘前県〕 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-205	坂地六名ヨリ借財調 青森県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-51	歳入歳出表 TK342-202 明治2年,10月～同3年9月同3年10月～同4年7 月14日 元弘前藩 写 2枚 33.5×48.5
		旧県元町人四名ヨリ借財調扣 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-52	

遠国御用支度料規則 明治2年,同3年 明治2,3 (1869,70) 写 1冊 半紙 和	TK342-56	註：取調帳の雛形			
諸品受取帳 明治3年 修営方 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 半紙	TK342-238	御道具御払御金帳 御小納戸之部 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和	TK342-64	米金貸付藩債生産基立内訳調 明治4年7月14日より9月中〔弘前県〕 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-73
〔藩庁会算覚帳〕(明治3年,同4年) 明治3,4 (1870,71) 写 1冊 横長	TK342-240	米調〔弘前県〕 〔明治3,4〕(1870,71) 写 1冊 半紙 和	TK342-65	米金渡調 明治4年7月14日より12月中 弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-74
覚〔会計所〕 〔明治4〕(1871) 写 2冊 半紙 和	TK342-57	米調 1,2 明治4 (1871) 写 2冊 半紙 和	TK342-66	差継払米〔弘前県〕 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-75
旧穀有米調〔弘前藩庁〕 写 1冊 半紙 和	TK342-58	正米調 庚午(明治3年)十月より辛未 (明治4年)九月中 〔明治4〕(1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-67	未年歳出不足補目算〔弘前県〕 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-76
藩庁入費調・禄制調 明治3年〔弘前藩庁〕 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和	TK342-59	貸付米金(草稿)〔弘前県〕 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-196	米金渡貸付金産物基立 弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-77
(従己巳十月至庚午九月) 歳出入表解 〔弘前藩庁〕 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和 註：明治2年10月～同3年9月までの歳入歳出調	TK342-60	貸附米金調 明治4年〔元弘前県〕 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-207	庁中費より諸上納迄下書 弘前県(青森県) 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-78
(従己巳十月至庚午九月) 歳出入表解控 伊藤祐善 工藤直正 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和 註：明治2年10月～同3年9月までの弘前藩庁の歳入 歳出調	TK342-61	米金取調帳〔弘前県〕 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-68	庁中費より半舎迄下書 明治4年10月,11月 弘前県(青森県) 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-79
金銭受払帳及下調〔弘前藩〕 明治3 (1870) 写 5冊 半紙 和 註：明治3年10月～同4年9月	TK342-62	金調 1,2〔弘前県〕 明治4 (1871) 写 2冊 半紙 和	TK342-139	東京金賦・大版金賦 其他 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-80
歳入出取調帳 明治3年10月～同4年7月 写 1冊 美濃 和	TK342-63	金調 1,2〔弘前県〕 〔明治4〕(1871) 写 2冊 半紙 和	TK342-70	御郭内番所廻りより倉廩迄公費并外不用分取調 営繕署 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-81
		米調之動き下調〔弘前県〕 〔明治4〕(1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-71	合力米調 弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-82
		金調之動き下調〔弘前県〕 〔明治4〕(1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-72		

横浜シャント御借入金一件 明治元～4 (1868～71) 写 1袋	TK342-200	菅繕入費調 元弘前県 明治4 (1871) 写 2冊 半紙 和	TK342-92	明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	
野村常三郎一件入 写 1袋	TK342-201	米金貸附調 明治4年 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-93	[給禄渡帳] 明治4年 明治4 (1871) 写 10冊 半紙 和	TK342-99
外人ヨリ借入金裁判一件 明治4 (1871) 写 12冊	TK342-83	用度取扱手続 元弘前県用度方 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-94	出納取扱手続 明治4年 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-212
旧藩石高相当御貸渡金調 明治4 (1871) 写 1冊 半紙	TK342-84	有金調 明治4年11月 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-95	出納方目録 明治4年11月 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和 註：出納方の帳面の目録	TK342-100
旧藩石高相当御貸渡金調 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-85	新県庁江立替金并諸品買入代共調帳 元弘前県 明治5 (1872) 写 2冊 半紙 和	TK342-96	三府出張所公廨諸費明細帳 明治4年7月15日～同年9月 元弘前県 明治5 (1872) 写 1冊 半紙 和 註：東京出張所 西京出張所 大坂出張所の諸費明細帳	TK342-101
旧藩石高相当御貸渡金調 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-86	三府出張所公廨諸費明細帳 明治4年10月～同5年4月 元弘前県 明治5 (1872) 写 1冊 半紙 和	TK342-97	有金調 明治4年11月 [元弘前県] 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-213
公廨諸費惣括帳 元弘前県 明治4 (1871) 写 2冊 美濃 和 内容：明治4年7月15日～9月中 同年10月,11月	TK342-87	公廨諸費総括帳 元弘前県 明治4 (1871) 写 5冊 半紙・美濃 和 内容：公廨諸費総括帳 乾 (半紙) 金穀御引渡総括帳坤 (半紙) 公廨諸費総括帳 (美濃) 金穀御引渡総括帳 (美濃) 給禄調直シニ付総括帳米金過不差引調 (半紙)	TK342-98	有金讓帳 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-102
納金惣括牒 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-88	公廨調 [元弘前藩] 明治5 (1872) 写 2冊 半紙 註：明治3年10月～同4年9月中公廨入費調	TK342-204	米金御引渡帳 明治3年 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-104
納金惣括牒 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-89	用度方扱廉 明治4年 用度方 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK342-208	米金御引渡帳 明治4年 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK342-103
管外旅行及管内通行人費共明細取調帳 明治4年7月15日～11月 元弘前県 明治4 (1871) 写 2冊 美濃 和	TK342-90	当席扱振手続之事 明治4年 給禄方	TK342-209	備初御任之義・御賞典米之儀その他 元弘前県 [明治4] (1871) 写 1冊 (合本) 美濃	TK342-105
青森県ヨリ御渡雛形 明治4年 [元弘前県] 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和 註：元弘前県より新県庁へ米金引渡に付 取調報告の雛形	TK342-91			御備金請払調 明治3年10月～同4年9月 青森出納方	TK342-106

- 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
- 田畑御買入代并御借金引入帳 会算方 TK342-107
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
- 金配大都 明治4年 元弘前県 TK342-108
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
註：明治4年10月よ引司5年9月中金配見込
- 金配大都 明治4年〔元弘前県〕 TK342-214
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
註：明治4年10月～同5年9月中金配概略
- 米賦大都 明治4年 元弘前県 TK342-109
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
註：明治4年10月～同5年9月中米賦見込
- 米賦大部 明治4年 元弘前県 TK342-219
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
註：明治4年10月～同5年9月中米賦見込
- 米賦大都 明治4年〔元弘前県〕 TK342-215
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
註：明治4年10月～同5年9月中米賦概略
- 午十月ヨリ未九月中諸御払米調〔青森県〕 TK342-110
明治5 (1872) 写 1冊 半紙 和
- ◇
- 御進物御判帳 明治3年,4年 会算方 TK342-111
明治3,4 (1870,71) 写 1冊 半紙 和
- 御当用御判帳 会算所 TK342-112
明治3～5 (1870～72) 写 5冊 半紙 和
- 内容：明治3年10月～12月 明治4年正月,2月 明治4年3月～5月 明治4年6月～9月 明治4年10月～同5年 4月
- 御手当帳 TK342-113
明治3年10月～同4年12月 会算方
明治3,4 (1870,71) 写 1冊 半紙 和
- 御手当御判帳 TK342-114
明治3年10月～同4年10月〔会算所〕
明治3,4 (1870,71) 写 21冊 半紙 和
註：明治3年分 9冊 同4年分 12冊
- 金銭月給御判帳 明治7年～同19年 TK342-115
〔津輕家弘前出張所〕
明治7～19 (1874～86) 写 10冊 半紙 和
内容：明治7年 同9年 同11年 同12年 同14年 同15年 同16年 同17年 同18年 同19年
- (御小納戸, 大奥) 上金御判帳 TK342-116
明治3年10月～同6年12月 会算所
明治3～6 (1870～73) 写 3冊 半紙 和
内容：明治3年10月～同4年9月 明治4年10月～同5年9月 明治5年10月～同6年12月
- 御判帳廉分下調 明治3年10月～同4年9月 TK342-117
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
- ◇
- 賞典禄取調帳 明治4年12月 旧弘前県 TK342-218
明治4 (1871) 写 1冊 半紙
註：明治5年 (1872) 正月差出の扣
- 御賞典分与之分并士族卒給禄月給其外口々渡明細惣括帳
- 元弘前県 TK342-118
明治4,5 (1871,72) 写 4冊 半紙・美濃 和
合綴：給禄惣括帳 (明治5 半紙) 卒給金渡調帳 (明治5 美濃) 記 (明治5 卒給金渡調 美濃)
- 官禄調士族卒社寺市在役禄扶持調 TK342-119
附渡方手続 元弘前県
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
- 営禄扶持取扱手続 元弘前県 TK342-120
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
- 御家禄御分割調済書入 明治3年 TK342-237
明治3 (1870) 写 4冊 半紙
- 市在役扶持給分渡明細調 明治4年 TK342-121
元弘前県
明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和
- 卒御賞典并給金渡調帳 明治4年 元弘前県 TK342-122
明治4 (1871) 写 1冊 (縦横各1冊を合綴) 半紙 和
- 士族給禄之内御賞典分与之分仕分明細調 TK342-123
明治4年7月15日より9月中 元弘前県
明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和
- 元弘前県士族卒貸附品代米金給禄より差引上納仕分書 TK342-124
元弘前県
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
合綴：諸土場入費及炭流木買上代共入費調
- 給禄方讓品目録 明治4年11月〔元弘前県〕 TK342-125
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
註：給禄方の青森県へ移讓した帳面の目録

養老扶持渡明細調 明治4年 元弘前県 TK342-126 明治4(1871)写 2冊 美濃 和 内容:明治4年7月15日~同年9月 明治4年10月,11月	金御引渡帳 書状其他 ◇	元弘前県 TK342-220 明治5(1872)写 1冊 半紙 和
士族卒給禄并賞典禄表 明治4年 旧弘前県 TK342-217 明治4(1871)写 1冊 半紙 註:明治5年正月差出の扣	御家禄米御払調 〔津縁家〕会算方 TK342-127 〔明治5〕(1872)写 1冊 半紙 和 註:明治3年~同5年	御家禄調 TK342-131 明治5(1872)写 1冊 半紙 和 註:明治5年の家禄調
士族卒家禄并市在社寺禄扶持給分調 TK342-216 明治4年〔旧弘前県〕 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	諸色引入帳 明治3年~同6年 TK342-234 明治3~6(1870~73)写 5冊 半紙 和	御家禄調〔津軽家出張所〕 TK342-132 明治5,6(1872,73)写 1冊 半紙 和 内容:御家禄御賞典調 御家禄米御払調
租税収納ノ件 明治4年〔元弘前県〕 TK342-210 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	諸色受払帳 明治3年10月ヨリ 会算方 TK342-235 明治3~18(1870~85)写 1冊 半紙 和	御家禄調 明治8年 TK342-133 明治8(1875)写 1冊 半紙 和 註:月俸并季替御手当共調調(明治6)を合綴してあり
高反別租税倉廩箇所調 元弘前県 TK342-211 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	西京大坂東京御下品調其他 TK342-239 写 1袋 内容:東西京御下品并紙庫御引入品残り分取調帳(明治5) 御下品直段帳(明治4) 御直段積書御預品受払帳(明治4) 御預ケ品売払残調調(明治7) 御預ケ紙残品調調(明治7) 漆払代金預リ帳(明治10) その他	給禄奉還改名願雛形 TK342-134 明治7(1874)写 1冊 半紙
御減調濟書その他 明治3年 TK342-203 明治3(1870)写 1袋 内容:諸藩職改(大垣藩・前橋藩・山口藩) 覚(横長) 御湯殿御入用調(横長) 女中教戒書(津軽承昭室信君 姫入興後の女中への心得 3通) 年中御定物并増渡共 取調御減向書上 仲間方年中御定渡調書上帳 年中御定 渡 取調書 御減向取調之覚 大奥廉々諸器物調	御家禄并御賞米調 明治4年~同6年 TK342-128 明治4~6(1871~73)写 1冊 半紙	御家禄并御賞典禄調扣 明治17年 TK342-135 高杉要太郎 明治17(1884)写 1冊 半紙 和 註:高杉要太郎は津軽家弘前家会算係 明治4年~同9年までの調
御登金調 TK342-199 写 2通	御家禄米御賞典米雜穀出納元帳 TK342-129 明治4年~同13年 明治4~13(1871~80)写 1冊 半紙 和	御家禄并御賞典御入金調扣 明治17年 TK342-136 高杉要太郎 明治17(1884)写 1冊 半紙 和 註:明治4年~同9年
調物 TK342-232 写 10冊(1袋) 内容:新庁へ可引渡現金賦 公廩惣差引青森新庁へ引渡ノ伴 旧官員東京滞在月給調 等外卒并小使月給雇料取調 日当渡り明細調 貫属士族卒へ給禄繰替渡調旅費 旧官員并常府共月給及給禄其他道中諸渡旧庁中費詞 米	御家禄御登セ残ヲ以テ以後御続方見越シ調 TK342-130 〔津軽家〕会算方 〔明治5〕(1872)写 1冊 半紙 和 内題:去々未年御家禄御払代米未ダ御登セニ不相成分ヲ 以此御続方見込大都調	終身賞典禄 TK342-137 写(明治)1冊 横長
	旧官員并常府共月給及給禄其外道中諸渡旧庁中費調	終身賞典禄調 旧弘前県 TK342-138 明治4(1871)写 1冊 半紙 和

戊年御賞典禄代金渡下帳 明治7年 明治7(1874)写 1冊 半紙 和	TK342-139	終身賞典利子金入 明治19～30(1886～97)写 袋入(4冊) 註：終身賞典利子請取通(22冊を2冊に合本)終身賞 典禄金一時御下付願并に受取証及び満期について元利 金受取証綴	TK342-145	明治4～6(1871～73)写 1冊 半紙 和
終身賞典渡金入 回章23通 〔津輕家出張所〕 明治11～14(1878～81)写 23通 註：終身賞典金渡についての回章	TK342-140	終身賞典禄券調 写 1冊 半紙 和	TK342-146	惣勘定帳 明治4年10月～同6年5月 〔津輕家弘前出張所〕 明治6(1873)写 1冊 半紙 和
終身賞典禄渡二付諸願入 明治9年～同12年〔津輕家家扶〕 明治9～12(1876～79)写 1袋(5冊) 註：終身賞典禄渡方について 終身賞典還納し一時金と して下附願出 その他の願書とその受取証文など	TK342-141	◇		上納金仕分書 明治4年10月～同6年5月 明治6(1873)写 1冊 半紙 和
終身賞典利金 明治15(1882)写 1袋 註：明治16年1月渡帳1冊あり	TK342-142	御金元帳 明治3年～同6年 会算方 明治3～6(1870～73)写 1冊 半紙 和	TK342-147	御金本帳 会計方 明治4(1871)写 1冊 半紙 和 註：明治4年～同11年 津輕家弘前出張所有金調帳
終身御賞典禄利子金渡帳 明治10～25(1877～92)写 6冊 半紙 和 内容：明治9年分 明治10年分 明治11年分 明治 12年12月～同13年7月 明治13年12月～同14年 7月 明治15年後半より同25年まで	TK342-143	御出京ニ付県庁立替諸色御入費調帳 〔津輕家弘前出張所〕 明治4(1871)写 1包(9冊) 内容：御膳米調帳 御集会入費願 金銀請払調 十月中 金銭受払勘定帳 九月中金銭受払勘定帳 立替渡引入帳 五月分より九月分迄合五ヶ月分月給米下調査 金銀請払 勘定帳 比丘尼御扶持并ニ季御手当共三ヶ年分取調査 御出京ニ付御入費会計局ヨリ書拔之表 御焚用蠟燭取調 帳 御殿御用水油并附木灯真調 御用御菓子取調帳 料 理方一色調書 御用酒取調帳 焚炭取調帳	TK342-148	手形帳 明治4年,7年 〔御一家出張所〕会算方 明治4,7(1871,74)写 2冊 半紙 和
御賞典禄利子渡御判帳〔津輕家家扶〕 明治8～15(1875～82)写 3冊 半紙 和 内容：明治7年分 明治8年分 明治14年後半,明治 15年前半	TK342-144	御米并糶出納帳 明治4年12月 〔津輕家〕会算方 明治4(1871)写 1冊 半紙 和 附：倉廩帳(明治5)	TK342-149	諸手形引入帳 明治7年,8年,13年 〔津輕家弘前出張所〕 明治7～13(1874～80)写 3冊 半紙 和
終身賞典金禄請取通 明治9,10(1876,77)写 2冊 半紙半 和	TK342-224	御内庫金銀貨楮幣共 明治4年,5年 明治4,5(1871,72)写 1冊 半紙 和	TK342-150	御当用金銭調 明治5年 〔御一家出張所〕会算方 明治5(1872)写 1冊 半紙 和
為換金并都而金銭受取証入袋 明治9～17(1876～84)写 1綴 半紙	TK342-223	御金別本帳 明治4年～同6年 〔津輕家弘前出張所〕	TK342-151	御有合米金并拝借金御買入田地取調帳 明治5年 明治5(1872)写 1冊 半紙 和
				御当用金御貸付之分来酉二月中迄利子上納調 明治5年 会算方 明治5(1872)写 1冊 半紙 和
				御有金本帳〔津輕家弘前出張所〕 明治5～15(1872～82)写 1冊 半紙 和

壹万金御備御借付之分利子取調帳 会算方 TK342-161 明治5 (1872) 写 1冊 半紙 和	田畑御払代並授産金共請払勘定帳 TK342-170 織田虎五郎 鳴海謙六 菊池宇吉 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	年中御経費定額調〔津軽家〕 TK342-176 明治15 (1882) 写 1冊 半紙 和
壹万御備金御元牒 明治5年,同6年 TK342-162 〔津軽家弘前出張所〕 明治5,6 (1872,73) 写 1冊 半紙 和	元民事局金銭受払帳 明治6年 TK342-171 鳴海謙六 菊池宇吉 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	弘前表御金惣括調扣 明治3年~同16年 TK342-177 〔津軽家〕弘前詰会算係 明治17 (1884) 写 1冊 半紙 和
月々月給札賦り TK342-163 明治4,5 (1871,72) 写 1冊 横長	弘前表御入費定額取調帳 明治7年 TK342-172 明治7 (1874) 写 1冊 半紙 和	弘前表御入費総括調扣 明治17年 TK342-178 高杉要太郎 明治17 (1884) 写 1冊 半紙 和 註：明治3年10月~同16年12月
札賦帳 TK342-164 明治5,6年〔御一家出張所〕会算方 明治5,6 (1872,73) 写 1冊 横長	材木柁木舞薪炭受払帳 明治7年 TK342-233 明治7 (1874) 写 1冊 半紙 和	米穀出納調扣 明治17年 高杉要太郎 TK342-179 明治17 (1884) 写 1冊 半紙 和 註：明治4年~同11年 米穀出併に代金を取調べたもの
青森新庁ヨリ御引戻諸調物入 調方 TK342-165 明治5 (1872) 写 1袋 (5冊) 美濃 和 内容：有金調 有金讓帳 公費外諸木仕立ニ付取調 杣取渡米銀調 備初調	焚炭蠟燭月調申上帳 明治7年,8年 TK342-236 明治7,8 (1874,75) 写 1冊 横長 和	御道具并諸品御払代諸拝借上納金調扣 TK342-180 明治17年 高杉要太郎 明治17 (1884) 写 1冊 半紙 和 註：明治4年~同15年 諸上納并に諸色払下げ代金調
諸拝借御払品代上納取調帳 TK342-166 明治5年4月~同11年 会算方 明治5 (1872) 写 1冊 半紙 和	金穀勘定帳紳書 TK342-222 写 1冊 半紙半 和 註：津軽家弘前出張所金穀勘定帳 明治7年~同10年頃	御下金調扣 明治17年 高杉要太郎 TK342-181 明治17 (1884) 写 1冊 半紙 和 註：明治7年~同16年 東京より津軽家弘前出張所へ 下した金銭の調
御当用会計簿 明治6年〔御一家出張所〕 TK342-167 明治6 (1873) 写 1冊 半紙半 和	御有合金調 明治8年12月 TK342-173 明治8 (1875) 写 1冊 半紙 和	貢米取組并御買入米調扣 高杉要太郎 TK342-182 明治17 (1884) 写 1冊 半紙 和 註：明治8年,9年 年貢米取組併買入米代金出入の調
十三人夫賃錢并拝借米五百俵代江生荒調菜錢人馬諸色継立 手形代差継渡調帳 明治6年 TK342-168 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	拝借金及年賦金共上納請取永代帳 TK342-174 明治9年,10年〔津軽家弘前出張所〕 明治9,10 (1876,77) 写 1冊 半紙 和	弘前表御金元出納調 明治11年~同15年 TK342-183 〔津軽家〕弘前詰会算係 明治15 (1882) 写 1冊 半紙 和
田畑御払代并授産金請払惣勘定帳 TK342-169 (明治6年) 織田虎五郎 鳴海謙六 菊池宇吉 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	弘前表御入費取調 明治13年 TK342-175 〔津軽家弘前出張所〕 明治13 (1880) 写 1冊 半紙 和	弘前表年計調控 明治15年度,同16年度 TK342-184

〔津軽家弘前出張所詰〕会算係（高杉要太郎 柿崎全治） 明治17（1884）写 1冊 半紙 和	〔津軽家弘前出張所〕会算方 写 1冊 半紙横 和	六ヶ村） 明治5（1872）写 1冊 半紙 和	TK345-5
東京江書上書（御金元出納調） 明治19年1月～6月〔津軽家弘前出張所〕 明治19（1886）写 1冊 半紙 和	TK342-185	御下向二付臨時金銭小払帳 明治39年 〔津軽家出張所〕 明治39（1906）写 1冊 半紙横 和	TK342-194
田方地租全通帳その他 明治6～12（1873～79）写 1袋			TK345-6
弘前御金元帳 明治20年～大正6年 〔津軽家弘前出張所〕 明治20～太正6（1887～1917）写 1冊 半紙 和	TK342-186		
御貸付元利金調扣 〔津軽家〕弘前詰会算係 明治17（1884）写 1冊 半紙 和	TK342-187		
御払品代金収入受払簿 明治22年10月～同38年〔津軽家弘前出張所〕 明治38（1905）写 1冊 半紙 和	TK342-188		
御道具御払下一件綴 明治23年～同29年 〔津軽家弘前出張所〕 明治29（1896）写 1冊 半紙 和	TK342-189		
仕入品収支帳 明治27年～同39年 〔津軽家弘前出張所〕 明治27～39（1894～1906）写 2冊 半紙 和	TK342-190		
諸御金請払帳 明治38年～大正4年 〔津軽家出張所〕 明治38～大正4（1905～15）写 1冊 半紙 和	TK342-191		
那須様御経費収支調 明治37年度～同41年度 〔津軽家弘前出張所〕 明治37～41（1904～08）写 1冊（合本）半紙 和	TK342-192		
御下向二付金銭出納帳 明治39年	TK342-193		
約定証 仙台県 明治4（1871）写 1冊 美濃 和 註：仙台藩の借財調	TK342-195		
〔秋田藩より講金借用証文の問合書及び返書下書〕 明治5年 明治5（1872）写 1冊 美濃 和	TK342-221		
TK345 租税			
湊方出入品税銀定帳〔青森県会計局租税方〕 〔明治4〕（1871）写 1冊 半紙 和 註：嘉永3年（1850）の出入品税の定を舎写し朱で書入れたもの	TK345-1		
税則〔青森県〕 明治4（1871）写 1冊 半紙 和	TK345-2		
租税方取扱手続 明治4（1871）写 1冊 半紙 和	TK345-3		
租税出納之賦見込調 旧弘前県 明治1（1871）写 2冊 美濃 和 内容：未年（明治4年）申年（明治5年（東京之扣）	TK345-4		
陸奥国津軽郡之内辛未租税明細帳（元弘前県管村八百式拾			
新旧公債証書発行条例 太政官 東京 大蔵省 明治6（1873）1冊 半紙 和	TK347-2		
公債証書買上代金渡帳〔津軽家〕 明治9（1876）写 1冊 半紙 和	TK347-3		
公債証書売渡願等 明治15～17（1882～84）写 1冊 半紙 和	TK347-4		
公債証書買上ヶ候受取証天 写 1袋	TK347-5		
TK351 統計（青森県）			
御郡内人別調部分帳 安永10年 安永10（1781）写 1冊 横長 和	TK351-3		
御郡内人別戸数調総括牒 慶応2年，3年 慶応2,3（1866,67）写 22冊（箱入）半紙 和 内容：御郡内人別戸数調総括牒 弘前町中人別戸数諸工 諸家業総括牒 九浦町中大別戸数諸工諸家業総括牒 在 方総組中人別戸数諸工諸家業総括牒 御家中在浦々御給 人迄人別戸数総括牒 寺院人別戸数総括牒 修験社家座	TK351-1		

当人別戸数総括牒 寺社門前人別戸数諸工諸家業総括牒
御郡内人別宗旨分并戸数諸工諸家業牛馬船総括牒 御
郡内人馬調牒 御郡内人別戸数并牛馬船数増減牒

御郡中戸数人別惣括調 明治2年12月 TK351-2
明治2(1869)写 1冊 半紙 和

TK354 黒石市 南津軽郡

田舎館組村々戸数人別田畑諸工諸家業馬数共書上帳

高松弥伝次 田中元一 TK354-1
慶応4(1868)写 1冊 半紙 和

TK366 労働

慰勞吉凶給与規則並旅行日当改正規則草稿 TK366-1

明治20年
明治20(1887)写 1冊 半紙 和
往：津軽家家職の退職・吉凶などの給与規則等の草稿

TK369 社会病理 社会事業

士族卒当座救助米渡孤独之者救助扶持共明細調

明治4年7月15日より9月中 元弘前県 TK369-1
明治4(1871)写 1冊 美濃 和

救助扶持渡明細調 TK369-2

明治4年10月,11月 元弘前県
明治4(1871)写 1冊 美濃 和

〔窮民救助金受領証〕 TK369-3

明治23(1890)写 1通
註：凶作のため従三位様(津軽承昭)より弘前市へ寄贈

TK372 教育史 事情

弘道銘記 徳川斉昭 TK372-3

写 1通

学政并存付 附覚 長崎慶助(弼) TK372-2

写(天保9か10)2冊 半紙

〔積奠図式〕(堂上陳列之図・庭上列座之図) TK372-4

写 2枚 47.5×32

学校入費調 明治4年 元弘前県 TK372-1

明治4(1871)写 2冊 半紙 和
内容：明治4年7月15日～9月中 同年10月,11月

TK385 祭礼 年中行事

八幡宮御祭礼次第并御行列帳 TK385-1

文政2,10(1819,27)写 7冊 半紙横 和

内容：八幡宮御祭礼次第(文政2) 八幡宮御祭礼御行列帳(文政2) 八幡宮御祭礼次第 八幡宮御祭礼次第(文政10) 八幡宮御祭礼御行列帳 八幡宮御祭礼ニ付町々丁印装束帳(文政10) 八幡宮御祭礼御行列牒(文政10)



御内書御目録 TK385-96

写 41冊 美濃 和

内容：第1(天正之頃より元禄11年迄) 第1のA(元禄11年～宝永7年) 第2(正徳元年～享保15年 津軽信重(信寿)の代の御内書目録) 第3(宝暦9年) 第4(明和4年,同5年) 第5(明和4年～同7年) 第6(明和8年,同9年,安永2年) 第7(安永4年～同7年) 第8(天明7年～寛政元年) 第9(寛政元年～同3年) 第10(寛政3年,同4年) 第11(寛政5年,同6年) 第12(寛政7年,同8年,同9年) 第13(寛政9年,同10年) 第14(寛政10年,同11年) 第15(寛

政12年) 第16(寛政11年～享和2年) 第7(享和3年～文化2年) 第18(文化2年～同4年) 第19(文化4年,同5年) 第20(文化4年～同7年) 第21(文化7年)

第22(文化7年～同10年) 第23(文化2年,同10年,同11年) 第24(文化12年,同13年) 第25(文化11年,～文政元年) 第26(文政元年～同5年) 第27(文政5年～同9年) 第28(文政9年・同11年) 第29(文政12年～天保元年) 第30(文政11年～天保3年) 第31(天保4年,同5年) 第32(天保6年～同9年) 第33(天保10年～同13年) 第34(天保13年～同15年) 第35(天保15年～弘化3年) 第36(弘化3年～嘉永3年) 第37(嘉永4年,同5年) 第38(嘉永3年～同7年) 第39(嘉永7年～万延元年) 第40(万延元年～文久2年)

御内書留 TK385-140

天保11年2月～文久2年 御右筆
写 1冊 半紙 和

〔徳川秀忠〕御内書 津軽越中守(信枚)宛 TK385-128

写(原本)1通
註：年号不明,端午(慶長)

〔徳川家綱〕御内書 津軽越中守(信政)宛 TK385-97

寛文2～延宝7(1662～79)写(原本)46通
内容：寛文2年歳暮 同3年端午 重陽 歳暮 同4年端午 重陽 歳暮 同5年端午 重陽 歳暮 同6年端午 重陽 歳暮 同8年端午 重陽 歳暮 同9年端午 重陽 歳暮 同10年端午 重陽 歳暮 同12年端午 重陽 歳暮 延宝元年端午 重陽 歳暮 同2年端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽 歳暮 同4年端午 重陽 歳暮 同5年端午 重陽 歳暮 同6年端午 重陽 歳暮 同7年端午 重陽 歳暮

〔徳川綱吉〕御内書 津軽越中守(信政)宛 TK385-98

天和元～宝永5 (1681～1708) 写 (原本) 76 通
 内容：天和元年端午 重陽 歳暮 同2年端午 重陽
 歳暮 同3年端午 重陽 歳暮 貞享元年端午 重陽
 歳暮 同2年端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽
 歳暮 同4年端午 同5年重陽 歳暮 元禄3年端午
 重陽 歳暮 同4年端午 重陽 歳暮 同5年端午
 重陽 歳暮 同6年端午 重陽 歳暮 同7年端午
 重陽 歳暮 同8年端午 重陽 歳暮 同9年端午
 重陽 歳暮 同10年端午 重陽 同11年端午 重陽
 歳暮 同12年端午 重陽 歳暮 同13年端午 重陽
 歳暮 同14年端午 重陽 歳暮 同15年端午 重陽
 歳暮 同16年端午 重陽 歳暮 宝永元年端午 重陽
 歳暮 同2年端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽
 歳暮 同4年端午 重陽 歳暮 同5年端午 重陽

〔徳川家宣〕御内書 津軽越中守 (信政) 宛 TK385-99
 宝永6,7 (1709,10) 写 (写本) 5 通
 内容：宝永6年端午 重陽 歳暮 同7年端午 重陽

〔徳川家宣〕御内書 津軽土佐守 (信寿) 宛 TK385-100
 正徳元,2 (1711,12) 写 (原本) 4 通
 内容：正徳元年端午 重陽 歳暮 同2年端午

〔徳川家継〕御内書 津軽土佐守 (信寿) 宛 TK385-101
 正徳2～5 (1712～15) 写 (原本) 8 通
 内容：正徳2年歳暮 同3年端午 重陽 歳暮 同4
 年端午 同5年端午 重陽 歳暮

〔徳川吉宗〕御内書 津軽土佐守 (信寿) 宛 TK385-102
 享保元～16 (1716～31) 写 (原本) 45 通
 内容：享保元年端午 重陽 歳暮 同2年端午 重陽
 歳暮 同3年端午 重陽 歳暮 同4年端午 重陽
 歳暮 同5年端午 重陽 歳暮 同6年端午 重陽
 歳暮 同7年端午 重陽 歳暮 同8年端午 重陽
 歳暮 同9年端午 重陽 歳暮 同10年端午 重陽

歳暮 同11年端午 重陽 歳暮 同12年端午 重陽
 歳暮 同13年端午 重陽 歳暮 同14年 重陽 歳
 暮 同15年端午 重陽 歳暮 同16年端午

〔徳川吉宗〕御内書 津軽勝千代 (信著) 宛 TK385-103
 享保16 (1731) 写 (原本) 1 通
 内容：享保16年重陽

〔徳川吉宗〕御内書 津軽出羽守 (信著) 宛 TK385-104
 享保16～寛保3 (1731～43) 写 (原本) 36 通
 内容：享保16年歳暮 同17年端午 重陽 歳暮 同
 18年端午 重陽 歳暮 同19年端午 重陽 歳暮
 同20年端午 重陽 歳暮 元文元年端午 重陽 歳暮
 同2年端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽 歳暮
 同4年端午 重陽 歳暮 同5年端午 重陽 歳暮
 寛保元年端午 重陽 歳暮 同2年端午 重陽 歳暮
 同3年端午 重陽

〔徳川家屋〕御内書 津軽岩松 (信寧) 宛 TK385-105
 宝暦3 (1753) 写 (原本) 2 通
 内容：宝暦3年端午 重陽

〔徳川家重〕御内書 津軽土佐守 (信寧) 宛 TK385-106
 宝暦3～6 (1753～56) 写 (原本) 9 通
 内容：宝暦3年歳暮 同4年重陽 歳暮 同5年端午
 重陽 歳暮 同6年端午 重陽 歳暮

〔徳川家重〕御内書 津軽右京亮 (信寧) 宛 TK385-107
 宝暦7,8 (1757,58) 写 (原本) 5 通
 内容：宝暦7年端午 重陽 歳暮 同8年端午 重陽

〔徳川家重〕御内書 津軽出羽守 (信奉) 宛 TK385-108
 宝暦8～10 (1758～60) 写 (原本) 5 通
 内容：宝暦8年歳暮 同9年端午 重陽 歳暮 同10
 年端午

〔徳川家治〕御内書 津軽出羽守 (信寧) 宛 TK385-109
 宝暦10～安永2 (1760～73) 写 (原本) 37 通
 内容：宝暦10年重陽 歳暮 同11年端午 重陽 歳
 暮 同12年歳暮 同13年端午 重陽 歳暮 明和元
 年端午 重陽 歳暮 同2年端午 重陽 歳暮 同3
 年端午 重陽 歳暮 同4年端午 重陽 歳暮 同5
 年端午 重陽 歳暮 同6年端午 重陽 歳暮 同7
 年端午 重陽 歳暮 同8年端午 重陽 歳暮 同9
 年端午 重陽 安永元年歳暮 同2年端午

〔徳川家治〕御内書 津軽越中守 (信寧) 宛 TK385-110
 安永2～天明3 (1773～83) 写 (原本) 29 通
 内容：安永2年重陽 歳暮 同3年端午 重陽 歳暮
 同4年端午 重陽 歳暮 同5年端午 重陽 歳暮
 同6年端午 重陽 歳暮 同7年端午 重陽 歳暮
 同8年端午 重陽 歳暮 同9年端午 重陽 歳暮
 天明元年歳暮 同2年端午 重陽 歳暮 同3年端午
 重陽

〔徳川家治〕御内書 津軽土佐守 (信明) 宛 TK385-111
 天明4～6 (1784～86) 写 (原本) 7 通
 内容：天明4年端午 重陽 歳暮 同5年端午 重陽
 歳暮 同6年端午

〔徳川家齐〕御内書 津軽土佐守 (信明) 宛 TK385-112
 天明6～寛政3 (1786～91) 写 (原本) 14 通
 内容：天明6年歳暮 同7年端午 重陽 歳暮 同8
 年端午 重陽 歳暮 寛政元年端午 重陽 歳暮 同2
 年端午 重陽 歳暮 同3年端午

〔徳川家齐〕御内書 津軽出羽守 (寧親) 宛 TK385-113
 寛政3～8 (1791～96) 写 (原本) 16 通
 内容：寛政3年歳暮 同4年端午 重陽 歳暮 同5
 年端午 重陽 歳暮 同6年端午 重陽 歳暮 同7

年端午 重陽 歳暮 同8年端午 重陽 歳暮

〔徳川家斉〕御内書 津輕越中守(寧親)宛 TK385-114

寛政9～文政3(1797～1820)写(原本)71通

内容：寛政9年端午 重陽 歳暮 同10年端午 重陽
歳暮 同11年端午 重陽 歳暮 同12年端午 重陽
歳暮 享和元年端午 重陽 歳暮 同2年端午 重陽
歳暮 同3年端午 重陽 歳暮 文化元年端午 重陽
歳暮 同2年端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽
歳暮 同4年端午 重陽 歳暮 同5年端午 重陽
歳暮 同6年端午 重陽 歳暮 同7年端午 重陽
歳暮 同8年端午 重陽 歳暮 同9年端午 重陽
歳暮 同10年端午 重陽 歳暮 同11年端午 重陽
歳暮 同12年端午 重陽 歳暮 同13年端午 重陽
歳暮 同14年端午 重陽 歳暮 文政元年端午 重陽
歳暮 同2年端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽

〔徳川家斉〕御内書 弘前侍従(津輕寧親)宛 TK385-115

文政3～7(1820～24)写(原本)13通

内容：文政3年歳暮 同4年端午 重陽 歳暮 同5
年端午 重陽 歳暮 同6年端午 重陽 歳暮 同7
年端午 重陽 歳暮

〔徳川家斉〕御内書 津輕大隅守(信順)宛 TK385-116

文政8(1825)写(原本)2通

内容：文政8年端午 重陽

〔徳川家斉〕御内書 津輕越中守(信順)宛 TK385-117

文政8～天保5(1825～34)写(原本)24通

内容：文政8年歳暮 同9年端午 重陽 歳暮 同10
年重陽 歳暮 同11年端午 重陽 歳暮 同12年端
午 重陽 歳暮 同13年端午 重陽 歳暮 天保2年
端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽 同4年端午
重陽 歳暮 同5年端午

〔徳川家斉〕御内書 弘前侍従(津輕信順)宛 TK385-118

天保5～7(1834～36)写(原本)7通

内容：天保5年歳暮 同6年端午 重陽 歳暮 同7
年端午 重陽 歳暮

〔徳川家慶〕御内書 弘前侍従(津輕信順)宛 TK385-119

天保8,9(1837,38)写(原本)4通

内容：天保8年端午 重陽 歳暮 同9年端午

〔徳川家慶〕御内書 津輕左近将監(順承)宛 TK385-120

天保10(1839)写(原本)1通

内容：天保10年端午

〔徳川家慶〕御内書 津輕大隅守(順承)宛 TK385-121

天保10～15(1839～44)写(原本)17通

内容：天保10年重陽 歳暮 同11年端午 重陽 歳
暮 同12年端午 重陽 歳暮 同13年端午 重陽
歳暮 同14年端午 重陽 歳暮 同15年端午 重陽
歳暮

〔徳川家慶〕御内書 津輕越中守(順承)宛 TK385-122

弘化2～嘉永3(1845～50)写(原本)18通

内容：弘化2年端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽
歳暮 同4年端午 重陽 歳暮 嘉永元年端午 重陽
歳暮 同2年端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽
歳暮

〔徳川家慶〕御内書 弘前侍従(津輕順承)宛 TK385-123

嘉永4～6(1851～53)写(原本)7通

内容：嘉永4年端午 重陽 歳暮 同5年端午 重陽
歳暮 同6年端午

〔徳川家定〕御内書 弘前侍従(津輕順承)宛 TK385-124

嘉永6～安政5(1853～58)写(原本)14通

内容：嘉永6年歳暮 安政元年端午 重陽 歳暮 同

2年端午 重陽 歳暮 同3年端午 重陽 歳暮 同4
年端午 重陽 歳暮 同5年端午

〔徳川家茂〕御内書 弘前侍従(津輕順承)宛 TK385-125

安政5(1858)写(原本)1通

内容：安政5年歳暮

〔徳川家茂〕御内書 津輕土佐守(承昭)宛 TK385-126

安政6,万延元(1859,60)写(原本)5通

内容：安政6年端午 重陽 歳暮 万延元年端午 重陽

〔徳川家茂〕御内書 弘前侍従(津輕承昭)宛 TK385-127

万延元～文久2(1860～62)写(原本)5通

内容：万延元年歳暮 文久元年端午 重陽 歳暮 同2
年端午

◇

〔年頭祝儀披露之儀御奉書〕正月10日 TK385-34

津輕土佐守(信義)宛

写1通

註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信
綱より

〔年頭之御祝儀御太刀御馬進上遂披露之儀御奉書〕

津輕土佐守(信義)宛

TK385-35

写(原本)4通

内容：第1(正月5日 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信
綱 酒井雅楽頭忠清より)第2(正月16日 阿部対馬
守重次 松平伊豆守信綱より)第3(正月23日 阿部
豊後守忠秋 松平和泉守乘寿 松平伊豆守信綱より)
第4(正月晦日 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より)

〔歳暮御祝儀呉服破魔弓進上披露之儀御奉書〕 TK385-36

12月29日 津輕土佐守(信義)宛

写(原本)1通

註:阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿より



〔年頭御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕 TK385-37

津軽越中守(信談)宛

寛文6,延宝5(1666,77)写(原本)2通

内容:第1(寛文6年正月11日 久世大和守広之 稲葉美濃守正則 阿部豊後守忠秋 酒井雅楽頭忠清より) 第2(延宝5年正月11日 土屋但馬守数直 久世大和守広之 稲葉美濃守正則より)

〔年始諸礼相済に付御機嫌伺上聞之儀御奉書〕 TK385-38

正月27日 津軽越中守(信政)宛

寛文6(1666)写(原本)1通

註:稲葉美濃守正則 阿部豊後守忠秋 酒井雅楽頭忠清より

〔年始之諸礼相済に依申鮑献上に付御奉書〕 TK385-39

正月9日 津軽越中守(信談)宛

延宝5(1677)写(原本)1通

註:土屋但馬守数直より

〔年始之御規式御嘉例之通相済候につき紙面之趣言上之儀御奉書〕 正月23日 津軽越中守(信政)宛 TK385-40

延宝5(1677)写(原本)1通

註:土屋但馬守数直より

〔八朔之御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕 TK385-41

8月5日 津軽越中守(信政)宛

寛文7(1667)写(原本)1通

註:板倉内膳正重矩 土屋但馬守数直 久世大和守広之 稲葉美濃守正則より



〔年頭御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕 TK385-42

津軽土佐守(信寿)宛

享保6~12(1721~27)写(原本)4通

内容:第1(享保6年正月11日 水野和泉守忠之 戸田山城守忠真 井上河内守正岑より) 第2(享保7年正月11日 戸田山城守忠真より) 第3(享保6年正月11日 安藤対馬守重行 水野和泉守忠之 戸田山城守忠真より) 第4(享保12年三月11日 松平伊賀守忠 松平左近将監乗邑 水野和泉守忠之より)

〔年始之御規式相済恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK385-43

津軽土佐守(信寿)宛

享保6~12(1821~27)写(原本)3通

内容:第1(享保6年正月21日 井上河内守正岑より) 第2(享保8年正月22日 戸田山城守忠真より) 第3(享保12年正月25日 松平伊賀守忠周より)

〔端午之御祝儀御帷子単物献上披露之儀御奉書〕 5月3日 津軽土佐守(信寿)宛 TK385-44

享保14(1729)写(原本)1通

註:安藤対馬守信友より



〔年頭之御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕

正月11日 津軽出羽守(信著)宛 TK385-45

元文4(1739)写(原本)1通

註:本多中務大輔忠良 松平伊豆守信祝 松平左近将監乗邑より

〔年始之御規式相済恐悦旨言上御奉書〕 TK385-46

正月25日 津軽出羽守(信著)宛

元文4(1739)写(原本)1通

註:松平伊豆守信祝より

〔端午之御祝儀御帷子単物献上披露之儀御奉書〕

津軽出羽守(信著)宛

TK385-47

享保19~寛保2(1734~42)写(原本)3通

内容:第1(享保19年5月2日 黒田豊前守直純より) 第2(寛保元年5月2日 松平能登守乗賢より) 第3(寛保2年5月2日 松平能登守乗賢より)

〔重陽之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 TK385-48

津軽出羽守(信著)宛

享保19~寛保2(1734~42)写(原本)3通

内容:第1(享保19年9月7日 黒田豊前守直純より) 第2(元文2年9月7日 松平能登守乗賢より) 第3(寛保2年9月7日 松平能登守乗賢より)

〔右大将様江重陽之御祝儀御小袖進上披露之儀御奉書〕

9月7日 津軽出羽守(信著)宛

TK385-49

寛保元(1741)写(原本)1通

註:松平伊豆守信祝より

〔歳暮之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 TK385-50

津軽出羽守(信著)宛

享保19~寛保2(1734~42)写(原本)3通

内容:第1(享保19年12月27日 黒田豊前守直純より) 第2(寛保元年12月27日 松平能登守乗賢より) 第3(寛保2年12月27日 松平能登守乗賢より)



〔五節句月次登城願之儀御書付〕

TK385-135

津軽岩松(信寧)宛

宝暦3(1753)写(原本)1通

〔年頭之御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕

- 津軽越中守(信寧)宛 **TK385-51**
安永8～天明3(1779～83)写(原本)4通
内宮:第1(安永8年正月11日 阿部豊後守正允より)第2(安永8年正月11日 田沼主殿頭意次 板倉佐渡守勝清 松平周防守康福 松平右京大夫輝高 松平右近将監武元より)第3(天明3年正月11日 久世大和守広明 田沼主殿頭意次 松平周防守康福より)第4(天明3年正月11日 鳥居丹波守忠意より)
- 〔年始御規式相済恐悦旨言上之儀御奉書〕 **TK385-52**
津軽越中守(信寧)宛
安永5(1776)写(原本)2通
内容:第1(正月22日 阿部豊後守正允より)第2(正月22日 松平右近将監武元より)
- 〔端午之御祝儀御唯子単物献上披露之儀御奉書〕 **TK385-53**
津軽岩松(信寧)宛
延享4,5(1747,48)写(原本)2通
内容:第1(延享4年5月2日 松平右近将監武元より)第2(延享5年5月4日 秋元但馬守涼朝より)
- 〔端午之御祝儀御唯子単物献上披露之儀御奉書〕 **TK385-54**
5月2日 津軽出羽守(信寧)宛
明和6(1769)写(原本)1通
注:板倉佐渡守勝清より
- 〔端午之御祝儀御唯子単物献上披露之儀御奉書〕 **TK385-55**
津軽越中守(信寧)宛
安永4,天明3(1775,83)写(原本)2通
内容:第1(安永4年5月2日 阿部豊後守正允より)第2(天明3年5月2日 鳥居丹波守忠意より)
- 〔八朔御祝儀御太刀馬代献上之儀伺書〕 **TK385-137**
御附紙共 7月晦日 津軽岩松(信寧)
延享元(1744)写(原本)1通
- 〔八朔御太刀馬代献上之儀忌明に付伺書〕 **TK385-130**
御附紙共 8月2日 津軽土佐守(信寧)
宝暦5(1755)写(原本)1通
- 〔八朔之御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕 **TK385-56**
津軽越中守(信寧)宛
安永9,天明元(1780,81)写(原本)2通
内容:第1(安永9年8月4日 田沼主殿頭意次 松平周防守康福 松平右京大夫輝高より)第2(天明元年8月4日 田沼主殿頭意次より)
- 〔八朔之御祝儀若君様江御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕 **TK385-57**
8月4日 津軽越中守(信寧)宛
天明元(1781)写(原本)1通
注:松平周防守康福より
- 〔重陽之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 **TK385-58**
津軽若松(信寧)宛
延享4～宝暦2(1747～52)写(原本)3通
内容:第1(延享4年9月7日 松平右近将監武元より)第2(宝暦元年9月7日 秋元但馬守涼朝より)第3(宝暦2年9月7日 秋元但馬守涼朝より)
- 〔重陽之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 **TK385-59**
津軽出羽守(信寧)宛
明和6,8(1769,71)写(原本)2通
内容:第1(明和6年9月7日 阿部豊後守正允より)第2(明和8年10月5日 阿部豊後守正允より)
- 〔重陽之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 **TK385-60**
津軽越中守(信寧)宛
安永4～天明3(1775～83)写(原本)3通
内容:第1(安永4年9月7日 阿部豊後守正允より)第2(天明元年9月7日 久世大和守広明より)第3(天
- 明3年9月7日 鳥居丹波守忠意より)
- 〔歳暮之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 **TK385-61**
津軽岩松(信寧)宛
延享3～寛延元(1746～48)写(原本)3通
内容:第1(延享3年12月27日 松平右近将監武元より)第2(延享4年12月27日 秋元但馬守涼朝より)第3(寛延元年12月27日 秋元但馬守涼朝より)
- 〔歳暮之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 **TK385-62**
12月27日 津軽土佐守(信寧)宛
宝暦5(1755)写(原本)1通
注:秋元但馬守涼朝より
- 〔歳暮之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 **TK385-63**
津軽出羽守(信寧)宛
明和5～7(1768～70)写(原本)3通
内容:第1(明和5年12月27日 板倉佐渡守勝清より)第2(明和6年12月27日 松平周防守泰福より)第3(明和7年12月27日 阿部豊後守正允より)
- 〔歳暮之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 **TK385-64**
津軽越中守(信寧)宛
安永3～天明2(1774～82)写(原本)3通
内宮:第1(安永3年12月27日 阿部豊後守正允より)第2(安永7年12月27日 阿部豊後守正允より)第3(天明2年12月27日 鳥居丹波守忠意より)
- ◇
- 〔年頭之御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕 **TK385-65**
津軽松五郎(信明)宛
安永6(1777)写(原本)2通
内容:第1(正月11日 松平右近将監武元より)第2(正月11日 阿部豊後守正允より)

〔八朔之御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕

8月18日 津輕土佐守(信明)宛 **TK385-66**
 天明8(1788)写(原本)1通
 註:松平伊豆守信明 鳥居丹波守忠意 牧野備後守貞長
 松平越中守定信より



〔年頭之御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕

津輕越中守(寧親)宛 **TK385-67**
 寛政13~文政7(1801~24)写(原本)10通
 内容:第1(寛政13年正月11日 安藤対馬守信成
 戸田采女正氏教 松平伊豆守信明より)第2(寛政13
 年正月11日 水野出羽守忠友より)第3(文化9年正
 月11日 松平能登守乗保より)第4(文化9年正月11
 日 青山下野守忠裕 土井大炊頭利厚 牧野備前守忠精
 松平伊豆守信明より)第5(文化13年正月11日 松
 平能登守乗保より)第6(文化13年正月11日 酒井
 讃岐守恣意 青山下野守忠裕 土井大炊頭利厚 松平伊
 豆守信明より)第7(文政2年正月11日 松平能登守
 乗保より)第8(文政2年正月11日 阿部備中守正精
 より)第9(文政7年正月11日 松平能登守乗保より)
 第10(文政7年正月11日 松平和泉守乗寛より)

〔年始御規式相濟恐悦旨言上之儀御奉書〕

津輕越中守(寧親)宛 **TK385-68**
 寛政13~文化13(1801~16)写(原本)6通
 内容:第1(寛政13年正月22日 松平伊豆守信明より)
 第2(寛政13年正月22日 水野出羽守忠友より)
 第3(文化9年正月22日 牧野備前守忠精より)
 第4(文化9年正月22日 松平能登守乗保より)
 第5(文化13年正月22日 土井大炊頭利厚より)
 第6(文化13年正月22日 松平能登守乗保より)

〔装束ニテ年始登城拜礼之節足袋相用度儀願書〕

御附紙共 津輕越中守(寧親) T **K385-134**
 文化7~文政元(1810~18)写(原本)4通
 内容:文化7年12月24日 文化11年12月24日
 文化12年12月24日 文政元年12月23日

〔端午之御祝儀若君様江御帷子単物献上披露之儀御奉書〕

津輕出羽守(寧親)宛 **TK385-69**
 寛政6,8(1794,96)写(原本)2通
 内容:第1(寛政6年5月2日 戸田采女正氏教より)
 第2(寛政8年5月2日 太田備中守資愛より)

〔端午之御祝儀御帷子単物献上披露之儀御奉書〕

津輕越中守(寧親)宛 **TK385-70**
 寛政10~文政6(1798~1823)写(原本)10通
 内容:第1(寛政10年5月2日 水野出羽守忠友より)
 第2(享和元年5月2日 水野出羽守忠友より)
 第3(享和2年5月2日 水野出羽守忠友より)
 第4(享和3年5月2日 安藤対馬守信成より)
 第5(文化3年5月2日 安藤対馬守信成より)
 第6(文化6年5月3日 安藤対馬守信成より)
 第7(文化7年5月2日 牧野備前守忠精より)
 第8(文政元年5月2日 松平能登守乗保より)
 第9(文政5年5月2日 酒井若狭守忠進より)
 第10(文政6年5月2日 松平能登守乗保より)

〔八朔之御祝儀若君様江御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕

津輕出羽守(寧親)宛 **TK385-71**
 寛政6,8(1794,96)写(原本)2通
 内容:第1(寛政6年8月4日 太田備中守資愛より)
 第2(寛政8年8月4日 戸田采女正氏教より)

〔八朔之御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕

8月4日 津輕出羽守(寧親)宛 **TK385-72**
 寛政8(1796)写(原本)1通

註:安藤対馬守信成 太田備中守資愛 戸田采女正氏教
 松平伊豆守信明より

〔八朔之御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕

津輕越中守(寧親)宛 **TK385-73**
 享和3~文政元(1803~18)写(原本)8通
 内容:第1(享和3年8月4日 安藤対馬守信成より)
 第2(享和3年8月4日 戸田采女正氏教より)
 第3(文化5年8月4日 青山下野守忠裕より)
 第4(文化5年8月4日 安藤対馬守信成より)
 第5(文化10年8月4日 松平能登守乗保より)
 第6(文化10年8月4日 青山下野守忠裕 牧野備前
 守忠精 松平伊豆守信明より)
 第7(文政元年8月4日 阿部備中守正精 青山下野守
 忠裕より)
 第8(文政元年8月4日 酒井若狭守忠進 松平能登守
 乗保より)

〔重陽之御祝儀御小袖若君様江献上披露之儀御奉書〕

9月7日 津輕出羽守(寧親)宛 **TK385-74**
 寛政8(1796)写(原本)1通
 註:安藤対馬守信成より

〔重陽之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 **TK385-75**

津輕越中守(寧親)宛
 享和元~文政7(1801~24)写(原本)10通
 内容:第1(享和元年9月7日 水野出羽守忠友より)
 第2(享和3年9月7日 安藤対馬守信成より)
 第3(文化元年9月9日 安藤対馬守信成より)
 第4(文化5年9月7日 安藤対馬守信成より)
 第5(文化7年9月2日 松平能登守乗保より)
 第6(文政元年9月2日 酒井若狭守忠進より)
 第7(文政3年9月13日 酒井若狭守忠進より)
 第8(文政4年9月11日 酒井若狭守忠進より)
 第9(文政5年9月7日 松平能登守乗保より)

第10 (文政7年9月7日 松平能登守乗保より)

〔忌明ニ付重陽之御祝儀献上之儀伺書〕 TK385-136

御附紙共 9月10日 津輕越中守 (寧親)
文政3 (1820) 写 (原本) 1通

〔歳暮之御祝儀若君様江御小袖献上披露之儀御奉書〕

12月27日 津輕出羽守 (寧親) 宛 TK385-76
寛政7 (1795) 写 (原本) 1通

註：松平伊豆守信明より

〔歳暮之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 TK385-77

津輕越中守 (寧親) 宛
寛政11～文政元 (1799～1818) 写 (原本) 11通

内容：第1 (寛政11年12月27日 水野出羽守忠友より)

第2 (寛政2年12月27日 水野出羽守忠友より)

第3 (享和元年12月27日 水野出羽守忠友より)

第4 (享和2年12月27日 安藤対馬守信成より)

第5 (享和3年12月27日 安藤対馬守信成より)

第6 (文化2年12月27日 安藤対馬守信成より)

第7 (文化5年12月27日 安藤対馬守信成より)

第8 (文化8年12月27日 松平能登守乗保より)

第9 (文化11年12月27日 松平能登守乗保より)

第10 (文化12年12月27日 松平能登守乗保より)

第11 (文政元年12月29日 松平能登守乗保より)

〔津輕雅之助五節句月次御礼登城之儀御書付〕 TK385-133

津輕越中守 (寧親) 宛
文化11 (1814) 写 (原本) 1通

◇

〔年頭之御祝儀御太刀御馬代披露之儀御奉書〕 TK385-78

正月11日 津輕雅之助 (信順) 宛
文化11 (1814) 写 (原本) 2通

内容：青山下野守忠裕より 松平能登守乗保より

〔年頭之御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕

津輕大隅守 (信順) 宛 TK385-79

文化13～文政7 (1816～24) 写 (原本) 7通

内容：第1 (文化13年正月11日 酒井讃岐守忠進
青山下野守忠裕 土井大炊頭利厚 松平伊豆守信明より)

第2 (文化13年正月11日 松平能登守乗保より)

第3 (文化15年正月11日 酒井若狭守忠進より)

第4 (文政6年正月11日 松平能登守東保より)

第5 (文政6年正月11日 大久保加賀守忠真より)

第6 (文政7年正月11日 松平能登守乗保より)

第7 (文政7年正月11日 松平和泉守乗寛より)

〔年始御規式相濟恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK385-80

正月22日 津輕大隅守 (信順) 宛

文化13 (1816) 写 (原本) 2通

内容：土井大炊頭利厚より 松平能登守乗保より

〔端午之御祝儀御唯子单物献上披露之儀御奉書〕

5月2日 津輕大隅守 (信順) 宛 TK385-81A

文政8 (1825) 写 (原本) 1通

註：松平能登守乗保より

〔端午之御内書頂戴御礼之儀御奉書〕 TK385-81B

8月9日 津輕大隅守 (信順) 宛

文政8 (1825) 写 (原本) 1通

註：青山下野守忠裕より

〔端午之御祝儀御唯子单物献上披露之儀御奉書〕

5月3日 津輕越中守 (信順) 宛 TK385-82

文政11 (1828) 写 (原本) 1通

註：牧野備前守忠精より

〔八朔之御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕

津輕大隅守 (信順) 宛 TK385-83

文政7,8 (1824,25) 写 (原本) 4通

内容：第1 (文政7年8月4日 酒井若狭守忠進より)

第2 (文政7年8月4日 松平右京大夫輝延より)

第3 (文政8年8月4日 松平和泉守乗寛 大久保加賀
守忠真 水野出羽守忠成 青山下野守忠裕より)

第4 (文政8年8月4日 松平能登守乗保より)

〔八朔之御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕

8月4日 津輕越中守 (信順) 宛 TK385-84

文政10 (1827) 写 (原本) 2通

内容：第1 (酒井若狭守忠進より) 第2 (松平周防守
康任 松平和泉守乗寛 大久保加賀守忠真 水野出羽守
忠成 青山下野守忠裕より)

〔歳暮之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 TK385-85

12月27日 津輕越中守 (信順) 宛

文政10 (1827) 写 (原本) 1通

註：酒井若狭守忠進より

◇

〔年頭之御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕

正月11日 津輕越中守 (順承) 宛 TK385-86

安政3,7 (1856,60) 写 (原本) 2通

内容：第1 (安政3年 久世大和守広周より)

第2 (安政7年 松平和泉守乗全より)

〔土佐守年頭登城御太刀目録御礼之儀伺書〕 TK385-143

御附紙共 12月23日 津輕越中守 (順承)

安政4 (1857) 写 (原本) 1通

〔端午之御祝儀御唯子单物献上披露之儀御奉書〕

5月2日 津輕左近将監 (順承) 宛 TK385-87

天保10 (1839) 写 (原本) 1通

註：堀田備中守正篤より	安政2(1855)写(原本)1通 註：内藤紀伊守信親より		
〔端午之御祝儀御帷子単物献上披露之儀御奉書〕 5月4日 津軽大隅守(順承)宛 TK385-88 天保11(1840)写(原本)1通 註：堀田備中守正篤より	〔八朔之御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕 8月4日 津軽越中守(順承)宛 TK385-92 安政3(1856)写(原本)1通 註：阿部伊勢守正弘より	〔大隅守年頭登城太刀目録御礼之儀伺書〕 TK385-138 御附紙共 12月朔日 津軽越中守 写(原本)1通	
〔端午之御祝儀御帷子単物献上披露之儀御奉書〕 5月2日 津軽越中守(順承)宛 TK385-89 嘉永6(1853)写(原本)1通 註：内藤紀伊守信親より	〔土佐守八朔初登城御太刀目録御礼之儀伺書〕 TK385-141 御附紙共 7月17日 津軽越中守(順承) 安政5(1858)写(原本)1通	〔嘉定御祝儀之節大隅守登城之儀伺書〕 TK385-149 御附紙共 5月21日 津軽越中守 写 1通	
〔嘉定御祝儀之節若殿様登城之儀御伺書〕 TK385-90 御附紙共 6月9日 津軽越中守(順承) 嘉永6(1853)写(原本)1通	〔重陽之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 TK385-93 津軽大隅守(順承)宛 天保11,15(1840,44)写(原本)2通 内容：第1(天保11年9月7日 堀田備中守正篤より) 第2(天保15年9月7日 戸田山城守忠温より)		◇
〔嘉定御祝儀之節土佐守登城之儀伺書〕 TK385-144 御附紙共 6月9日 津軽越中守(順承) 安政5(1858)写(原本)1通	〔歳暮之御祝儀御小袖献上披露之儀御奉書〕 TK385-94 津軽越中守(順承)宛 嘉永4,5(1851,52)写(原本)2通 内容：第1(嘉永4年12月27日 内藤紀伊守信親より) 第2(嘉永5年12月27日 内藤紀伊守信親より)	年中行事 TK385-145 写 1冊 半紙 和	
〔八朔之御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕 津軽大隅守(順承)宛 TK385-91 天保11~15(1840~44)写(原本)4通 内容：第1(天保11年8月4日 堀田備中守正篤より) 第2(天保11年8月4日 水野越前守忠邦より) 第3(天保15年8月4日 水野越前守忠邦より) 第4(天保15年8月4日 戸田山城守忠温より)	〔津軽武之助五節句月次御礼出仕願濟之御書付〕 御礼勤之儀伺書共 津軽越中守(順承)宛 TK385-131 嘉永6(1853)写(原本)2通 註：武之助は津軽承祐	五節句月次出仕一件伺書 TK385-148 安政4,5(1857,58)写 5冊 美濃 和	
〔武之助八朔之御祝儀登城御太刀目録御礼之儀伺書〕 御附紙共 7月11日 津軽越中守(順承) TK385-132 嘉永6(1853)写(原本)1通 註：武之助は津軽承祐	〔津軽寛五郎五節句月次御礼登城之儀御書付〕 TK385-142 津軽越中守(順承)宛 安政4(1857)写(原本)1通 註：寛五郎は津軽承昭	年中御常式調 明治12年〔津軽家家扶〕 TK385-33 明治12(1879)写 1冊 半紙 和 内題：年中御常式御祝御上り方御家職被下方并御買品御減調	
〔八朔之御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕 8月4日 津軽越中守(順承)宛 TK385-139		年頭御規式 文化11年 TK385-2 文化11(1814)写 1冊 美濃 和	
		年頭御規式 文政3年 TK385-3 文政3(1820)写 1冊 美濃 和	
		年頭御規式 文政5年 TK385-4 文政5(1822)写 1冊 美濃 和	

御年始御規式 文政9年 文政9(1826)写 1冊 美濃 和	TK385-5	年頭御仏参御社参御規式 文政3年 文政3(1820)写 1冊 美濃 和	TK385-16	文化10(1813)写 1冊 美濃 和	
年頭御規式 文政11年 文政11(1828)写 1冊 半紙 和	TK385-6	年頭御仏参御社参御規式 文政5年 文政5(1822)写 1冊 美濃 和	TK385-17	雛名御祝儀御規式 文政2年 文政2(1819)写 1冊 美濃 和	TK385-26
正月二日御次第書(来末年) 写 1帖 折本 小	TK385-95	年頭御仏参御社参御規式 文政9年 文政9(1826)写 1冊 美濃 和	TK385-18	雛名御祝儀御規式 文政5年 文政5(1822)写 1冊 美濃 和	TK385-27
御謡初御規式 文化11年 文化11(1814)写 1冊 美濃 和	TK385-7	年頭御参詣御規式 文政11年 文政11(1828)写 1冊 半紙 和	TK385-19	雛名御祝儀規式 文政10(1827)写 1冊 半紙 和	TK385-28
御謡初御規式 文政3年 文政3(1820)写 1冊 美濃 和	TK385-8	年頭御社参御規式 文政11年 文政11(1828)写 1冊 半紙 和	TK385-20	大晦日御規式 文化10年 文化10(1813)写 1冊 美濃 和	TK385-29
御謡初御規式 文政5(1822)写 1冊 美濃 和	TK385-9	端午御献上并御賦(御留守年) 写 1冊 半紙 和	TK385-146	大晦日御規式 文政2年 文政2(1819)写 1冊 美濃 和	TK385-30
御謡初御規式 文政11(1828)写 1冊 半紙 和	TK385-10	重陽(御在府年) 写 1冊 半紙 和	TK385-147	大晦日御規式 文政4年 文政4(1821)写 1冊 美濃 和	TK385-31
御具足餅御祝儀御規式 文化11年 文化11(1814)写 1冊 美濃 和	TK385-11	御煤取御規式 文政2年 文政2(1819)写 1冊 美濃 和	TK385-21	大晦日御規式 文政10年 文政10(1827)写 1冊 半紙 和	TK385-32
御具足餅御祝儀御規式 文政3年 文政3(1820)写 1冊 美濃 和	TK385-12	御煤取御規式 文政4年 文政4(1821)写 1冊 美濃 和	TK385-22		
御具足餅御祝儀御規式 文政5年 文政5(1822)写 1冊 美濃 和	TK385-13	御煤取御規式 文政8年 文政8(1825)写 1冊 美濃 和	TK385-23		
御具足餅御祝儀御規式 文政9年 文政9(1826)写 1冊 美濃 和	TK385-14	御煤取御規式 文政10年 文政10(1827)写 1冊 半紙 和	TK385-24		
御具足餅御祝儀御規式 文政11年 文政11(1828)写 1冊 半紙 和	TK385-15	雛名御祝儀御規式 文化10年	TK385-25		
					TK386 冠婚葬祭
					[鶴松殿御誕生御祝儀御樽肴献上披露之儀御奉書] 閏正月19日 津軽土佐守(信義)宛 TK386-10 [慶安元](1648)写(原本)1通 註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
					[大納言様御中剃始之儀樽肴献上披露之儀御奉書] 4月8日 津軽土佐守(信義)宛 TK386-13 [慶安元](1648)写(原本)1通 註:阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より

〔若君様御誕生御祝儀目録通進上披露之儀御奉書〕

9月8日 津軽土佐守(信義)宛 TK386-11

写(原本)1通

註:阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より

〔家千代様御七夜御祝儀目録之通献上披露之儀御奉書〕

津軽越中守(信政)宛 TK386-12

嘉永4(1707)写(原本)2通

内容:第1(7月18日 小笠原佐渡守長重より)

第2(7月18日 井上河内守正岑より)

姫君様御懐胎より勝千代様御誕生迄一卷帳 TK386-125

(間宮藏人於京都相勤候御使者一卷)

享保4(1719)写 1冊 美濃 和

御子様方御養御宮参都而御祝一式 御書方 TK386-96

享保4~弘化3(1719~1846)写 1冊 半紙 和

〔万寿姫君様御七夜御祝儀目録進上披露之儀御奉書〕

8月15日 津軽出羽守(信寧)宛 TK386-14

宝曆11(1761)写(原本)1通

註:松平右近将監武元より

〔万寿姫君様御色直御祝儀献上之儀御奉書〕 TK386-15

12月2日 津軽出羽守(信奉)宛

宝曆11(1761)写(原本)1通

註:松平右近将監武元より

〔若君様御髪置御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕

11月2日 津軽出羽守(寧親)宛 TK386-16

寛政7(1795)写(原本)1通

註:松平伊豆守信明より

〔御髪置御祝儀若君様江如目録献上披露之儀御奉書〕

11月2日 津軽出羽守(寧親)宛 TK386-17

寛政7(1795)写(原本)1通

註:松平伊豆守信明より

〔御台様御着帯御祝儀目録之通献上披露之儀御奉書〕

12月16日 津軽出羽守(寧親)宛 TK386-18

寛政7(1795)写(原本)1通

註:安藤対馬守信成より

〔御台様御着帯御祝儀若君様江目録之通献上披露之儀御奉書〕12月16日 津軽出羽守(寧親)宛 TK386-19

寛政7(1795)写(原本)1通

註:安藤対馬守信成より

〔御台様御安産御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕

4月朔日 津軽出羽守(寧親)宛 TK386-20

寛政8(1796)写(原本)1通

註:松平伊豆守信明より

〔御台様御安産御祝儀若君様江如目録献上披露之儀御奉書〕

4月朔日 津軽出羽守(寧親)宛 TK386-21

寛政8(1796)写(原本)1通

註:松平伊豆守信明より

〔姫君様御誕生目出度旨言上之儀御奉書〕 TK386-22

津軽出羽守(寧親)宛

寛政8(1796)写(原本)2通

内容:第1(8月16日 戸田采女王氏教より)

第2(11月29日 松平伊豆守信明より)

〔姫君様御誕生若君様江目出度旨言上之儀御奉書〕

津軽出羽守(寧親)宛 TK386-23

寛政8(1796)写(原本)2通

内容:第1(8月16日 松平伊豆守信明より)

第2(11月29日 安藤対馬守信成より)

〔姫君様御誕生目出度旨言上之儀御奉書〕 TK386-24

津軽越中守(寧親)宛

享和2(1802)写(原本)2通

内容:第1(6月15日 水野出羽守忠友より)

第2(6月15日 安藤対馬守信成より)

満佐姫様御鉄漿初御祝之次第 御附御書方 TK386-91

享和3(1803)写 1冊 半紙 和

〔御簾中様御着帯目出度旨言上之儀御奉書〕 TK386-25

津軽越中守(寧親)宛

文化10(1813)写(原本)2通

内容:第1(9月13日 土井大炊頭利厚より)

第2(9月13日 松平能登守乗保より)

〔大隅守袖留申度儀伺書〕 TK386-77

御附紙共 2月5日 津軽越中守(寧親)

文化12(1815)写(原本)1通

註:大隅守は津軽信順

〔大隅守前髪執申度儀伺書〕 TK386-76

御附紙共 9月23日 津軽越中守(寧親)

〔文化13〕(1816)写(原本)1通

註:大隅守は津軽信順

〔紀伊中将殿御簾中御安産目出度旨言上之儀御奉書〕

津軽越中守(寧親)宛

TK386-26

文化14(1817)写(原本)2通

内容:第1(9月25日 松平能登守乗保より)

第2(9月25日 青山下野守忠裕より)

〔竹千代様御七夜御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕

津軽雅之助(信順)宛

TK386-27

文化10(18B)写(原本)2通

- 内容：第1（11月6日 松平伊豆守信明より）
第2（11月6日 松平能登守乗保より）
- 〔竹千代様御色直御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕
津軽雅之助（信順）宛 **TK386-28**
文化11（1814）写（原本）2通
内容：第1（2月2日 松平伊豆守信明より）
第2（2月13日 松平能登守乗保より）
- 〔御簾中様御安産御七夜御祝儀如目録献上披露御奉書〕
津軽大隅守（信順）宛 **TK386-29**
文化12（1815）写（原本）2通
内容：第1（2月23日 青山下野守忠裕より）
第2（2月23日 松平能登守乗保より）
- 〔武之助袖留申度儀伺書〕 **TK386-74**
御附紙共 2月23日 津軽越中守（順承）
嘉永6（1853）写（原本）1通
- 〔武之助前髪執申度儀伺書〕 **TK386-75**
御附紙共 3月5日 津軽越中守（順承）
嘉永6（1853）写（原本）1通
- 於貴様御建神江御参詣二付御内祝典被進方被下方一件
慶応4（1868）写 1冊 半紙 和 **TK386-97**
- 敏武丸様御産婦御用留 明治元年,2年 **TK386-105**
明治2,3（1869,70）写 1冊 半紙 和
- ◇
- 〔千代姫君様御祝言に就献上目録披露之儀御奉書〕
10月22日 津軽土佐守（信義）宛 **TK386-30**
〔寛永16〕（1639）写（原本）1通
註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱
- より
- 京都御結納惣目録并覚書〔宝永7年〕 **TK386-31**
〔宝永7〕（1710）写 2冊 横長
- 〔若殿様御婚礼相济候為御祝儀京都御使者相勤候覚〕
正徳6年 津軽監物 唐牛甚右衛門 **TK386-95**
正徳6（1716）写 1冊 半紙倍 和
- 〔大納言様御婚礼御祝儀目録献上披露之儀御奉書〕
津軽勝千代（信著）宛 **TK386-32**
享保16（1731）写（原本）2通
内容：第1（12月16日 松平左近将監乗邑より）
第2（12月16日 安藤対馬守信成より）
- 〔婚姻御礼献上物伺書〕 **TK386-81**
御附紙共 11月25日 津軽出羽守（信寧）
宝暦11（1761）写（原本）1通
- 〔義姫婚姻相整度旨願書〕 **TK386-82**
御附紙共 10月6日 津軽越中守（信寧）
天明2（1782）写（原本）1通
- 〔種姫君様御結納御祝儀進上披露之儀御奉書〕 **TK386-33**
津軽越中守（信寧）宛
天明3（1783）写（原本）2通
内容：第1（4月16日 田沼主殿頭意次より）
第2（4月16日 鳥居丹波守忠意より）
- 若殿様御縁組願之通被仰出候節御老中様御渡之御書付
天明3年8月14日 **TK386-34**
天明3（1783）写（原本）1通
- 御引取御婚姻御規式帳 **TK386-122**
天明6（1786）写 1冊 美濃 和
- 御婚姻御礼被仰上候節之御帳 **TK386-121**
天明6（1786）写 1冊 美濃 和
- 皆子餅御取替御規式帳 **TK386-101**
天明6（1786）写 1冊 半紙 和
- 〔御結納御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕 **TK386-35**
4月19日 津軽土佐守（信明）宛
天明8（1788）写（原本）1通
註：牧野備後守貞長より
- 〔種姫君様御入輿御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕
11月28日 津軽土佐守（信明）宛 **TK386-36**
天明8（1788）写（原本）1通
註：水野出羽守忠友より
- 〔淑姫君様御結納御祝儀目出度旨言上之儀御奉書〕
12月27日 津軽出羽守（寧親）宛 **TK386-37**
寛政8（1796）写（原本）1通
註：戸田采女正氏敦より
- 〔淑姫君様御結納御祝儀目出度旨若君様江言上之儀御奉書〕
12月27日 津軽出羽守（寧親）宛 **TK386-38**
寛政8（1796）写（原本）1通
註：水野出羽守忠友より
- 〔淑姫君様御入輿御祝儀目録之通献上披露之儀御奉書〕
11月16日 津軽越中守（寧親）宛 **TK386-39**
寛政11（1799）写（原本）1通
註：松平伊豆守信明より
- 〔数姫様森様江御縁組御治定覚〕 **TK386-130**
〔寛政11〕（1799）写 3冊 半紙 和

〔大納言様より姫宮様江御結納目出度旨言上之儀御奉書〕 津輕越中守（寧親）宛 TK386-40 文化6（1809）写（原本）2通 内容：第1（7月4日 牧野備前守忠精より） 第2（7月4日 安藤対馬守信成より）	御道具御贈御日限御治定ニ付御使被参候一件 TK386-99 文政9年 文政9（1826）写 1冊 半紙 和	一件 文政9年 文政9（1826）写 1冊 半紙 和
〔共姫様縁組願之通被仰付御礼之儀御奉書〕 TK386-41 6月25日 津輕越中守（寧親）宛 文化7（1810）写（原本）1通 註：松平伊豆守信明より	御道具御贈初并御入輿御吉辰被仰込候一件 TK386-100 文政9年 文政9（1826）写 1冊 半紙 和	御里被之節御供之御家老初田安様江御目通之 TK386-98 次第 文政9年 文政9（1826）写 1冊 半紙 和
〔姫様婚姻之御礼之儀御奉書〕 TK386-42 津輕越中守（寧親）宛 文化10（1813）写（原本）2通 内容：第1（7月11日 松平能登守乗保より） 第2（7月11日 松平伊豆守信明より）	御婚姻御使者帳 文政9年 調方御書方 TK386-120 文政9（1826）写 1冊 半紙 和	御響入御里披被為濟御合礼御使一件 TK386-113 文政9年 文政9（1826）写 1冊 半紙 和
御姫様御婚礼御入用一式調帳 文化10年 TK386-1 弘前日記方 文化10（1813）写 1冊 半紙 和	御婚姻御当日之一件 文政9年 TK386-117 文政9（1826）写 1冊 半紙 和	御里披之節田安様惣女中并役々江被下方 TK386-109 一件 文政9年 文政9（1826）写 1冊 半紙 和
満佐姫様御婚礼諸御規式御献立帳 TK386-94 文化10（1813）写 1冊 半紙 和	御婚姻御当日之一件 文政9年 TK386-118 文政9（1826）写 1冊 半紙 和	〔御婚姻之〕御礼御献上昇被進方一件 TK386-115 文政9年 文政9（1826）写 1冊 半紙 和
〔良姫婚姻相整度由願ニ付御書付〕 TK386-79 津輕越中守（寧親）宛 文政3（1820）写（原本）1通	御婚姻御祝儀御料理一件 文政9年 TK386-114 文政9（1826）写 1冊 半紙 和	御婚姻御祝儀御祝被下方一件 文政9年 TK386-92 文政9（1826）写 1冊 半紙 和
〔良姫婚姻御礼之節献上物之儀伺書〕 TK386-78 御附紙共 6月11日 津輕越中守（寧親） 文政3（1820）写（原本）1通	皆子餅御取替初而女使初而御文使一件 TK386-108 文政9年 文政9（1826）写 1冊 半紙 和	御婚姻御祝儀御祝被下方一件 文政9年 TK386-116 文政9（1826）写 1冊 半紙 和
御婚礼諸事例帳 文政9年 TK386-119 文政9（1826）写 1冊（2冊合本）半紙 和	皆子餅御取替初而女使初而御文使一件 TK386-107 文政9年 文政9年（1826）写 1冊 半紙 和	御婚礼被為濟候ニ付侍従様御前様より被下方一件 TK386-93 文政9（1826）写 1冊 半紙 和
	御響入御里被 文政9年 TK386-112 文政9（1826）写 1冊 半紙 和	〔文姫君様御婚礼御祝如目録献上披露之儀御奉書〕 TK386-43 11月28日 津輕越中守（信順）宛 文政10（1827）写（原本）1通 註：大久保加賀守忠真より
	御響入御里披一件 文政9年 TK386-111 文政9（1826）写 1冊 半紙 和	〔右大将様御結納目出度旨言上之儀御奉書〕 TK386-44 津輕越中守（順承）宛
	御響入御里被之節御二方様御供方江被下方 TK386-110	

- 嘉永2(1849)写(原本)2通
内容:第1(12月25日 久世大和守広周より)
第2(12月25日 松平伊賀守忠優より)
- 〔線姫君様御結納御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕
津軽越中守(順承)宛 TK386-45
嘉永4(1851)写(原本)2通
内容:第1(12月4日 久世大和守広周より)
第2(12月4日 牧野備中守忠雅より)
- 〔線姫君様御婚礼御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕
12月16日 津軽越中守(頃重)宛 TK386-46
嘉永6(1853)写(原本)1通
註:牧野備前守忠雅より
- 御髪養子御祝帳 安政3年,4年 御詰所 TK386-2
安政3,4(1856,57)写 1冊 半紙 和
- 〔若殿様御結婚一件〕 TK386-3
安政4(1857)写 1冊(5冊合本)半紙 和
註:津軽承昭と常姫との結婚の際の御用掛矢野文内石川蔵次郎の一件留
- 若殿様御結幣之節細川様江披進物持参行列之書付
安政4年 TK386-129
安政4(1857)写 1通
- 御婚姻御合盃御色直御祝御膳御式調 TK386-4
(安政4年)御側役
安政4(1857)写 1冊 半紙 和
- 信君様御下向一件 明治2年 公務方書記 TK386-104
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
註:近衛信君尹子婚姻一件
- 信君様御下向ヨリ御婚礼済迄一件 TK386-5
石川蔵次郎 戸沢八十吉 奈良岡権蔵
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
註:津軽承昭と近衛信君尹子との婚礼一件
- 信君様御婚礼一件 御用掛御書方 TK386-6
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
註:慶応2年~明治3年まで
- 信君様御婚礼一件 公務方筆生 TK386-7
明治3(1870)写 1冊 半・紙 和
註:明治2年~同3年
- 御両敬御取替一件 TK386-128
写 1冊 半紙 和
- ◇
- 〔台徳院様御遠忌万部経御執行香典献上達上聞儀御奉書〕
正月29日 津軽土佐守(信義)宛 TK386-47
〔正保元〕(1644)写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 〔台徳院様御年忌御香典進上御奉書〕 TK386-48
正月27日 津軽土佐守(信義)宛
写 1通
註:阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 〔台徳院様御遠忌御法事御香典献上御奉書〕 TK386-49
正月晦日 津軽土佐守(信義)宛
写(原本)1通
註:阿部豊後守忠秋 酒井雅楽頭忠精より
- 〔台徳院様御遠忌相済目出度使者差越に付御奉書〕
- 2月2日 津軽土佐守(信義)宛 TK386-50
写 1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 〔日光御参詣御祭礼御法事執行目出度使者差越樽肴進上披露御奉書〕 TK386-51
4月28日 津軽土佐守(信義)宛
写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- 〔宝樹院殿御遠忌御執行東叡山御参詣之儀珍重旨言上御奉書〕 正月17日 津軽越中守(信政)宛 TK386-52
延宝5(1677)写(原本)1通
註:土屋但馬守須数直より
- 〔天英院様御霊前御香典献上伺〕 TK386-83
御附紙共 8月17日 津軽岩松(信寧)
延享元(1744)写(原本)1通
- 〔惇信院様御忌日御霊前拜礼伺書〕 TK386-80
御附紙共 8月8日 津軽出羽守(信寧)
宝暦11(1761)写(原本)1通
- 〔中陰御機嫌伺言上之儀御奉書〕 TK386-53
3月26日 津軽越中守(信寧)宛
安永8(1779)写(原本)1通
註:田沼主殿頭意次より
- 〔孝恭院様御法事に付石花菜献上披露之儀御奉書〕
2月12日 津軽越中守(信寧)宛 TK386-54
安永9(1780)写(原本)1通
註:板倉佐渡守勝清より

〔台徳院様百五十回御忌法事付御香典献上旨言上之儀御奉書〕 2月24日 津輕越中守(信寧)宛 TK386-55
天明元(1781)写(原本)1通
註:松平周防守康福より

〔孝恭院様三回御忌法事付御香奠献上旨言上之儀御奉書〕
3月24日 津輕越中守(信寧)宛 TK386-56
天明元(1781)写(原本)1通
註:松平右京大夫輝高より

〔惇信院様御法事に付石花菜献上披露之儀御奉書〕
6月9日 津輕越中守(信寧)宛 TK386-57
天明3(1783)写(原本)1通
註:松平周防守康福より

〔孝恭院様十三回忌御法事付御香典献上之趣言上御奉書〕
3月24日 津輕土佐守(信明)宛 TK386-58
寛政3(1791)写(原本)1通
註:松平和泉守乘完より

〔孝恭院様二十五回御忌法事付御香典献上之旨言上御奉書〕
3月24日 津輕越中守(寧親)宛 TK386-59
享和3(1803)写(原本)1通
註:戸田采女正氏教より

〔常憲院様百回御忌法事御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 11月23日 津輕越中守(寧親)宛 TK386-60
文化4(1807)写(原本)1通
註:松平伊豆守信明より

〔惇信院様五十回忌法事に付御香典献上旨言上之儀御奉書〕
7月12日 津輕越中守(寧親)宛 TK386-61
文化7(1810)写(原本)1通
註:牧野備前守忠精より

〔東叡山御霊前参詣予参相勤之節足袋相用度儀伺書〕
御附紙共 2月20日 津輕越中守(寧親) TK386-73
文化8(1811)写(原本)1通

〔御法会ニ付若殿様拜礼并惣出仕登城之儀内意伺〕
御達書共 TK386-72
文化8(1811)写(原本)2通
註:津輕越中守家来笠原八郎兵衛より

〔東照宮二百回忌御法会御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕
津輕大隅守(信順)宛 TK386-62
文化12(1815)写(原本)2通
内容:第1(4月25日 青山下野守忠裕より)
第2(4月25日 松平能登守乗保より)

長勝寺報恩寺江御仏参御規式帳 文政8年 TK386-8
文政8(1825)写 1冊 美濃 和

〔最樹院様一回忌御法事御香典献上旨言上之儀御奉書〕
3月20日 津輕越中守(信順)宛 TK386-63
文政11(1828)写(原本)1通
註:松平和泉守乗寛より

〔最樹院様一回忌法事東叡山御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 津輕越中守(信順)宛 TK386-64
文政11(1828)写(原本)2通
内容:第1(3月25日 植村駿河守家長より)
第2(3月25日 松平和泉守乗寛より)

〔孝恭院様五十回忌御法事御香典献上之旨言上之儀御奉書〕
3月24日 津輕越中守(信順)宛 TK386-65
文政11(1828)写(原本)1通
註:大久保加賀守忠真より

智幻院様一周御忌御茶湯御法事御用留 TK386-123

文政11年
文政11(1828)写 1冊 半紙 和

御香奠献上上野御本坊席附図式 TK386-66
文政12(1829)写 1枚 44×31
蔵印:弘前日記方

〔浄観院様中陰御法事御香典献上旨言上之儀御奉書〕
4月24日 津輕大隅守(順承)宛 TK386-67
天保11(1840)写(原本)1通
註:脇坂中務大輔より

〔浄観院一回忌御法事御香典献上之覚〕 10月 TK386-68
天保11(1840)写(原本)1通

〔文恭院様御法事之節大膳大夫様御予参之一件〕
天保14年 TK386-102
写 1冊 美濃 和
註:伊達大膳大夫様御予参之御例

文恭院様御七回忌御法事ニ付御予参御勤手続 TK386-103
弘化4年
弘化4(1847)写 1冊 美濃 和

〔桂光院様〕御法事御用留 嘉永7年 TK386-124
嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和

有孝院様御遺物被進方被遣方一件 TK386-127
安政3(1856)写 1冊 美濃 和

〔東叡山温恭院様御霊前御忌日参拜仕度伺書〕 TK386-88
御附紙共 9月25日 津輕土佐守(承昭)
安政5(1858)写(原本)1通

〔東叡山温恭院様御霊前忌日参拜仕度儀伺書〕 TK386-89

御附紙共 9月25日 津軽越中守(順承) 安政5(1858)写(原本)1通		註:大目付より		若殿様御目見無御滞被為濟并御縁組御願之通被為濟候御祝儀御料理事并御囃子被仰付候御規式帳 TK387-6 文化8年 文化8(1811)写1冊 半紙 和
寛広院殿御法事請定 TK386-85 元治元(1864)写1通 註:高野山遍照尊院において津軽信順3回忌法事		[東叡山有徳院様御霊前参詣行列御勤之儀御切紙] 6月19日 津軽土佐守宛 TK386-71 写(原本)1通 註:大目付より		御家門家格御取直被仰渡 文化14年 TK387-7 文化14(1817)写1冊 半紙 和 附:八百石以上之面々江被仰渡 註:津軽家家門の年頭そのほか重き規式の際の心得及び津軽繁吉家門同様仰付
蕙心院殿御法事請定 TK386-86 元治2(1865)写1通 註:高野山遍照尊院において津軽寧親室稲姫25回忌法事		[中陰明ニ付御肴献上之儀伺書] TK386-84 御附紙共 9月11日,9月17日 写(原本)2通 註:津軽越中守家来小田切平次 北川六左衛門より		御隠居御家督御礼被仰上候に付御二方様より御献上御目録并御献備御賦 TK387-8 文政8(1825)写1冊 半紙 和 註:津軽寧親隠居家督御礼の献上目録など(文政8年)
政徳院殿御法事請定 TK386-87 慶応3(1867)写1通 註:高野山遍照尊院において津軽順承3回忌法事		御遺物一件 御書方 TK386-126 写1冊(合冊)半紙 和	TK387 礼儀作法 社交	体孝院様上仙院様御肖像御下向一件 TK387-9 天保6(1835)写3冊 横長 和
敏武丸様御遠行ニ付御用留 明治2年 参政 TK386-106 明治2(1869)写1冊 半紙 和				御祝御能被仰出候に付御目見以上之寺社筆順名前書上扣帳 嘉永4年 寺社方 TK387-10 嘉永4(1851)写1冊 半紙横 和
三御寺御法事御施餓鬼費定額表 明治14年 TK386-9 明治14(1881)写1冊 半紙 和 註:三御寺は長陽寺 報恩寺 革秀寺		近衛関白様より被進候御守札御頂戴之覚 TK387-1 明和9年 明和9(1772)写1冊 半紙 和		御祝御能御用留 嘉永4年,5年 寺社方 TK387-11 嘉永4,5(1851,52)写1冊 半紙 和
御忌服 文化6年~元治2年 御右筆 TK386-90 文化6~元治2(1809~65)写2冊 半紙 和 内容:第1(文化6~天保12) 第2(天保15~元治2)		就御継目御家中御目見御規式 寛政4年 TK387-2 寛政4(1792)写1冊 美濃 和		御祝御能被仰出候ニ付御目見以上之寺社筆順名前書上扣帳 嘉永5年 寺社方 TK387-12 嘉永5(1852)写1冊 半紙横 和
[御法事留帳] 明治3年~大正5年 TK386-69 [津軽家弘前出張所] 写(明治3~大正5)1冊 半紙 和		御継目為御祝儀御料理事并御能被仰付候御規式帳 寛政6年 TK387-3 寛政6(1794)写1冊 美濃 和		孝行之者寄特之者家業方等実貞家内和順之者三夫婦之者御詮議被仰付候御用留 寺社方 TK387-13 嘉永5(1852)写1冊 半紙 和
◇		大川端御屋舗就御拝領御祝儀御規式帳 TK387-4 享和2年 享和2(1802)写1冊 美濃 和		御能御用留 孝行者寄特者家業方実貞家内和順三夫婦之者
[東叡山巖有院様御霊前参詣行列御勤之儀御切紙] 5月7日 津軽出羽守宛 TK386-70 写(原本)1通		御年始御祝儀御料理御能御規式 文化4年 TK387-5 文化4(1807)写1冊 美濃 和		

調書共入 寺社方 書翰 14 通	TK387-14	御儉約中御発駕御規式 寛政 13 年 寛政 13 (1801) 写 1 冊 美濃 和	TK387-23	◇	
若殿様御持鎗御先格茂有之候ニ付惣青貝柄為御持一件 御日記方 嘉永 5 (1852) 写 1 冊 美濃 和	TK387-15	御儉約中御発駕御規式 享和 3 年 享和 3 (1803) 写 1 冊 美濃 和	TK387-24		御国許江之御行列帳 安永 5 年 安永 5 (1776) 写 1 冊 縦長 和 TK387-34
勤方図式 御小納戸役 安政 6 (1859) 写 1 冊 半紙 和	TK387-16	御着城御祝儀御料理并御能被仰付候御規式帳 文化 3 年 文化 3 (1806) 写 1 冊 美濃 和	TK387-25		御規式御行列帳 文化 3 (1806) 写 1 冊 縦長 和 TK387-35
御目録扣〔進献物〕御右筆 文久 3 (1863) 写 1 冊 半紙 和 註：文久 3 年より明治 4 年までの進献物の目録	TK387-17	御発駕御祝儀御料理并御能被仰付候御規式帳 文化 4 年 文化 4 (1807) 写 1 冊 美濃 和	TK387-26		御参府御行列帳 文政 5 (1822) 写 1 冊 半紙 和 TK387-36
御住居書 慶応 4 (1868) 写 1 冊 半紙倍 和 註：「中奥御用物」の印があり山吹之間・西湖之間・山水之間・梅の間・浪の間などの四季の取扱い方を記したもの	TK387-18	御発駕御規式 文化 4 年 文化 4 (1807) 写 1 冊 美濃 和	TK387-27		御参府御供登調帳 文政 5 年 文政 5 (1822) 写 1 冊 半紙 (横) 和 TK387-37
当用書礼 写 1 冊 半紙 和 註：恒例進物書状したゝめの書例	TK387-19	御発駕御規式 文化 5 年 文化 5 (1808) 写 1 冊 半紙 和	TK387-28		御道中御行列増減調帳 文政 5 年 文政 5 (1822) 写 1 冊 半紙 (横) 和 註：文化 7 年の際と文政 5 年の行列の増減 TK387-38
弘前表時候御尋并差上もの致面々へ被下方名簿 明治 13 年 10 月～同 15 年 会算方 明治 13～15 (1880～82) 写 1 冊 半紙 和	TK387-20	御発駕御規式 文化 7 年 文化 7 (1810) 写 1 冊 美濃 和	TK387-29		御下向御行列帳 文政 10 年 文政 10 (1827) 写 1 冊 横長 内容：御道中御番割之帳并御役附御道中掟 関札打御宿 取江之書付并御遊積 TK387-39
	◇	御発駕御規式 文化 11 年 文化 11 (1814) 写 1 冊 半紙 和	TK387-30		御行列帳 写 1 冊 縦長 和 TK387-40
御入部ニ付御着城御規式 寛政 4 年 寛政 4 (1792) 写 1 冊 美濃 和	TK387-21	御発駕御規式 文化 13 年 文化 13 (1816) 写 1 冊 半紙 和	TK387-31		琉球人行列書 写 3 冊 20.7×9.7 和 TK387-41
御儉約中御着城御規式帳 寛政 12 年 寛政 12 (1800) 写 1 冊 半紙 和	TK387-22	御着城御規式帳 文政 4 年 文政 4 (1821) 写 1 冊 半紙 和	TK387-32		年中行事 平岡群蔵 (大年) 松野茂右衛門 (直純) 兼松蔵之丞 (久庸) 寛政 8 (1796) 写 1 冊 美濃 和 註：寛政 8 年の編輯であるが嘉永 7 年までの追記や雑 之部がある 4 月参府より始め 4 月国元への発駕までの TK387-42
		御発駕御規式 明治 2 年 明治 2 (1869) 写 1 冊 半紙 和	TK387-33		

- 一年間の江戸における諸規式
- 年中行事 御小納戸役 TK387-43
写(文政頃)1冊 半紙 和
註:寛政8年の編輯の写本であるが雑部に省略及び違った記事がある
- 年中行事 TK387-44
文化13(1816)写 1冊 半紙 和
註:正月より12月まで一年間の御国における諸規式
- 年中行事 TK387-45
天保12(1841)写 1冊 半紙 和
註:正月より12月まで一年間の御国における諸規式
- 年中行事 御小納戸 TK387-46
写 1冊 半紙 和
註:5月着城より翌年5月まで国元においての諸行事の召物
- ◇
- [御本丸火事に就て使者并泥障進上披露之儀御奉書]
9月12日 津軽土佐守(信義)宛 TK387-62
〔寛永16〕(1639)写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- [舎弟左京事御小性組之御番被仰付御樽肴進上披露之儀御奉書] 8月19日 津軽土佐守(信義)宛 TK387-77
〔寛永19〕(1642)写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- [春日御局死去之儀に付御機嫌伺御奉書写] TK387-65
- 10月17日 津軽土佐守(信義)宛
〔寛永20〕(1643)写 1通
註:阿部対馬守 阿部豊後守より
- [大僧正遷化之儀につき御機嫌伺御奉書] TK387-66
11月24日 津軽土佐守(信義)宛
〔寛永20〕(1643)写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋より
- [東照大権現御宮号宣下に付御樽肴献上披露之儀御奉書]
12月27日 津軽土佐守(信義)宛 TK387-72
〔正保2〕(1645)写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 松平伊豆守信綱より
- [亀松殿御逝去之儀御奉書] TK387-63
8月26日 津軽土佐守(信義)宛
〔正保4〕(1647)写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- [亀松殿御逝去之儀に付使者差越について御奉書]
9月4日 津軽土佐守(信義)宛 TK387-64
〔正保4〕(1647)写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- [公方様御頭痛気御見舞之儀御奉書] TK387-75
閏正月5日 津軽土佐守(信義)宛
〔慶安元〕(1648)写(原本)1通
註:阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- [西丸御移徒に就錫鉢同提子献上披露之儀御奉書]
9月19日 津軽土佐守(信義)宛 TK387-67
〔慶安3〕(1650)写(原本)1通
註:阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿より
- [黄鷹進上披露之儀御奉書] TK387-47
津軽土佐守(信義)宛
写(原本)6通
内容:第1(9月15日 松平伊豆守信綱より)第2(9月20日 松平伊豆守信綱より)第3(9月26日 阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋より)第4(9月29日 松平伊豆守信綱より)第5(9月晦日 牧野内匠頭信成より)第6(10月16日 松平伊豆守信綱より)
- [大鷹献上披露之儀御奉書] TK387-48
津軽土佐守(信義)宛
写(原本)2通
内容:第1(10月9日 松平伊豆守信綱より)第2(11月20日 松平伊豆守信綱より)
- [雉献上披露之儀御奉書] TK387-49
正月25日 津軽土佐守(信義)宛
写(原本)1通
註:阿部豊後守忠秋 酒井雅楽頭忠清より
- [御機嫌伺之使者及漬蕨并串海鼠進上披露之儀御奉書]
9月16日 津軽土佐守(信義)宛 TK387-50
写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より
- [漬蕨臘臍進上披露之儀御奉書] TK387-51
9月28日 津軽土佐守(信義)宛
写(原本)1通
註:阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋より
- [鮭進上披露之儀御奉書] TK387-52
11月18日 津軽土佐守(信義)宛
写(原本)1通

註：阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱 酒井雅楽頭忠清より

〔塩引鮭昆布献上披露之儀御奉書〕 TK387-53

11月21日 津軽土佐守（信義）宛
写（原本）1通

註：阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿 松平伊豆守信綱より

〔寒気御見舞塩鶴漬蔵進上披露之儀御奉書〕 TK387-54

12月16日 津軽土佐守（信義）宛
写（原本）1通

註：阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿 松平伊豆守信綱より

〔鶴膾臍進上披露之儀御奉書〕 TK387-55

12月19日 津軽土佐守（信義）宛
写（原本）1通

註：松平伊豆守信綱より

〔御機嫌伺鱈進上披露之儀御奉書〕 TK387-56

12月28日 津軽土佐守（信義）宛
写（原本）1通

註：阿部豊後守忠秋 松平和泉守乗寿 松平伊豆守信綱より

〔大納言様牛込御殿江為成候儀目出度使者差越に付御奉書〕

3月28日 津軽土佐守（信義）宛 TK387-57
写 1通

註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より

〔御城廻被戒候儀目出度御機嫌伺并横手迄罷越承届之儀御奉書〕 3月晦日 津軽土佐守（信義）宛 TK387-58

写 1通

註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より

〔若君様御宮参御祝儀樽肴献上披露之儀御奉書〕

2月23日 津軽土佐守（信義）宛 TK387-59
写 1通

註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より

〔公方様東叡山御参詣相済に付鱈進上披露之儀御奉書〕

12月28日 津軽土佐守（信義）宛 TK387-60
写（原本）1通

註：阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱 酒井雅楽頭忠清より

〔日光御参詣に就て使者差越御羽織進上披露之儀御奉書〕

4月11日 津軽土佐守（信義）宛 TK387-61
写（原本）1通

註：阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より

〔二丸三丸御移徒に就き諸品進上披露之儀御奉書〕

8月12日 津軽土佐守（信義）宛 TK387-68
写（原本）1通

註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より

〔若君様御移徒之御祝儀品々進上披露之儀御奉書〕

7月29日 津軽土佐守（信義）宛 TK387-69
写（原本）1通

註：阿部対馬守重次 松平伊豆守信綱より

〔御移徒御祝儀御太刀御馬献上披露之儀御奉書〕

12月23日 津軽土佐守（信義）宛 TK387-70
写（原本）1通

註：堀田加賀守正盛 阿部豊後守忠秋 酒井讃岐守忠

勝 土井大炊頭利勝より

〔日光御門跡参府之儀御祝儀披露之儀御奉書〕 TK387-71

11月20日 津軽土佐守（信義）宛
写（原本）1通

註：松平伊豆守信綱より

〔大納言様御病気御見舞之儀御奉書〕 TK387-73

津軽土佐守（信義）宛
写（原本）2通

内容：第1（正月13日 牧野内匠頭信成より）第2（正月16日 阿部対馬守重次 松平伊豆守信綱より）

〔大納言様御不例快気日出度御機嫌伺返書〕 TK387-74

正月19日 津軽土佐守（信義）宛
写 1通

註：牧野内匠頭信成より

公方様御腹中気御本復日出度又甚地震に付御機嫌伺之儀御奉書 6月11日 津軽土佐守（信義）宛 TK387-76

写（原本）1通

註：阿部対馬守重次 阿部豊後守忠秋 松平伊豆守信綱より

◇

〔黄鷹献上披露之儀御奉書〕 TK387-78

津軽越中守（信泣）宛

寛文4～貞享2（1664～85）写（原本）9通

内容：第1（寛文4年9月29日 稲葉美濃守正則より）

第2（寛文4年12月12日 稲葉美濃守正則より）

第3（寛文7年10月朔日 久世大和守広之より）

第4（寛文7年10月2日 稲葉美濃守正則より）

第5（寛文7年10月28日 稲葉美濃守正則より）

第6（延宝8年9月6日 堀田備中守正俊より）

- 第7 (貞享2年9月23日 戸田山城守忠昌より)
 第8 (貞享2年10月10日 大久保加賀守忠朝より)
 第9 (貞享2年10月23日 大久保加賀守忠朝より)
- 〔鱈献上披露之儀御奉書〕 **TK387-80**
 津輕越中守 (信政) 宛
 寛文4～貞享2 (1664～85) 写 (原本) 4通
 内容:第1 (寛文4年12月26日 稲葉美濃守正則より)
 第2 (寛文7年正月9日 板倉内膳正重矩より)
 第3 (寛文7年12月15日 板倉内膳正重矩より)
 第4 (貞享2年12月29日 阿部豊後守正武より)
- 〔緒献上披露之儀御奉書〕 **TK387-82**
 津輕越中守 (信政) 宛
 寛文4～元禄2 (1664～89) 写 (原本) 3通
 内容:第1 (寛文4年閏5月11日 稲葉美濃守正則より)
 第2 (延宝8年3月23日 大久保加賀守忠朝より)
 第3 (元禄2年6月19日 大久保加賀守忠朝より)
- 〔塩鶴并漬蕨献上披露之儀御奉書〕 **TK387-83**
 津輕越中守 (信政) 宛
 寛文4～延宝8 (1664～80) 写 (原本) 3通
 内容:第1 (寛文4年7月10日 久世大和守広之より)
 第2 (寛文7年7月10日 土屋但馬守数直より) 第3 (延宝8年7月26日 堀田備中守利房より)
- 〔塩鮭献上披露之儀御奉書〕 **TK387-84**
 津輕越中守 (信政) 宛
 寛文4～元禄8 (1664～95) 写 (原本) 5通
 内容:第1 (寛文4年11月18日 阿部豊後守忠秋より)
 第2 (寛文7年11月6日 土屋但馬守数直より)
 第3 (貞享2年10月19日 大久保加賀守忠朝より)
 第4 (元禄6年11月6日 大久保加賀守忠朝より)
 第5 (元禄8年11月11日 阿部豊後守正武より)
- 〔天樹院殿御逝去に就使者上聞御奉書〕 **TK387-95**
 3月9日 津輕越中守 (信政) 宛
 寛文6 (1666) 写 (原本) 1通
 註: 稲葉美濃守正則より
- 〔同姓数馬 (津輕信経) 儀御番入被仰付候に付御礼御奉書〕 **TK387-96**
 12月28日 津輕越中守 (信政) 宛
 寛文7 (1667) 写 (原本) 1通
 註: 板倉内膳正重矩より
- 〔御肴献上披露之儀御奉書〕 **TK387-81**
 津輕越中守 (信政) 宛
 寛文7～宝永4 (1667～1707) 写 (原本) 12通
 内容:第1 (寛文7年12月9日 板倉内膳正重矩より)
 第2 (元禄6年12月22日 阿部豊後守正武より)
 第3 (元禄8年12月21日 土屋相模守政直より)
 第4 (元禄13年5月10日 阿部豊後守正武より)
 第5 (元禄14年11月2日 小笠原佐渡守長重より)
 第6 (元禄14年12月26日 秋元但馬守喬知より)
 第7 (元禄15年4月4日 小笠原佐渡守良重より)
 第8 (元禄16年11月6日 小笠原佐渡守良重より)
 第9 (元禄16年12月25日 秋元但馬守喬朝より)
 第10 (宝永4年6月25日 稲葉丹後守正通より)
 第11 (宝永4年11月25日 小笠原佐渡守良重より)
 第12 (宝永4年11月25日 井上河内守正岑より)
- 〔雉献上披露之儀御奉書〕 **TK387-85**
 津輕越中守 (信政) 宛
 寛文7, 貞享2 (1667,85) 写 (原本) 2通
 内容:第1 (寛文7年12月19日 板倉内膳正重矩より)
 第2 (貞享2年12月25日 阿部豊後守正武より)
- 〔御鷹狩のため隅田川筋御成還御之趣恐悦之旨言上御奉書〕 **TK387-93**
 3月21日 津輕越中守 (信政) 宛
 延宝5 (1677) 写 (原本) 1通
- 註: 稲葉美濃守正則より
- 〔東叡山御参詣之趣恐悦之旨言上御奉書〕 **TK387-94**
 3月朔日 津輕越中守 (信政) 宛
 延宝5 (1677) 写 (原本) 1通
 註: 久世大和守広之より
- 〔薯蕷献上披露之儀御奉書〕 5月16日 **TK387-86**
 津輕越中守 (信政) 宛
 延宝8 (1680) 写 (原本) 1通
 註: 堀田備中守正俊より
- 〔枝柿献上披露之儀御奉書〕 6月4日 **TK387-87**
 津輕越中守 (信政) 宛
 延宝8 (1680) 写 (原本) 1通
 註: 土井能登守利房より
- 〔熟瓜献上披露之儀御奉書〕 6月23日 **TK387-88**
 津輕越中守 (信政) 宛
 延宝8 (1680) 写 (原本) 1通
 註: 土井能登守利房より
- 〔大鷹献上披露之儀御奉書〕 11月22日 **TK387-79**
 津輕越中守 (信政) 宛
 貞享2 (1685) 写 (原本) 1通
 註: 松平日向守信之より
- 〔御馬献上披露之儀御奉書〕 **TK387-90**
 津輕越中守 (信政) 宛
 貞享2～宝永4 (1685～1707) 写 (原本) 7通
 内容:第1 (貞享2年6月18日 戸田山城守忠昌より)
 第2 (元禄6年6月25日 戸田山城守忠昌より)
 第3 (元禄8年6月25日 大久保加賀守忠朝より)
 第4 (元禄14年7月晦日 秋元但馬守喬朝より)
 第5 (元禄16年6月21日 小笠原佐渡守長重より)

- 第6(宝永4年6月9日 土屋相模守政直より)
第7(宝永4年6月9日 本多伯耆守正永より)
- 〔漬蕨并御肴献上披露之儀御奉書〕 TK387-89
津軽越中守(信政)宛
貞享2～宝永4(1685～1707)写(原本)9通
内容:第1(貞享2年6月23日 戸田山城守忠昌より)
第2(元禄2年7月12日 阿部豊後守正武より)
第3(元禄6年7月3日 大久保加賀守忠朝より)
第4(元禄8年7月3日 阿部豊後守正武より)
第5(元禄13年7月3日 土屋相模守政直より)
第6(元禄14年7月3日 秋元但馬守喬朝より)
第7(元禄16年7月3日 秋元但馬守喬朝より)
第8(宝永4年7月3日 稲葉丹後守正通より)
第9(宝永4年7月3日 小笠原佐渡守長重より)
- 〔椎茸献上披露之儀御奉書〕5月朔日 TK387-91
津軽越中守(信政)宛
元禄13(1700)写(原本)1通
註:土屋相模守政直より
- 〔竜眼肉献上披露之儀御奉書〕6月19日 TK387-92
津軽越中守(信政)宛
宝永4(1707)写(原本)1通
註:土屋相模守政直より
- 日光就御普請御奉書写及三奉行様御連書之写 TK387-296
津軽越中守(信談)宛
写 5通
- ◇
- 〔雉子献上披露之儀御奉書〕 TK387-97
津軽土佐守(信寿)宛
〔正徳元〕～享保12(1711～27)写(原本)7通
内容:第1(〔正徳元年〕正月13日 大久保加賀守忠増より)第2(〔正徳元年〕12月29日 大久保加賀守忠

- 増より)第3(享保3年正月29日 井上河内守正岑より)第4(享保6年正月18日 井上河内守正岑より)第5(享保7年正月15日 戸田山城守忠真より)第6(享保8年正月13日 戸田山城守忠真より)第7(享保12年正月25日 松平伊賀守忠周より)
- 〔御肴献上披露之儀御奉書〕 TK387-98
津軽土佐守(信寿)宛
〔正徳元,2〕(1711,12)写(原本)5通
内容:第1(〔正徳元年〕正月12日 大久保加賀守忠増より)第2(〔正徳元年〕2月12日 井上河内守正岑より)第3(〔正徳元年〕11月22日 阿部豊後守正喬より)第4(〔正徳2年〕正月26日 井上河内守正岑より)第5(〔正徳2年〕5月12日 井上河内守正岑より)
- 〔岩茸献上披露之儀御奉書〕 TK387-99
津軽土佐守(信寿)宛
〔正徳元〕～享保3(1711～18)写(原本)3通
内容:第1(〔正徳元年〕2月5日 井上河内守正岑より)第2(〔正徳2年〕5月3日 井上河内守正岑より)第3(享保3年4月27日 水野和泉守忠之より)
- 〔御馬献上披露之儀御奉書〕6月13日 TK387-100
津軽土佐守(信寿)宛
〔正徳元〕(1711)写(原本)1通
註:秋元但馬守喬知より
- 〔漬蕨并御肴献上披露之儀御奉書〕7月3日 TK387-101
津軽土佐守(信寿)宛
〔正徳元〕(1711)写(原本)1通
註:阿部豊後守正喬より
- 〔御機嫌伺之儀御奉書〕6月朔日 TK387-106
津軽土佐守(信寿)宛
正徳4(1714)写(原本)1通

- 註:井上河内守正岑より
- 〔御機嫌伺并煎海鼠献上披露之儀御奉書〕 TK387-102
津軽土佐守(信寿)宛
正徳4(1714)写(原本)2通
内容:第1(6月26日 久世大和守重之より)第2(6月29日 本多中務大輔忠良 間部越前守詮房より)
- 〔公方様御不例御本復日出度儀言上御奉書〕 TK387-107
津軽土佐守(信寿)宛
正徳4(1714)写(原本)2通
内容:第1(4月23日 久世大和守重之より)第2(4月27日 本多中務大輔忠良 間部越前守詮房より)
- 〔塩鱈献上披露之儀御奉書〕 TK387-103
津軽土佐守(信寿)宛
享保3,12(1718,27)写(原本)2通
内容:第1(享保3年正月7日 井上河内守正岑より)第2(享保12年正月15日 松平伊賀守忠周より)
- 〔干鯛献上披露之儀御奉書〕5月2日 TK387-104
津軽土佐守(信寿)宛
享保3(1718)写(原本)1通
註:水野和泉守忠之より
- 〔寒中御機嫌伺并串鮑献上披露之儀御奉書〕 TK387-105
正月11日 津軽土佐守(信寿)宛
享保12(1727)写(原本)1通
註:松平伊賀守忠周より
- 〔雪降候付御機嫌伺言上御奉書〕 TK387-108
津軽土佐守(信寿)宛
享保6～12(1721～27)写(原本)3通

- 内容：第1（享保6年正月27日 井上河内守正岑より）
第2（享保8年正月26日 戸田山城守忠真より）
第3（享保12年閏正月19日 松平左近将監乗邑より）
- 〔公方様増上寺御霊屋御参詣之儀恐悦旨言上御奉書〕
津軽土佐守（信寿）宛 TK387-109
享保12,14（1727,29）写（原本）2通
内容：第1（享保12年2月12日 水野和泉守忠之より）
第2（享保14年3月7日 酒井讃岐守忠音より）
- 〔公方様東叡山御霊屋御参詣之儀恐悦旨言上御奉書〕
閏正月27日 津軽土佐守（信寿）宛 TK387-110
享保12（1727）写（原本）1通
註：松平左近将監乗邑より
- ◇
- 〔雉子献上披露遂候御奉書〕 TK387-111
正月7日 津軽出羽守（信著）宛
寛保2（1742）写（原本）2通
内容：第1（本多中務大輔忠良より）
第2（松平能登守乗賢より）
- 〔塩鱈献上披露遂候御奉書〕 TK387-112
正月11日 津軽出羽守（信著）宛
寛保2（1742）写（原本）2通
内容：第1（松平能登守乗賢より）
第2（本多中務大輔忠良より）
- ◇
- 〔家督御礼之節献上物之儀伺書〕 TK387-356
御附紙共 8月3日 津軽岩松（信寧）
延享元（1744）写（原本）3通
- 〔家督御礼之節御本丸年寄表使之女中江進物目録并請取裏書〕
8月15日 津軽岩松（信寧） TK387-353
延享元（1744）写（原本）1通
- 〔若黄鷹献上披露之儀御奉書〕10月13日 TK387-113
津軽岩松（信寧）宛
延享4（1747）写（原本）1通
註：堀田相模守正亮より
- 〔塩鱈献上披露之儀御奉書〕正月12日 TK387-116
津軽岩松（信寧）宛
延享4（1747）写（原本）1通
註：松平右近将監武元より
- 〔嘉祥御祝儀登城之儀伺書〕6月11日 TK387-302
津軽岩松（信寧）
宝暦3（1753）写（原本）1通
- 〔塩鱈献上伺之返書〕12月27日 TK387-117
津軽土佐守（信寧）宛
宝暦6（1756）写（原本）1通
註：大岡出雲守忠光より
- 〔塩鱈献上御伺之御返書〕12月11日 TK387-120
津軽右京亮（信寧）宛
〔宝暦7〕（1757）写（原本）1通
註：大岡出雲守忠光より
- 〔松平右京大夫様御連判列被仰付候節格状之返書〕
12月11日 津軽右京亮（信寧）宛 TK387-138
〔宝暦7〕（1757）写（原本）1通
註：大岡出雲守忠光より
- 〔東叡山深徳院御霊前御参詣之儀恐悦旨言上御奉書〕
12月4日 津軽出羽守（信寧）宛 TK387-144
- 宝暦8（1758）写（原本）1通
註：松平右近将監武元より
- 〔塩鱈献上披露之儀御奉書〕 TK387-121
津軽出羽守（信寧）宛
宝暦8～明和7（1758～70）写（原本）4通
内容：第1（宝暦8年11月28日 堀田相模守正亮より）
第2（宝暦8年11月28日 秋元但馬守涼朝より）
第3（宝暦11年12月6日 松平右近将監武元より）
第4（明和7年12月28日 松平右京大夫輝高より）
- 〔寒中御機嫌伺申鮑献上之儀御奉書〕 TK387-123
津軽出羽守（信寧）宛
宝暦8～安永2（1758～73）写（原本）4通
内容：第1（宝暦8年12月25日 松平右近将監武元より）
第2（宝暦8年12月25日 秋元但馬守涼朝より）
第3（安永2年正月9日 松平右京大夫輝高より）
第4（安永2年正月9日 阿部豊後守正允より）
- 〔岩茸献上披露之儀御奉書〕6月26日 TK387-130
津軽出羽守（信寧）宛
宝暦11（1761）写（原本）1通
註：秋元但馬守涼朝より
- 〔银杏献上披露之儀御奉書〕7月19日 TK387-131
津軽出羽守（信寧）宛
宝暦11（1761）写（原本）1通
註：松平右近将監武元より
- 〔漬蔵献上披露之儀御奉書〕7月21日 TK387-128
津軽出羽守（信寧）宛
宝暦11（1761）写（原本）1通
註：松平右近将監武元より
- 〔御馬献上披露之儀御奉書〕8月16日 TK387-124

- 津軽出羽守（信寧）宛
宝暦 11（1761）写（原本）1 通
註：井上河内守利容より
- 〔若黄鷹献上披露之儀御奉書〕 11 月 18 日 TK387-114
津軽出羽守（信寧）宛
宝暦 11（1761）写（原本）1 通
註：松平右近将監武元より
- 〔堀田相模守卒去に就御機嫌伺言上御奉書〕 TK387-141
3 月 18 日 津軽出羽守（信寧）宛
宝暦 11（1761）写（原本）1 通
往：秋元但馬守涼朝より
- 〔増上寺御霊屋御参詣之儀恐悦旨言上御奉書〕 TK387-148
3 月 6 日 津軽出羽守（信寧）宛
宝暦 11（1761）写（原本）1 通
註：秋元但馬守涼朝より
- 〔雉子献上披露之儀御奉書〕 TK387-126
津軽出羽守（信寧）宛
宝暦 11, 安永 2（1761, 73）写（原本）2 通
内容：第 1（宝暦 11 年正月 7 日 松平右京大夫輝高より）
第 2（安永 2 年正月 7 日 阿部豊後守正允より）
- 〔塩鱈献上之儀御奉書〕 TK387-118
津軽出羽守（信寧）宛
宝暦 12～安永 2（1762～73）写（原本）5 通
内容：第 1（宝暦 12 年正月 15 日 松平右京大夫輝高より）第 2（明和 7 年 12 月 28 日 阿部豊後守正允より）
第 3（明和 7 年 12 月 29 日 田沼主殿頭意次より）第 4（安永 2 年正月 21 日 松平右京大夫輝高より）第 5（安永 2 年正月 21 日 阿部豊後守正允より）
- 〔東叡山御霊前御参詣之儀恐悦旨言上御奉書〕 TK387-145

- 津軽出羽守（信寧）宛
明和 4, 6（1767, 69）写（原本）2 通
内容：第 1（明和 4 年 2 月 25 日 松平右近将監武元より）
第 2（明和 6 年 3 月朔日 松平右京大夫輝高より）
- 〔初雪御機嫌伺之儀言上御奉書〕 正月 5 日 TK387-136
津軽出羽守（信寧）宛
明和 8（1771）写（原本）2 通
内容：第 1（阿部豊後守正允より）
第 2（松平右近将監武元より）
- 〔大納言様江参勤御礼并端午献上物之儀伺書〕 TK387-300
御附紙共 4 月 12 日, 5 月 15 日 津軽出羽守（信寧）
明和 8（1771）写（原本）2 通
- 〔若黄鷹献上披露之儀御奉書〕 TK387-115
津軽越中守（信寧）宛
安永 4～天明 3（1775～83）写（原本）5 通
内容：第 1（安永 4 年, 10 月 29 日 松平右京大夫輝高より）
第 2（安永 8 年 10 月 5 日 板倉佐渡守勝清より）
第 3（安永 9 年 10 月 19 日 松平周防守康福より）
第 4（天明元年 11 月 7 日 田沼主殿頭意次より）
第 5（天明 3 年 11 月 11 日 久世大和守広明より）
- 〔漬蕨献上披露之儀御奉書〕 TK387-129
津軽越中守（信寧）宛
安永 4～天明 3（1775～83）写（原本）7 通
内容：第 1（安永 4 年 7 月 21 日 阿部豊後守正允より）
第 2（安永 4 年 7 月 21 日 板倉佐渡守勝清より）
第 3（安永 8 年 7 月 19 日 田沼主殿頭意次より）
第 4（安永 9 年 7 月 18 日 田沼主殿頭意次より）
第 5（天明元年 6 月 15 日 松平周防守康福より）
第 6（天明 3 年 7 月 22 日 鳥居丹波守忠意より）
第 7（天明 3 年 7 月 22 日 田沼主殿頭意次より）

- 〔御馬献上披露之儀御奉書〕 TK387-125
津軽越中守（信寧）宛
安永 4～天明 3（1775～83）写（原本）6 通
内容：第 1（安永 4 年 6 月 23 日 阿部豊後守正允より）
第 2（安永 4 年 6 月 23 日 松平右京大夫輝高より）
第 3（安永 8 年 6 月 7 日 板倉佐渡守勝清より）
第 4（天明元年 5 月 28 日 田沼主殿頭意次より）
第 5（天明 3 年 6 月 7 日 松平周防守康福より）
第 6（天明 3 年 6 月 7 日 鳥居丹波守忠意より）
- 〔塩引鮭献上披露之儀御奉書〕 TK387-122
津軽越中守（信寧）宛
安永 4～天明 3（1775～83）写（原本）7 通
内容：第 1（安永 4 年 11 月 29 日 阿部豊後守正允より）
第 2（安永 4 年 11 月 29 日 松平右巡将監武元より）
第 3（安永 8 年 12 月 5 日 松平周防守康福より）
第 4（天明元年 11 月 15 日 久世大和守広明より）
第 5（天明元年 11 月 15 日 鳥居丹波守忠意より）
第 6（天明 3 年 12 月 19 日 鳥居丹波守忠音より）
第 7（天明 3 年 12 月 19 日 松平周防守康福より）
- 〔東叡山御霊前御参詣恐悦旨言上御奉書〕 TK387-146
津軽越中守（信寧）宛
安永 4～9（1775～80）写（原本）4 通
内容：第 1（安永 4 年 3 月朔日 板倉佐渡守勝清より）
第 2（安永 4 年 3 月 7 日 松平周防守康福より）
第 3（安永 8 年 2 月 22 日 板倉佐渡守勝清より）
第 4（安永 9 年 6 月 15 日 板倉佐渡守勝清より）
- 〔初雪御機嫌伺言上之儀御奉書〕 TK387-137
正月 28 日 津軽越中守（信寧）宛
安永 5（1776）写（原本）1 通
註：松平右近将監武元より

- 〔土用御機嫌伺煎海鼠献上之儀伺書〕 TK387-349
御附紙共 6月23日 津輕越中守(信寧)
安永7(1778)写(原本)1通
- 〔氷菟蒟献上披露之儀御奉書〕 TK387-132
3月9日 津輕越中守(信寧)宛
安永8(1779)写(原本)1通
註:田沼主殿頭意次より 中陰御機嫌伺
- 〔大納言様薨御に付御機謙詞言上之儀御奉書〕 TK387-142
3月23日 津輕越中守(信寧)宛
安永8(1779)写(原本)1通
註:田沼主殿頭意次より
- 〔増上寺御霊屋御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-149
津輕越中守(信奉)宛
安永8~天明元(1779~81)写(原本)3通
内容:第1(安永8年3月9日 田沼主殿頭意次より)
第2(安永9年7月16日 田沼主殿頭意次より)
第3(天明元年3月5日 松平右京大夫輝高より)
- 〔暑中御機嫌伺煎海鼠献上披露之儀御奉書〕 TK387-133
7月2日 津輕越中守(信寧)宛
安永9(1780)写(原本)1通
註:田沼主殿頭意次より
- 〔板倉佐渡守卒去に付御機謙詞言上之儀御奉書〕 TK387-143
8月8日 津輕越中守(信寧)宛
安永9(1780)写(原本)1通
註:松平右京大夫輝高より
- 〔阿部豊後守月番加判被仰付候儀珍重旨言上之儀御奉書〕 TK387-139
8月13日 津輕越中守(信寧)宛
安永9(1780)写(原本)1通
註:松平右京大夫輝高より
- 〔御転任御作法相济日出度旨言上之儀御奉書〕 TK387-140
10月22日 津輕越中守(信寧)宛
安永9(1780)写(原本)1通
註:松平周防守康福より
- 〔塩鱈献上披露之儀御奉書〕 TK387-119
津輕越中守(信寧)宛
安永9,天明3(1780,83)写(原本)3通
内容:第1(安永9年正月13日 松平右京大夫輝高より)
第2(天明3年正月16日 田沼主殿頭意次より)
第3(天明3年正月16日 鳥居丹波守忠意より)
- 〔雉子献上披露之儀御奉書〕 TK387-127
津輕越中守(信寧)宛
安永9,天明3(1780,83)写(原本)3通
内容:第1(安永9年正月5日 松平右京大夫輝高より)
第2(天明3年正月7日 田沼主殿頭意次より)
第3(天明3年正月7日 鳥居丹波守忠意より)
- 〔雉子撃兼引替葛献上伺書〕 TK387-348
御附紙共 丑正月11日 津輕越中守(信寧)
〔天明元〕(1781)写(原本)1通
- 〔東叡山至心院様御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-147
3月29日 津輕越中守(信寧)宛
天明元(1781)写(原本)1通
註:松平右京大夫輝高より
- 〔土用中煎海鼠献上之儀伺書〕 TK387-350
御附紙共 6月18日 津輕越中守(信寧)
天明2(1782)写(原本)1通
- 〔雉子鱈取兼候ニ付引替献上之儀伺書〕 TK387-351
御附紙共 11月25日 津輕越中守(信寧)
- 天明3(1783)写(原本)1通
- 〔数子献上披露之儀御奉書〕 TK387-134
3月27日 津輕越中守(信寧)宛
天明4(1784)写(原本)2通
内容:第1(田沼主殿頭意次より)
第2(鳥居丹波守忠意より)
- 〔葛献上披露之儀御奉書〕 TK387-135
正月27日 津輕越中守(信寧)宛
天明4(1784)写(原本)2通
内容:第1(田沼主殿頭意次より)
第2(鳥居丹波守忠意より)
- ◇
- 〔官位之御礼献上物伺書〕 TK387-304
御附紙共 酉12月19日 津輕出羽守(信明)
〔安永6〕(1777)写 1通
- 〔漬蕨代椎茸献上之儀伺書〕 TK387-352
御附紙共 7月17日 津輕土佐守(信明)
天明4(1784)写(原本)1通
- 〔土用御機嫌伺献上物之儀伺書〕 TK387-301
御附紙共 津輕土佐守(信明)
天明6(1786)写(原本)1通
- 〔御代替御礼御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕 TK387-150
11月2日 津輕土佐守(信明)宛
天明6(1786)写(原本)1通
註:鳥居丹波守忠意 水野出羽守忠友 牧野越中守貞長 松平周防守康福より
- 〔御代替御礼相济日出度旨言上之儀御奉書〕 TK387-151

- 12月19日 津軽土佐守(信明)宛
天明6(1786)写(原本)2通
内容:第1(松平周防守康福より)
第2(井伊掃部頭直幸より)
- 〔寒中御機嫌伺申鮑献上披露之儀御奉書〕 TK387-152
12月9日 津軽土佐守(信明)宛
天明6(1786)写(原本)2通
内容:第1(松平周防守康福より)
第2(井伊掃部頭直幸より)
- 〔雉子献上之旨言上之儀御奉書〕 TK387-153
12月25日 津軽土佐守(信明)宛
天明6(1786)写(原本)1通
註:井伊掃部頭直幸より
- 〔鳥居丹波守月番加判被仰付候儀珍宣旨言上之儀御奉書〕
11月13日 津軽土佐守(信明)宛 TK387-161
天明6(1786)写(原本)2通
内容:第1(水野出羽守忠友より)
第2(井伊掃部頭直幸より)
- 〔御廟所御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-158
11月朔日 津軽土佐守(信明)宛
天明6(1786)写(原本)2通
内容:第1(井伊掃部頭直幸より)
第2(牧野越中守貞長より)
- 〔東叡山浚明院様御霊前石灯笼献上備之儀書付〕
12月 天明7(1787)写(原本)1通 TK387-160
- 〔塩鱈献上披露之儀御奉書〕正月7日 TK387-154
津軽土佐守(信明)宛
天明8(1788)写(原本)1通
註:水野出羽守忠友より
- 〔暑中御機嫌伺煎海鼠献上披露之儀御奉書〕 TK387-155
7月朔日 津軽土佐守(信明)宛
天明8(1788)写(原本)1通
註:牧野備後守貞長より
- 〔漬蕨献上披露之儀御奉書〕 TK387-156
7月19日 津軽土佐守(信明)宛
天明8(1788)写(原本)1通
註:松平伊豆守信明より
- 〔松前より御鷹献上道中之儀御奉書写〕 TK387-162
天明8年8月27日 津軽より古河迄領主宛
天明8(1788)写 1通
註:牧野備後守 松平伊豆守より
- 〔東叡山御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-159
津軽土佐守(信明)宛
天明8,寛政3(1788,91)写(原本)2通
内容:第1(天明8年10月28日 松平伊豆守信明より)
第2(寛政3年5月25日 松平伊豆守信明より)
- 〔御馬献上披露之儀御奉書〕 TK387-157
6月21日 津軽越中守(信明)宛
寛政3(1791)写(原本)1通
註:松平伊豆守信明より
- 〔参勤御礼献上物病気付何書〕 TK387-303
御附紙共 6月7日 津軽土佐守(信明)
寛政3(1791)写(原本)1通
- 〔若黄鷹献上披露之儀御奉書〕 TK387-163
10月18日 津軽和三郎(寧親)宛
- 寛政3(1791)写(原本)1通
註:戸田采女正氏教より
- 〔塩引鮭献上披露之儀御奉書〕 TK387-166
12月15日 津軽和三郎(寧親)宛
寛政3(1791)写(原本)1通
註:松平伊豆守信明より
- 〔雉子献上披露之儀御奉書〕 TK387-182
津軽出羽守(寧親)宛
寛政4,8(1792,96)写(原本)2通
内容:第1(寛政4年正月19日 松平和泉守乘完より)
第2(寛政8年正月6日 太田備中守資愛より)
- 〔塩鱈献上披露之儀御奉書〕 TK387-171
津軽出羽守(寧親)宛
寛政4~8(1792~96)写(原本)3通
内容:第1(寛政4年正月25日 松平和泉守乘完より)
第2(寛政6年正月29日 戸田采女正氏教より)
第3(寛政8年正月7日 太田備中守資愛より)
- 〔漬蕨献上披露之儀御奉書〕 TK387-174
津軽出羽守(寧親)宛
寛政4~8(1792~96)写(原本)3通
内容:第1(寛政4年6月25日 鳥居丹波守忠意より)
第2(寛政6年7月19日 安藤対馬守信成より)
第3(寛政8年7月18日 松平伊豆守信明より)
- 〔暑中御機嫌伺煎海鼠献上披露之儀御奉書〕 TK387-177
津軽出羽守(寧親)宛
寛政4~8(1792~96)写(原本)3通
内容:第1(寛政4年6月16日 鳥居丹波守忠意より)
第2(寛政6年7月9日 安藤対馬守信成より)
第3(寛政8年7月2日 松平伊豆守信明より)

〔壇上寺御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-193

津軽出羽守（寧親）宛
寛政4～8（1792～96）写（原本）4通

内容：第1（寛政4年5月4日 戸田采女正氏教より）
第2（寛政4年7月18日 松平和泉守乗完より）
第3（寛政6年7月19日 安藤対馬守信成より）
第4（寛政8年11月27日 松平伊豆守信明より）

〔東叡山御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-195

津軽出羽守（寧親）宛
寛政4～8（1792～96）写（原本）3通

内容：第1（寛政4年6月15日 鳥居丹波守忠意より）
第2（寛政6年7月28日 安藤対馬守信成より）
第3（寛政8年6月21日 安藤対馬守信成より）

〔氷菟蒨献上披露之儀御奉書〕 TK387-187

正月14日 津軽出羽守（寧親）宛
寛政6（1794）写（原本）1通
註：戸田采女正氏教より

〔暑中御機嫌伺若君様江煎海鼠献上披露之儀御奉書〕

津軽出羽守（寧親）宛 TK387-179
寛政6,8（1794,96）写（原本）2通
内容：第1（寛政6年7月9日 戸田采女正氏教より）
第2（寛政8年7月2日 太田備中守資愛より）

〔若君様江塩鱈献上披露之儀御奉書〕 TK387-173

津軽出羽守（寧親）宛
寛政6,8（1794,96）写（原本）2通
内容：第1（寛政6年正月29日 戸田采女正氏教より）
第2（寛政8年正月7日 太田備中守資愛より）

〔若君様江漬蕨献上披露之儀御奉書〕 TK387-176

津軽出羽守（寧親）宛
寛政6,8（1794,96）写（原本）2通

内容：第1（寛政6年7月19日 戸田采女正氏教より）
第2（寛政8年7月18日 太田備中守資愛より）

〔若黄鷹献上披露之儀御奉書〕 TK387-164

11月11日 津軽出羽守（寧親）宛
寛政8（1796）写（原本）1通
註：安藤対馬守信成より

〔塩引鮭献上披露之儀御奉書〕 TK387-167

12月11日 津軽出羽守（寧親）宛
寛政8（1796）写（原本）1通
註：戸田采女正氏教より

〔若君様江雉子献上披露之儀御奉書〕 TK387-183

正月6日 津軽出羽守（寧親）宛
寛政8（1796）写（原本）1通
註：太田備中守資愛より

〔若君様江塩引鮭献上披露之儀御奉書〕 TK387-169

12月11日 津軽出羽守（寧親）宛
寛政8（1796）写（原本）1通
註：安藤対馬守信成より

〔寒中御機嫌伺串鮑献上披露之儀御奉書〕 TK387-188

12月28日 津軽出羽守（寧親）宛
寛政8（1796）写（原本）2通
内容：第1（戸田采女正氏教より）
第2（水野出羽守忠友より）

〔日光山拜礼御礼紙面之趣之儀御奉書〕 TK387-192

5月11日 津軽出羽守（寧親）宛
寛政8（1796）写（原本）2通
内容：第1（戸田采女正氏教より）
第2（太田備中守資愛より）

〔敬之助殿尾張殿御養子被仰出御祝儀若君様江如目録献上披露之儀御奉書〕 4月朔日 TK387-202

津軽出羽守（寧親）宛
寛政8（1796）写（原本）2通
内容：第1（太田備中守資愛より）
第2（太田備中守資愛より）

〔増上寺御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-194

津軽越中守（寧親）宛
寛政8～文政5（1796～1822）写（原本）10通
内容：第1（寛政8年6月6日 松平伊豆守信明より）
第2（寛政10年6月6日 松平伊豆守信明より）
第3（享和2年7月19日 戸田采女正氏教より）
第4（文化3年6月11日 青山下野守忠裕より）
第5（文化6年6月6日 松平伊豆守信明より）
第6（文化6年7月19日 牧野備前守忠精より）
第7（文化7年6月6日 松平伊豆守信明より）
第8（文化10年7月16日 松平伊豆守信明より）
第9（文政4年11月27日 水野出羽守忠成より）
第10（文政5年4月25日 水野出羽守忠成より）

〔日光山御霊屋御修復遷座目出度旨言上之儀御奉書〕

6月18日 津軽越中守（寧親）宛 TK387-191
寛政10（1798）写（原本）2通
内容：第1（水野出羽守忠友より）
第2（松平伊豆守信明より）

〔暑中御機嫌伺煎海鼠献上披露之儀御奉書〕 TK387-178

津軽越中守（寧親）宛
寛政10～文化6（1798～1809）写（原本）8通
内容：第1（寛政10年6月22日 松平伊豆守信明より）
第2（寛政10年6月22日 水野出羽守忠友より）
第3（享和2年7月6日 戸田采女正氏教より）
第4（享和2年7月6日 水野出羽守忠友より）
第5（文化3年6月19日 安藤対馬守信成より）

第6 (文化3年6月19日 青山下野守忠裕より)

第7 (文化6年7月4日 牧野備前守忠精より)

第8 (文化6年7月4日 安藤対馬守信成より)

〔東叡山御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-196

津輕越中守 (寧親) 宛

寛政10～文政5 (1798～1822) 写 (原本) 13通

内容:第1 (寛政10年6月15日 松平伊豆守信明より)

第2 (享和2年7月27日 戸田采女正氏教より)

第3 (文化元年10月18日 青山下野守忠裕より)

第4 (文化3年6月16日 青山下野守忠裕より)

第5 (文化6年7月27日 牧野備前守忠精より)

第6 (文化7年5月27日 土井大炊頭利厚より)

第7 (文化7年6月13日 松平伊豆守信明より)

第8 (文化10年7月25日 松平伊豆守信明より)

第9 (文化13年2月21日 松平伊豆守信明より)

第10 (文政元年7月27日 阿部備中守正精より)

第11 (文政4年7月28日 青山下野守忠裕より)

第12 (文政4年10月15日 阿部備中守正精より)

第13 (文政5年4月27日 水野出羽守忠成より)

〔雉子撃兼引替葛献上伺書〕 TK387-184

御附紙共 正月25日 津輕越中守 (寧親)

寛政12, 享和2 (1800,02) 写 (原本) 2通

〔葛献上披露之儀御奉書〕 TK387-185

津輕越中守 (寧親) 宛

寛政12～享和4 (1800～04) 写 (原本) 6通

内容:第1 (寛政12年,2月3日 水野出羽守息女より)

第2 (寛政12年,2月3日 松平伊豆守信明より)

第3 (享和2年2月3日 安藤対馬守信成より)

第4 (享和2年2月3日 水野出羽守忠友より)

第5 (享和4年正月19日 牧野備前守忠精より)

第6 (享和4年正月19日 安藤対馬守信成より)

〔塩鱈献上披露之儀御奉書〕

TK387-172

津輕越中守 (寧親) 宛

寛政12～文政6 (1800～23) 写 (原本) 23通

内容:第1 (寛政12年正月22日 戸田采女正氏教より)

第2 (文政12年正月22日 水野出羽守忠友より)

第3 (文政13年正月9日 松平伊豆守信明より)

第4 (文政13年正月9日 水野出羽守忠友より)

第5 (享和2年正月18日 松平伊豆守信明より)

第6 (享和2年正月18日 水野出羽守忠友より)

第7 (享和4年正月13日 牧野備前守忠精より)

第8 (享和4年正月13日 安藤対馬守信成より)

第9 (文化3年正月13日 青山下野守忠裕より)

第10 (文化3年正月13日 安藤対馬守信成より)

第11 (文化6年正月9日 土井大炊頭利厚より)

第12 (文化6年正月9日 安藤対馬守信成より)

第13 (文化9年正月13日 牧野備前守忠精より)

第14 (文化9年正月13日 松平能登守乗保より)

第15 (文化12年正月18日 松平伊豆守信明より)

第16 (文化13年正月28日 土井大炊頭利厚より)

第17 (文化13年正月28日 松平能登守乗保より)

第18 (文政2年正月22日 松平能登守乗保より)

第19 (文政2年正月22日 阿部備中守正精より)

第20 (文政4年正月13日 大久保加賀守忠真より)

第21 (文政4年,正月13日 酒井若狭守忠進より)

第22 (文政6年正月11日 大久保加賀守忠真より)

第23 (文政6年正月11日 酒井若狭守忠進より)

〔初雪御機嫌伺言上之儀御奉書〕

TK387-190

津輕越中守 (寧親) 宛

文政13～文化9 (1801～12) 写 (原本) 4通

内容:第1 (克敏13年正月27日 水野出羽守忠友より)

第2 (寛政13年正月27日 松平伊豆守信明より)

第3 (文化9年正月9日 松平能登守乗保より)

第4 (文化9年正月9日 牧野備前守忠精より)

〔御馬献上披露之儀御奉書〕

TK387-180

津輕越中守 (寧親) 宛

享和元～文政2 (1801～19) 写 (原本) 8通

内容:第1 (享和元年6月11日 戸田采女正氏教より)

第2 (享和元年6月11日 水野出羽守忠友より)

第3 (享和3年6月13日 松平伊豆守信明より)

第4 (享和3年6月13日 安藤対馬守信成より)

第5 (文化6年6月11日 松平伊豆守信明より)

第6 (文化6年6月11日 安藤対馬守信成より)

第7 (文政2年間4月28日 大久保加賀守忠真より)

第8 (文政2年間4月28日 松平能登守乗保より)

〔若黄鷹献上披露之儀御奉書〕

TK387-165

津輕越中守 (寧親) 宛

享和元～文政5 (1801～22) 写 (原本) 10通

内容:第1 (享和元年11月11日 戸田采女正氏教より)

第2 (享和3年10月25日 松平伊豆守信明より)

第3 (文化元年11月16日 戸田采女正氏教より)

第4 (文化4年11月19日 松平伊豆守信明より)

第5:文化5年10月25日 土井大炊頭利厚より)

第6:文化7年11月18日 牧野備前守忠精より)

第7:文政元年10月7日 青山下野守忠裕より)

第8 (文政3年9月29日 青山下野守忠裕より)

第9 (文政4年10月28日 阿部備中守正精より)

第10 (文政5年9月29日 大久保加賀守忠真より)

〔漬蕨献上披露之儀御奉書〕

TK387-175

津輕越中守 (寧親) 宛

享和元～文政5 (1801～22) 写 (原本) 10通

内容:第1 (享和元年7月9日 松平伊豆守信明より)

第2 (享和元年7月9日 水野出羽守忠友より)

第3 (享和2年7月25日 戸田采女王氏教より)

第4 (享和2年7月25日 水野出羽守忠友より)

第5 (享和3年7月6日 土井大炊頭利厚より)

第6 (享和3年7月6日 安藤対馬守信成より)

- 第7 (文化6年7月19日 土井大炊頭利厚より)
 第8 (文化6年7月19日 牧野備前守忠精より)
 第9 (文政5年7月21日 水野出羽守忠成より)
 第10 (文政5年7月21日 松平能登守乗保より)
- 〔塩引鮭献上披露之儀御奉書〕 **TK387-168**
 津軽越中守 (寧親) 宛
 享和元～文政5 (1801～22) 写 (原本) 19通
 内容:第1 (享和元年11月25日 戸田采女正氏教より)
 第2 (享和元年11月25日 水野出羽守忠友より)
 第3 (享和3年11月22日 土井大炊頭利厚より)
 第4 (享和3年11月22日 安藤対馬守信成より)
 第5 (文化元年11月29日 戸田采女正氏教より)
 第6 (文化5年11月19日 安藤対馬守信成より)
 第7 (文化5年11月19日 牧野洲前守忠愐より)
 第8 (文化7年11月28日 牧野備前守忠精より)
 第9 (文化7年11月28日 松平能登守乗保より)
 第10 (文化13年11月7日 松平能登守乗保より)
 第11 (文化14年11月23日 松平能登守乗保より)
 第12 (文政元年11月23日 水野出羽守忠成より)
 第13 (文政元年11月23日 松平能登守乗保より)
 第14 (文政3年11月25日 大久保加賀守忠真より)
 第15 (文政3年11月25日 酒井若狭守忠進より)
 第16 (文政4年12月15日 青山下野守忠裕より)
 第17 (文政4年12月15日 松平能登守乗保より)
 第18 (文政5年11月22日 松平能登守乗保より)
 第19 (文政5年11月22日 水野出羽守忠成より)
- 〔享姫君様御逝去に付御機嫌伺言上之儀御奉書〕
 7月12日 津軽越中守 (寧親) 宛 **TK387-198**
 享和2 (1802) 写 (原本) 1通
 註: 戸田采女正氏教より
- 〔雉子撃兼引替葛献上伺書〕 **TK387-184**
 御附紙共 正月9日 津軽越中守 (寧親)
- 享和4 (1804) 写 (原本) 1通
- 〔大納言様江塩鮭献上披露之儀御奉書〕 **TK387-170**
 11月29日 津軽越中守 (寧親) 宛
 文化元 (1804) 写 (原本) 1通
 註: 青山下野守忠裕より
- 〔寒中御機嫌伺鯛献上披露之儀御奉書〕 **TK387-189**
 12月28日 津軽越中守 (寧親) 宛
 文化元 (1804) 写 (原本) 2通
 内容: 第1 (安藤対馬守信成より)
 第2 (牧野備前守忠精より)
- 〔松平撰津守卒去に付御機嫌伺言上之儀御奉書〕 **TK387-203**
 11月26日 津軽越中守 (寧親) 宛
 文化元 (1804) 写 (原本) 2通
 内容: 第1 (青山下野守忠裕より)
 第2 (安藤対馬守信成より)
- 〔戸田采女正卒去に付御機嫌伺言上御奉書〕 **TK387-199**
 4月29日 津軽越中守 (寧親) 宛
 文化3 (1806) 写 (原本) 1通
 註: 青山下野守忠裕より
- 〔松平伊豆守連判之列被仰付珍重旨言上之儀御奉書〕 **TK387-204**
 7月5日 津軽越中守 (寧親) 宛
 文化3 (1806) 写 (原本) 2通
 内容: 第1 (青山下野守忠裕より)
 第2 (安藤対馬守信成より)
- 〔参勤御礼献上物之儀伺書〕 **TK387-315**
 御附紙共 6月4日 津軽越中守 (寧親)
 文化4 (1807) 写 (原本) 1通
- 〔御暇届国献上物之儀伺書〕 **TK387-316**
- 御附紙共 6月9日 津軽越中守 (寧親)
 文化4 (1807) 写 (原本) 1通
- 〔塩鱒献上披露之儀御奉書〕 **TK387-181**
 津軽越中守 (寧親) 宛
 文化5～文政5 (1808～22) 写 (原本) 12通
 内容: 第1 (文化5年12月25日 青山下野守忠裕より)
 第2 (文化5年12月25日 安藤対馬守信成より)
 第3 (文化7年12月18日 青山下野守忠裕より)
 第4 (文化7年12月18日 松平能登守乗保より)
 第5 (文化13年12月9日 青山下野守忠裕より)
 第6 (文化13年12月9日 松平能登守乗保より)
 第7 (文政元年12月28日 大久保加賀守忠真より)
 第8 (文政元年12月28日 酒井若狭守忠進より)
 第9 (文政3年12月25日 土井大炊頭利厚より)
 第10 (文政3年12月25日 松平能登守乗保より)
 第11 (文政5年12月23日 阿部備前守正精より)
 第12 (文政5年12月23日 酒井若狭守忠進より)
- 〔松平左兵衛督卒去に付御機嫌伺言上之儀御奉書〕 **TK387-200**
 7月晦日 津軽越中守 (寧親) 宛
 文化6 (1809) 写 (原本) 1通
 註: 牧野備前守忠精より
- 〔大納言様江葛献上披露之儀御奉書〕 **TK387-186**
 5月29日 津軽越中守 (寧親) 宛
 文化7 (1810) 写 (原本) 1通
 註: 土井大炊頭利厚より
- 〔塩鮭塩鱒塩鱈献上之儀伺書〕 **TK387-347**
 御附紙共 11月10日 津軽越中守 (寧親)
 〔文化7〕 (1810) 写 (原本) 1通
- 〔若殿様御目見御供連之儀内意伺〕 **TK387-308**
 御附紙共 12月

- [文化7] (1810) 写 (原本) 1 通
註：津輕越中守家来河野六郎より
- [雅之助御目見登城之節着座御席之儀伺書] TK387-345
御附紙共 12月9日, 18日 津輕越中守 (寧親)
文化7 (1810) 写 (原本) 2 通
- [雅之助初御目見之節献上物并御下召白着用之儀内意伺并達書] 12月23日 津輕越中守 (寧親) TK387-306
文化7 (1810) 写 (原本) 8 通
- [雅之助御目見登城之節席順御礼順之儀等伺書]
御附紙共 12月26日 津輕越中守 (寧親) TK387-346
[文化7] (1810) 写 (原本) 1 通
- [雅之助初御目見之節献上物之儀伺書] TK387-307
御附紙共 1月21日 津輕越中守 (寧親)
[文化8] (1811) 写 (原本) 3 通
- [法事中參勤御礼献上物之儀伺書] TK387-317
御附紙共 9月5日 津輕越中守 (寧親)
文化11 (1814) 写 (原本) 1 通
- [雅之助田安殿縁組ニ付向後田安殿江伺公進上物等之儀伺書] 御附紙共 12月11日 TK387-319
津輕越中守 (寧親)
文化11 (1814) 写 (原本) 1 通
- [雅之助縁組御礼献上物之儀伺書] TK387-320
御附紙共 12月11日 津輕越中守 (寧親)
文化11 (1814) 写 (原本) 1 通
- [大隅守官位後始之年頭登城御太刀目録御礼之儀伺書]
御附紙共 12月25日 津輕越中守 (寧親) TK387-314
[文化11] (1814) 写 (原本) 1 通
- [大隅守在国中諸勤向并參勤時節之儀伺書] TK387-321
御附紙共 2月22日 津輕越中守 (寧親)
文化12 (1815) 写 (原本) 2 通
- [近衛様日光御法会ニ付参向之節大隅守見舞罷越申度儀御伺書] 御附紙共 4月13日 TK387-322
津輕越中守 (寧親)
文化12 (1815) 写 (原本) 1 通
- [御朦中献上物之儀伺書] TK387-323
御附紙共 9月6日
文化13 (1816) 写 (原本) 1 通
註：津輕越中守家来三浦権四郎より
- [東叡山香琳院様御靈前御參詣恐悦旨言上之儀御奉書]
津輕越中守 (寧親) 宛 TK387-197
文化13, 文政5 (1816,22) 写 (原本) 2 通
内容：第1 (文化13年3月朔日 松平能登守乗保より)
第2 (文政5年4月2日 酒井若狭守忠進より)
- [御暇後病氣ニテ滞府ニ付暑中伺献上物之儀伺書]
御附紙共 6月4日 津輕越中守 (寧親) TK387-325
文化14 (1817) 写 (原本) 1 通
- [御暇被仰出候後病氣ニテ名代津輕甲斐守御報願之通ニ付御礼勤之儀伺書] 御附紙共 6月4日 TK387-324
津輕越中守 (寧親)
文化14 (1817) 写 (原本) 1 通
- [水野出羽守老中格被仰付珍重之旨言上之儀御奉書]
10月3日 津輕越中守 (寧親) 宛 TK387-205
文化14 (1817) 写 (原本) 2 通
内容：第1 (松平能登守乗保より)
第2 (酒井若狭守忠進より)
- [病氣ニ付大隅守名代御暇被仰出御礼勤之儀伺書]
御附紙共 4月11日 津輕越中守 (寧親) TK387-330
文政2 (1819) 写 (原本) 1 通
- [病氣ニ付大隅守名代御暇願之通被仰出候御礼勤之儀伺書]
御附紙共 4月14日 TK387-329
津輕越中守 (寧親)
文政2 (1819) 写 (原本) 1 通
- [病氣ニ付名代大隅守御暇被仰出候御礼之儀伺書]
御附紙共 4月19日 津輕越中守 (寧親) TK387-326
[文政2] (1819) 写 (原本) 1 通
- [大隅守名代御暇在国中恐悦伺等之儀伺書] TK387-327
御附紙共 4月19日 津輕越中守 (寧親)
[文政2] (1819) 写 (原本) 1 通
- [大隅守名代御暇在国中献上物之儀伺書] TK387-328
4月19日 津輕越中守 (寧親)
[文政2] (1819) 写 (原本) 1 通
- [病氣ニ付名代御暇大隅守在所罷在候献上物之儀伺書]
5月22日 津輕越中守 (寧親) TK387-331
文政2 (1819) 写 (原本) 1 通
- [浅姫君様御引移ニ付差上物之儀御書付] TK387-332
7月 津輕越中守 (寧親) 宛
文政2 (1819) 写 (原本) 1 通
- [病氣ニ付大隅守名代御暇在所罷在候得共寒中伺串鮑献上之儀伺書] TK387-333
御附紙共 11月13日
津輕越中守 (寧親)
文政2 (1819) 写 (原本) 1 通

〔大隅守参府御礼勤之儀伺書〕御附紙共 TK387-337
5月28日 津軽越中守(寧親)
文政3(1820)写(原本)1通

〔大隅守参府御礼之節御台様御簾中様江差上物之儀伺書〕
御附紙共 8月25日 津軽越中守(寧親) TK387-334
文政3(1820)写(原本)1通

〔病後之御礼之節献上物之儀伺書〕御附紙共 TK387-335
9月23日 津軽越中守(寧親)
文政3(1820)写(原本)1通

〔元姫君様御引移ニ付差上物之儀御書付〕 TK387-336 ◇
10月 津軽越中守(寧親)宛
文政3(1820)写(原本)1通

〔侍従之御礼ニ付献上物并贈物之儀伺書〕 TK387-338
御附紙共 12月18日 津軽越中守(寧親)
文政3(1820)写(原本)3通

〔元姫君様御逝去に付御機嫌伺言上之儀御奉書〕
10月6日 津軽越中守(寧親)宛 TK387-201
文政4(1821)写(原本)2通
内容:第1(阿部備中守正精より)
第2(松平能登守乗保より)

〔暑中御機嫌伺煎海鼠献上之儀伺〕御附紙共 TK387-339
5月27日 津軽越中守(寧親)
文政5(1822)写(原本)1通

〔病氣ニ付名代津軽甲斐守其儘在所之儀願之通ニ付御礼勤
之儀伺書〕 TK387-342
御附紙共 5月13日 津軽越中守(寧親)
文政6(1823)写(原本)1通

〔在府罷在候得共土用御機嫌伺煎海鼠献上之儀伺書〕
御附紙共 6月2日 津軽越中守(寧親) TK387-341
文政6(1823)写(原本)1通

〔病氣ニ付滞府願濟ニ付御礼勤之儀伺書〕 TK387-340
御附紙共 11月19日 津軽越中守(寧親)
文政6(1823)写(原本)1通

〔病後之御礼献上物之儀伺書〕御附紙共 TK387-343
5月25日 津軽越中守(寧親)
文政7(1824)写(原本)1通

〔叙爵御礼献上物之儀伺書〕御附紙共 TK387-318
12月19日 津軽大隅守(信順)
文化11(1814)写(原本)1通

〔暑中御機嫌伺言上之儀御奉書〕 TK387-215
6月27日 津軽大隅守(信順)宛
文化12(1815)写(原本)2通
内容:第1(牧野備前守忠精より)
第2(松平能登守乗保より)

〔東叡山香琳院御霊前御参詣恐悦之旨言上之儀御奉書〕
津軽大隅守(信順)宛 TK387-217
文化12,13(1815,16)写(原本)2通
内容:第1(文化12年6月27日 松平能登守乗保より)
第2(文化13年3月朔日 松平能登守乗保より)

〔増上寺御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-220
津軽大隅守(信順)宛
文化12~文政8(1815~25)写(原本)4通
内容:第1(文化12年7月19日 牧野備前守忠精より)

第2(文化13年3月9日 酒井若狭守忠進より)
第3(文政2年5月9日 阿部備中守正精より)
第4(文政8年7月22日 松平和泉守乗寛より)

〔東叡山御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-218
津軽大隅守(信順)宛
文化13,文政8(1816,25)写(原本)3通
内容:第1(文化13年2月21日 松平伊豆守信明より)
第2(文政8年5月25日 大久保加賀守忠真より)
第3(文政8年7月27日 松平和泉守乗寛より)

〔四品御礼献上物之儀伺書〕 TK387-305
御附紙共 12月18日 津軽大隅守(信順)
文政7(1824)写(原本)3通

〔隠居家督願濟に付諸献上伺書〕 TK387-309
御附紙共 4月11日 津軽大隅守(信順)
文政8(1825)写(原本)9通

〔御馬献上披露之儀御奉書〕 TK387-206
7月6日 津軽大隅守(信順)宛
文政8(1825)写(原本)2通
内容:第1(松平和泉守乗寛より)
第2(酒井若狭守忠進より)

〔暑中御機嫌伺煎海鼠献上披露之儀御奉書〕 TK387-210
6月21日 津軽大隅守(信順)宛
文政8(1825)写(原本)2通
内容:第1(松平能登守乗寛より)
第2(大久保加賀守忠真より)

〔漬蔵献上披露之儀御奉書〕 TK387-208
7月19日 津軽大隅守(信順)宛
文政8(1825)写(原本)2通
内容:第1(松平和泉守乗寛より)

- 第2 (酒井若狭守忠進より)
- 〔御機嫌伺并献上物之儀及御祝儀使者之儀内意伺〕
御附紙共 TK387-361
文政10 (1827) 写 (原本) 2通
註: 津軽越中守 (信順) 家来杉山織衛より
- 〔塩鱈献上披露之儀御奉書〕 TK387-211
正月22日 津軽越中守 (信順) 宛
文政10 (1827) 写 (原本) 2通
内容: 第1 (大久保加賀守忠真より)
第2 (酒井若狭守忠進より)
- 〔干菓子献上披露之儀御奉書〕 TK387-212
2月27日 津軽越中守 (信順) 宛
文政10 (1827) 写 (原本) 2通
内容: 第1 (酒井若狭守忠進より)
第2 (松平和泉守乗寛より)
- 〔端午御献上物之儀伺書〕 TK387-363
御附紙共 閏6月7日 津軽越中守 (信順)
文政10 (1827) 写 (原本) 1通
- 〔土用御機嫌伺煎海鼠献上之儀伺書〕 TK387-362
御附紙共 閏6月7日 津軽越中守 (信順)
文政10 (1827) 写 (原本) 1通
- 〔御馬献上披露之儀御奉書〕 TK387-207
7月25日 津軽越中守 (信順) 宛
文政10 (1827) 写 (原本) 2通
内容: 第1 (酒井若狭守忠進より)
第2 (松平周防守康任より)
- 〔漬蕨献上披露之儀御奉書〕 TK387-209
津軽越中守 (信順) 宛
- 文政10,13 (1827,30) 写 (原本) 4通
内容: 第1 (文政10年8月16日 青山下野守忠裕より)
第2 (文政10年8月16日 酒井若狭守忠進より)
第3 (文政13年7月11日 水野出羽守忠成より)
第4 (文政13年7月11日 水野越前守忠邦より)
- 〔若君様初而御表出御日出度旨言上之儀御奉書〕
10月18日 津軽越中守 (信順) 宛 TK387-222
文政10 (1827) 写 (原本) 2通
内容: 第1 (酒井若狭守忠進より)
第2 (松平和泉守乗寛より)
- 〔若黄鷹献上披露之儀御奉書〕 TK387-213
10月13日 津軽越中守 (信順) 宛
文政10 (1827) 写 (原本) 1通
註: 松平和泉守乗寛より
- 〔東叡山御霊前御参詣恐悦之旨言上之儀御奉書〕
津軽越中守 (信順) 宛 TK387-219
文政10~13 (1827~30) 写 (原本) 3通
内容: 第1 (文政10年10月16日 松平和泉守乗寛より)
第2 (文政11年5月29日 青山下野守忠裕より)
第3 (文政13年7月27日 水野出羽守忠成より)
- 〔出火御見舞御礼之儀御奉書〕 TK387-223
4月朔日 津軽越中守 (信順) 宛
文政11 (1828) 写 (原本) 2通
内容: 第1 (植村駿河守家長より)
第2 (松平和泉守乗寛より)
- 〔出火に付差扣御伺之処不及其儀旨御礼之儀御奉書〕
4月朔日 津軽越中守 (信順) 宛 TK387-224
文政11 (1828) 写 (原本) 1通
註: 松平和泉守乗寛より
- 〔暑中御機嫌伺干鱈献上披露之儀御奉書〕 TK387-214
6月23日 津軽越中守 (信順) 宛
文政11 (1828) 写 (原本) 2通
内容: 第1 (牧野備前守忠精より)
第2 (松平周防守康任より)
- 〔暑気御尋拝領物御礼之儀御奉書〕 TK387-216
7月11日 津軽越中守 (信順) 宛
文政13 (1830) 写 (原本) 2通
内容: 第1 (水野出羽守忠成より)
第2 (水野越前守忠邦より)
- 〔増上寺御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-221
7月19日 津軽越中守 (信順) 宛
文政13 (1830) 写 (原本) 1通
註: 水野出羽守忠成より
- 〔徳川兵部卿殿逝去に付御機嫌伺言上之儀御奉書〕
7月27日 津軽越中守 (信順) 宛 TK387-225
文政13 (1830) 写 (原本) 1通
註: 水野出羽守忠成より ◇
- 〔御馬献上披露之儀御奉書〕 TK387-226
8月13日 津軽大隅守 (順承) 宛
天保10 (1839) 写 (原本) 2通
内容: 第1 (堀田備中守正篤より)
第2 (水野越前守忠邦より)
- 〔若黄鷹献上披露之儀御奉書〕 TK387-228
津軽大隅守 (順承) 宛
天保10~15 (1839~44) 写 (原本) 3通
内容: 第1 (天保10年11月19日 太田備後守資始より)
第2 (天保11年11月13日 水野越前守忠邦より)

- 第3 (天保15年10月28日 牧野備前守忠雅より)
- 〔徳川右兵衛殿逝去付欽姫様江御尋御礼之儀御奉書〕
11月26日 津軽大隅守(順承)宛 TK387-251
天保10(1839)写(原本)3通
内容:第1(堀田備中守正篤より)
第2(松平伯耆守宗発より)
第3(太田備後守資始より)
- 〔病後之御礼献上物御伺書并御附礼〕 TK387-250
津軽大隅守(順承)
天保11(1840)写(原本)1通
- 〔右大将様庖瘡御快然御祝儀如目録献上披露之儀御奉書〕
4月7日 津軽大隅守(順承)宛 TK387-252
天保11(1840)写(原本)2通
内容:第1(土井大炊事頭利位 脇坂中務大輔安董 太田備後守資始 水野越前守忠邦より)
第2(堀田備中守正篤より)
- 〔泰姫君様御引移に付献上物御達書付〕 TK387-246
8月 津軽大隅守(順承)宛
天保11(1840)写(原本)1通
- 〔泰姫君様御引移に付紅白羽二重献上之旨言上之儀御奉書〕
9月28日 津軽大隅守(順承)宛 TK387-247
天保11(1840)写(原本)1通
註:水野越前守忠邦より
- 〔漬蕨献上披露之儀御奉書〕 TK387-232
8月27日 津軽大隅守(順承)宛
天保11(1840)写(原本)2通
内容:第1(水野越前守忠邦より)
第2(堀田備中守正篤より)
- 〔塩引鮭献上披露之儀御奉書〕 TK387-230
津軽大隅守(順承)宛
天保11,弘化元(1840,44)写(原本)4通
内容:第1(天保11年12月25日 太田備後守資始より)
第2(天保11年12月25日 堀田備中守正篤より)
第3(弘化元年12月16日 戸田山城守忠温より)
第4(弘化元年12月16日 阿部伊勢守正弘より)
- 〔泰姫君様御引移に付献上物之覚〕 TK387-248
天保11(1840)写(原本)1通
- 〔廣大院様御加階御祝儀一件 天保13年 天保13(1842)写 1冊 半紙 和
註:廣大印様は徳川家齊の室茂〕 TK387-402
- 〔葛献上披露之儀御奉書〕12月3日 TK387-234
津軽大隅守(順承)宛
天保15(1844)写(原本)1通
往:阿部伊勢守正弘より
- 〔干菓子献上披露之儀御奉書〕11月20日 TK387-235
津軽大隅守(順承)宛
天保15(1844)写(原本)2通
内容:第1(戸田山城守忠温より)
第2(水野越前守忠邦より)
- 〔塩鱒献上披露之儀御奉書〕 TK387-239
12月16日 津軽大隅守(順承)宛
弘化元(1844)写(原本)2通
内容:第1(阿部伊勢守正弘より)
第2(戸田山城守忠温より)
- 〔塩引鮭献上披露之儀御奉書〕 TK387-231
津軽越中守(順承)宛
嘉永元~安政5(1848~58)写(原本)6通
- 内容:第1(嘉永元年12月9日 松平伊賀守忠優より)
第2(嘉永元年12月9日 久世大和守広周より)
第3(嘉永5年12月9日 内藤紀伊守信親より)
第4(嘉永5年12月9日 松平和泉守乗全より)
第5(安政2年12月3日 牧野備前守忠雅より)
第6(安政5年11月13日 松平和泉守乗全より)
- 〔寒中御機嫌伺□(魚に易)献上披露之儀御奉書〕
12月28日 津軽越中守(順承)宛 TK387-237
嘉永元(1848)写(原本)2通
内容:第1(松平伊賀守忠優より)
第2(久世大和守広周より)
- 〔塩鱒献上披露之儀御奉書〕 TK387-240
津軽越中守(順承)宛
嘉永元,5(1848,52)写(原本)4通
内容:第1(嘉永元年12月28日 松平伊賀守忠優より)
第2(嘉永元年12月28日 久世大和守広周より)
第3(嘉永5年12月18日 久世大和守広周より)
第4(嘉永5年12月18日 内藤紀伊守信親より)
- 〔増上寺広大院様御霊前御参詣恐悦之旨言上之儀御奉書〕
津軽越中守(順承)宛 TK387-257
嘉永元~5(1848~52)写(原本)5通
内容:第1(嘉永元年12月21日 松平伊賀守忠優より)
第2(嘉永元年12月23日 久世大和守広周より)
第3(嘉永2年12月22日 松平伊賀守忠優より)
第4(嘉永2年12月25日 久世大和守広周より)
第5(嘉永5年間2月21日 牧野備前守忠雅より)
- 〔寒中御機嫌伺串鮑献上披露之儀御奉書〕 TK387-238
12月16日 津軽越中守(順承)宛
嘉永2(1849)写(原本)2通
内容:第1(松平伊賀守忠優より)
第2(久世大和守広周より)

〔越中守養母金姫方病氣ニ付御礼勤之儀伺〕 TK387-411

御附紙共 9月27日,28日
〔嘉永4〕(1851)写 4通
註：津輕越中守(順承)家来比良野助太郎より

〔越中守養母金姫方病氣ニ付御礼勤之儀伺〕 TK387-412

御附紙共 9月28日
〔嘉永4〕(1851)写 2通
註：津輕越中守(順承)家来北川六左衛門より

〔養母金姫病氣御尋拝領物仕候ニ付御礼勤之儀伺書〕 TK387-393

御附紙共 10月5日
〔嘉永4〕(1851)写(原本)1通
註：津輕越中守家来北川六左衛門より

〔越中守養母金姫方死去仕候ニ付心得方伺〕 TK387-400

御附紙共 10月5日
〔嘉永4〕(1851)写 1通
註：津輕越中守(順承)家来北川六左衛門より

〔増上寺御靈屋御參詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-258

閏2月4日 津輕越中守(順承)宛
嘉永5(1852)写(原本)1通
註：牧野備前守忠雅より

〔東叡山御靈前御參詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-254

閏2月13日 津輕越中守(順承)宛
嘉永5(1852)写(原本)1通
註：牧野備前守忠雅より

〔東叡山最樹院様御靈屋御參詣恐悦旨言上之儀御奉書〕

3月2日 津輕越中守(順承)宛 TK387-255
嘉永5(1852)写(原本)1通
註：阿部伊勢守正弘より

〔東叡山淨觀院様御靈前御參詣恐悦之旨言上之儀御奉書〕

3月4日 津輕越中守(順承)宛 TK387-256
嘉永5(1852)写(原本)1通
註：阿部伊勢守正弘より

〔線姫君様御引移付紅白羽二重献上披露之儀御奉書〕

9月16日 津輕越中守(順承)宛 TK387-249
嘉永5(1852)写(原本)1通
註：牧野備前守忠雅より

〔右大将様御移徒御祝儀目録之通献上披露之儀御奉書〕

12月22日 津輕越中守(順承)宛 TK387-245
嘉永5(1852)写(原本)1通
註：内藤紀伊守信親より

〔武之助初御目見五節句月次出仕袖留前髮執等〕 TK387-354

窺書 御附紙共
〔嘉永5,6〕(1852,53)写(原本)5冊(4帖1冊)美濃半・美濃 折本 和
註：津輕越中守家来北川六左衛門 比良野助太郎より

〔武之助初御目見御乗出之節爪折傘相用度儀伺書〕

御附紙共 正月12日 津輕越中守(順承) TK387-313
嘉永6(1853)写(原本)1通

〔武之助御乗出之節下着白小袖着用之儀内意伺〕 TK387-310

御附紙共 正月21日 津輕越中守(順承)
嘉永6(1853)写(原本)1通
註：武之助は津輕承祐

〔東叡山江予参之節御装束下足袋相用度儀伺書〕

御附紙共 正月23日 津輕越中守(順承) TK387-253
嘉永6(1853)写(原本)1通

〔武之助初御目見願ニ付御礼順并席順諸席御伺書〕

御附紙共 2月7日 TK387-311
嘉永6(1853)写(原本)1通
註：津輕越中守家来比良野助太郎より

〔武之助初御目見之節献上物之儀伺書〕 TK387-312

御礼勤之儀伺書共 2月11日 津輕越中守(順承)
嘉永6(1853)写(原本)3通

〔越中守養子武之助叙爵御礼勤之儀伺書〕 TK387-358

御附紙共 11月7日
〔嘉永6〕(1853)写(原本)1通
註：津輕越中守家来北川六左衛門より

〔大隅守登城御能見物被仰付候ニ付伺〕 TK387-407

〔嘉永6〕(1853)写 1通
註：大隅守は津輕承祐 津輕越中守(順承)家中北川六左衛門 比良野助太郎より

〔塩鱈献上披露之儀御奉書〕 TK387-241

正月13日 津輕越中守(順承)宛
嘉永6,安政3(1853,56)写(原本)3通
内容：第1(嘉永6年 内藤紀伊守信親より)
第2(嘉永6年 久世大和守広周より)
第3(安政3年 久世大和守広周より)

〔御馬献上披露之儀御奉書〕 TK387-227

6月2日 津輕越中守(順承)宛
嘉永6(1853)写(写本)2通
内容：第1(松平伊賀守忠優より)
第2(内藤紀伊守信親より)

〔暑中御機嫌伺献上物之儀御伺書〕 TK387-244

御附紙共 6月15日 津輕越中守(順承)

- 嘉永6(1853)写(原本)1通
- 〔煎海鼠献上披露之儀御奉書〕 TK387-242
6月23日 津輕越中守(順承)宛
嘉永6(1853)写(原本)2通
寸言:第1(松平伊賀守忠優より)
第2(内藤紀伊守信親より)
- 〔漬蕨献上披露之儀御奉書〕 TK387-233
津輕越中守(順承)宛
嘉永6,安政3(1853,56)写(原本)3通
内容:第1(嘉永6年7月19日 松平和泉守乗全より)
第2(嘉永6年7月19日 内藤紀伊守信親より)
第3(安政3年7月23日 牧野備前守忠雅より)
- 〔檜重献上披露之儀御奉書〕 TK387-236
津輕越中守(順承)宛
嘉永6(1853)写(原本)2通
内容:第1(8月9日 久世大和守広周より)
第2(正月28日 阿部伊勢守正弘より)
- 〔女房奉書到来之儀書翰写并返翰案〕 TK387-355
2月朔日 弘前侍従(順承)宛
安政2(1855)写 2通
註:近衛忠熙より
- 〔大隅守名代御暇之節御祝儀御機嫌伺等之儀伺書〕
御附紙共 3月16日 津輕越中守(順承) TK387-366
安政2(1855)写(原本)1通
- 〔大隅守名代御暇在国中并参府之節献上物之儀伺書〕
御附紙共 3月16日 津輕越中守(順承) TK387-367
安政2(1855)写(原本)1通
- 〔若黄鷹献上披露之儀御奉書〕 TK387-229
- 10月16日 津輕越中守(順承)宛
安政2(1855)写(原本)1通
註:久世大和守広周より
- 〔病氣ニ付登城難仕御用番宅迄使者御機嫌伺之儀内意伺〕
御附紙共 11月23日 津輕越中守(順承) TK387-368
安政2(1855)写(原本)1通
- 御先手様御招一件 安政4年 TK387-404
安政4(1857)写 1冊 半紙 和
- 〔病後之御礼之節干鱈献上之儀伺書〕 TK387-371
御附紙共 2月25日 津輕越中守(順承)
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔御馬献上之儀伺書〕 TK387-372
御附紙共 5月28日 津輕越中守(順承)
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔暑中御機嫌伺煎海鼠献上之儀伺書〕 TK387-373
御附紙共 6月7日 津輕越中守(順承)
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔津輕寛五郎初御目見之節献上物之儀伺書〕 TK387-374
御附紙共 11月11日 津輕越中守(順承)
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔津輕寛五郎初御目見之節御台様江差上物之儀伺書〕
御附紙共 11月11日 津輕越中守(順承) TK387-375
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔津輕寛五郎初御目見之節本寿院様江差上物之儀伺書〕
御附紙共 11月11日 津輕越中守(順承) TK387-377
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔津輕寛五郎初御目見之節老女衆表使衆江贈物之儀伺書〕
御附紙共 11月11日 津輕越中守(順承) TK387-376
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔津輕寛五郎五節句月次御礼出仕為仕度儀願〕 TK387-395
11月18日 津輕越中守(順承)
〔安政4〕(1857)写 1通
- 〔寒中御機嫌伺串鮑献上之儀伺書〕 TK387-378
御附紙共 11月18日 津輕越中守(順承)
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔津輕寛五郎月次御礼初登城届〕 TK387-396
11月晦日 津輕越中守(順承)
〔安政4〕(1857)写 1通
- 〔津輕寛五郎年始初登城并叙爵御礼之習礼之儀伺〕
御附紙共 TK387-394
〔安政4〕(1857)写(原本)1通
註:津輕越中守家来比良野助太郎より
- 〔病氣ニ付滞府中参勤之御礼献上物之儀内意伺〕
御書取共 4月20日 津輕越中守(順承) TK387-380
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔病氣ニ付滞府中参勤御礼献上物之儀伺書〕 TK387-381
御附紙共 4月23日 津輕越中守(順承)
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔漬蕨宰相様江献上之分仕立不申候ニ付献上之儀伺書〕
御附紙共 7月9日 津輕越中守(順承) TK387-360
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔公家衆御馳走御能之節檜重献上之儀御書付〕 TK387-382
11月 津輕越中守(順承)宛

- 安政5(1858)写(原本)1通
- 〔近衛大納言殿御参向ニ付見舞申度儀伺書〕 TK387-386
御附紙共 11月21日 津輕越中守(順承)
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔近衛大納言殿御参向ニ付使者音物等差出申度儀伺書〕
御附紙共 11月29日 津輕越中守(順承) TK387-387
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔干鱈献上披露之儀御奉書〕 TK387-243
津輕越中守(順承)宛
安政6(1859)写(原本)2通
内容:第1(6月23日 太田備後守資始より)
第2(12月16日 内藤紀伊守信親より)
- 〔蝦夷地之内陣屋有場所ニテ地所被下警衛向被仰出ニ付御礼勤之儀伺〕 御附紙共 9月27日 TK387-391
〔安政6〕(1859)写(原本)1通
- 〔蝦夷地之儀ニ付陣屋有場所ニテ地所拜領ニ付御礼勤之儀伺〕 御附紙共 9月28日 TK387-388
安政6(1859)写(原本)1通
詫:津輕土佐守家来坂巻久雄より
- 〔西蝦夷地之内陣屋附地所被下警衛被仰付候ニ付御礼勤之伺〕 御附紙共 11月27日 TK387-359
〔安政〕(1859)写(原本)1通
詫:津輕土佐守家来平井修理より
- 〔家督隠居之御礼〕 御目録控 安政6年 TK387-397
御右筆
安政6(1859)写 1冊 美濃 和
- 〔蝦夷地陣屋有場所地所被下候ニ付御礼勤之儀伺〕
- 御附紙共 9月29日 TK387-392
写(原本)1通
詫:津輕土佐守家来坂巻久雄より
- 〔暑中寒中御機嫌伺干鱈献上之儀内意伺〕 TK387-357
御附紙共 12月5日
写(原本)1通
詫:津輕越中守家来小田切平次より
- ◇
- 〔御代替御礼御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕
9月19日 津輕武之助(承祐)宛 TK387-259
嘉永6(1853)写(原本)1通
詫:阿部伊勢守正弘より
- 〔御本丸御移徒御祝儀目録之通献上披露之儀御奉書〕
10月23日 津輕武之助(承祐)宛 TK387-260
嘉永6(1853)写(原本)1通
詫:阿部伊勢守正弘より
- 若殿様御出廉調帳 嘉永6年 TK387-344
嘉永6(1853)写 1冊 横長
- 〔四品之御礼申上候節献上物之儀伺書〕 TK387-364
御附紙共 12月18日 津輕大隅守(順承)
安政元(1854)写(原本)1通
- 〔四品之御礼申上候節老女衆表衆江贈物之儀伺書〕
御附紙共 12月18日 津輕大隅守(順承) TK387-365
安政元(1854)写(原本)1通
- 〔暑中御機嫌伺煎海鼠献上披露之儀御奉書〕 TK387-261
6月11日 津輕大隅守(順承)宛
安政2(1855)写(原本)1通
- 注:松平和泉守乗全より
- ◇
- 〔若殿様増上寺并紅葉山御宮供奉被遊御勤候一件〕
嘉永7年 TK387-401
嘉永7(1854)写 1冊 美濃 和
- 〔官位之御礼之節献上物之儀伺書〕 TK387-379
御附紙共 12月18日 津輕土佐守(承昭)
安政4(1857)写(原本)1通
- 〔四品之御礼之節献上物之儀伺書〕 TK387-383
御附紙共 11月25日 津輕土佐守(承昭)
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔四品之御礼之節天璋院様江差上物之儀伺書〕 TK387-384
御附紙共 11月25日 津輕土佐守(承昭)
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔四品之御礼之節本寿院様江差上物之儀伺書〕 TK387-385
御附紙共 11月25日 津輕土佐守(承昭)
安政5(1858)写(原本)1通
- 〔家督御礼願書及御暇時節内意伺文案〕 TK387-406
津輕土佐守(承昭)
〔安政6〕(1859)写 3通
- 〔御鷹献上披露之儀御奉書〕 TK387-295
11月3日 津輕土佐守(承昭)宛
〔安政6〕(1859)写(原本)1通
詫:脇坂中務大輔(安宅)より
- 〔増上寺御靈前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-262
11月25日 津輕土佐守(承昭)宛

- 安政6(1859)写(原本)1通
註:松平和泉守乗全より
- 〔御判物頂戴為御礼使者之儀内々願〕 TK387-409
御附紙共 3月29日
〔安政7〕(1860)写 2通
註:津軽土佐守(承昭)家来平井修理より
- 〔御能之節檜重献上之儀書付〕 TK387-389
津軽越中守(承昭)宛
万延元(1860)写(原本)1通
- 〔公方様東叡山御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-291
2月21日 津軽土佐守(承昭)宛
〔万延元〕(1860)写(原本)1通
註:安藤対馬守信睦より
- 〔公方様東叡山御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-293
3月11日 津軽土佐守(承昭)宛
〔万延元〕(1860)写(原本)1通
註:内藤紀伊守信親より
- 〔本多美濃守連判之列珍重之旨言上之儀御奉書〕
8月18日 津軽土佐守(承昭)宛 TK387-263
万延元(1860)写(原本)1通
註:久世大和守広周より
- 〔塩鯽献上披露之儀御奉書〕 TK387-264
11月28日 津軽土佐守(承昭)宛
万延元(1860)写(原本)1通
註:安藤対馬守信行より
- 〔侍従之御礼申上候節献上物差上物贈物之儀伺書〕
御附紙共 12月18日 津軽越中守(承昭)宛 TK387-390
万延元(1860)写(原本)4通
- 〔塩鯽献上披露之儀御奉書〕 TK387-299
11月26日 津軽土佐守(承昭)宛
写(原本)1通
註:松平和泉守乗全より
- 〔御本丸御移徒御祝儀日録之通献上披露之儀御奉書〕
11月11日 津軽土佐守(承昭)宛 TK387-265
文久元(1861)写(原本)1通
註:久世大和守広周より
- 〔東叡山御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-266
7月25日 津軽越中守(承昭)宛
文久2〔1862〕写(原本)1通
註:松平豊前守信義より
- 〔差扣不及儀難有旨に付御奉書〕 TK387-267
正月4日 津軽越中守(承昭)宛
文久3(1863)写(原本)1通
註:板倉周防守勝静より
- 〔暑中御機嫌伺言上之儀御奉書〕 6月9日 TK387-268
津軽越中守(承昭)宛
文久3(1863)写(原本)1通
註:松平豊前守信義より
- 〔東叡山御霊前御参詣恐悦旨言上之儀御奉書〕 TK387-410
9月5日 津軽越中守(承昭)宛
〔文久3〕(1863)写 1通
註:有馬遠江守道純より
- 〔公方様御推任叙御祝儀御太刀御馬代献上披露之儀御奉書〕
4月5日 津軽越中守(承昭)宛 TK387-294
〔元治元〕(1864)写(原本)1通
註:牧野備前守忠恭より
- 〔公方様増上寺御参詣恐悦旨上聞之儀御奉書〕 TK387-292
12月11日 津軽越中守(承昭)宛
写(原本)1通
註:板倉周防守勝静より
- 〔樋口左馬之助御軍艦組出役ニ付御礼勤之儀伺〕 TK387-369
御附紙共 卯7月22日
〔慶応3〕(1867)写(原本)1通
註:津軽越中守家来比良野助太郎より
- ◇
- 御簾中様よりの目録 津軽越中守(信政)宛 TK387-269
宝永2~5(1705~08)写 25通
内容:宝永2年閏4月25日 同8月23日 同10月4日 同11月27日 宝永3年3月23日 同4月16日 同4月21日 同5月16日 宝永4年6月23日 同9月13日 同10月21日 同12月9日 同12月27日 宝永5年正月15日 同2月22日 同3月11日 同4月6日 同4月18日 同5月2日 年月日不明6通
註:御簾中様は徳川家宣の室熙子
- 御台様よりの目録 延宝2年4月21日 TK387-270A
延宝2(1674)写 1通
- 御台様よりの目録 津軽越中守(信政)宛 TK387-270B
宝永6,7(1709,10)写 15通
内容:宝永6年6月15日 同7月7日 同7月11日 同8月11日 同9月5日 同9月29日 同11月18日 同12月23日 宝永7年正月16日 同2月23日 同3月22日 同4月23日 同6月15日 同7月朔日 同7月11日
註:御台様は徳川家宣の室熙子

一位様よりの目録 津軽土佐守(信寿)宛 TK387-271
写 16通
註:一位様は徳川家宣の室熙子

一位様よりの目録 竹翁(津軽信寿)宛 TK387-272
写 1通
註:一位様は徳川家宣の室熙子

一位様よりの目録 津軽出羽守(信著)宛 TK387-273
写 1通
註:一位様は徳川家宣の室熙子

天英院様御老女よりの奉文 TK387-274
写 60通
註:天英院は徳川家宣の御台所熙子
内容:津軽土佐守(信寿)宛 39通 津軽竹翁(信寿)宛 6通 津軽栄翁(信寿)宛 3通 津軽土佐守(信寿)同右京亮(信興)宛 8通 津軽出羽守(信興)宛 2通 津軽出羽守(信興)より天英院様老女宛 2通

口上之覚(御台様江参勤之御礼目録之通献上披露に付)
津軽越中守(寧親)宛 TK387-275
文化5~安政5(1808~22)写(原本)5通
内容:第1(文化5年10月9日到来 哥橋 飛鳥井 野むら 浦尾 瀬川 八十瀬)第2(文化7年10月27日到着 哥橋 飛鳥井 野むら うら尾 瀬川 八十瀬)第3(文政元年9月27日到来 哥橋 飛鳥井 花園 瀬川八十瀬 梅田)第4(文政3年12月29日到来 哥橋 あすか井 華その 瀬川 八十瀬 梅田)第5(文政5年5月27日到来 飛鳥井 花園 瀬川 八十瀬 梅田)

口上之覚(御簾中様江参勤之御礼目録之通献上披露に付)
津軽越中守(寧親)宛 TK387-276

文化7~文政5(1810~22)写(原本)3通
内容:第1(文化7年10月27日到着 万里小路 浜岡 梅田)第2(文政元年9月27日到来 万里小路 山の井 浜岡 花山)第3(文政5年5月27日到来 万里小路 山の井 浜岡 花山 茂見)

口上之覚(官位之御礼御簾中様江目録之通献上披露之儀)
12月29日到来 津軽越中守(寧親)宛 TK387-277
文政3(1820)写(原本)1通
註:万里小路 山の井 浜岡 花山 茂尾

口上之覚(家督の御礼御目録之通献上披露之儀)
6月11日到来 津軽大隅守(順承)宛 TK387-278
天保10(1839)写(原本)2通
内容:第1(山の井 姉小路 浜岡 滝津 梅田)第2(花その 万里小路 瀬川 滝川)

口上之覚(参勤之御礼大御台様江目録之通献上披露之儀)
6月22日到来 津軽大隅守(順承)宛 TK387-279
天保11(1840)写(原本)1通
註:花その 万里小路 瀬山 たき川

口上之覚(官位之御礼天璋院様江目録之通献上披露之儀)
12月29日到来 津軽越中守(順承)宛 TK387-280
万延元(1860)写(原本)1通
註:万里小路 飛鳥井 花園 瀬川 滝山 大崎



御登城之節御挟箱置方之儀ニ付公儀より相渡候絵図
寛政2(1790)写 1枚 28×31 TK387-281
蔵印:弘前日記方

於箱館松前若狭守様ヨリ御使者図式 TK387-282
寛政10(1798)写 1冊 59×66

御郭中・御郭外之図 TK387-283
慶応3(1867)写 1冊 36×21 和
蔵印:中奥御用物
註:慶応3年編集の藩主御出の諸行事・参詣など住居取り絵図

御座敷御住居図 TK387-284
写 1冊 30×23 仮和
註:儀式行事などの際における住居取り絵図

御座敷御住居之図 TK387-285
慶応3(1867)写 1冊 36×21 和
註:慶応3年編集の儀式・行事に藩主出座の際における住居取り絵図
蔵印:中奥御用物

御座之間諸御礼之図 TK387-286
写(天保6頃)2枚 54×41・40×27

口上覚(毎月御礼日之節は無懈怠登城云々) TK387-287
〔元禄16〕(1703)写 1通
註:幕府老中よりのもの

御定式御呈書扣 文化6年ヨリ同7年マデ TK387-288
文化7(1810)写 1冊 美濃倍(横)
註:津軽越中守(寧親)より江戸幕府老中への書状扣

不時御呈書之扣 文化6年ヨリ同7年マデ TK387-289
文化7(1810)写 1冊 美濃倍(横)
註:津軽越中守(寧親)より江戸幕府老中への書状扣

御官位其外不時御礼書(12月23日) TK387-290
写 1冊 横長

	◇	
[隠居家督御礼之儀伺]	TK387-408	
写 1通		
[御供立]	TK387-405	
写 1冊 半紙 和		
[貢献之儀ニ付伺書] 御書取并例書共	TK387-370	
卯7月22日		
写 (原本) 2通		
御口上書類寸法認形入	TK387-297	
写 1袋 (72通)		
小目録紙	TK387-298	
写 1袋		
定式御目録	TK387-398	
写 5冊 美濃 和		
内容: 年頭・八朔 端午・重陽・歳暮 御馬・御鷹・漬		
蕨・塩鮭・塩鱈・雉子 御香奠・御最花		
	◇	
簡礼集 10巻 碧雲道人(桐子)	TK387-399	
京都 辻本勘兵衛 寛文6(1666) 3冊 美濃 和		
書礼文法	TK387-403	
写 2冊 美濃・半紙 和		
内容: 大内・公家・百官 寺院・社僧・社人		
	TK391 軍備 軍事行政	
御軍役 上・中・下	TK391-1	

写 (元禄頃?) 3冊 半紙倍 和		
内容: 上 (従百石千石迄) 中 (従千百石式千石迄)		
下 (従式千百石三千石迄)		
註: 寛永10年(1633) 徳川家老の定めたもの?		
	TK395 軍需品	
江戸御預御武器帳 安永2年	TK395-1	
文化6(1809) 写 1冊 美濃 和		
御前通御武器明細調帳 御武具奉行	TK395-2	
万延元(1860) 写 1冊 半紙倍 和		
御旗並御合驗図式 御旗奉行	TK395-3	
写 1冊 32×24 和		
御一家銃炮書上面々扣 明治6年	TK395-4	
明治6(1873) 写 1冊 半紙 和		
	TK396 陸軍	
陸軍所入費調 明治4年7月15日より9月中	TK396-1	
元弘前県		
明治4(1871) 写 1冊 半紙 和		
	TK399 古代兵法	
足輕備図説并三備図説 図式共	TK399-1	
写 2冊・5枚 美濃		
註: 喜多村監物が差上げたもの		

TK400 自然科学	
	TK449 曆学 時法
嘉永五年壬子懐中略曆	TK449-1
刊 1枚 16.5×14.7	
	TK453 地震学 (火山誌)
岩木山嵩硫黄山出火一件 寺社方	TK453-1
写 1冊 半紙 和	
註: 寛政12年より安政3年まで(1800~56)	
	TK474 藻類 菌類
れいし御絵図	TK474-1
写 1舗 67×93	
註: 北浮田林(西郡鳴沢)の記あり	
れいし覚	TK474-2
写 1枚 24×35	
れいし御絵図	TK474-3
写 1舗 34×60	
註: 「北村武右衛門支配 床舞村前田茂右衛門屋敷」の記あり	
	TK487 脊椎動物
鮫之図	TK487-1
文化4(1807) 写 1枚 28×41	
註: 油川村で漁った鮫	
	TK499 薬学

本草辛味菜類抜書
写 1冊 半紙 和

TK499-1	TK 500 工学		明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和 註：明治2年10月より同3年9月まで
	TK 515 橋梁工学		
	常盤組村々自分橋元帳 寛政4年 寛政4 (1792) 写 1冊 半紙倍 和	TK515-1	堤防入費調 明治4年7月15日～12月 元弘前県 明治4 (1871) 写 2冊 半紙 和
	常盤組村々御物入橋元帳 寛政4年 寛政4 (1792) 写 1冊 半紙倍 和	TK515-2	TK 519 衛生工学 都市計画
	浪岡組村々自分橋元帳 寛政4年 寛政4 (1792) 写 1冊 半紙倍 和	TK515-3	〔本所横川端屋敷内埋樋場所替伺〕 絵図面典 御附紙共 写 2通 註：津軽土佐守家来坂卷久雄より
	浪岡組村々御物入橋元帳 寛政4年 寛政4 (1792) 写 1冊 半紙倍 和	TK515-4	TK 520 建築学
	赤田組村々自分橋元帳 寛政4年 寛政4 (1792) 写 1冊 半紙倍 和	TK515-5	五丁目御蔵屋敷東御蔵御取建直御用留 地方 安政5,6 (1858,59) 写 1冊 半紙
	赤田組村々御物入橋之内在手取建元帳 寛政4 (1792) 写 1冊 半紙倍 和	TK515-6	浜町御殿表御居間向御柱立并御棟上式 安政6年 安政6 (1859) 写 1冊 (2冊の内) 半紙 和
	赤田組村々自分用水樋書上帳 工藤小助 大沢友助 文政13 (1830) 写 1冊 半紙 和	TK515-7	浜町御殿表御居間向御普請御出来ニ付職人共江被下方一件 安政6 (1859) 写 1冊 半紙 和
	藤代組村々御物入橋之内在手取建元帳 寛政4 (1792) 写 1冊 半紙倍 和	TK515-8	貸長屋壱棟建築入費 写 1冊 半紙 註：染屋家業の鍵屋彦兵衛が江戸柳島邸続き地拝借の上 建築見積など
	岩木川橋梁架設ニ付御補助願 佐藤新六等 明治16 (1883) 写 1冊 美濃 和	TK515-9	大奥御広敷御普請一件 明治2年 明治2 (1869) 写 1冊 半紙 和
	TK 517 河川工学		
	営繕堤防公廨入費取調 営繕署	TK517-1	御小屋注文 TK520-7

写 1通		青盛三ノ丸馬建御絵図	TK526-5	写 1 舗 50×65 註：江戸上屋舗絵図の残欠部分
諸伺留帳 修営方	TK520-3	写 2 舗 80×120・48×40		
明治3～12 (1870～79) 写 4冊 半紙 和 内容：明治3年7月～同4年9月 明治4年10月～ 同7年 明治8年 明治9年～同12年		鯨ヶ沢御仮屋御建坪之図	TK526-6	御上屋舗惣御絵図面 M65 写 5 舗 内容：御上屋舗惣御絵図面 (130×257) 御広敷惣絵図 (93×96) 御絵図面 (29×28) 御休息長局絵図 (47× 33) 御休息御居間其外共絵図 (38×51) 附：御休息御普請ニ付御用答之覚 御休息囲地坪御川状
TK526 各種の建築		大間越御仮屋之図	TK526-7	
		写 1 舗 54×39		
弘前御城御指図	M63	深浦御仮屋之図	TK526-8	柳島御屋敷御絵図面 M66 写 1 舗 156×210
写 1 舗 144×89 註：本丸御殿間取図		深浦御仮屋図式	TK526-9	
[弘前城本丸御殿] 絵図	TK526-1	写 2 舗 39×85.5・67×96.5		柳島御屋敷惣御差図 TK526-17 写 1 舗 95×200 蔵印：弘前日記方
寛文13 (1673) 写 1 舗 110×158 註：本丸御殿間取図 改造計画図		常盤山御茶屋構之図	TK526-10	
[弘前城本丸御殿絵図]	TK526-2	写 1 舗 65×46		柳島御仮家之図 TK526-18 写 2 枚 34×59・32×44
写 1 舗 115×158 註：御殿間取図		常盤山御茶屋廻分間図	TK526-11	
弘前御城御差図 附城内作事覚 本城作事覚書	M64	写 1 舗 45×62		柳島御絵図 TK526-19 写 1 舗 88×102
写 2 枚・3通 29×42		富田御屋敷御絵図	TK526-12	
御本丸建物之図 (御一家御備)	TK526-3	御宝蔵御差図 附御書付	TK526-13	矢之倉御絵図面 TK526-20 天保4 (1833) 写 1 舗 159×175 註：天保5年 (1834) 大火にて類焼前のもの
写 [明治] 1 舗 120×91 註：取毀濟の部は色別にしてある 存在部分 946坪1 分5厘 取毀部分 746坪9分		[江戸上屋舗御広舗絵図]	TK526-14	箭庫御絵図面 M67 天保5 (1834) 写 1 舗 189×285
[御仮屋御絵図]	TK526-4	大奥御絵図面	TK526-15	矢ノ倉御屋舗御絵図面 TK526-21 写 3 舗 108×126 註：「但新に被仰付候御図には御座候得共御住居取不 宜候に付当時御不用之部に御座候 尤表御門両出番所御 面は宜方壹枚入」とある
写 5 枚 註：御仮屋の間取図 内容：青森 (42×48) 鯨ヶ沢 (40×39) 碓ヶ関 (19× 42) 大間越 (24×31) 深浦 (19×34)		[上屋舗大奥絵図]	TK526-16	

矢ノ倉御絵図 写 3 舗 93×88・104×158・89×114	M68	新御絵図面 天保7 (1836) 写 5 舗 内容：御表向御絵図面 (100×162) 表大奥御絵図面 (9 9×111) 御休息御絵図面 (166×131) 御床棚形 (26× 63・26×40)	M70	写 17 枚 39×54 (10 枚)・27×39 (7 枚)
御絵図 写 1 舗 212×153 註：矢ノ倉御屋敷の間取図？	M69	新御殿御絵図 (松平周防守様御住居之節之) 天保7 (1836) 写 1 舗 183×99	M71	御絵図 (御屋敷図) 写 1 舗 60×93
大川端御屋舗絵図 写 1 舗 144.5×121	TK526-22	御住居之節新御殿御画図 天保7 (1836) 写 1 舗 260×136 註：松平周防守様御住居之節之新御殿の下絵図	M72	表御玄関之図 写 1 枚 33×48
大川端御屋敷御絵図 写 1 舗 120×173	TK526-23	御絵図 写 13 枚 註：江戸御屋敷の絵図	TK526-30	式正門之差図 写 2 枚 30×40 註：向唐門・棟門各1枚ずつ
大川端新御屋舗惣御絵図面 写 1 舗 92×161	TK526-24	御休息御小座舗起御画図 写 1 枚 30×42	TK526-31	表御三階御床棚御絵図 写 2 枚 28×41
大川端新御屋舗惣御絵図面 写 1 舗 80×153	TK526-25	御居間御絵図 (御有来之図式及御模様替之図式) 写 3 枚 22.5×33.5・25.5×40.5・26.5×43.5	TK526-32	神明宮地割 元禄7 (1694) 写 6 枚 33.5×48.5 註：神明宮建地割 (49×66) 拜殿梁地割 神楽殿梁地割 内鳥居 外鳥居之図
本所四ツ目御下屋敷御差図 写 1 舗 79×76 蔵印：弘前日記方	TK526-26	古来広間之差図 写 4 枚 39×60・30×42・30×41・20×30	TK526-33	橋雲寺差図 写 1 枚
御讓請浜町御殿御有形御絵図 嘉永5年 嘉永5 (1852) 写 1 舗 86×110	TK526-27	京都・大阪・大津・敦賀・板久御屋舗之図 享保7 (1722) 写 7 枚 註：京都2枚 大阪大津敦賀板久各1枚 不明の屋敷1枚	TK526-34	長勝寺境内之図 写 1 舗 110×150
東西御住居御絵図面 文政12 (1829) 写 2 舗 内容：東御住居・御住居替之御絵図面 (78×61) 西御住居御絵図面 (30×74)	TK526-28	加州屋舗將軍宣下之図 写 1 舗 56×60	TK526-35	津梁院之図 寛政4 (1792) 写 1 舗 90×98 蔵印：弘前日記方
御住居御絵図面 写 1 舗 77×61	TK526-29	御数寄屋御絵図	TK526-36	津梁院新規御取建絵図面 写 1 舗 93×88 蔵印：弘前日記方

〔常福寺絵図〕 文政7(1824)写 1 舗 63×80	TK526-46	御矢倉之図 写 2 枚 27×36 註：二重御矢倉 三重御矢倉之図各 1 枚ずつ	TK526-54	写 3 枚 62×45・30×39・60×55
常福寺絵図面 文政7(1824)写 1 舗 55×75 註：覚書3通添 蔵印：弘前日記方	TK526-47	不相知御差図 写 1 舗 56×39	TK526-55	北村源八家之図 写 1 舗 81×74
		TK527 住宅		北村源八屋敷之図 附覚書 写 1 舗 85×70
		御家中屋舗建家図 宝曆6(1756)写 12 冊 美濃倍 和 註：家中侍の家屋の間取り図 内容： 〔第1〕城東之一(白銀町 大浦町 蔵主町 長坂町 笹森町) 〔第2〕城東之二(元寺町 百石町 御徒町川端町 御徒町) 〔第3〕城東之三(徳田町 西川岸町 田代町 山下町 田中町 柳町) 〔第4〕城東之四(土手町) 〔第5〕城東之五(緑町 植田町 片山町 坂元町) 〔第6〕城東之六(代官町) 〔第7〕城西之一(馬屋町 鷹匠町) 〔第8〕城西之二(五捨石町 川原町 南袋川端) 〔第9〕城南之一(元長町 大工町 塩分町 森町 在府町) 〔第10〕城南之二(相良町 樋屋町川端町 住吉町 山道町) 〔第11〕城北之一(若党町) 〔第12〕城北之二(小人町 与力町 春日町)	TK527-1	北村源八屋敷御作事之注文 写 2 冊 (1) 15×43 (2) 14×36 註：(1) は延宝5(1677)写
江戸御殿守絵図(百分一ノ割) 写 1 枚 40×45×59 註：江戸城天守の立体図	M73			北村与左衛門上ヶ屋敷 写 1 枚 45×29 註：足立又右衛門に御貨し付
江戸御殿守絵図 写 1 舗 88×55	TK526-48			黒土孫兵衛古屋舗之差図 写 2 改 30×40・21×30
西御丸渡御櫓御絵図 同書付共 写 1 枚・書付1 枚 26×27	TK526-49			傍島主水外屋敷図 写 1 舗 79×84
淀城之図 写 1 舗 62×78	TK526-50			田村武左衛門御かし屋敷 写 1 枚 44×47
屋舗城之図 写 1 舗 83×77	TK526-51			大道寺次郎市北隣屋敷図 写 1 舗 59×40
三重御櫓之図 写 1 枚 45×32	TK526-52			津軽平八郎殿本屋敷図 写 1 舗 50×74
御矢倉御差図 延宝5(1677)写 5 枚 20×28・16×24・12×21・ 8×17・11×17 註：五重・四重・三重・二重の御矢倉	TK526-53	猪俣市郎兵衛上ヶ屋敷図 写 1 枚 40×30	TK527-2	樋口右衛門屋敷御差図 写 2 枚 45×62・30×40
		木村奎之助屋敷差図	TK527-3	御長屋割図

写 3 冊 14×97.5・28×214・79×73

TK552 船舶構造 船体施工

箱館丸御船製造一件帳入 TK552-1

安政4(1857)写 1包

内容:銅板之図 一枚もの 27.8×125.0

銅板之図 一枚もの 27.8×201.7

バッテリー合船仕様之惣図 一枚もの 27.8×120.0

二番バッテリー船鉄物一組 一枚もの 27.8×502.2

御船卸路石垣築出并滯浚共百歩一之図 一枚もの

27.8×312.6

箱館丸附属橋船鉄物正図 一枚もの 27.8×644.0

於箱館表御製造大之方バッテリー出来鉄物積書之写
乾(安政4(1857)1冊 半紙 和)於箱館小之バッテリー御製造出来仕上り積之写 坤
(安政4(1857)1冊 半紙 和)

箱館大御船御製造一件 図式物部 1冊 美濃 和

箱館大御船御製造一件 材木一之帳 1冊 半紙 和

箱館大御船御製造一件 材木二之帳 1冊 半紙 和

箱館大御船御製造一件 金物一之帳 1冊 半紙 和

箱館大御船御製造一件 金物二之帳 1冊 半紙 和

箱館大御船御製造一件 金物三之帳 1冊 半紙 和

箱館大御船御製造一件 金物四之帳 1冊 半紙 和

箱館大御船御製造一件 金物五之帳 1冊 半紙 和

箱館大御船御製造一件 帆拵之部 1冊 半紙 和

箱館大御船御製造一件 諸品之部 1冊 半紙 和

箱館大御船御製造一件 職人・人夫出面 1冊 半紙 和

図5枚1包(公義ニテ鍛冶村江御取建ニ相成候御役所

之図(蝦名要吉箱館詰合之御写取候者)1枚もの

113.0×82.5

御元船之図 1枚もの 323×78

箱館丸額前之図 1枚もの 78×380

箱館丸帆数八枚之図 1枚もの 40×55.5

滯浚仕様之図 1枚もの 38.5×110

船絵図 附笹森権蔵覚書(御召船帆立所并用方之儀)

写 2枚 23×43・46×64

TK552-2

註:旧津軽藩主御召船の図

TK559 兵器 軍事工学

山鹿先生繩張之図

TK559-2

写 4枚 81×83

註:山鹿素行1枚(53.5×53.5)山鹿藤助2枚(延宝9
(1681)(100×130.5・82×91)

平城繩張

TK559-3

写 2枚 31×43・56×55.5

註:山鹿素行および山鹿藤助の繩張

城制図(松竹梅・鶴・亀)

TK559-4

天保7(1836)写 3枚 28×41

註:松竹梅(戸沢盛樹)鶴(戸沢盛鎮)亀(三浦良顕)

御城制

TK559-1

寛政12(1800)写 図4枚

内容:山誠御繩(寛政10(1798)40×54)平城御繩(寛
政10(1798)40.5×54)御繩張之図(文化元(1804)
31×45)御城築図(寛政12(1800)70.5×66)〔大川端并柳島御屋敷内鉄炮稽古之儀に付鷹匠頭并鳥見江
間合書〕 TK559-5

文化5(1808)写(原本)4通

註:津軽越中守家来櫛引昇より

〔柳島屋敷江角場取建鉄炮稽古致度儀伺書〕 TK559-9

御附紙共 8月28日 津軽越中守(順承)

嘉永6(1853)写(原本)1通

〔大森大筒町打場拝借大筒稽古致度儀願書〕 TK559-6

御附紙共 9月16日 津軽越中守(順承)

嘉永6(1853)写(原本)1通

〔本所三之橋通中屋敷江角場取建鉄炮稽古致度伺書〕

御附紙共 9月16日 津軽越中守(順承) TK559-8

嘉永6(1853)写(原本)1通

〔大森大筒町打場拝借大筒稽古致度日限之儀伺〕 TK559-7

御附紙并書付共 10月

嘉永6(1853)写(原本)3通

註:津軽越中守家来北川六左衛門より

大筒御届拔萃 弘化5年~嘉永7年 TK559-10

写 1冊 横長

〔深川訓練場拝借仕度儀伺〕6月18日 TK559-12

慶応3(1867)写(原本)1通

註:津軽越中守家来大石鍔太郎より

〔砲術稽古覚〕

TK559-11

写 3通

TK568 石油

石油一件 TK568-1

1包

内容:東京日々新聞第612~614号附録(明治7年4月)
石油地所願 樋口建良宛書簡(高野一馬)試掘願 石油
試掘延期願之義ニ付願 石油会社規則 石油会社試掘券
状除名願之儀(明治9)その他

TK569 鉱業経済 経営(鉱業史)

〔寒沢銀山之図〕 附書付 TK569-9

延宝2 (1674) 写 2通・1枚 30×43		鉾山扱振太都	TK569-2	1巻 註：慶応3年に織師高坂松太郎に預り仰せつかった紋織実物見本
寒沢之内御銀銅山御絵図	M74	明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和		
延宝4 (1676) 写 1冊 152×168 往：唐牛与右衛門の書上		鉾山取扱手続調 鉾山署	TK569-3	
御銀山所々御入用之惣差図	TK569-10	明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和		御用織品上納通 明治3年～同5年 TK586-3 高坂松太郎 明治3～5 (1870～72) 写 1冊 半紙半
延宝4 (1676) 写 1枚 40×45		鉾山仕込入費明細調 明治4年10月,11月 元弘前県	TK569-4	
おつふ御町屋敷御絵図	TK569-11	明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和		TK588 食品工業
延宝5 (1677) 写 1冊 64×97		尾太より小国まで八ヶ所鉾山入費調	TK569-5	覚 (当未年酒造候儀寒造之外新酒一切可為 TK588-1 停止候云々) 元禄16年 〔元禄16〕 (1703) 写 1通 註：幕府老中稲葉丹後守より渡されたもの
尾太御山之御絵図	M75	元弘前県		
写 3冊 (1) 158×185 (2) 133×182 (3) 117×189 註：(1) は延宝8 (1680) 写		明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和		
〔尾太銅山舗内之図〕	TK569-12	当八月朝廷御届表ト十二月朔日有物高差引調	TK569-6	麻地酒御法起請文 TK588-2 享保7 (1722) 写 1通 註：古山藤次郎 (則久) 伊沢七左右衛門 (利白) より 兼松七郎右衛門宛
写 1冊 57×85		明治4年 鉾山方		
尾太銅山七兵衛銅舗扣図	TK569-13	萌治4 (1871) 写 1冊 半紙 和		仙家飴并糖味噌之御法起請文 享保8年 TK588-3 古山藤次郎 (則久) 享保8 (1723) 写 1通 註：八木沢善六 杉沢四郎五郎宛
写 1冊 55×41		鉾山有物調其他 明治4年 元弘前県	TK569-7	
尾太銅鉛山台所山小屋図式	TK569-14	明治4 (1871) 写 1袋 (9冊) 美濃・半紙 和		
文化4 (1807) 写 8浪 内容：尾太山図 尾太山舗内図 尾太台所図 尾太銅山 七兵衛銅舗五本根合水抜縄継〔図〕ほか4枚		内容：鉾山有物調 (鉾山方) 鍋釜有物明細調 (元弘前県) 銅細工有物明細調 (元弘前県) 鉾山精銅有物当八月書上 表差引調 (元弘前県)		
〔入良川銀山絵図〕	TK569-15	旧小国鉄山御扶持人調 (明治4年)	TK569-8	
写 1冊 75×108 註：大間越領入良川沢		第一大区四五小区区務所		
明治二己年十月より翌午九月中鉾山米金渡并出物調	TK569-1	明治10 (1877) 写 1冊 半紙 和		
山林方		合綴：鉄吹御印写 今泉鉄山旧御雇之者		
写 1冊 半紙 和		TK586 繊維工業		
		かた帳	TK586-1	
		写 1冊 美濃半 和		
		紋織二十八通御手本	TK586-2	

TK600 産業

TK602 産業史 事情 物産

授産金調帳 明治6年 鳴海謙六 菊池宇吉 TK602-1
 明治6(1873)写 1冊 半紙 和

産物有品調 弘前県 TK602-2
 明治4(1871)写 1冊 半紙 和

TK611 農業経済

御収納帳 地方 TK611-1
 寛政12～文政10年(1800～27)写 2冊 半紙 和
 内容:寛政12年,13年 文政9年,10年

御代官諸書付留并御用状之写共 TK611-2
 嘉永2年,3年
 嘉永3(1850)写 1冊 半紙 和

卯年取立分上納米調帳 地方 TK611-3
 安政3(1856)写 1冊 半紙 和

地方帳 明治2年正月～同3年6月 TK611-4
 郡所地方
 明治2,3(1869,70)写 1冊 半紙 和

先禄米払代調 明治4年8月～10月 TK611-5
 元弘前県
 明治4(1871)写 1冊 美濃 和

当未年取納米一紙目録 明治4年 TK611-6
 明治4(1871)写 1冊 美濃 和

夫喰利米取調 明治4年 TK611-7

工藤弥惣司 松山三右衛門
 明治4(1871)写 1冊 半紙 和

浦町横内両組嘉永四亥年十月より文久三亥年九月中役所御
 用钱受払精勘惣括帳 浦町両組手代 TK611-8
 元治元(1864)写 1冊 半紙 和

油川後方両組村々田畑生荒調方ニ付当四月より十一月十五
 日迄諸入用調并来五月中迄ニ調済見込諸入用共大都調書上
 帳 油川両組田畑調帳合方 TK611-9
 明治3(1870)写 1冊 半紙 和

(慶応三卯ノ十月ヨリ明治元九月中)高杉組村々御用钱差
 引勘定帳 対馬儀兵衛 TK611-10
 明治4(1871)写 1冊 半紙 和

〔御用留〕明治4年 租税署 TK611-11
 〔明治4〕(1871)写 1冊 半紙 和
 註:庄屋から大庄屋を通して租祝署への請書付 田畑分
 与買上関係のものが多い

TK611.2 土地制度 小作問題

陸奥国津軽郡御検地水帳 TK611.2-1

貞享4～明和4(1687～1767)写 917冊 半紙倍 和
 内容:

〔浦町組〕(第一大区二小区)

第1	田舎庄浦町村	貞享4年	(青森市)
第2	勝田村	同	同
第3	堤村	同	同
第4	浜田村	同	同
第5	大野村	同	同
第6	八役村	同	同
第7～9	荒川村 寄帳共	同	同
第10～12	高田村 寄帳共	同	同
第13	小館村	同	同
第14	入内村	同	同
第15	野沢村	同	同
第16	宮袋村	同	同
第17	大柳部村	同	同
第18	大別内村	同	同
第19	金浜村	同	同
第20	柴橋村(野木)	同	同
第21	上野村	同	同
第22	牛館村	同	同
第23	新町野村	同	同
第24	合子沢村	同	同
第25	雲谷村	同	同
第26,27	田舎庄浦町組村々 <small>見取場 荒地</small> <small>田畑地 漆米</small>	改帳	貞享4年
第28,29	同 <small>見取場 荒地</small> <small>田畑地</small>	改帳	同

〔浦川組〕(第一大区三小区)

第30～32	田舎庄油川村 寄帳共	貞享4年	(青森市)
第33	十三森村	同	同
第34	田沢村	同	同
第35	寺内村	同	同

第 161	高屋敷村	同	同	第 199	柏木堰村	貞享 4 年	同	第 237	高樋村	同	同	
第 162	徳才子村	同	同	第 200	田舎庄常盤組村々	見取場 田畑地	荒地 漆木 改帳	貞享 4 年	第 238	十二河原村	同	同
第 163	長沼村	同	同	第 201	同	見取場 田畑地	荒地 漆木 改帳	同	第 239	堂野前村	同	同
第 164	大釈迦村	同	同	〔藤崎組〕(第二大区三小区)				第 240	大光寺村	同	同	
第 165	柳久保村	同	同	第 202～205	田舎庄藤崎村	寄帳共	貞享 4 年	(藤崎町)	第 241	馬場尻村	同	(黒石市)
第 166～168	上十川村 寄帳共	同	(黒石市)	第 206	藤越村	同	同	第 242	境松村	同	同	
第 169	赤坂村	同	同	第 207	根子橋村	同	同	第 243	田舎庄田舎館組村々	見取場 田畑地	荒地 漆木 改帳	貞享 4 年
第 170	三島村	同	同	第 208	柿崎村	同	同	〔猿賀組〕(第二大区七小区)				
第 171,172	高館村 寄帳共	同	同	第 209	飯田村	同	(板柳町)	第 244～248	平賀庄猿賀村	寄帳共	貞享 4 年	(尾上町)
第 171A	同	同	同	第 210	辻村	同	同	第 249	尾上村	同	同	
第 173	竹鼻村	同	同	第 211～213	横沢村 寄帳共	同	同	第 250	高木村	同	同	
第 174	二双子村	同	同	第 214	大田村	同	同	第 251	原村	宝永元年	同	
第 175	堤館村	同	同	第 215	長野村	同	同	第 252	八幡館村	貞享 4 年	同	
第 176,177	田舎庄波岡組村々	見取場 田畑地	漆木 改帳	貞享 4 年	第 216	深味村	同	同	第 253	野曾江村	同	同
〔常盤組〕(第二大区二小区)				第 217	河辺村	同	(田舎館村)	第 254	蒲田村	同	同	
第 178	田舎庄 常盤村	貞享 4 年	(常盤村)	第 218	和泉村	同	同	第 255	新山村	同	同	
第 179	徳下村	同	同	第 219	土矢倉村	同	同	第 256	林子木村	同	同	
第 180	徳田村	同	同	第 220	前田屋敷村	同	同	第 257	日沼村	同	同	
第 181	福島村 (字保村下改帳)	同	同	第 221	境森村	同	同	第 258	大袋村	同	(田舎館村)	
第 182	若松村	同	同	第 222	田舎庄藤崎組村々	見取場 田畑地	荒地 漆木 改帳	貞享 4 年	第 259	追子木村	同	(黒石市)
第 183	榊村	同	同	〔田舎館組〕(第二大区四小区)				第 260	中川村	同	同	
第 184	中島村	同	(藤崎町)	第 223	田舎庄 田舎館村	貞享 4 年	(田舎館村)	第 261	同	宝永元年	同	
第 185	小畑村	同	同	第 224	八反田村	同	同	第 262～265	浅瀬石村寄帳共	貞享 4 年	同	
第 186～188	矢沢村 寄帳共	同	同	第 225～227	畠中村 寄帳共	同	同	第 266	高賀野村	同	同	
第 189	葛野村	同	同	第 228	大曲村	同	同	第 267	袋村	同	同	
第 190	水沼村	同	同	第 229	諏訪堂村	同	同	第 268	平賀庄猿賀組村々	見取場 田畑地	荒地 漆木 改帳	貞享 4 年
第 191	中野目村	同	同	第 230	堀切村	同	同	〔大光寺組〕(第二大区八小区)				
第 192	五林村	同	同	第 231	大根子村	同	同	第 269～271	平賀庄大光寺村	寄帳共	貞享 4 年	(平賀町)
第 193	西中野目村	同	同	第 232	二屋村	同	同	第 272	本町村	同	同	
第 194	吉向村	同	同	第 233	豊蒔村	同	同	第 273	小和森村	同	同	
第 195	亀岡村	同	同	筆 234	垂柳村	同	同	第 274	荒田村	同	同	
第 196	俵升村	同	同	第 235	狐淵村	同	同	第 275	平田森村	同	同	
第 197	下俵升村	享保 11 年	同	第 236	枝川村	同	同	第 276	館田村	同	同	
第 198	同	宝暦 9 年	同									

第 277	苗生松村	同	同	第 312 ~ 314	長峰村 寄帳共	同	同	第 364	小沢村	貞享 4 年	同
第 278	館山村	同	同	第 315	苦木村	同	同	第 365	坂本村	同	同
第 279	松館村	同	同	第 316	唐牛村	同	同	第 366	原平村	同	同
第 280	松崎村	同	同	第 317	虹貝村	同	同	第 367	湯口村	同	(相馬村)
第 281	杉館村	同	同	第 318	早瀬野村	同	同	第 368	黒滝村	同	同
第 282	長田村	同	(尾上町)	第 319	島田村	同	同	第 369	平賀庄和徳組村々	<small>見取場 田畑地</small> <small>荒地 漆木</small>	改帳 貞享 4 年
第 283	中佐渡村	同	同	第 320	宿川原村	同	同	[組外]			
筆 284	新屋町村	同	同	第 321	三目内村	同	同	第 370	富田町裏畑並野畑	元禄 16 年	(弘前市)
第 285	李平村	同	同	第 322	居士村	同	同	[堀越組] (第三大区三小区)			
第 286	金屋村	同	同	第 323	森山村	同	同	第 371 ~ 374	平賀庄堀越村	寄帳共	貞享 4 年 (弘前市)
第 287	田中村	同	同	第 324	八幡館村	同	(大鰐町 弘前市)	第 375	取上村	同	同
第 288	平賀庄大光寺組村々	<small>見取場 田畑地</small> <small>荒地 漆木</small>	改帳 貞享 4 年	第 325	小金崎村	同	同	第 376	大清水村	同	同
第 289	同	<small>見取場 田畑地</small>	改帳 同	第 326 ~ 328	乳井村 寄帳共	同	(弘前市)	第 377	小比内村	同	同
[尾崎組] (第二大区九小区)				第 329	薬師堂村	同	同	第 378	外崎村	同	同
第 290 ~ 292	平賀庄新屋村	寄帳共	貞享 4 年 (平賀町)	第 330 ~ 332	石川封 寄帳共	同	同	第 379	高田村	同	同
第 293	町井村	同	同	第 333 ~ 335	大沢村 寄帳共	同	同	第 380	福田村	同	同
第 294	柏木町村	同	同	第 336	高畑村	同	(平賀町)	第 381	境関村	同	同
第 295	石郷村	同	同	第 337	吹上村	同	同	第 382	福村	同	同
第 296	小杉村	同	同	第 338 ~ 341	碓関村 寄帳共	同	(碓ヶ関村)	第 383	新里村	同	同
第 297	四屋村	同	同	第 342	小懸村	同	同	第 384	門外村	同	同
第 298	石畑村	同	同	第 343	平賀庄大鰐組村々	<small>見取場 田畑地</small> <small>荒地 漆木</small>	改帳 貞享 4 年	第 385 ~ 387	清水森村 寄帳共	同	同
筆 299	大坊村	同	同	第 344	同	<small>見取場 田畑地</small> <small>荒地</small>	改帳 同	第 388	小栗山村	同	同
第 300	岩館村	同	同	[和徳組] (第三大区二小区)				第 389	松木平村	同	同
第 301	原田村	同	同	第 345 ~ 347	平賀庄和徳村	貞享 4 年	(弘前市)	第 390	大和沢村	同	同
第 302	沖館村	同	同	第 348	高崎村	同	同	第 391	一渡村	同	同
第 303	新館村	同	同	第 349 ~ 351	堅田村 寄帳共	同	同	第 392	平賀庄堀越組村々	<small>見取場 田畑地</small> <small>荒地 漆木</small>	改帳 貞享 4 年
第 304 ~ 306	広舟村 寄帳共	同	同	第 352	撫牛子村	同	同	第 393	同	<small>見取場 田畑地</small> <small>荒地</small>	改帳 同
第 307	唐竹村	同	同	第 353	大久保村	同	同	[駒越組] (第三大区四小区)			
第 308	小国村	同	同	第 354	津軽野村	同	同	第 394	鼻和庄駒越村	貞享 4 年	(岩木町 弘前市)
第 309	切明村	同	同	第 355 ~ 357	内外瀬村 寄帳共	同	同	第 395	深山村	同	(岩木町)
[大鰐組] (第二大区十小区)				第 358	清野袋村	同	同	第 396	一町田村	同	同
第 310	平賀庄 大鰐村	貞享 4 年	(大鰐町)	第 359 ~ 361	悪戸村 寄帳共	同	同	第 397	二本木村	同	同
第 311	蔵館村	同	同	第 362	下湯口村	享保 11 年	同				
				第 363	同	宝曆 9 年	同				

第 398	五代村	同	同	〔藤代組〕(第三大区五小区)				第 477	四戸野沢村	同	同	
第 399	門前村	同	同	第 436 ~ 438 鼻和庄藤代村	寄帳共	貞享 4 年	(弘前市)	第 478	折笠村	同	同	
第 400	築館村	同	同	第 439	土堂村	同	同	第 479	宮館村	同	同	
第 401	菖蒲川村	享保 11 年	同	第 440	烏町村	同	同	第 480	中別所村	同	同	
筆 402	同	宝暦 9 年	同	第 441	菴中村	同	同	第 481 ~ 483	鬼沢村	寄帳共	同	
第 403	宮地村	貞享 4 年	同	第 442	外瀬村	同	同	第 484	貝沢村	同	同	
第 404	葛原村	同	同	第 443	石渡村	同	同	第 485	大森村	同	同	
第 405	新岡村	同	同	第 444	船水村	同	同	第 486	十面沢村	同	同	
第 406	新法師村	同	同	第 445	町田村	同	同	第 487	十腰内村	同	同	
第 407	百沢村	同	同	第 446	藤内村	同	同	第 488	立石村	同	(鯨ヶ沢町)	
第 408	近名村	同	同	第 447	中崎村	同	同	第 489	高屋村	同	(岩木町)	
第 409	真土村	同	同	第 448	三世寺村	同	同	第 490	熊島村	同	同	
第 410	竜口村	同	同	第 449	大川村	同	同	第 491	坪貝村	同	同	
第 411	国吉村	同	(弘前市)	第 450	青女子村	同	同	第 492	賀田村	同	同	
第 412	桜庭村	同	同	第 451 ~ 453	種市村	寄帳共	同	第 493	横町村	同	同	
第 413	米袋村	同	同	第 454	桂村	同	同	第 494	八幡村	同	同	
第 414	中野村	享保 11 年	同	第 455	小友村	同	同	第 495	植田村	同	同	
第 415	同	宝暦 9 年	同	第 456	中畑村	同	同	第 496	鼻和村	同	同	
第 416 ~ 418	中畑村	寄帳共	貞享 4 年	第 457	川村	同	同	〔組外〕				
第 419	番館村	同	同	第 458	笹館村	同	同	第 497	鼻和庄鯨ヶ沢町		貞享 4 年 (鯨ヶ沢町)	
第 420	杉沢村	同	(西目屋村)	第 459	妙堂崎村	同	(鶴田町)	〔赤石組〕及赤石組支配 (第四大区二~四小区)				
第 421	田代村	同	同	第 460 ~ 462	廻関村	寄帳共	同	第 498	鼻和庄赤石村		貞享 4 年 (鯨ヶ沢町)	
第 422	大秋村	同	同	第 463	野木村	同	同	第 499 ~ 501	舞戸村	寄帳共	同	
第 423	白沢村	同	同	第 464	木筒村	同	同	第 502	田浦村	同	同	
第 424	村市村	同	同	第 465,466	鼻和庄藤代組村々	見取場 畠地	改帳	貞享 4 年	第 503	館村	同	同
第 425	砂子瀬村	同	同	〔高杉組〕(第三大区六小区)				第 504	中下村	同	同	
第 426	河原平村	同	同	第 467 ~ 469 鼻和庄高杉村		貞享 4 年	(弘前市)	第 505	片屋敷村	同	同	
第 427	同 (畑地改帳)	同	同	第 470	前坂村	同	同	第 506	別所村	同	同	
第 428	五所村	同	(相馬村)	第 471	孤独村	同	同	第 507 ~ 509	中村	寄帳共	同	
第 429	水木在家村	同	同	第 472	薬師堂村	享保 11 年	同	第 510	横山村	(享保 11 年改帳)	同	
第 430	境市村	(享保 11 年改帳)	同	第 473	同	宝暦 9 年	同	第 511	滝淵村	同	同	
第 431 ~ 433	相間村	寄帳共	同	第 474	蒔苗村	貞享 4 年	同	第 512	芦荻村	同	同	
第 434	松代村	同	(鯨ヶ沢町)	第 475	鶴田村	同	同	第 513	長平村	同	同	
第 435	鼻和庄駒越組村々	見取場 田畑地	荒地	第 476	三森村	同	同					

第 514	深谷村	同	同	第 550	大畑村	貞享 4 年	同	第 585	吹原村	貞享 4 年	同
第 515	小森村	同	同	第 551	同	元文元年	同	第 586	同	元文 2 年	同
第 516	大然村	同	同	第 552	広森村	同	同	第 587	西広森村	元文元年	同
第 517	種里村	同	同	第 553	片田岡村	同	同	第 588	丸山村	元文 2 年	同
第 518	目内崎村	同	同	第 554	林村	同	同	第 589	遠山里村	貞享 4 年	同
第 519	姥袋行	同	同	第 555	加納村	同	同	第 590	同	元文元年	同
第 520	浮田村	享保 11 年	同	第 556	下遠山里村	同	同	第 591	加福村	元文 2 年	同
第 521	柳田村	貞享 4 年	(深浦町)	第 557	同	同	同	第 592	弓袋村	元文元年	同
第 522	岩坂村	同	同	第 558	貫水村	同	同	第 593	南広森村	同	同
第 523	関村	同	同	第 559	菊川村	同	同	第 594	菰槌村	貞享 4 年	同
第 524	金井沢村	同	同	第 560	平野村	同	同	第 595	同	元文元年	同
第 525	田野沢村	同	同	第 561	下中館村	同	同	第 596	入江村	同	同
第 526	広戸村	同	同	第 562	上中館村	同	同	第 597	大湯町村	同	同
第 527 ~ 529	深浦町 寄帳共	同	同	第 563	桜井村	同	同	第 598	同	宝暦 4 年	同
第 530	小福浦村 (嘉保 11 年横 藏村と改帳)	同	同	第 564	里見村	同	同	第 599	瓜生村	元文 2 年	同
第 531	月屋村	同	同	第 565	町居田村	同	同	第 600	館岡村	同	同
第 532	鱸作村	同	同	第 566	川泊村	同	同	第 601	同	宝暦 4 年	同
第 533	沢辺村	同	(岩崎村)	第 567	岡部村	同	同	第 602	亀岡村	貞享 4 年	同
第 534	岩崎村	同	同	第 568	川添村	同	同	第 603	畔屋村	元文元年	同
第 535	正道尻村	同	同	第 569	柴田村	同	同	第 604	筒木坂村	貞享 4 年	同
第 536	森山村	同	同	第 570	近野村	同	同	第 605	同	元文元年	同
第 537	松神村	同	同	第 571	上福原村	同	同	第 606	同	宝暦 4 年	同
第 538	黒崎村	同	同	第 572	中福原村	同	同	第 607	平滝村	同	同
第 539	大間越村	同	同	第 573	下福原村	同	同	第 608	鼻和庄長浜村	貞享 4 年	同
第 540,541	鼻和庄赤石組村々 品取地 嘉保 改帳	貞享 4 年		第 574	吉見村	同	同	第 609	田舎庄同	宝暦 4 年	同
[木造新田] (第四大区五小区八小区)				第 575	三原村	同	同	第 610	牛瀨村	貞享 4 年	(車力村)
第 542	田舎庄木作村	元文元年	(木造町)	第 576	三館村	同	同	第 611	同	元文元年	同
第 543	松岡村	同	同	第 577	中三館村	同	同	第 612	同	宝暦 4 年	同
第 544	同	同	同	第 578	盛照村	同	同	第 613	車力村	元文 2 年	同
第 545	下木作村	同	同	第 579	広岡村	同	同	第 614	同	宝暦 4 年	同
第 546	濁川村	同	同	第 580	蒔岡村	貞享 4 年	同	第 615	富蒔村	同	同
第 547	新屋敷村	同	同	第 581	同	元文 2 年	同	第 616	豊富村豊崎 <small>品取地</small>	除地元帳	安政 4 年
第 548	中野林村	同	同	第 582	越水村	貞享 4 年	同	第 617 ~ 619	鼻和庄床舞村 寄帳共	貞享 4 年	(森田村)
第 549	土滝村	同	同	第 583	同	元文 2 年	同	第 620	船岡村	元文元年	同
				第 584	駒田村	同	同	第 621	森田村	同	同

第 728 ~ 730	夕顔関村	寄帳共 同	同	第 778 ~ 780	鶴田村	寄帳共 同	同	第 816	壺野坪村	同	同
第 731	常海橋村	同	同	第 781	笹森村	同	同	第 817	独鼻村	宝曆 9 年	同
第 732	館野越村	同	同	第 782	菖蒲川村	同	同	第 818	石畑村	貞享 4 年	同
第 733	滝井村	同	同	第 783	鶴泊村	同	同	第 819	太刀打村	同	同
第 734	下菴村	同	同	第 784	大性村	同	同	第 820	川代田村	同	同
第 735	沢田村	同	同	第 785,786	田舎庄赤田組村々	<small>昆取場 荒地 漆木</small> 改帳	貞享 4 年	第 821	天神村	同	同
第 736	高増村	同	同					第 822	金山村	同	同
第 737	大俵村	同	同					第 823	平町村	同	同
第 738 ~ 743	横菴村	寄帳共 同	(鶴田町)	〔広田組〕(第五大区四小区五小区)				第 824	朝日沢村	同	同
第 744 ~ 746	瀬良沢村	寄帳共 同	同	第 787	田舎庄広田村		貞享 4 年(五所川原市)	第 825	戸沢村	同	同
第 747	田舎庄柏木組村々	<small>昆取場 荒地 漆木</small> 改帳	貞享 4 年	第 788	七館村	同	同	第 826	石田坂村	同	同
				第 789	真黒屋敷村	同	同	第 827	福岡村	同	同
〔赤田組〕(第五大区三小区)				第 790	姥菴村	同	同	第 828	松野木村	同	同
第 748	田舎庄赤田村		貞享 4 年 (板柳町)	第 791	湊村	同	同	第 829	神山村	同	同
第 749	三千石村	同	同	第 792	五所川原村	同	同	第 830	野里村	同	同
第 750	宮内村	同	同	第 793 ~ 795	喰川村	寄帳共 同	同	第 831 ~ 833	原子村	寄帳共 同	同
第 751	種田村	同	同	第 796	田川村	同	同	第 834	鞠野沢村	同	同
第 752	灰沼村	同	同	筆 797	赤堀村	同	同	第 835	羽野木沢村	同	同
第 753	福野田村	同	同	第 798	高瀬村	同	同	第 836	持籠沢村	同	同
第 754	立木村	同	同	第 799	鶴岡村	同	同	第 837	高野村	同	同
第 755 ~ 757	板屋野木村	寄帳共 同	同	第 800	藻川村	同	同	第 838	前田野目村	同	同
第 758 ~ 760	掛落林村	寄帳共 同	同	第 801	種井村	同	同	第 839	石沢村	同	(浪岡町)
第 761	野中村	同	同	筆 803	桜田村	同	同	第 840,841	田舎庄飯詰組村々	<small>昆取場 荒地 漆木</small> 改帳	貞享 4 年
第 762	石野村	同	同	席 804	沖飯詰村	同	同				
第 763	五幾形村	同	同	第 805	新宮村	同	同	〔俵元新田〕(第五大区六小区七小区)			
第 764 ~ 766	狐森村	寄帳共 同	同	第 806	長橋村	同	同	第 842	田舎庄豊成村		元文元年(五所川原市)
第 767	野添村	同	(鶴田町)	第 807	漆川村	同	同	第 843	福山村	同	同
第 768	境村	同	同	第 808	吹畑材	同	同	第 844	浅井村	同	同
第 769	五町目村	同	同	第 809	唐笠柳村	同	同	第 845	水野尾村	同	同
第 770	前菴村	同	同	第 810	二本柳村	同	同	第 846	富舂村	元文 2 年	同
第 771 ~ 773	胡桃館村	寄帳共 同	同	第 811	石岡村	同	同	第 847	未広村	同	同
第 774	山道村	同	同	第 812	田舎庄広田組村々	<small>昆取場 荒地 漆木</small> 改帳	貞享 4 年	第 848	米田村	同	同
第 775	亀田村	同	同					第 849	富川村	同	同
第 776	大巻村	同	同	〔飯詰組〕(第五大区六小区七小区)							
第 777	強巻村	同	同	第 813 ~ 815	田舎庄飯詰村	寄帳共 同	貞享 4 年(五所川原市)	〔金木組〕(第五大区八小区九小区)			

第 850～853	田舎庄金木村 寄帳共	貞享 4 年 (金木町)	
第 854	川合村	同	同
第 855～857	嘉勢村 寄帳共	同	同
第 858	小栗崎村	同	同
第 859	中柏木村	同	同
第 860	小田川村	同	同
第 861	喜良市村	同	同
第 862	野崎村	同	同
第 863	岩崎村	同	(五所川原市)
第 864	毗沙門村	同	同
第 865	深郷田村	同	(中里町)
第 866	宮野沢村	同	同
第 867	同	宝永元年?	同
第 868～870	中里村 寄帳共	貞享 4 年	同
第 871	尾別村	同	同
第 872	高根村	同	同
第 873	薄市村	同	同
第 874	今泉村	同	同
第 875	鏡村 (相内太田)	同	(市浦村)
第 875A	同	同	同
第 876	相打村	同	同
第 877	相内村	宝永元年	同
第 878	板割沢村	貞享 4 年	同
第 879	同	宝永元年	同
第 880	鼻和庄唐皮村	貞享 4 年	同
第 881	礒松村	同	同
第 882	同	宝永元年	同
第 883	脇本村	貞享 4 年	同
第 884	小泊村	同	(小泊村)
第 885,886	田舎庄金木組村々	見取場 荒地	改帳 貞享 4 年
〔金木新田〕(第五大区八小区九小区)			
第 887	田舎庄神原村	元文元年	(金木町)
第 888,889	同	明和 4 年	同
第 890	蒔田村	元文元年	同

第 890A	同	明和 4 年	同
第 891	芦部村	元文元年	同
第 892	藤枝村	同	同
第 893	桑田村	同	(中里町)
第 894	大沢内村	同	同
第 895	八幡村	元文 2 年	同
第 896	船岡村	同	同
第 897	宮川村	同	同
第 898	今岡村	同	同
第 899	福浦村	同	同
第 900	豊岡村	同	同
第 901	川内村	元文元年	同
第 902	富野村	同	同
第 903	豊島村	同	同
第 904	芦野村	同	同
第 905	田茂木村	同	同
第 906	福井村	同	同
第 907,908	田舎庄 <small>金木</small> 新田村々	田地 荒地	改帳 元文 2 年
第 909,910	同 <small>廣須</small> 新田村々	田地 荒地 漆木	改帳 貞享 4 年
第 911	同	田地 荒地 漆木	改帳 元文 2 年
第 912	同	田地 荒地	改帳 宝暦 4 年
第 913	鼻和庄	田地 荒地 漆木	改帳 貞享 4 年
第 914	同	山畑 荒地 漆木	改帳 元文 2 年
◇			
元禄年中御検見御条目写		TK611.2-2	
明和 4 (1767) 写 1 冊		半紙	和
元禄年中御検見御条目写		TK611.2-3	
明和 4 (1767) 写 1 冊		半紙	和
御竿奉行勤方覚書		TK611.2-4	
享保 21 (1736) 写 1 冊		半紙倍	和

御竿奉行勤方覚書		TK611.2-5	
享保 21 (1736) 写 1 冊		半紙倍	和
御検地御条目		TK611.2-6	
宝暦 13 (1763) 写 1 冊		半紙倍	和
御検地御条目		TK611.2-7	
宝暦 13 (1763) 写 1 冊		半紙倍	和
◇			
銅屋森より水道堀貫新田場之絵図 附書付 (堀貫并新田新 堰見立申覚 掛水并堀貫土手普請人歩積附り樋入用共積事)			
天和 2 (1682) 写 1 舖・2 通		85 × 158	M76
乳井毘沙門境内畑書上帳 大福院		TK611.2-8	
正徳 2 (1712) 写 1 冊		半紙	和
三新田寺社除地覚 享保 16 年		TK611.2-9	
廻間権太夫 白戸八郎左衛門			
享保 16 (1731) 写 1 冊		半紙	和
三新田寺社除地覚帳 享保 16 年		TK611.2-10	
廻間権太夫 白戸八郎左衛門			
享保 16 (1731) 写 1 冊		半紙	和
寺社御年貢地高反別寄帳 宝暦 4 年		TK611.2-11	
毛内有右衛門 (茂巧)			
宝暦 4 (1754) 写 1 冊		半紙倍	和
(貞享五辰年ヨリ文政二卯年マデ) 大鱈組高畑村田畑新開 帳 庄屋常吉		TK611.2-12	
明治 3 (1870) 写 1 冊		半紙	和
(宝永二酉年より文政二卯年まで) 大鱈組吹上村田畑諸品			

- 減帳 庄屋常吉 TK611.2-13
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- (正徳三巳年より文化七午年まで)大鱈組吹上村田畑新開帳 庄屋常吉 TK611.2-14
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 諸組邑々地図書入 TK611.2-118
文化8(1811)写 1冊 美濃倍 和
- 御預金御元牒并御預金渡課 御小納戸役 TK611.2-120
嘉永5(1852)写 1冊 半紙 和
註:嘉永5年新田開発方御用のため山田登へ渡した証文
- [新田開発地之図] TK611.2-117
写 3舗 28×110
註:金木組喜良市村領山堰之図 金木組中柏木村領一ノ
菟二ノ菟三之菟之図 藤枝村領新開之図
- [新田開発地]御通行之図 TK611.2-119
写 3舗
内容:五所川原村~沖館詰村~亀ヶ岡村(桃崎村領菟・
川山菟・鶴ヶ岡村領中ノ菟)(56×81)木造村~下福原
村~駒田村~丸山村~土滝村(山田川・妙堂川沿菟)(61
×83)林村~菰槌村~車力村(大林ヶ菟・長うき菟・
長とろ菟・田光菟)(55.5×128.5)
- [開発可相成空地取調之覚] TK611.2-246
写 1通
- [用水不足田方村々覚] TK611.2-248
写 1通
- [足水堰穿通方御入目覚] TK611.2-249
写 1通
- [諸木仕立可相成場所見分方之儀覚] TK611.2-247
高屋清蔵
写 1通
- 十面沢村茂助と長見貞司田方揉合ニ付口書入 TK611.2-15
寺社方
慶応3(1867)写 1袋
内容:弥大右衛門抱別家太助持田方御詮議ニ付諸留 覚
口書江添書 最勝院御用留より写書 弥太右衛門 抱田
方証文写留 覚 十面沢村乱妨ニ付去る二日書付壺通同
四日壺通差上候下書 長見貞司境界揉台一件 図3枚
- 開懇御用留 租税方 TK611.2-16
明治3(1870)写 2冊 半紙 和
内容:乾 明治3年6月~9月
坤 明治3年9月,10月
- 中島小畑両村祠堂田方調書上帳 庄屋藤吉 TK611.2-17
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 弘前営所支配沖村田畑反別帳 TK611.2-18
沖村庄屋四五左衛門
明治3(1870)写 1冊 横長 和
- 田方当仕付目録下帳 地方 TK611.2-19
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 浪岡組村々田畑当仕付目録 民事属事 TK611.2-20
明治3(1870)写 1冊(合綴)半紙 和
内容:浪岡組 二双子・堤館両村(庄屋小太郎)赤坂村
(代庄屋又八)上十川村(庄屋要助)三島村(庄屋米太郎)
高館村(代庄屋作之助)竹鼻村(代庄屋文兵衛)本郷村
(代庄屋亀八)相沢・細野両村(代庄屋甚五郎)吉内村(代
庄屋宇三郎)中野村(代庄屋与八)浪岡村(庄屋新三郎)
- 五本松村(庄屋良吉)王余魚沢村(庄屋太助)杉沢村(庄
屋助左衛門)高屋敷村(代庄屋三太郎)
- 柏木組村々田畑当仕付目録 属事 TK611.2-21
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 金木同新田村々田畑当仕付目録 TK611.2-22
長谷川良八 斎藤助作
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 横内組村々田畑当仕付目録 民事属事 TK611.2-23
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 村々持抱田方実数取調惣括書上帳 TK611.2-116
浅瀬石村北山長治郎
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 大鱈組高畑村畑屋敷ニ相成居候分御検地願書上帳 TK611.2-24
庄屋常吉
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 大鱈組高畑村田屋敷ニ相成候分御検地願書上帳 TK611.2-25
庄屋常吉
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 大鱈組高畑村木立ニ相成候分御検地願書上帳 TK611.2-26
庄屋常吉
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 大鱈組高畑村畑田成ニ相成居候分御検地願書上帳 TK611.2-27
庄屋常吉
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 大鱈組吹上村社寺領畑田成減調書上帳 TK611.2-28
庄屋常吉

明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和			
大鱧組乳井村田畑新高帳 庄屋長太郎	TK611.2-29	大鱧組森山村田方郷蔵下成二相成居候分御検地願書上帳	
明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和		庄屋浅利源三郎	TK611.2-38
		明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	
大鱧組乳井村畑方当時田成之分御検地願書上帳		大鱧組森山村田畑諸品成場開増御検地願書上帳	
庄屋長太郎	TK611.2-30	庄屋浅利源三郎	TK611.2-39
明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和		明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	
大鱧組乳井村畑方当時屋敷成之分御検地願書上帳		大鱧組森山村試田成御検地願書上帳	TK611.2-40
庄屋長太郎	TK611.2-31	庄屋浅利源三郎	
明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和		明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	
大鱧組乳井村畑方廃地并木生立共御検地願書上帳		大鱧組森山村畑田成二相成居候分御検地願書上帳	
庄屋長太郎	TK611.2-32	庄屋浅利源三郎	TK611.2-41
明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和		明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	
大鱧組乳井村御蔵畑方新街道下成調書上帳	TK611.2-33	大鱧組森山村畑方之内廃地二相成居候分御検地願帳	
庄尾長三郎		浅利源三郎	TK611.2-42
明治4 (1871) 写 1冊 横長 和		明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	
大鱧組石川村畑方之内へ在宅屋敷御見分表調書上帳		大鱧組八幡館村御竿入畑方調書上帳	TK611.2-43
石川村庄屋定吉	TK611.2-34	庄屋助右衛門	
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和		明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	
大鱧組三ツ目内村畑方并空地調帳	TK611.2-35	大鱧組薬師堂村御見分屋敷新街道下成毛切人別調帳	
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和		庄屋小笠原弥左衛門	TK611.2-44
		明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	
大鱧組森山村田方屋敷二相成居候分御検地願書上帳		尾崎組原田村田畑并屋敷共人別取調書上帳	TK611.2-45
庄屋浅利源三郎	TK611.2-36	庄屋伝六	
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和		明治4 (1871) 写 1冊 横長 和	
大鱧組森山村屋敷畑方二相成居候分御検地願書上帳		田舎館組垂柳村土族卒街道下調帳	TK611.2-46
浅利源三郎	TK611.2-37	明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	
明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和			
		宇和野秣畑割合番付 地図共 山林署	TK611.2-47
		明治5 (1872) 写 1冊 半紙 和	
		田方年限譲渡証文之事 川村治郎兵衛	TK611.2-251
		明治5 (1872) 写 6通	
		〔川村次郎兵衛田方譲渡一件〕	TK611.2-252
		写 1袋	
		御膳粉并田出増米調 明治4年~同9年	TK611.2-48
		〔御一家出張所〕	
		写 1冊 半紙 和	
		田畑御払代金調 明治6年	TK611.2-49
		鳴海謙六 菊池卯吉	
		明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	
		註：御一家（津軽家）出張所へ報告したもの	
		田畑御払代并授産金請払惣勘定帳	TK611.2-50
		明治6年 鳴海謙六 菊池卯吉	
		明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	
		註：鳴海謙六 菊池卯吉が御一家出張所へ報告したもの	
		楮畑并秣畑御払金調 明治6年	TK611.2-51
		鳴海謙六 菊池宇吉	
		明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	
		余備田畑田出増米豆請払帳 明治6年	TK611.2-52
		鳴海謙六 菊池宇吉	
		明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	
		陸奥国津軽郡第三大区一小区（富田町）改野帳	
		〔明治8〕(1875) 写 1冊 横長 和	TK611.2-121
		内容：字大野 字富野 字豊原 字安原 字東田	

陸奥国津軽郡第三大区二小区(和徳村)字和泉耕地改野帳 明治8(1875)写1冊 横長 和 TK611.2-122	那須様田地田出増米請払帳 明治23~42(1890~1909)写1冊 半紙 和	TK611.2-57	御買入田地御本帳〔明治4年,5年〕 写1冊 半紙 和	TK611.2-68
〔陸奥国津軽郡第三大区二小区〕(和徳村)字俵元耕地改野帳 〔明治8〕(1875)写1冊 横長 和 TK611.2-123	◇		御買入田地元帳 〔明治11〕(1878)写1冊 半紙 和 内容:自明治4年12月至同11年3月	TK611.2-69
〔陸奥国津軽郡第三大区二小区〕(和徳村)字稲田耕地改野帳 〔明治8〕(1875)写1冊 横長 和 TK611.2-124	田畑御買入一件留 田畑調方 明治3(1870)写1冊 半紙 和	TK611.2-58	士卒社寺御買入田畑惣括帳 〔明治4〕(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-70
陸奥国津軽郡第三大区二小区(和徳村)字松枝耕地改野帳 〔明治8〕(1875)写1冊 横長 和 TK611.2-125	在方献田畑反別調 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-59	予備田畑跡ニ而見出し調帳 調方 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-71
〔陸奥国津軽郡第三大区二小区〕(堅田村)字富田耕地改野帳 〔明治8〕(1875)写1冊 横長 和 TK611.2-126	弘前両浜御買上田畑代銭調 〔明治4〕(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-60	士卒より御買入田畑反別代銀調 租税署 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-72
所持田方改正調帳(第二大区七小区高木村領) 明治9年 下山多作 TK611.2-53 明治9(1876)写1冊 半紙 和	市在御買入田畑代米差遣勘定帳 〔明治4〕(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-61	拝借金并御買入田地取調帳 明治4年 会算方 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-73
義塾田出増米勘定 TK611.2-54 明治12年度より同15年 明治15(1882)写1冊 半紙 和 附:御預ケ田出増米并諸税差引調 内題:御預ケ御田地田出増米調取調 註:東奥義塾より御一家(津軽家)へ報告したもの	御買入田畑代銭請払帳 金貨方 〔明治4〕(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-62	御買入田畑仕払勘定帳 菊池卯吉等 明治5(1872)写1冊 半紙 和	TK611.2-74
弘前定額并御所有林地本町地券面那須公所有田地券面写旧 御菜園地券面共 TK611.2-55 〔津軽家出張所〕 会算方 明治18(1885)写1冊 半紙 和	田畑御買上代銀遣立手形帳 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-63	御買入田畑仕払勘定帳 菊池卯吉等 明治5(1872)写1冊 半紙 和	TK611.2-75
北海道美唄開墾収支帳 明治29年2月より TK611.2-56 同37年〔津軽家弘前出張所〕 明治37(1904)写1冊 半紙 和	弘前在社寺御買入田畑代銀引入帳 調方 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-64	御用留 明治5年 田畑調方 明治5(1872)写1冊 半紙 和 ◇	TK611.2-76
	市在御買入田畑代銀引入帳 調方 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-65	大光寺村御買上畑方反別取調書上帳 庄屋永助 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-77
	士卒御買入田畑代銀引入帳 調方 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-66		
	御買入田畑并屋敷代銭引入帳 明治4(1871)写1冊 半紙 和	TK611.2-67		

猿賀組中川村領御買入田畑調帳 写 1冊 半紙 和	TK611.2-78	内容：板屋野木村 福野田村 立木村 狐森村 山道村 笹森村	内容：岡町村 新城村 岩渡村 細越村 沖館村 古川村
浅瀬石村〔御買入田方調〕 写 2冊 (5冊之内) 半紙 和	TK611.2-79	広田組御買入田方調帳 写 19冊 半紙 和 内容：広田村 七ツ館村 真黒屋敷村 岡田村 湊村 姥菟村 半田村 唐笠柳村 二本柳村 吹畑村 漆川村 桜田村 沖飯詰村 平井村 柏原村 五所川原村 長橋 村 新宮村 石岡村	後潟組阿弥陀川御買上田方調 調方 写 1冊 半紙 和
尾崎組御買入田方調 写 14冊 半紙 和 内容：尾崎村 広船村 新屋村 唐竹村 小国村 沖館 村 新館村 町居村 柏木町村 原田村 石郷村 小杉 村 大坊村 岩館村	TK611.2-80	藤代組御買入田方調 写 30冊 半紙 和 内容：藤代村 鳥町村領 石渡村領 菟中村領 土堂村 領 船水村領 八代村領 外瀬村領 町田村領 藤内村 中崎村領 三世寺村領 大川村領 青女子村領 種市村 領 桂村領 小友村領 中畑村領 川村領 笹館村領 廻関村領 妙堂崎村領 尾原村領 木筒村領	増館組御買上田方調 写 2冊 半紙 和 内容：郷山前村 福館村
田舎館組御買入田方調帳 写 14冊 半紙 和 内容：田舎館村より 狐淵村より 豊蒔村より ニツ屋 村より 大曲村より 堀切村より 諏訪堂村より 大根 子村より 東光寺村 境松村より 十二川原村より 八 反田村より 畑中村より 馬場尻村より	TK611.2-81	藤代組御買入畑方調 写 6冊 半紙 和 内容：大川村領 青女子村 種市村 桂村領 中畑村 野木村	増館官所下分社寺御買上調 写 1冊 半紙 和
常盤組俵升村御買上畑方調帳 写 1冊 半紙 和	TK611.2-82	横内組御買上畑方調帳 調方 写 9冊 半紙 和 内容：筒井村 駒籠村 宮崎村 浜館村 戸山村 貝久 保村 戸崎村領 小柳村 造道村	大鱧組御買入田方仮割仕上帳 御買入田畑調方 明治4 (1871) 写 12冊 半紙 和 内容：大沢村 石川村 森山村 居士・三ツ目内両村 古懸村 長峰村 八幡館村 乳井村 薬師堂村 吹上村 高畑村 小金騎・宿川原両村
藤崎組御買入畑方調 写 5冊 半紙 和 内容：藤騎村領 飯田村領 林崎村 辻村 深味村領	TK611.2-83	浦町組御買上田方調帳 調方 写 7冊 半紙 和 内容：浦町村 堤村 里見村 八ツ役村 荒川村 高 田村 牛館村	尾崎組御買入田方仮割帳 調方 明治4 (1871) 写 12冊 半紙 和 内容：尾崎村 広船村 新屋村 唐竹村 沖館村 新館 村 町居村 柏木町村 原田村 小杉村 大坊・石郷両 村 岩館村
藤崎村領正覚寺持抱御買上田方取調帳 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK611.2-84	油川組御買上田方帳 調方 写 6冊 半紙 和	広田組御買入田方仮割調帳 写 1冊 半紙 和
柏木組御買上畑方調帳 写 2冊 半紙 和 内容：松倉村 大俵村	TK611.2-85		猿賀組御買入田畑仮割仕上帳 御買入田畑調方 明治4 (1871) 写 12冊 半紙 和 内容：猿賀村 高木村 中川・糸両村 追子野木・長崎 両村 浅瀬石・高賀野両村 袋村 八幡崎村 野添村 新山村 蒲田・新山両村
赤田組御買上畑方調帳 写 6冊 半紙 和	TK611.2-86		

- 大光寺組田畑御買入惣括帳 TK611.2-100
写 10冊 半紙 和
内容：大光寺村 館田村 長田村 新屋町村 館山村
李平村 金屋村 田中村 平田森村 荒田村
- 猿賀組御買入田方惣括帳 調方 TK611.2-101
〔明治4〕(1871)写 5冊 半紙 和
内容：糸村 追子野木村 高賀野村 袋村 蒲田村
- 大鱈組田方御買入惣括帳 TK611.2-102
〔明治4〕(1871)写 17冊 半紙 和
内容：宿川原村 大沢村 石川村 森山村 三ツ目内村
居土村 島田村 碓ヶ関村 古懸村 長峰村 蔵館村
八幡館村 乳井村 薬師堂村 吹上村 高畑村 小金崎村
- 常盤組御買入田方惣括帳 TK611.2-103
〔明治4〕(1871)写 9冊 半紙 和
内容：常盤村 小畑村 中島村 福島村 西中野目村
五林村 中野目村 俵升村より 柏木堰村
- 浪岡組本郷村御買入田方惣括帳 TK611.2-104
写 1冊 半紙 和
- 藤崎組御買入田畑惣括帳 調方 TK611.2-105
〔明治4〕(1871)写 7冊 半紙 和
内容：藤崎村 川部村 飯田村 藤越村 林崎村 辻村
深味村
- 柏木組御買入田方惣括帳 調方 TK611.2-106
〔明治4〕(1871)写 2冊 半紙 和
内容：大俵村 松倉村
- 金木組御買入田方惣括帳 TK611.2-107
写 7冊 半紙 和
内容：小田川村 野崎村 川倉村 宮野沢村 中里村
- 尾別村 高根村
- 金木新田御買入田方惣括帳 調方 TK611.2-108
写 4冊 半紙 和
内容：宮川村 豊島村 蒔田村 芦野村
- 赤田組御買上田方惣括帳 TK611.2-109
〔明治4〕(1871)写 8冊 半紙 和
内容：福野田村 境村 前菴村 狐森村 山道村 強
巻村 笹森村 菖蒲川村 ◇
- 広須組御買入田畑惣括帳 調方 TK611.2-110
〔明治4〕(1871)写 21冊 半紙 和
内容：広須村 広菴村 桃井村 金田村 下古川村 桑
野木田村 沼館村 吉出村 吉岡村 舛館村 蓮沼村
末吉村 稲盛村 近岡村 永田村 蓮川村 兼館村 善
積村 石館村 堅固村
- 木造新田御買入田方惣括帳 調方 TK611.2-111
〔明治4〕(1871)写 33冊 半紙 和
内容：木作村 下木造村 広富村 富岡村 隠里村 大
開村 猫淵村 上福原村 三原村 吉見村 越水村 駒
田村 筋岡村 沖中野村 栄田村 川泊村 町居田村
岡部村 川添村 平野村 菊川村 近野村 林村 片田
岡村 広森村 菰樋村 筒木坂村 牛瀉村 千代田村
車力村 大畑村 松岡村
- 士族社寺御買入田畑代銭渡調帳 TK611.2-112
木造出張所
明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 浦町横内油川三組御買入田畑代銀調 TK611.2-113
租税署
明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 常盤増館浪岡柏木飯詰五ヶ組御買入田畑代差遣渡倉廩御廉
分調 増館出張所 TK611.2-114
明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 予備田畑調帳 TK611.2-115
〔明治4〕(1871)写 7冊 半紙 和
内容：大鱈組 金木飯詰両組村々 赤田組村 広田組
村々 横内組 浦町組 浦川〔後瀉〕両組
- 浦町組勝田村田畑図式 TK611.2-128
写 1舗 101.5×71.5
- 浦町組入内村田畑調図式 TK611.2-129
明治3(1870)写 1舗 152×95
- 常盤組若松村図式 TK611.2-130
明治4(1871)写 1舗 134×143
- 常盤組小畑村図式 TK611.2-131
明治4(1871)写 1舗 248×120
- 常盤組十川村田畑調図式 TK611.2-132
写 1舗 201.5×203
- 常盤組葛野村図式 TK611.2-133
明治4(1871)写 1舗 137×192
- 藤崎組藤越村田畑図式 TK611.2-134
明治3(1870)写 1舗 98×144
- 田舎館狐淵両村田畑図式 TK611.2-135
明治4(1871)写 1舗 228×200
註：調方上締工藤七左衛門 庄屋四郎兵衛ほか五人組

2名 地元見分3名の判あり		尾崎組石郷村図式	TK611.2-147	藤代組町田村藤内村田畑調図式	TK611.2-158
田舎館組豊蒔二ツ屋両村領田畑図式	TK611.2-136	明治3(1870)写 2舗 47.5×68・133×93		明治4(1871)写 2舗 102×146・140×198	
明治4(1871)写 1舗 226×214		尾崎組石畑小杉四ツ屋村領田畑図式	TK611.2-148	藤代組妙堂崎村田畑調図式	TK611.2-159
田舎館組大曲堀切両村田畑図式	TK611.2-137	明治4(1871)写 1舗 119×220		明治4(1871)写 1舗 234×234	
明治4(1871)写 1舗 236×220		尾崎組大坊村図式	TK611.2-149	高杉組独狐薬師堂前坂三ヶ村領田畑図式	TK611.2-160
田舎館組諏訪堂村領図書	TK611.2-138	明治3(1870)写 1舗 167×166		明治4(1871)写 4舗 182×162	
明治3(1870)写 1舗 188×168		大鱈組森山村田畑図式	TK611.2-150	陸奥国津軽郡鼻和庄高杉組賀田村図式	TK611.2-161
田舎館組大根子村田畑図式	TK611.2-139	明治4(1871)写 1舗 122×265		明治3(1870)写 1舗 181.2×59.0	
明治4(1871)写 1舗 208×250		[大鱈組蔵館村田畑図式]	TK611.2-151	高杉組山科鼻和両村図式	TK611.2-162
猿賀組尾上村図式	TK611.2-140	写 1舗 232×227		明治4(1871)写 1舗 352×169	
明治3(1870)写 1舗 84×80		大鱈組薬師堂村田畑図式	TK611.2-152	木造新田木造村田畑調図式	TK611.2-163
猿賀組高木村田畑図式	TK611.2-141	明治4(1871)写 1舗 242×283		明治4(1871)写 1舗 238×214	
明治4(1871)写 1舗 237×153		大鱈組吹上村図式	TK611.2-153	木造新田下相野村田畑調図式	TK611.2-164
猿賀組新山蒲田両村図式	TK611.2-142	明治3(1870)写 1舗 97.5×163		明治4(1871)写 1舗 185×140	
明治4(1871)写 1舗 214×219		大鱈組高畑村図式	TK611.2-154	木造新田漆館村田畑図式	TK611.2-165
[猿賀組大袋村図式]	TK611.2-143	明治3(1870)写 1舗 130×82		明治3(1870)写 1舗 144×134	
写 1舗 300×158		和徳組坂本村図式	TK611.2-155	木造新田吉野村田畑調図式	TK611.2-166
大光寺組平田森村図式	TK611.2-144	写 1舗 190×79		写 1舗 133×96	
明治3(1870)写 1舗 121×200		駒越附近之図式	TK611.2-127	木造新田下福原村田畑調図式	TK611.2-167
尾崎組小国村田畑図式	TK611.2-145	写 1舗 91×70.5		明治3(1870)写 1舗 121×170	
明治4(1871)写 1舗 94×268		藤代組土堂村田畑調図式	TK611.2-156	[木造新田広野村田畑調図式]	TK611.2-250
尾崎組原田村田畑図式	TK611.2-14	明治3(1870)写 1舗 168×192		明治4(1871)写 1舗 100×50	
明治3(1870)写 1舗 170×184		藤代組船水八代外瀬三ヶ村図式	TK611.2-157	木造新田上中館村田畑調図式	TK611.2-168
		明治4(1871)写 1舗 203×194			

写 1 舗 133×119.5				明治3 (1870) 写 1 舗 72.5×136	
木造新田下中館村田畑調図式	TK611.2-169	木造新田弓袋村田畑調図式	TK611.2-180	広須組小曲村田畑調図式	TK611.2-192
明治3 (1870) 写 1 舗 97×67.5		写 1 舗 74×102		写 1 舗 95×132	
木造新田柴田村田畑調図式	TK611.2-170	木造新田瓜生村田畑調図式	TK611.2-181	広須組沼崎村田畑調図式	TK611.2-193
明治3 (1870) 写 1 舗 95.5×132.5		写 1 舗 95.5×68		明治4 (1871) 写 1 舗 95×270	
木造新田川泊村田畑調図式	TK611.2-171	木造新田大湯町村田畑調図式	TK611.2-182	広須組豊川村田畑調図式	TK611.2-194
明治3 (1870) 写 1 舗 168×72		明治4 (1871) 写 1 舗 107×98		写 1 舗 109×177	
木造新田町居田村田畑調図式	TK611.2-172	木造新田畔屋村田畑調図式	TK611.2-183	広須組楽田村田畑調図式	TK611.2-195
明治3 (1870) 写 1 舗 97×71		明治3 (1870) 写 1 舗 197×134		明治3 (1870) 写 1 舗 94.5×148	
木造新田岡部村田畑調図式	TK611.2-173	木造新田大畑村田畑調図式	TK611.2-184	広須組徳積村田畑調図式	TK611.2-196
明治4 (1871) 写 1 舗		明治4 (1871) 写 1 舗 122×134		明治4 (1871) 写 1 舗 189×74.5	
註：破損 不揃		木造新田豊富村田畑調図式	TK611.2-185	広須組沼館村田畑調図式	TK611.2-197
木造新田川添村田畑調図式	TK611.2-174	明治3 (1870) 写 1 舗 244×69		明治3 (1870) 写 1 舗 67×192	
明治3 (1870) 写 1 舗 72×68		木造新田下牛潟村田畑調図式	TK611.2-186	広須組沼館派村図式	TK611.2-198
木造新田貫水村図式	TK611.2-175	明治3 (1870) 写 1 舗 124×136		写 1 枚 48×34	
明治3 (1870) 写 1 舗 65.5×94		広須組広菴村田畑調図式	TK611.2-187	広須組語り村田畑調図式	TK611.2-199
[木造新田] 濁川村 [田畑調方図式]	TK611.2-176	明治3 (1870) 写 1 舗 66×120		明治4 (1871) 写 1 舗 120×102.5	
明治3 (1870) 写 1 舗 96.6×67		広須組桃井村田畑調図式	TK611.2-188	広須組縁川村田畑調図式	TK611.2-200
木造新田中野林村田畑調図式	TK611.2-177	写 1 舗 116×49		明治4 (1871) 写 1 舗 61×119	
明治3 (1870) 写 1 舗 97×67		広須組金田村田畑調図式	TK611.2-189	広須組吉出村田畑調図式	TK611.2-201
木造新田菰槌新村田畑調図式	TK611.2-178	明治4 (1871) 写 1 舗 68.5×147		写 1 舗 96×184	
写 1 舗 69×97		広須組鷺坂村田畑調図式	TK611.2-190	広須組升館村田畑調図式	TK611.2-202
木造新田入江派村田畑調図式	TK611.2-179	明治3 (1870) 写 1 舗 131×92		明治3 (1870) 写 1 舗 67×118	
写 1 舗 49.5×68.5		広須組芦屋村田畑調図式	TK611.2-191		

広須組蓮沼村田畑図式 明治4(1871)写 1 舗 96×132	TK611.2-203	増館組久井名館村之図 明治4(1871)写 1 舗 96×226	TK611.2-215	明治3(1870)写 1 舗 282×356	
広須組稲盛村田畑調図式 明治4(1871)写 1 舗 96×133	TK611.2-204	柏木組柏木村田畑調図式 明治3(1870)写 1 舗 297×119	TK611.2-216	広田組広田村田畑調図式 明治(1871)写 1 舗 140×130	TK611.2-227
広須組近岡村図式 明治4(1871)写 1 舗 166×121	TK611.2-205	柏木組牡丹森村生荒田畑図書 明治3(1870)写 1 舗 260×172	TK611.2-217	広田組真黒屋敷村図式 明治3(1870)写 1 舗 70×170	TK611.2-228
広須組芦沼村田畑調図式 明治4(1871)写 1 舗 145×236	TK611.2-206	〔柏木組大俵村田畑調図式〕 明治3(1870)写 1 舗 168×145	TK611.2-218	広田組岡田村図式 明治3(1870)写 2 舗 80×108・95×135	TK611.2-229
広須組永田村田畑図式 明治3(1870)写 1 舗 96×132	TK611.2-207	柏木組横菴松倉両村田畑図式 明治3(1870)写 1 舗 109×98	TK611.2-219	陸奥国津軽郡田舎庄広田組湊村領絵図 明治4(1871)写 1 舗 135×144	TK611.2-230
広須組吉水村田畑調図式 明治3(1870)写 1 舗 48×68	TK611.2-208	柏木組松倉村領図式書調 明治3(1870)写 1 舗 230×95.5	TK611.2-220	広田組半田村図式 明治4(1871)写 1 舗 112.5×172	TK611.2-231
広須組永岡村田畑調図式 明治3(1870)写 1 詣 102×142	TK611.2-209	柏木組梅田村図式 明治3(1870)写 1 舗 290×170	TK611.2-221	広田組石岡吹畑両村之図 明治4(1871)写 1 舗 1 討×129	TK611.2-232
広須組兼館村田畑調図式 明治3(1870)写 1 舗 84.5×193	TK611.2-21	柏木組瀬良沢村田畑図式 明治3(1870)写 1 舗 164×177	TK611.2-222	飯詰組前田野目鞠野沢両村田畑図式 明治3(1870)写 1 舗 165×75	TK611.2-233
広須組岡部里村図式 明治4(1871)写 1 舗 66.5×94.5	TK611.2-211	柏木組中泉村田畑生荒調図式 明治3(1870)写 1 舗 162×142	TK611.2-223	俵元新田米田村田畑調図式 明治3(1870)写 1 舗 133×165	TK611.2-234
広須組再賀村田畑調図式 明治4(1871)写 1 舗 97.5×116	TK611.2-212	柏木組常海橋村田畑調図式 明治3(1870)写 1 舗 234×204	TK611.2-224	俵元新田福山村絵図 明治3(1870)写 1 舗 197×120	TK611.2-235
広須組蓮花田村田畑調図式 明治4(1871)写 1 舗 145×168	TK611.2-213	〔柏木組館野越村田畑調図式〕 写 1 舗 167×188	TK611.2-225	俵元新田豊成村田畑調図式 明治3(1870)写 1 舗 121×150	TK611.2-236
広須組夕日岡村田畑調図式 明治4(1871)写 1 舗 101×121	TK611.2-214	柏木組滝井村田畑調図式	TK611.2-226	〔金木組中柏木村田畑図式〕 明治3(1870)写 1 舗 170×147	TK611.2-237

金木新田八幡船岡両村田畑調図式 明治4(1871)写 1冊 135.5×121.5	TK611.2-238	持越米新古仕分調 〔明治4〕(1871)写 1冊 半紙 和 註：弘前藩各倉庫の調	TK611.3-5	弘前管轄大光寺組備初取調帳 元弘前県大庄屋(菊池健左衛門) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-10
金木新田大沢内久米田両村田畑調図式 明治4(1871)写 1冊 118×134	TK611.2-239	各所倉廩米総括帳 元弘前県 明治5(1872)写 1冊 半紙 和	TK611.3-3	大光寺組貯初去年ノ年蔵出残初相改見届ケ帳 成田文右衛門 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-11
金木新田芦部藤枝両村田畑調図式 明治4(1871)写 1冊 172×87.5	TK611.2-240	TK611.39 飢饉 備荒 荒政 三倉制度		大光寺組貯初去年年中数口貸付当取立之分村々郷蔵江引入見届帳 成田文右衛門 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-12
金木新田豊島村田畑調図式 明治3(1870)写 1冊 162×95	TK611.2-241	貯初 明治4年 元弘前県 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-97	大光寺組村々貯初去年ノ年分当取立村々郷蔵江引入見届帳 成田文右衛門 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-13
金木新田蒔田神原両村田畑調図式 明治3(1870)写 1冊 183×109.5	TK611.2-242	和徳組百田村郷蔵雨漏ニ付貯初引入直帳 伊藤寅市 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-4	大光寺組長田村貯初貸附勘定帳 大庄屋 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-14
金木新田富野村田畑調図式 明治3(1870)写 1冊 134×162	TK611.2-243	和徳組湯口黒滝両村貯初之内雨漏濡俵調書上帳 大庄屋(溝江万蔵) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-5	猿賀組貯初差引勘定帳 野呂孫十郎 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-15
金木新田芦野村田畑調図式 明治4(1871)写 1冊 98.5×80	TK611.2-244	堀越組村々両貯初引入見届ケ帳 伊東寅市 笹森八太郎 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-6	猿賀組村々貯初差引勘定帳 野呂孫十郎 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-16
金木新田福浦村今岡村田畑調図式 明治3(1870)写 1冊 97×170	TK611.2-245	堀越組小栗山村貯初計立見届ケ帳 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-7	猿賀組村々貯初去年午分取立村々郷蔵江引入見届帳 成田文右衛門 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-17
TK611.3 米穀 食糧問題		大光寺組貯初差引勘定帳 佐藤伴内 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-8	猿賀組貯初去年年中数口貸付当取立之分組郷蔵并村々郷蔵江引入見届帳 成田文右衛門 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-18
庚戌出穀考量 阿保善蔵 嘉永4(1851)写 1冊 半紙 和 註：阿保善蔵が推量した嘉永3年の出穀量	TK611.3-1	大光寺組村々貯初差引勘定帳 佐藤伴内 明治3(1870)写 1冊(合本) 半紙 和	TK611.39-9	猿賀組村々貯初去年年中蔵出残初御改見届帳 成田文右衛門	TK611.39-19
米惣括之下調〔明治3年〕 〔明治3〕(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.3-2				
御払米 藩庁 写(明治)1冊 半紙 和	TK611.3-4				

明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	薄田又三郎 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
猿賀組浅瀬石村貯粉為手返拝借見届帳 TK611.39-20 一戸谷弥 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	大鱧組貯粉居士村焼失之者共江賃附蔵出ニ見届帳 大庄屋 TK611.39-29 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	常盤組村々貯粉御貸付取調勘定帳 TK611.39-39 佐々木源蔵 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
大鱧組村々貯粉去去年より当末年迄受払勘定仕上帳 水木忠吉 TK611.39-21 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	大鱧組長峰村盗難粉改見届 対馬忠蔵 TK611.39-30 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	常盤組役所下夕郷蔵江取立之表引入帳 TK611.39-40 薄田又三郎 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
弘前管轄大鱧組村々貯粉并組貯粉共取調帳 TK611.39-22 大庄屋 (水木忠吉) 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	尾崎組両貯諸払勘定帳 斎藤佐左衛門 TK611.39-31 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和	常盤組貯粉御貸渡并窮民救粉調勘定帳 TK611.39-41 佐々木源蔵 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
大鱧組村々貯粉新取立并貸付夫喰粉共取立引入見届帳 千葉十之進 TK611.39-23 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	弘前管轄尾崎組貯粉調帳 TK611.39-32 元弘前県大庄屋 (外川弥吉) 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	常盤組常盤若松両村備粉減石見届帳 TK611.39-42 大庄屋 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和
大鱧組村々両貯粉先納并十三水戸口手返夫喰賃附共取立引入見届帳 千葉十之進 TK611.39-24 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	田舎館組村々貯粉拝借並有粉共調書上帳 TK611.39-33 山口栄太郎 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和	増館官所支配浪岡組貯粉御貸附并窮民救共其外減石共取調帳 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和 TK611.39-43
大鱧組碓ヶ関村貯粉別段御貸附見届帳 TK611.39-25 碓ヶ関詰永田孫右衛門 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	田舎館組貯粉拝借調書上帳 山口栄太郎 TK611.39-34 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和	増館官所支配浪岡組村々貯粉御貸附并窮民救粉其外減石共取調帳 TK611.39-44 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和
大鱧組碓ヶ関村手返粉御貸附見届帳 TK611.39-26 碓ヶ関出役永田孫右衛門 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	田舎館組村々去去年分取立村々郷蔵江引入見届帳 成田文右衛門 TK611.39-35 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	藤崎組貯粉受払勘定帳 TK611.39-45 弘前官所大庄屋 (工藤弥惣治) 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和
大鱧組石河村々貯蔵出見届 対馬忠蔵 TK611.39-27 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	田舎館組村々貯粉内封印見届帳 TK611.39-36 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	藤崎組村々貯粉受払勘定帳 TK611.39-46 大庄屋 (工藤弥惣治) 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和
大鱧組小金崎村備粉乱俵取調書上帳 TK611.39-28 庄屋助右衛門	田舎館組貯粉去巳午両年数口貸付当取立之分組郷蔵并村々郷蔵江引入見届帳 成田文右衛門 TK611.39-37 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	藤崎組村々貯粉之内先納米上納ニ付蔵出俵数并残粉見届帳
	増館官所支配常盤組村々貯粉郷蔵江引入帳 TK611.39-38	

佐藤要吉 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-47	増館官所支配柏木組村々組貯粉難時村々江拝借残引入直封 印帳 菊地元衛 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-56	明治4(1871)写 1冊 半紙 和	廣田組貯粉貸付調帳 大庄屋 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-65
藤崎組貯粉去年取立之分引入見届帳 成田熊之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-48	増館官所支配飯詰俵元両組備粉取調書上帳 大庄屋(阿部賢吉 阿部堅次郎) 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-57	明治3(1870)写 1冊 半紙 和	廣田組村々御粉貸付調帳 大庄屋 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-66
藤崎組村々貯粉鼠喰乱俵計立減石并去年新取立共引入見 届帳 成田熊之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-49	増館官所支配飯詰俵元両組村々村備粉取調書上帳 大庄屋(阿部賢吉 阿部堅次郎) 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-58	明治3(1870)写 1冊 半紙 和	廣田組喰川村川袋畑村備米書上帳 莊屋武助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-67
増館官所支配柏木組村々組村貯粉受払勘定帳 大庄屋(米田慶助 三橋喜左衛門) 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-50	赤田組貯粉賃附蔵出調書上帳 大庄屋(成田裕太郎) 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-59	明治3(1870)写 1冊 半紙 和	廣須組木造新田村貯粉拜借渡并窮民御救渡共受払勘定帳 大庄屋 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-68
増館官所支配柏木組村々貯粉郷蔵江高無馬無共御取納仮取 立方ニ付引入直減石共取調帳 大庄屋(三橋喜左衛門) 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-51	赤田組村々貯粉賃附調書上帳 弘前大庄屋(成田裕太郎) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-60	明治4(1871)写 1冊 半紙 和	廣須組木造新田組貯粉調書上帳 大庄屋 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-69
増館官所支配柏木組貯粉取立勘定帳 大庄屋(米田慶助 三橋喜左衛門) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-52	赤田組貯粉賃附当取立郷蔵引入見届帳 成田熊之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-61	明治4(1871)写 1冊 半紙 和	弘前官所支配駒越組村々新古村備粉郷蔵江引入見届帳 工藤寅之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 半紙 和	TK611.39-70
増館官所支配柏木組貯粉御取延頼調書上帳 大庄屋(米田慶助 三橋喜左衛門) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-53	赤田組村々貸附残り古粉并貸附取立新貯共引入見届帳 成田熊之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-62	明治4(1871)写 1冊 半紙 和	駒越組村々旧来貯粉昨年貸渡残粉引入直シ見届ケ帳 工藤寅之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-71
増館官所支配柏木組貯粉郷蔵江取立之表引入帳 工藤九郎一 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-54	赤田組貯粉田畑為仕込貸附并土砂受窮民共手当其外計立減 石共見届帳 三浦房蔵 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-63	明治4(1871)写 1冊 半紙 和	藤代組貯粉受払勘定帳 大庄屋(藤田豊三郎) 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-72
増館官所支配柏木組村々貯粉郷蔵へ取立之表引入帳 工藤九郎一 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-55	赤田組板屋野木村貯粉手返貸附并出粉窮民者江被下置候分 共蔵出見届帳 藤田門八郎 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-64	明治4(1871)写 1冊 半紙 和	藤代組村々備粉貸渡俵数并有粉調帳 大庄屋(藤川豊三郎) 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-73

藤代組村々新古村備初御蔵江引入見届帳 工藤寅之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-74	赤石組備初払残調帳 鯨ヶ沢官所詰大庄屋 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-83	明治4(1871)写 1冊 半紙 和		
弘前官所支配藤代組村々備初貸渡俵数并有初調帳 大庄屋(藤田豊三郎) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-75	赤石組御支配村々備初取立御蔵引入勘定帳 鯨ヶ沢詰大庄屋(月永庄兵衛 笹森伝太郎) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-84	油川組村々貯初之内植付初貸附調帳 村井新助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-92	
弘前官所支配藤代組村々旧来備初昨年貸渡残俵数詞帳 工藤寅之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-76	組備初深浦郷蔵引入直調帳 深浦詰大庄屋(笹森伝太郎) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-85	後潟組村々之内植付初貸附調帳 川村熊之進 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-93	
藤代組妙堂崎廻り関尾原木筒野木五ヶ村貯初拜借渡受払勘定帳 大庄屋 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-77	青森管轄浦町横内両組村貯并組貯共初取調帳 元弘前県大庄屋(大柳彦吉 玉熊倉次郎) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-86	増館官所支配同組組貯初請払勘定帳 山内才吉 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-94	
高杉組村々村備初受払勘定帳 大庄屋(対馬儀兵衛) 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-78	浦町横内両組貯去巳午年払残勘定帳 大庄屋(大柳彦吉 玉熊倉治郎) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-87	増館官所支配増館組村々貯初御貸附請払勘定帳 山内才吉 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-95	
高杉組村々貯初受払勘定帳 大庄屋(対馬儀兵衛) 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-79	浦町横内両組村々貯初引入直見届帳 少属(大村源太) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-88	増館官所下夕西郷蔵江引入置初卷崩二付鼠喰并乱俵計立減石共見届引入帳 増館官所詰少属 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-96	
高杉組村々組村両貯初引入見届帳 工藤寅之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-80	浦町横内両組村々貯初先納米上納方二付貸付分代初取立引入帳 少属 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-89			
高杉組村々旧来備初昨年御貸附残当年取調見届ヶ帳 工藤寅之助 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-81	浦町横内両組村々貯初昨年貸付七ヶ年割取立分引入帳 少属 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.39-90			
赤石組并支配村々貯初勘定帳 鯨ヶ沢官所詰大庄屋 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK611.39-82	油川後潟両組村々貯有初調帳 元弘前県大庄屋(中村豊次郎 坂本恒蔵)	TK611.39-91			
					TK611.4 農産物価格及び市場	
					倉廩規定書〔青森県〕(旧弘前県) 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.4-1
					所々倉廩収納村割定 元弘前県 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.4-2
					各所倉廩大計并斤量算盤等渡調 元弘前県 明治4(1871)写 1冊 半紙 和	TK611.4-3
					覚 小川屋政五郎 写(明治初)1冊 半紙 和	TK611.4-4

註：米売買に関する見込書		註：幕府よりの触書および口上覚		明治7(1874)写 1冊 半紙 和	
貢米取組并買入米一件 写 1袋 内容：買米手形入(都谷森逸眠)貢米取組代買入米代金証書3蝶(盛彦次郎)貢米代金調(石岡長幸)佐藤伊三郎宛(都谷森逸眠)都谷森逸眠宛(八木橋雲山)奥崎太次郎様・高杉要太郎様宛(佐藤)奥崎太次郎宛(佐藤伊三郎)買入米代金受取証書 受取証書類 貢米買米共御下金差引書并有米之差引書共 石代及貢米勘定帳 御下金野里村取組米糶払代金出納調帳 上納金勘定帳 計立米勘定帳	TK611.4-5	人参并芍薬帳 明治3年 会算方 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	TK617-1	漆御仕込高 明治7年 明治8(1875)写 1冊 半紙 和	TK617-5
		人参帳 明治5(1872)写 1冊 半紙 和	TK617-17	当亥年出漆御仕込受払勘定帳 明治8年 佐藤庸之助 明治8(1875)写 1冊 半紙 和 註：津軽家弘前出張所家扶宛	TK617-6
		人参御払帳 明治7年 〔津軽家出張所〕会算方 明治7(1874)写 1冊 半紙 和	TK617-2	当亥年御買入漆布通仕上勘定帳 明治8年 佐藤庸之助 明治8(1875)写 1冊 半紙 和	TK617-7
TK615 作物栽培 病虫害		記 佐藤庸之助 明治8(1875)写 1冊 半紙 和 註：明治7年買入漆を同8年売払差引勘定	TK617-18	当子年出漆御買入代受払勘定帳 佐藤庸之助 明治9(1876)写 1冊 半紙 和	TK617-8
耕作始終 安政6年～明治4年正月 地方 安政6～明治4(1859～71)写 1冊 半紙 註：毎年の耕作に関する記事で岩木山七日堂三拍子占初米上納の覚各組の麦畑菜種畑作付反別など	TK615-1	東京登せ漆勘定書 武田清七 明治10(1877)写 1冊 半紙 和 合綴：〔西京登漆売払勘定表〕(明治11年)	TK617-19	当子年出漆御買入取調勘定帳 佐藤庸之助 明治9(1876)写 1冊 半紙 和	TK617-9
TK616 食用作物		当丑年出漆御買入代受払勘定帳 明治10年 佐藤庸之助 明治10(1877)写 1冊 半紙 和	TK617-20	明治八年出漆御払代上納并同九年漆御買入代受取際 明治9(1876)写 1冊 半紙 和	TK617-10
来耕作始終 写 1通	TK616-1	(明治八年より同十年迄) 漆御買入御払共受払勘定帳 佐藤庸之助 明治11(1878)写 1冊 半紙 和	TK617-21	当出漆御買入高取調勘定帳 佐藤庸之助 明治10(1877)写 1冊 半・紙 和	TK617-11
TK617 工芸作物		漆御仕込調扣 高杉要太郎 明治17(1884)写 1冊 半紙 和 註：明治7年より10年まで漆仕込金計算調 高杉要太郎は津軽家弘前詰会算係	TK617-3	高岡御林漆木植付入費仕払帳 明治23年～同33年 明治23～33(1890～1900)写 1冊 半紙 和	TK617-12
覚(前々よりたはこ本田畑に作間敷旨度々相触候得共) 元禄15年 〔元禄15〕(1702)写 2通 註：幕府よりの触書付	TK617-15	水漆買入并布通仕上勘定帳 明治7年 佐藤庸之助	TK617-4	高岡御林漆植付記事 明治23年4月より同33年 明治23～33(1890～1900)写 1冊 半紙 和	TK617-13
覚并口上にて申達候覚(来中年たはこ作候儀云々) 元禄16年 〔元禄16〕(1703)写 2通	TK617-16			漆木植付一件綴 明治23年～同35年	TK617-14

〔津軽家弘前出張所〕 明治27～35(1894～1902)写 1冊 半紙 和	報告		
TK625 果樹園芸			
板柳果樹園明治三十六年度以降予算并決算其他関係諸調査綴 TK625-1	養蚕御仕込調扣 明治17年 高杉要太郎 明治17(1884)写 1冊 半紙 和 註：明治6年より15年中養蚕仕込調 武田清七養蚕仕込金計算報告	TK630-3	生糸蚕種出来調帳 明治9年 戎屋利兵衛 明治9(1876)写 1冊 半紙 和 註：御国産扱御中
明治36～41(1903～08)写 1冊 半紙 和 註：旧藩主津軽家の経営するりんご園の経営書類 明治36年～同41年	差引記 武田清七 明治5(1872)写 1冊 半紙 和	TK630-4	蚕種製糸惣勘定 明治9年 武田熊七 明治9(1876)写 1冊 半紙 和
TK629 造園	生糸上納差引書 武田熊七 明治6(1873)写 1冊 半紙 和	TK630-5	製糸養種金銭差引之覚 明治9年 武田清七 明治9(1876)写 1冊 半紙 和
旧城内公園設置願伺届書類 TK629-1	蚕種生糸仕上り明細調 石井利兵衛 明治7(1874)写 1冊 半紙 和	TK630-6	製糸差引記 明治9年,同10年 武田清七 明治11(1878)写 1冊 半紙 和
明治27年10月より明治35年〔公園地管理者〕 明治27～35(1894～1902)写 2冊 半紙 和	蚕種仕上り直段調 石井利兵衛 明治7(1874)写 1冊 半紙 和	TK630-7	製糸勘定書上之覚 明治10年 武田清七 明治10(1877)写 1冊 半紙 和
旧城内公園費収支引入大帳 明治27年～同35年 TK629-2	生糸勘定書 明治7年 武田熊七 明治7(1874)写 3冊 半紙 和	TK630-9	明治十一年製糸勘定之覚 武田清七 明治12(1879)写 1冊 半紙 和
明治27～35(1894～1902)写 1冊 半紙	生糸種紙勘定帳 武田熊七 明治7,8(1874,75)写 4冊 半紙 和	TK630-10	製糸勘定差曳記 明治12年 武田清七 明治12(1879)写 1冊 半紙 和
旧城内公園設置収支帳 TK629-3	繭買入高并生糸種紙仕上り調書 明治8年 武田熊七 明治8(1875)写 1冊 半紙 和	TK630-11	生糸差曳帳 明治13年ヨリ同14年中 武田清七 明治15(1882)写 1冊 半紙 和
明治27年10月～同36年 明治27～36(1894～1903)写 1冊 半紙 和	繭買入高并生糸種紙仕上り調書 明治8年 武田熊七 明治8(1875)写 1冊 半紙 和	TK630-12	生糸売捌差引勘定記 武田清七 明治17(1884)写 1冊 半紙 和 註：明治15年生糸売捌代差引勘定を津軽家弘前詰会算係へ報告したもの
TK630 蚕糸業			TK645 家畜
繭御買入生糸仕上り勘定表 TK630-1			馬之忌辻之覚哥 TK645-1 写 1通
写 2冊 半紙 和 註：明治5年から9年までの決算書 2冊の内1冊は8年までの下書き			
生糸御仕込計算 TK630-2			
写 1冊 半紙 和 註：明治6年より14年まで武田清七仕込生糸損益計算			

TK651 森林経済 経営		之儀 (明治6 (1873) 半紙) 高岡御神社略図 (106×57 百沢寺境内略図 (39×54.5) 其他書付		慶応3 (1867) 写 1冊 半紙 和
[津軽御本山諸山通之図]	TK651-50	和徳堀越大鱈三ヶ組田山館山見継山元帳 (享和2年) 写 1冊 半紙 和 註: 表紙には享和2年とあり 文化15年3月山方元帳 より写し取ったとあるが内容は文政12年に至っている	TK651-4	岩木山境内小沢分帳 [嘉永5年] [嘉永5] (1852) 写 1冊 美濃 和
写 4巻 卷子 内容: 上山通 (目屋野沢山ヨリ浅瀬石山浪岡山迄之図) 外浜山通 (三馬屋山ヨリ浅虫山迄之図) 中山通 (大釈 迦山ヨリ小泊山迄之図) 西浜山通 (大間越山ヨリ中村山 迄之図)		永代要用集 文政4年~慶応2年 写 1冊 半紙 和	TK651-5	高館村と法嶺庵伐木揉合一件郡奉行より廻り書付并同庵よ り答書共留記壹冊之表 嘉永6年 嘉永6 (1853) 写 1冊 半紙 和
津軽領海辺式拾式ヶ村田畑山林従公儀	TK651-51	御尋壹巻 御山方 寛政4 (1792) 写 1冊 半紙 和		山辺上総知行田方揉合一件 寺社方 写 (嘉永頃) 1冊 半紙 和
杉沢山絵図	TK651-53	写 1冊 80×92 註: 鼻和庄杉沢村 (西目屋村) 長九郎見継山源助抱山治 左衛門八郎左衛門見継山などの境界図	TK651-52	大畑沢つるの子沢深山沢生立杉調書并三ヶ沢絵図 文久元 (1861) 写 2冊 半紙・半紙倍 註: 小沢村領
山方留帳 寛政6年~文化8年 山方吟味役	TK651-1	寛政6~文化8 (1794~1811) 写 1冊 半紙 和	TK651-6	山作事方格帳留 聞方 文久3 (1863) 写 1冊 半長 和
岩木山境内諸組村々根柴伐取小沢分帳	TK651-2	寛政9年 寛政9 (1797) 写 1冊 半紙倍 和 註: 岩木山境内周囲の山沢より根柴伐取り萱馬草など刈 取の村々を記したもの	TK651-7	岩木山帳 硫黄共 慶応4年 当用方 慶応4 (1868) 写 1冊 半紙 和
岩木山境内諸組村々根柴伐取小沢分帳	TK651-3	文化3 (1806) 写 1冊 半紙 和	TK651-8	材木払直段帳 駄賃運賃小揚賃共 写 1冊 半紙 和
岩木山并高岡伺願諸書付	TK651-58	写 5冊 内容: 御用留記 (寛政9 (1797) 半紙) 仕立林見継願	TK651-9	[山林方] 書付留 明治3,4 (1870,71) 写 8冊 半紙 和 内容: 明治3年正月~5月 同年6月~9月 (山林方) 明治4年從正月至2月 (山林署) 同年從3月至4月 (山 林署) 同年從5月至6月 (山林署) 同年7月,8月 (山 林署) 同年從8月至9月 (山林署) 同年從10月至 11月 (会計局山林方)
		百沢寺境内山諸願一切留帳 (天保9年正月より慶応3年)	TK651-10	御改政御用留 明治3年6月~同4年10月 山林署

明治3,4 (1870,71) 写 2冊 半紙 和					
深山沢杉勝伐惣勘定書上帳 佐藤周作 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK651-55	山林有品調并右品仕分調共 明治4年 元弘前県 明治4(1871) 写 1袋 (6冊) 和 内容：記 (炭明細調) 樹芸方諸木植付有木調 柁木舞材 木当八月大蔵省江有品書上後出材之分茂有之今般取量引 渡ニ付明細仕分帳 諸土場有物調明細帳 柁木舞材木払 代納明細調1号, 2号	TK651-26	相馬土場勘定帳その他書付 明治6 (1873) 写 1袋	TK651-38
(従前) 停止木〔弘前県〕 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK651-19			第三大区四ノ小区相馬村有材調 明治6年 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK651-39
杣取入費及材木柁木舞運搬賃炭流木買上代其外諸土場入費 共渡調 明治4年 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK651-56	鍛冶町三世寺両土場渡銀調 明治4(1871) 写 1冊 半紙 和	TK651-27	碓ヶ関にて材木流木の件伺 明治6年 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK651-40
諸土場入費及材木柁木舞運搬賃其外杣飯料并炭流木買上代 共渡調 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK651-57	仮土場諸渡引入帳 明治5年 旧山林方 明治5 (1872) 写 1冊 半紙 和	TK651-31	飯詰山材木流失ノ件伺 明治6 (1873) 写 1通	TK651-41
山林扱緊要条目 山林方 写 1冊 半紙 和	TK651-20	山林方書付留 明治6年 御一家出張所 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK651-32	飯詰山出材土場勘定帳 片谷惣三郎 松山久左衛門 明治6 (1873) 写 1袋 (3点) 内容：御払手形伺御裏印 御有材引渡一紙 出材譲受一紙	TK651-42
公廩外樹芸仕込ニ付取調 明治4年 明治4 (1871) 写 1冊 美濃 和	TK651-21	勘定帳 (未年より酉年まで) 明治6年 柁木土場掛 (林寿之進 一戸吉太郎) 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK651-33	磯松土場元残木調帳 明治6年 片谷惣三郎 松山久左衛門 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK651-43
公費外諸木仕立ニ付取調 明治4年 〔山林方〕 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK651-22	材木柁払金銭払帳 明治6年 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK651-34	六枚橋土場残材調帳 明治6年 片谷惣三郎 松山久左衛門 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK651-44
山林扱振大都 〔明治4年〕 〔明治4〕 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK651-23	御預金勘定書其他土場受取証 明治6 (1873) 写 4冊 半紙 和	TK651-35	小国山出材蟹田土場残木調帳 明治6年 片谷惣三郎 松山久左衛門 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK651-45
樹芸入用道具調 明治4年 山林方 〔明治4〕 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK651-24	一野渡深山沢両土場伐木請払勘定帳其他 明治6 (1873) 写 1袋 (5冊・5通)	TK651-36	大泊残材調帳 明治6年 片谷惣三郎 松山久左衛門 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK651-46
碓ヶ関山より飯詰山旧杣取拾六ヶ山杣取及野萱刈取共明細 帳 明治4年 元弘前県 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK651-25	浜名山杣取入費調 明治6年 葛西虎一郎 明治6 (1873) 写 1袋 (6冊) 半紙 内容：米払帳 銭払帳 惣勘定帳など	TK651-37	太田尾別両山柁木舞受払勘定書上帳 明治6年 大橋勇次郎	TK651-47

明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK 700 芸術
杉丸太譲請調書 明治6年 森祐之進 明治6 (1873) 写 1冊 半紙 和	TK 683 海運	TK 706 学会 協会 会議 (展覧会)
中通村賄留 明治6年 明治6 (1873) 写 1冊・半紙半 和	商船規則 民部省 外務省 東京 須原屋茂兵衛 明治2 (1869) (木版) 1冊 半紙 和	TK 683-1
各土場材木御払下代金・浜名山檜末木御仕込調扣 明治17年 高杉要太郎 明治17 (1884) 写 1冊 半紙 和 註：明治6年材木併榎木舞御払下代金調と明治5年浜 名山檜末木杣取御仕込受払の調	船極印并打入場所湊順船改帳 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	TK 683-2
炭焼井木材一件 明治22年11月～同35年〔津軽家出張所〕 写 1冊 半紙 和	TK 685 道路運輸	TK 709 国宝 古器 文化財一般
御林木材并炭代金受払簿 明治22年～同42年〔津軽家出張所〕 明治22～42 (1889～1909) 写 1冊 半紙 和	駄賃運賃定 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和 内題：駄下米賃銀定	TK 685-1
TK 678 貿易	〔堀五郎左衛門旅行之節関所乗物之儘通行仕度儀何〕 御附紙共 4月5日 写 (原本) 1通 註：津軽土佐守家来坂卷久雄より	TK 714 石彫
阿蘭陀船江積入来品々覚 附対州産物之覚 文化10年 文化10 (1813) 写 6通	〔ケヘール筒差下ニ付人馬定賃銭継立仕度何〕 御附紙共 未5月8日 写 (原本) 1通 註：津軽土佐守家来坂卷久雄より	増上寺江御寄進御石灯籠竿寸面尺之図 正徳3 (1713) 写 2舗 60×81 蔵印：弘前日記方
〔英国商人ヒットマンより売品代金滞之儀に付き訴訟一件〕 明治5年 明治5 (1872) 写 1冊 半紙 和	TK 685-2	TK 722 中国画 東洋画
TK 682 交通史 交通事情	TK 685-3	御絵巻物御書付并鑑定書 享保8, 享和元 (1723,1801) 写 2通 註：名の王蒙の略伝及び王蒙筆唐絵山水の鑑定書
〔駄賃運賃定〕明治4年 藩庁	TK 693 郵便	TK 729 文房具
TK682-1	駅通扱振 明治4年 駅通署 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和	〔茶経脱漏追考〕硯考誌 野本道玄 写 (明治) 1冊 半紙 和
	TK693-1	TK 739 篆刻 印譜 落款
		御図章 写 3枚 14×10 註：津軽承烈 (承昭) の印章

TK755 宝石 牙角 皮革工芸	仕舞附 写 2通	TK773-3	享保7 (1722) 写 1通
鞍のひながた図 写 2 28×41	TK755-1	TK783 球技	近授流御馬術御誓詞 豊島孫次郎 (仲庸) 享保10 (1725) 写 1通
TK756 金工芸	蹴鞠色目次第 写 1通	TK783-1	近授流馬術起請文 寛延3年～宝暦2年 寛延3～宝暦2 (1750～52) 写 1帖 折本
御太刀目録 写 (延宝) 1冊 横長	TK756-1	TK785 水上競技	御剣術御門弟誓詞 宝暦12～安永8 (1762～79) 写 1帖 折本
陸奥国津軽領打物鍛冶之覚 写 1通	TK756-2	[本所大川端下屋敷前於大川家来之者水泳稽古致度伺書] 御附紙共 6月24日 津軽越中守 (順承) 安政5 (1858) 写 (原本) 1通	TK785-1 乗馬大意 木立守貞 江戸 瑞玉堂 安永4 (1775) 序刊 1冊 半紙 和 附: 覚 (木立要左衛門)
TK768 邦楽	TK787 釣魚 遊獵		御柔術誓詞 写 1通
能組 野添友三郎 写 1通	TK768-1	真名板淵御鳥屋之儀ニ付御答之案文 弘前日記方 (松野茂右衛門) 享保2 (1717) 写 1冊 半紙 和	TK789-3
内稽古番組 八戸平次郎 写 2通	TK768-2	江戸表ニ而熊打留候図 文化6 (1809) 写 1冊 40×80 附: 書付 (江差御固司よりの届出)	TK789-10 賭射 写 2通
御小鞍御寒稽古覚 安政4年 安政4 (1857) 写 1冊 半紙半	TK768-3	TK789 武道	あま尾 写 1冊 半紙 和 註: 矢筈の図録
TK773 能 狂言	TK773-1	神当流馬責方乗様起請文 延宝5年～宝永6年 延宝5～宝永6 (1677～1709) 写 1帖 折本	TK789-11 [武芸見分覚] 写 9通
松平伊豆守様江御返济相成候御能装束帳入 慶応元 (1865) 写 1括 内容: 御能装束御返济調帳 (慶応元) 御面帳 (嘉永6) 御太鞍御鞍ノ調書	TK773-2	近授流馬術誓詞 堀太左衛門 宝永6 (1709) 写 1通	TK791 茶道 茶事問答 岩田知足子 (恵隆) 明治26 (1893) 写 1冊 半紙 和 註: 享保12年 (1727) に著わしたものの写 岩田知足は通称半次郎 名は恵隆 高照神社宮司 享保20年 (1735) 没
[御能狂言御囃子組] 写 75通	TK773-2	近授流馬術御誓詞 津軽校尉 (政方)	TK791-1

瓜紅御台子代料書 写 1通	TK791-2	TK 900 文学	
		TK 911 詩歌	
TK 792 香道		聖廟九百五十年神忌法樂千句 嘉永5年2月 嘉永5(1852)写 1冊 横長	TK911-1
古十組小包雛形(御家流) 1包	TK792-1	見立八景狂歌合 天窓赤人 写 1冊 半紙	TK911-2
新十組小包雛形 1包	TK792-2	御祝和歌 写 3冊 半紙	TK911-3
香包(真行草) 1包	TK792-3	御詠草 写 1冊 横長	TK911-4
		TK 914 隨筆 小品 評論	
		豆腐之記(安藤对馬守冠里子贊) 写 1冊 54.5×50	TK914-1
		TK 919 漢詩文	
		壬子元旦(新年巴調)〔佐野〕正繩 〔嘉永5〕(1852)写 1通	TK919-1
		壬子月字詩 傍島正心 〔嘉永5〕(1852)写 1通	TK919-2